Pioneer sound.vision.soul

プラズマディスプレイシステム

# PDP-503HD
# PDP-433HD-U
# PDP-433HD-S

**「据付工事」について**

本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。
なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

## インターネットによる登録のお願い

**http://www3.pioneer.co.jp/**

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。
この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

# 取扱説明書

# もくじ

## はじめに



## 設置する



## 他の機器をつないで使う

## テレビ放送を楽しむ



## BSデジタル放送を楽しむ

# もくじ(つづき)

## BSデジタル放送を楽しむ(つづき)

## その他



**ご注意** **お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。**

※ 本取扱説明書では、プラズマディスプレイシステムを「本機」と表現しています。
※ 本取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

### プラズマパネルの保護機能について

- 写真やコンピューター画像などの動きのない映像を長い時間表示すると、画面がやや暗くなります。
  これはプラズマパネルの保護機能が、動きの少ない映像を検知すると自動的に明るさを調整して画面を保護するためで、故障ではありません。
  この機能は、動きの少ない映像を約3分間検知すると働きます。

**ご注意**

### パネルの焼き付きと残像

- 静止画像など同じ絵柄の映像を長い時間表示すると、画面が焼き付く恐れがあります。
  焼き付きにはつぎの2つの原因があります。

#### 1. 電気負荷の残留による残像

輝度の非常に高い映像を1分以上表示すると、電気負荷の残留により残像ができることがあります。
これは動画を表示するとやがて消えます。残像が消えるまでにかかる時間は、もとの映像の輝度と表示時間によって異なります。

#### 2. 焼き付きによる残像

プラズマディスプレイに同じ絵柄を長時間表示しないでください。同じ絵柄を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返したりすると、蛍光素材の焼き付きにより残像ができることがあります。
この場合は、動画の映像によって目立たなくなることがありますが、完全に消えることはありません。
また、画面サイズ4：3において何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示すると同様の焼き付きによる残像ができることがあります。著作者の権利を侵害するおそれがある場合(83ページ/おしらせ参照)を除き画面の焼き付きを避けるため、できるだけ4：3以外の画面サイズでお楽しみいただくことをおすすめします。

- 省エネ機能の消費電力設定により、焼き付きの発生を軽減することができます。(**105**ページ参照)

# 安全にお使いいただくために

ご使用前に**「安全にお使いいただくために」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

**警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

**注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

**図記号の意味**
（図記号の一例です）

記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

## 警告

### 異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

プラグを抜け

万一内部に水や異物等が入った場合は、すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜け

万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

# ⚠ 警告

## 設置

本機には設置用のスタンドが付属していません。本機は大型で重量があるので、ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。本機には、転倒防止の処置を行ってください。転倒防止を行わないと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。また、開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。

注意

電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重いものを乗せてしまうことがあります。重いものを乗せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

禁止

## 使用環境

本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

100V 以外禁止

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

禁止

## 使用方法

本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁止

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

本機のキャビネットをはずしたり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

分解禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ほこり除去

# 安全にお使いいただくために(つづき)

## ⚠ 警告

### 使用方法

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。

禁止

ディスプレイの前面パネルに、たたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには絶対に衝撃を加えないでください。

禁止

## ⚠ 注意

### 設置

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- BS放送受信用アンテナは強風を受けやすいので、しっかりと取りつけてください。

注意

本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

放熱を良くするため他の機器・壁等から間隔をとってください(10cm以上)。また、つぎのような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。
- 横倒しにする。
- 逆さまにする。

禁止

ディスプレイを直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面保護パネルの光学特性が変化し、変色したり、そりの原因となります。

注意

移動させる場合は主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部コード、転倒防止具をはずしたことを確認してください。コード類をはずさずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜け

# ⚠ 注意

## 設　置

本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温、多湿になる場所あるいは油煙やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

本機のディスプレイは質量が約39kg（PDP-503HD）／約32kg（PDP-433HD）あり、奥行がなくて不安定なため、開梱や持ち運び、および設置は2人以上で行ってください。

注意

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

プラグを抜け

ディスプレイはガラス部品を使用しています。万一部品が割れた場合には、破片でけがなどをしないよう取扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。

注意

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

例えば、3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

注意

ディスプレイ背面にある通気孔は、1カ月に1回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください（このとき掃除機は「弱」に設定してください）。
また、通気孔のお手入れは必ず本機の主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。

注意

地震などによる転倒を防止するため、丈夫なヒモとフック金具を使用して、壁や柱など強度の高いところにディスプレイを固定してください。

注意

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

確実に差す

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

オーディオ機器やビデオ機器など、他の機器と組み合わせて使用する場合は、電源を「切」にしてから接続してください。

プラグを抜け

# 安全にお使いいただくために(つづき)

## ⚠ 注意

### 使 用 環 境

本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

周囲温度は0〜40℃の範囲内でご使用ください。

注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜け

### 使 用 方 法

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

静止画像等、同じ絵がらを長時間連続で表示しないでください。画像が焼きつき残像として残る場合があります。

注意

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

禁止

電池をリモコン内にセットする場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

注意

乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

禁止

電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。

禁止

長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。
もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

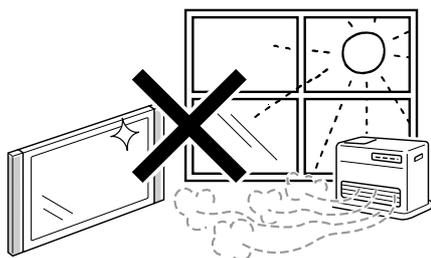
電池を取り出せ

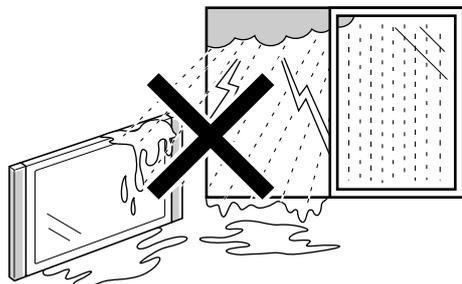
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

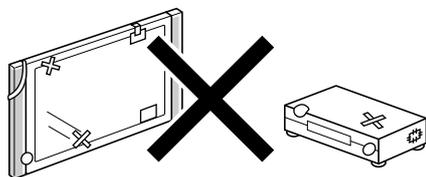
注意

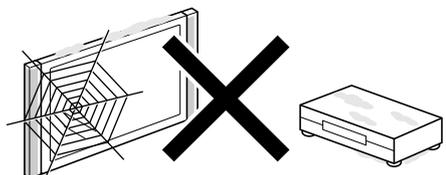
# 守っていただきたいこと

## 直射日光・熱気は避けてください

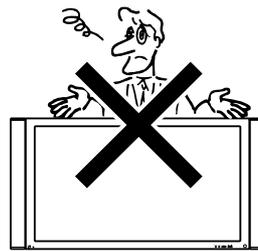
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

## 雨天・降雪中でのご使用の場合

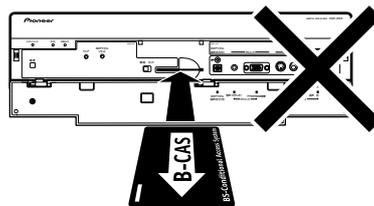
- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機を濡らさないようにご注意ください。

## ステッカーやテープなどを貼らないでください

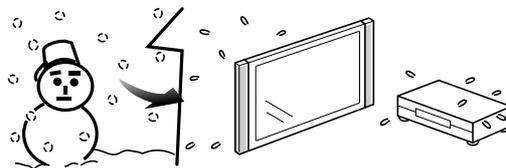
- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

## 長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

## 国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

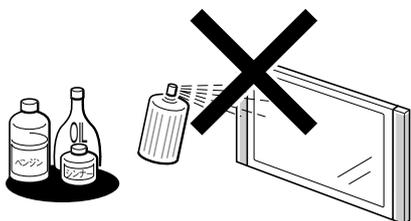
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

## ICカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- ICカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して行ってください。

## 結露(つゆつき)について

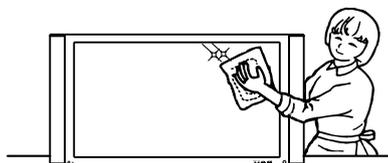
- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

# 安全にお使いいただくために(つづき)

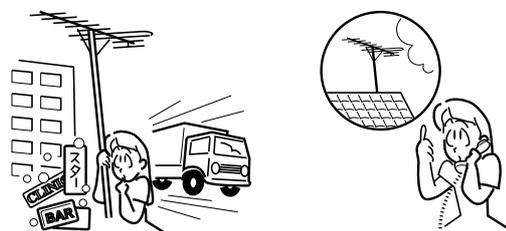
## 守っていただきたいこと

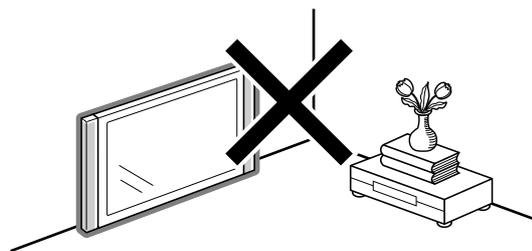
### キャビネットのお手入れのしかた

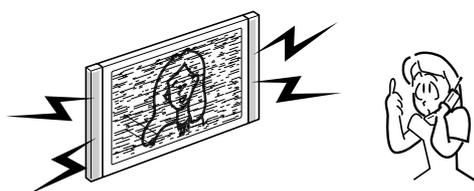
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

### ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- 本機のディスプレイパネルの表面は、付属のワイピングクロスまたは他の柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

### アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず衛星放送用同軸ケーブルを使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

### 設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上にはものを置かないでください。
- 本機の上や後ろのスペースが十分とれる場所に設置してください。

### 電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

# 本機の特長

## 高輝度・高画質を追求したハイビジョンプラズマディスプレイシステム

- 新開発「ディープワッフル構造リブ」パネル採用により、ご家庭のテレビとして十二分な高輝度を実現。
- 新開発「ピュアカラーフィルター」採用により、明るい場所での高コントラストと、原画に忠実で鮮やかな発色を実現。
- 水平 1280 × 768 画素の高精細ハイビジョンパネル採用。（PDP-503HD）
- 水平 1024 × 768 画素の高精細ハイビジョンパネル採用。（PDP-433HD）
- 「スムース CLEAR 駆動法」採用により、暗いシーンでの豊かな階調表現を実現。

## BS デジタルハイビジョンチューナーを搭載

- 高画質＆多チャンネルの BS デジタル放送サービス（BS デジタルテレビ放送、BS データ放送、BS ラジオ放送）にフル対応。
- デジタルネットワークを実現する i.LINK 端子 2 系統搭載。（D-VHS デッキ対応）
- AAC デジタル音声出力対応。当社製 VSA-C300 等 AAC デコーダ内蔵 AV アンプの接続により迫力のサラウンド効果を実現可能。

## 高精細と省エネの両立

- 高精細パネル搭載モデルでは困難だった省電力化を実現。
- さらに節電に役立つ機能として、【消費電力】設定、【無信号オフ】機能、【無操作オフ】機能、そして PC 入力時の【パワーマネジメント】機能の 4 つの機能が設定可能。
- 省電力化により放熱のためのファンが不要となり、静音化も実現。（ディスプレイ部）

## その他

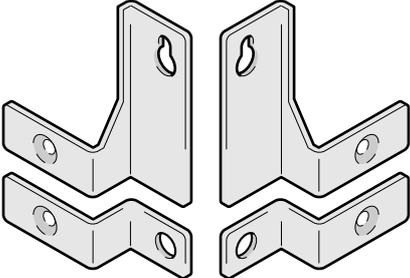
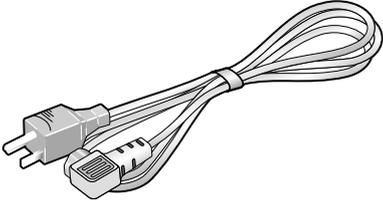
- D4 端子 2 系統、PC 入力をはじめとする豊富な入出力端子。
- 多機能リモコン（パイオニア製 DVD プレーヤー、AV アンプコントロール機能つき）付属。
- BS デジタル放送、地上放送のテレビ視聴に機能を限定した簡単リモコン付属。

# 付属品を確認してください

## スピーカー部

（PDP-433HD-U のスピーカー付属品については、スピーカーに同梱されている取扱説明書をご覧ください。）

**スピーカー取付金具**
（取り付けかた→ **25** ページ）

上部用× 2

下部用× 2

**スピーカー取付ネジ類**
（取り付けかた→ **25** ページ）

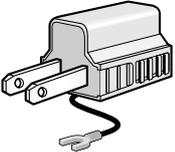
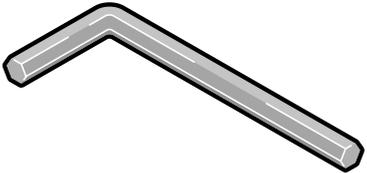
× 4

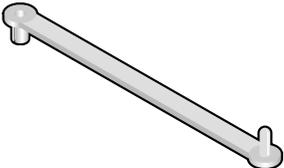
× 4

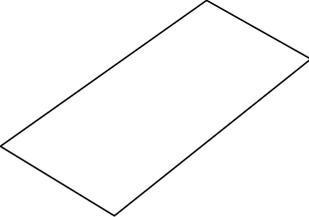
**取付工具（六角レンチ）×1**
（使いかた→ **25** ページ）

**スピーカーケーブル× 2**
（使いかた→ **27** ページ）

## ディスプレイ部

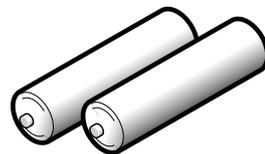
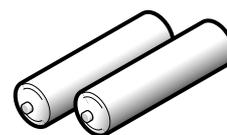
**電源コード（2m、3ピン）×1**
（使いかた→ **26** ページ）

**AC 変換プラグ× 1**（使いかた→ **26** ページ）

**ワイピングクロス（前面パネルを拭く布）×1**
（使いかた→ **12** ページ）

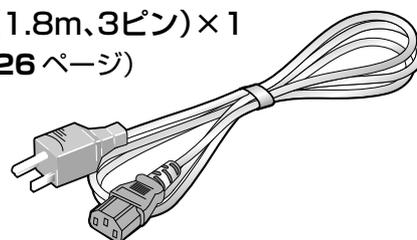
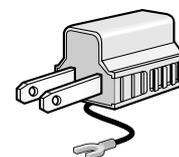
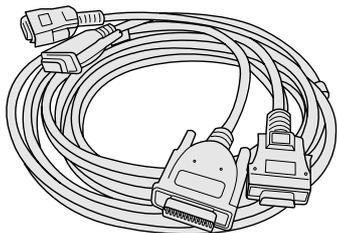
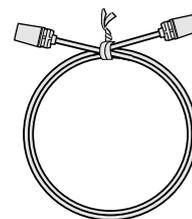
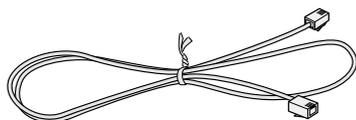
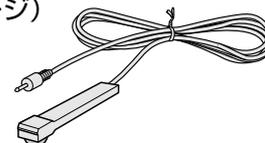
**スピードクランプ×3**（使いかた→ **28** ページ）

**ビーズバンド×3**（使いかた→ **28** ページ）

**保証書**

**ご注意** ICカード(B-CASカード)は開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

# メディアレシーバー部

リモコン× 1
(使いかた→ **19** ～ **21** ページ)

単3乾電池×2
(使いかた→ **20** ページ)

単4乾電池×2
(使いかた→ **22** ページ)

簡単リモコン× 1 (使いかた→ **22** ページ)

電源コード(1.8m、3ピン)×1
(使いかた→ **26** ページ)

AC変換プラグ×1
(使いかた→ **26** ページ)

システムケーブル(3m)×1
(使いかた→ **26** ページ)

アンテナケーブル(1.5m)×1
(使いかた→ **29** ページ)

電話線(10m)×1 (使いかた→ **52** ページ)

ビデオコントローラー(1.8m)×1
(使いかた→ **146** ページ)

モジュラー分配器×1 (使いかた→ **52** ページ)

BSデジタル用品一式
- B-CASカード
- ユーザー登録カード
- 加入申込みパンフレット

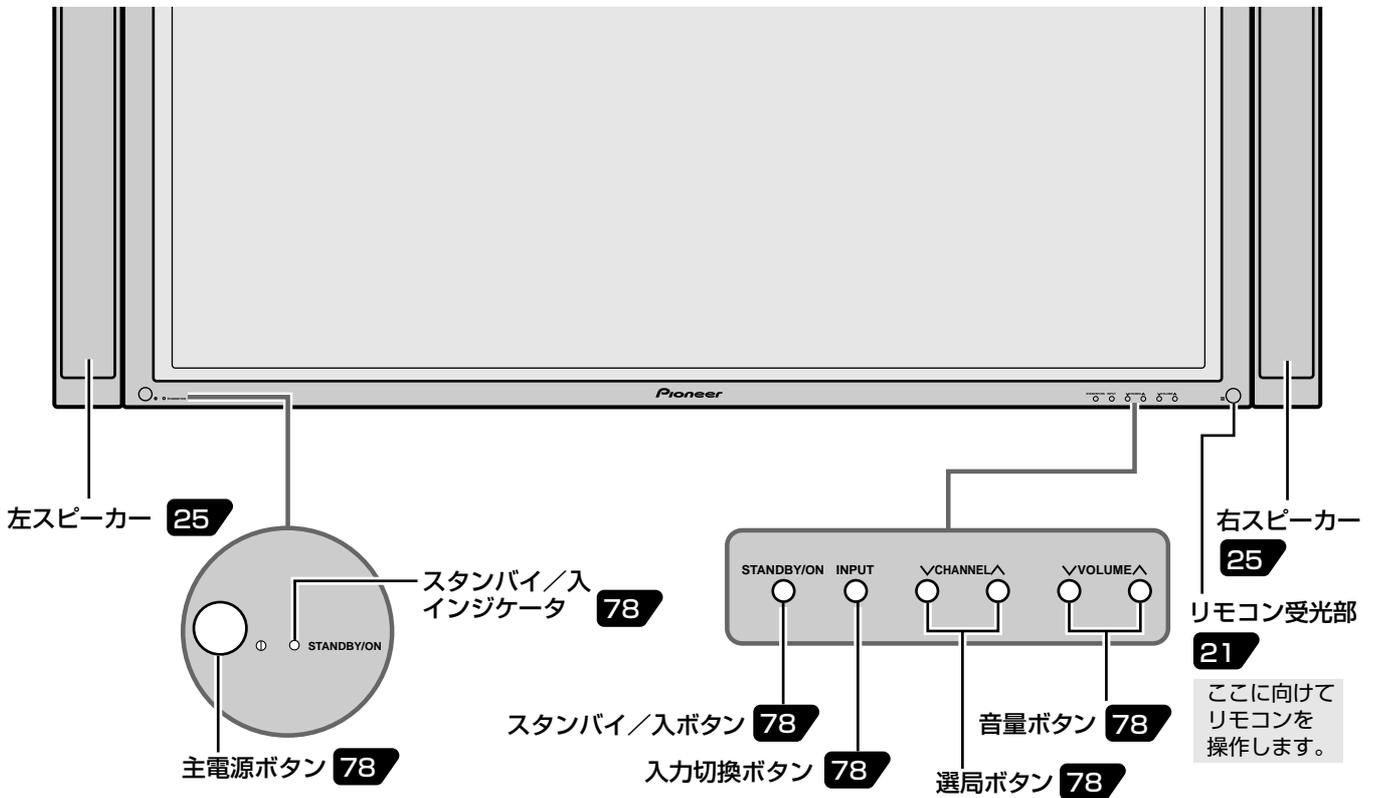
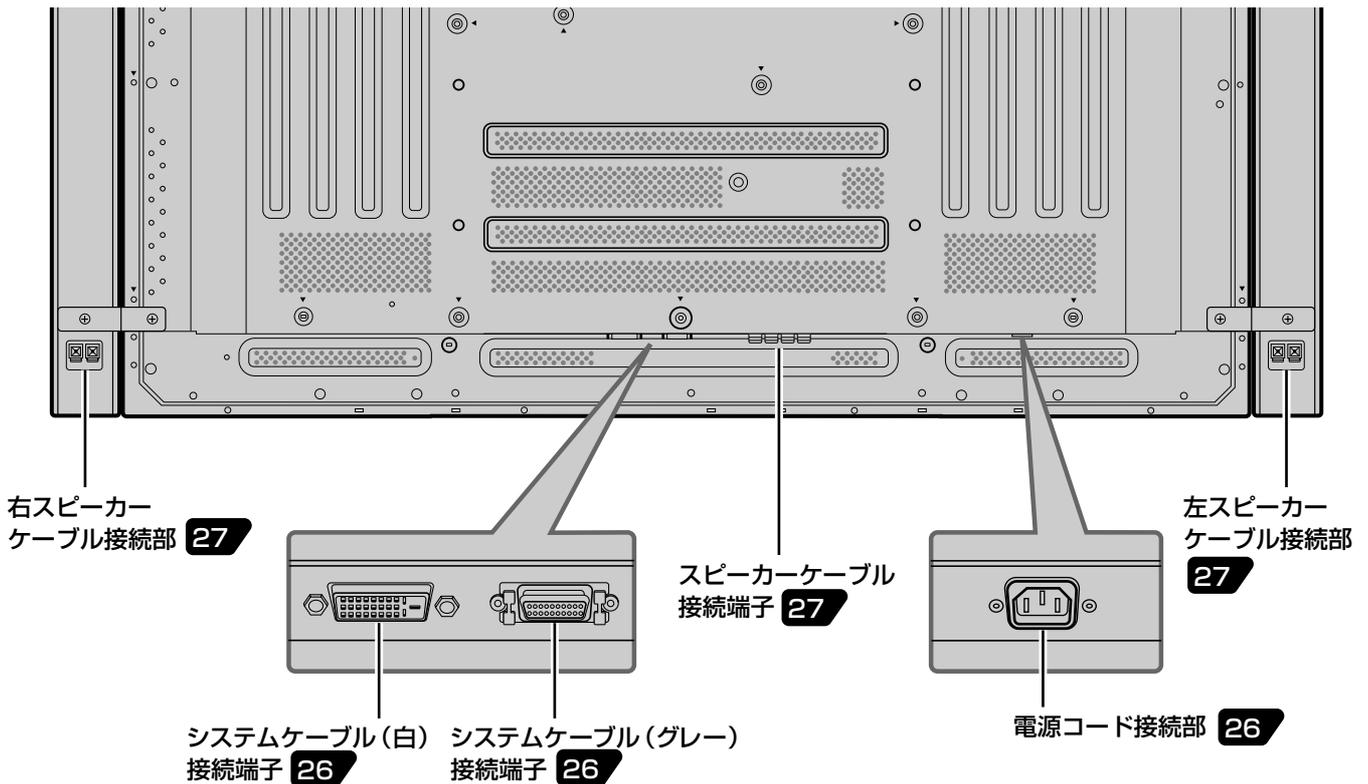
取扱説明書、アンケートはがき、

ご相談窓口・修理窓口のご案内

# 各部のなまえ

内の数字は、本文で説明しているおもなページです。

## ディスプレイ

- PDP-503HDとPDP-433HDとでは、外観は多少異なりますが、機能や操作方法は同じです。
- PDP-433HD-Uは、スピーカーの形状および取付け位置が異なります。

### 前面

## メディアレシーバー

### 前面（扉を閉じたところ）

### 前面（扉を開けたところ）

クリアボタン 191

BSデジタル
リセットボタン 191

BSデジタル
音声出力（光）端子 156

ビデオ4入力 64
S2映像端子
映像・音声端子

ヘッドホン端子 64

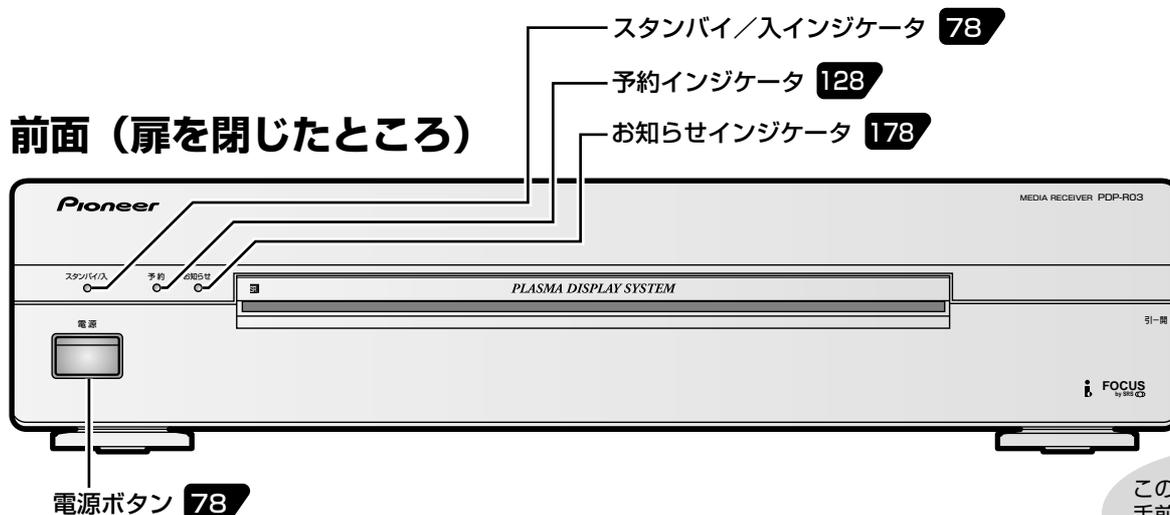
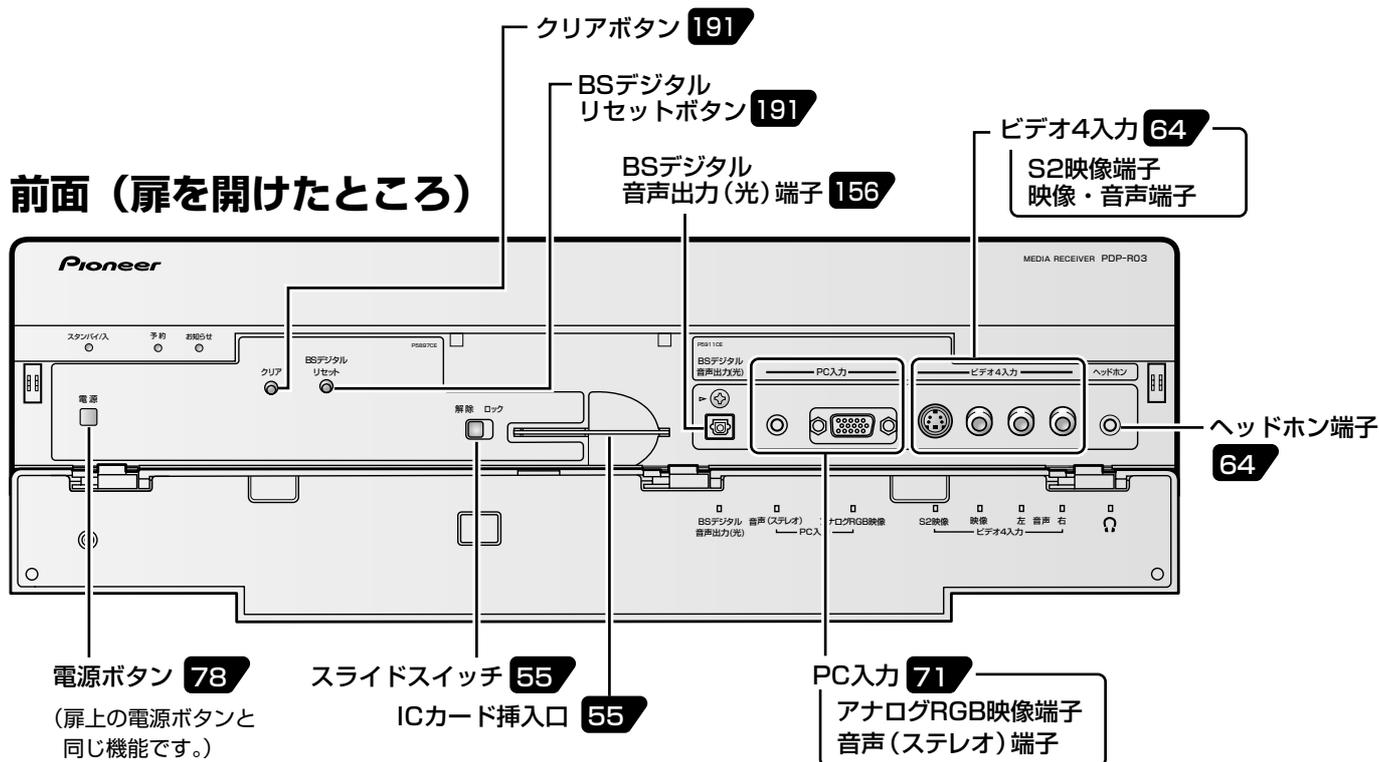
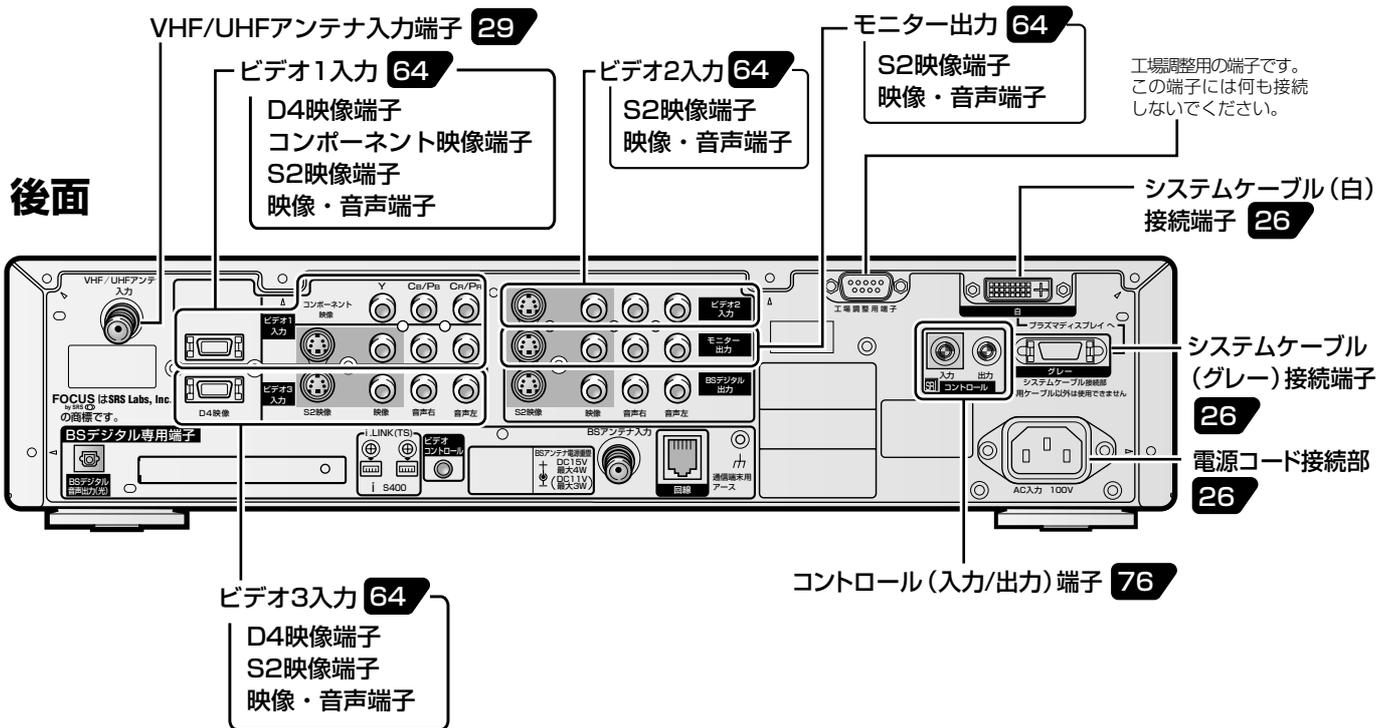
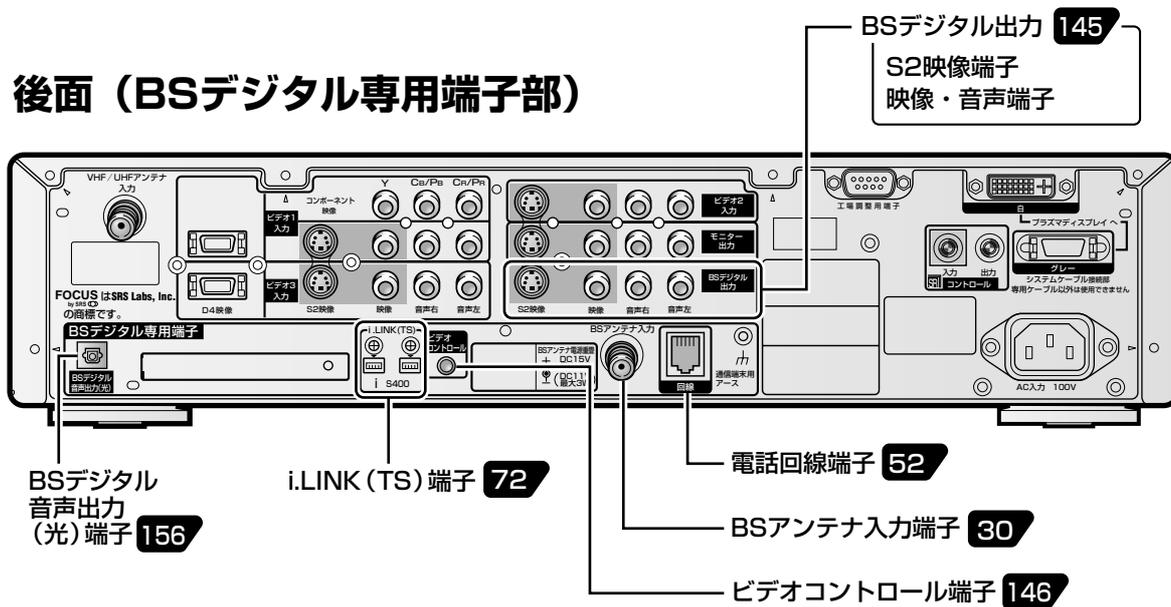
電源ボタン 78
（扉上の電源ボタンと
同じ機能です。）

スライドスイッチ 55

ICカード挿入口 55

PC入力 71
アナログRGB映像端子
音声（ステレオ）端子

# 各部のなまえ(つづき)

## 後面

## 後面(BSデジタル専用端子部)

# リモコン

## ▼扉を閉じたところ

**DVDインジケータ**
扉内のリモコン切換ボタンでDVDモードを選んだとき、数秒間点灯します。DVD操作ボタンを押したときも点滅します。

**電源** 79
電源をスタンバイ／入します。

**ラジオ** 116
BSデジタル放送のラジオ番組を選びます。

**テレビ** 113
BSデジタル放送のテレビ番組を選びます。

**データ連動** 114
BSデジタル放送のテレビやラジオの番組に連動したデータ放送を呼び出します。

**終了**
メニューや番組表の表示を終了します。

**カーソル（上下左右）**
メニューや項目を選びます。

**決定**
カーソルで選んだメニューや項目を決定したり、設定内容を確定します。

**戻る**
1つ前の画面に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、決定ボタンを押さずに、戻るボタンを押します。

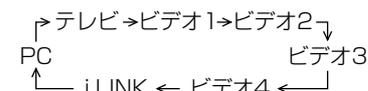
**2画面** 85
2画面表示にします。

**操作切換** 86
2画面表示のとき、操作できる方の画面を切り換えます。

**BSチャンネル／数字** 113
- BSデジタル放送を選局します。
- 各種設定の数字入力にも使います。

**テレビチャンネル** 79
地上放送やCATV放送を選局します。

**AVアンプインジケータ**
扉内のリモコン切換ボタンでAVアンプモードを選んだとき、数秒間点灯します。AVアンプ操作ボタンを押したときも点滅します。

**入力切換** 79
入力をつぎのように切り換えます。
→テレビ→ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→ビデオ4→i.LINK→PC→（テレビへ戻る）

**画面表示** 79
画面表示を入／切します。

**i.LINK** 74
i.LINK入力を選びます。また、i.LINK操作パネルの表示を入／切します。

**データ独立** 117
BSデジタル放送の独立データ番組を選びます。

**確認/登録** 118･144
BSチャンネルボタンに設定されているBSチャンネルの確認/登録画面を表示します。

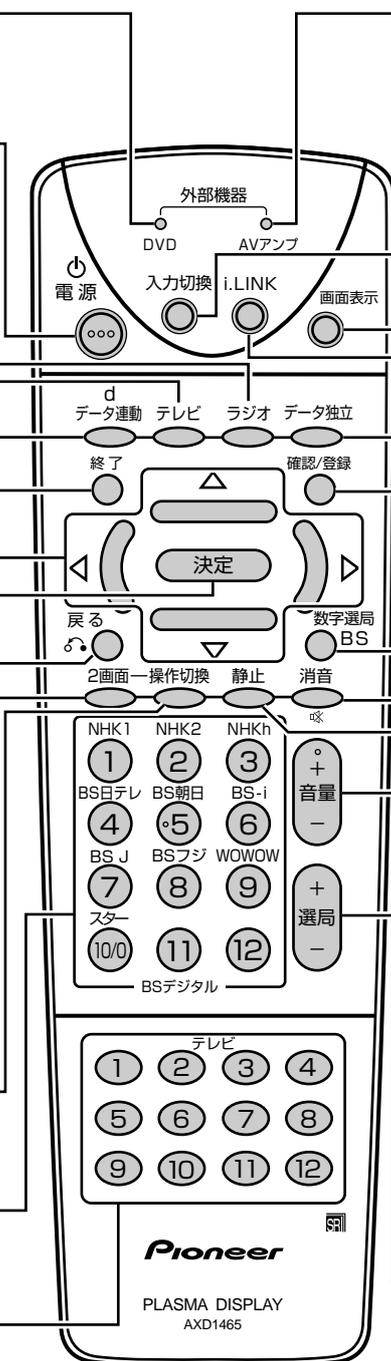
**BS数字選局** 113
チャンネル番号を入力してBSデジタル放送を選局するとき使います。
<例>103チャンネルを見たいとき
BS数字選局ボタンを押してから、
1 10/0 3 と押します。

**消音** 79
音を一時的に消します。

**静止** 87
視聴中の番組を静止画で表示します。動画と静止画の2画面になります。

**音量＋/－** 79
音量を調整します。

**選局＋/－** 79
各種放送を選局します。

※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

# 各部のなまえ(つづき)

## ▼扉を開けたところ

・扉はリモコン右側のくぼみに指をかけて開いてください。

**ご注意** •強く開くと、扉がこわれますので、ていねいに扱ってください。

**終了**
メニューや番組表の表示を終了します。

**カーソル(上下左右)**
メニューや項目を選びます。

**決定**
カーソルで選んだメニューや項目を決定したり、設定内容を確定します。

**戻る**
1つ前の画面に戻ります。

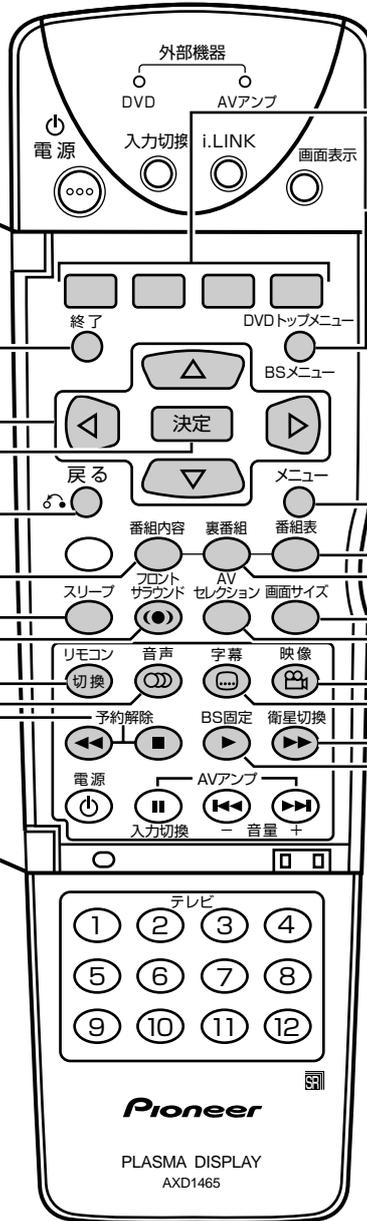
**番組内容** 114・115・123
視聴中のBSデジタル番組の詳細な情報を表示します。

**スリープ** 104
スリープ機能の時間を設定します。

**フロントサラウンド** 102
サラウンド効果を選びます。

**リモコンモード切換** 21
AVアンプモードとDVDモードを切り換えます。切換え時、リモコン上部の各インジケータが数秒間点灯します。
※通常はAVアンプモードでご使用ください。

**音声** 100・115
音声多重放送のとき、主・副音声を切り換えます。

**予約解除** 137
◀◀と■を2つ同時に押すと、実行中の予約録画が取り消されます。



**カラーボタン(青/赤/緑/黄)** 119
BSデジタル放送の電子番組表(EPG)やデータ番組の操作に使います。

**BSメニュー** 112
BSメニュー画面の表示を入／切します。

**メニュー** 80
通常のメニュー画面の表示を入／切します。

**番組表** 119
BSデジタル放送の電子番組表(EPG)の表示を入／切します。

**裏番組** 124
BSデジタル放送の裏番組表の表示を入／切します。

**画面サイズ** 83
お好みの画面サイズを選びます。
4：3 → フル → ズーム → シネマ → ワイド → 4：3

**AVセレクション** 95
番組やソフトの内容に合わせ、最適な画質、音質を選びます。

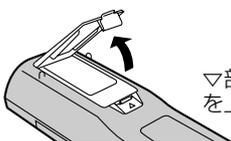
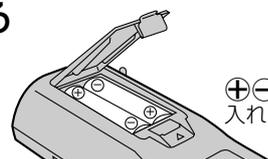
**映像** 115
BSデジタル放送の主･副映像を選びます。

**字幕** 142
BSデジタル放送の字幕表示を入/切します。

**衛星切換** 125
BSデジタル放送と将来の新しい放送の切換えをします。

**BS固定** 165
現在選んでいるBSチャンネルに固定されます。
BSデジタル番組を録画しながら、地上放送やCATV放送を見たいときなどに便利です。

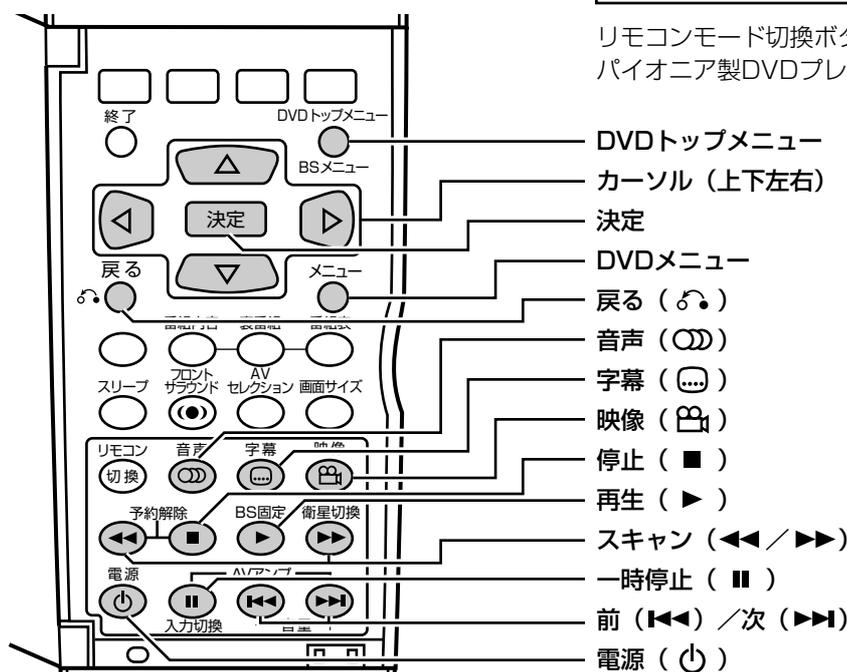
## 乾電池の入れかた

**1** カバーを開ける

**2** 付属の単3乾電池を入れ、カバーを閉める

※リモコンおよび乾電池使用上の注意とお知らせが**22**ページに記載されています。よくお読みになり、正しくお使いください。

扉を開けたところ

## DVDモードについて

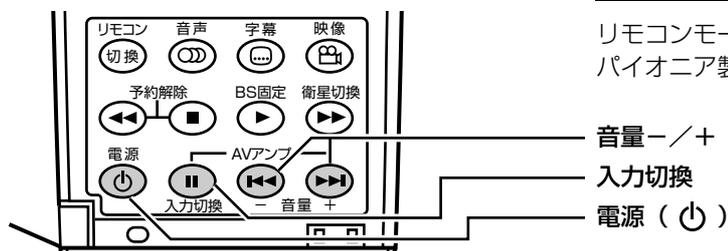
リモコンモード切換ボタンでDVDモードを選んでいるとき、
パイオニア製DVDプレーヤーの下記操作が可能となります。

- DVDトップメニュー
- カーソル（上下左右）
- 決定
- DVDメニュー
- 戻る（ ）
- 音声（ ）
- 字幕（ ）
- 映像（ ）
- 停止（ ■ ）
- 再生（ ▶ ）
- スキャン（◀◀／▶▶）
- 一時停止（ ❚❚ ）
- 前（I◀◀）／次（▶▶I）
- 電源（ ）

これら以外のボタンでは、本機の操作が可能です。

扉を開けたところ

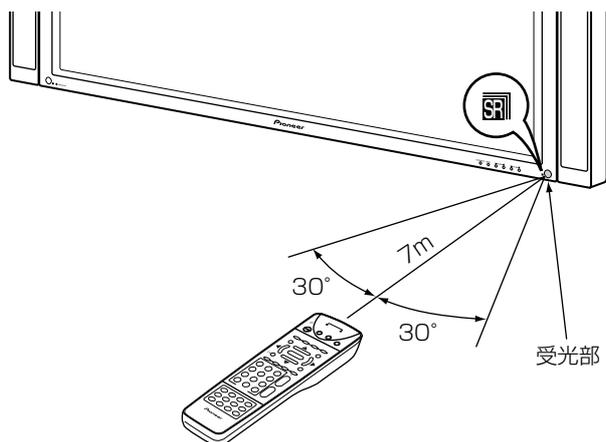
## AVアンプモードについて

リモコンモード切換ボタンでAVアンプモードを選んでいるとき、
パイオニア製AVアンプの下記操作が可能となります。

- 音量－／＋
- 入力切換
- 電源（ ）

これら以外のボタンでは、本機の操作が可能です。

**通常はAVアンプモードでご使用ください。**

## リモコンで操作できる範囲

リモコンは、ディスプレイ前面右下の受光部（ ）に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から7m、上下左右に30度以内です。

### リモコンで動作しにくいとき

- リモコンとディスプレイの受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。
- 本機は画面から微弱な赤外線を放出しています。近くにビデオ等の赤外線リモコンによって操作する機器を設置すると、その機器がリモコン操作を受けつけにくくなったり、受けつけなくなることがあります。そのような場合は、本機から離して設置してください。
- 設置環境によっては、プラズマディスプレイから放出される赤外線の影響によって、本機がリモコン操作を受けつけにくくなったり、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。画面から放出される赤外線の強さは、表示される絵がらによって変わります。

# 各部のなまえ(つづき)

## 簡単リモコン

電源の入/スタンバイ、選局、音量調整など、ふだんよく使う基本操作は簡単リモコンだけで行えます。

**選局+/−** 79
各種放送を選局します。
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

**消音** 79
音を一時的に消します。

**BSデジタル(テレビ)**
BSデジタル放送(テレビ)を選びます。

**テレビ**
地上放送やCATV放送を選局します。

**チャンネル**
選んでいる放送のチャンネルをダイレクト選局します。

**電源** 79
電源を入/スタンバイします。

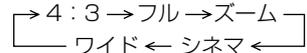
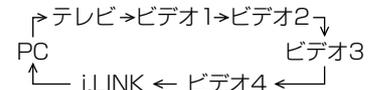
**二重音声** 100・115
音声多重放送のとき主・副音声を切り換えます。

**画面サイズ** 83
お好みの画面サイズを選びます。
→4：3→フル→ズーム→ワイド←シネマ←

**入力切換** 79
入力をつぎのように切り換えます。
→テレビ→ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→ビデオ4→i.LINK→PC→

**音量+/−** 79
音量を調整します。

| BSデジタル放送を見るときは… |
|---|
| 1 Aのテレビボタンを押した後、 |
| 2 Bのチャンネルボタンを押す。 |

| テレビ(地上放送・CATV放送)を見るときは… |
|---|
| 1 Aのテレビボタンを押した後、 |
| 2 Bのチャンネルボタンを押す。 |

おしらせ
- 簡単リモコンでは、BSデジタル放送のラジオ番組やデータ番組を受信することができません。

## 乾電池の入れかた

**1** カバーを開ける

部分を押しながら、スライドさせます。

**2** 付属の単4乾電池を入れ、カバーを閉める

⊕⊖の表示どおりに入れてください。

**リモコン使用上のご注意**
- リモコン送信機には衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高いところには置かないでください。
- リモコン受信部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。照明の向きを変えてください。

**乾電池使用上のご注意**

乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂することがありますので次のことをお守りください。
- 種類の違うものや新旧を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電したり、分解しない。
- ⊕極と⊖極を正しく入れる。
- ショートさせない。

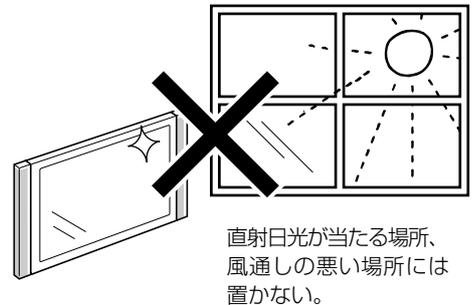
- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池を取り出し、電池の向きを確かめて、入れなおしてください。
- 不要となった乾電池を処理するときは、各地方自治体の指示にしたがって処理してください。

# 設置する

# 設置のしかた

## 設置の手順

### 1 置く場所を決める

- 直射日光が当たらない、風通しの良い場所を選んでください。
- メディアレシーバーとディスプレイを結ぶシステムケーブルの長さは、約3メートルです。

### 2 製品を配置する

**●ディスプレイを設置する**

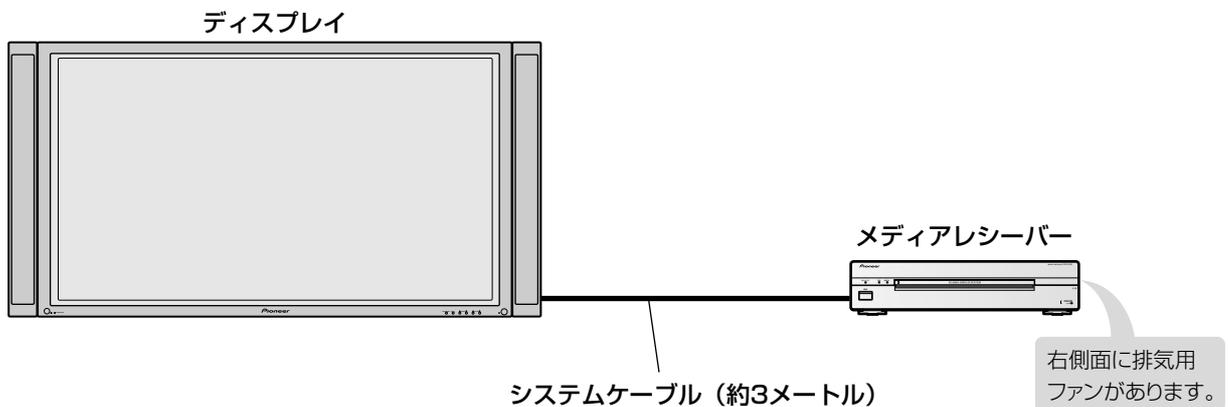
ご注意
●取り付け、取り外しは、専門業者にご依頼ください。
●本機には設置用のスタンドが付属していません。
設置の際は、専用のスタンドや壁掛け金具をご使用ください。
●ディスプレイは重いので（約39kg［PDP-503HD］／約32kg［PDP-433HD］）、移動するときは、必ず2人以上で行ってください。

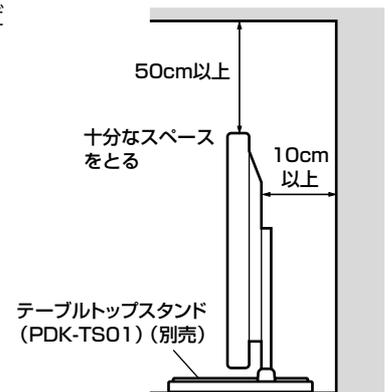
**●メディアレシーバーを設置する**

ディスプレイ

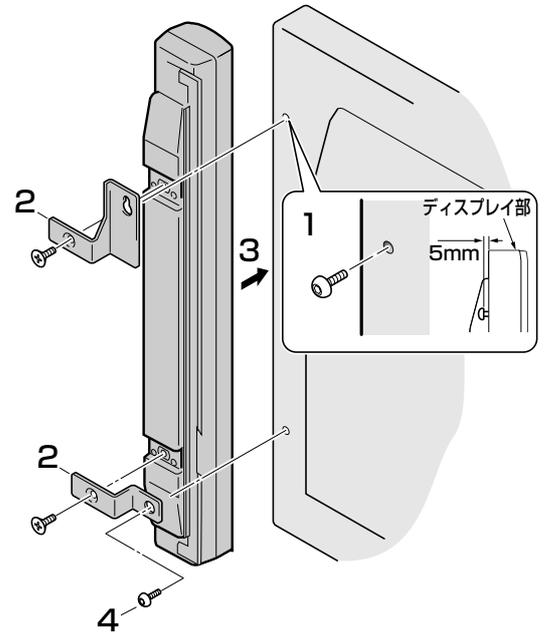
メディアレシーバー

システムケーブル（約3メートル）

右側面に排気用ファンがあります。

- メディアレシーバーの上には、ビデオデッキ等を乗せないでください。
- ディスプレイの背面部・天面部、メディアレシーバーの天面部・側面部は、十分なスペースをとって設置してください。

設置についてのご注意や壁掛け設置などについては、196・197ページをご参照ください。

## 3 スピーカーを取り付ける

- ⊕ドライバーが必要です。
- PDP-433HD-Uは、スピーカーの形状および取付け位置が異なります。取付けについては、スピーカーに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

1. スピーカーをひっかけるために、あらかじめ上のネジを取り付けます。
   - このとき5mmほどの隙間を残しておきます。
2. 取付け金具をスピーカーに付けます。
3. スピーカーをディスプレイの上のネジにひっかけます。
   - 遊びがあるので、下のネジを仮止めします。
4. スピーカーとディスプレイとの隙間が均一になるように位置を調整し、上下のネジを付属の取付工具(六角レンチ)できちんと締めます。

- スピーカー前面のグリルネットに力を加えたり、指などを差し込んだりしないでください。
- スピーカーを取り付ける際に、付属以外のネジを使用するとスピーカーの脱落や故障の原因となりますので、必ず、付属のネジを使用してください。
- スピーカーを取り付けた後で、ディスプレイを動かす場合は、スピーカー部分を持たないでください。ディスプレイの下部を持って移動するようにしてください。

# システムの接続のしかた

## メディアレシーバーとディスプレイを接続する

ご注意　接続が終了するまでは、電源を入れないでください。

▼ディスプレイ後面

白　グレー

ディスプレイ用
電源コード（3ピン）（付属品）

AC100V
コンセントへ

システムケーブル（付属品）

端子に差し込んだ後、ネジを右に回して固定します。

両側のフックが「カチッ」と音がするまで、しっかりと差し込みます。

白　グレー

システムケーブル（白）接続端子へ

システムケーブル（グレー）接続端子へ

▼メディアレシーバー後面

工場調整用の端子です。この端子には何も接続しないでください。

メディアレシーバー用電源コード（3ピン）（付属品）

AC100V
コンセントへ

### AC変換プラグ使用上のご注意

注意

電源コードは、ディスプレイ用、メディアレシーバー用ともに3ピンプラグになっています。
性能維持のため、アース線を接続してお使いください。

- アース端子のある2芯コンセントの場合は、付属のAC変換プラグを付けてお使いください。
- コンセントが2芯専用でアース端子がない場合は、アース工事が必要ですので、専門業者に工事を依頼してください。
- コンセントが3芯の場合は、AC変換プラグを付けず、そのままお使いください。

AC変換プラグ

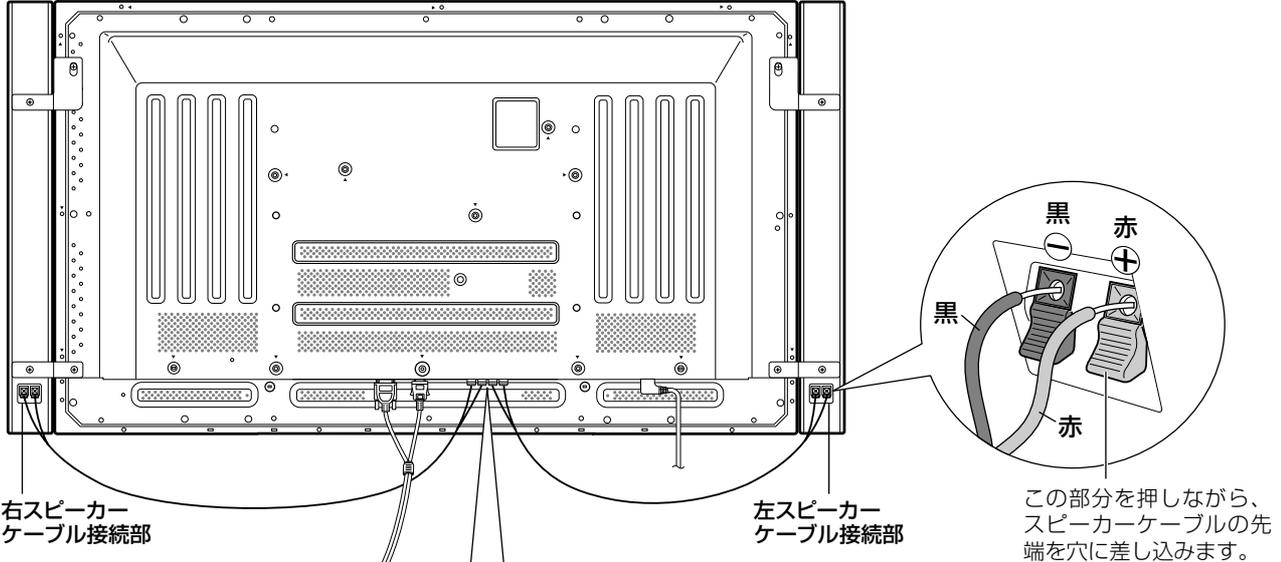
アース線

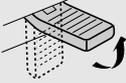
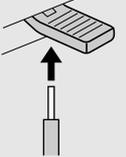
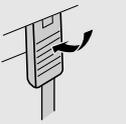
3ピンプラグ

- ディスプレイに同梱されている電源コードはディスプレイに、メディアレシーバーに同梱されている電源コードはメディアレシーバーに使用してください。

## スピーカーを接続する

ご注意　接続が終了するまでは、電源を入れないでください。

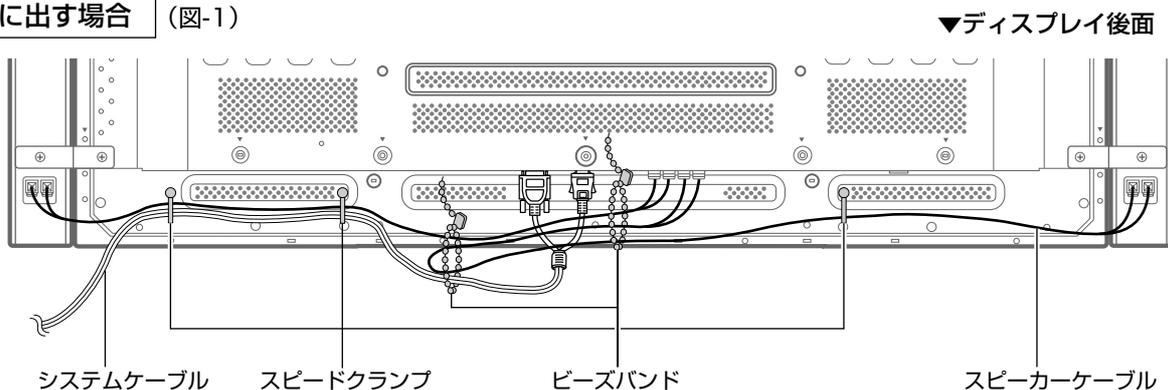
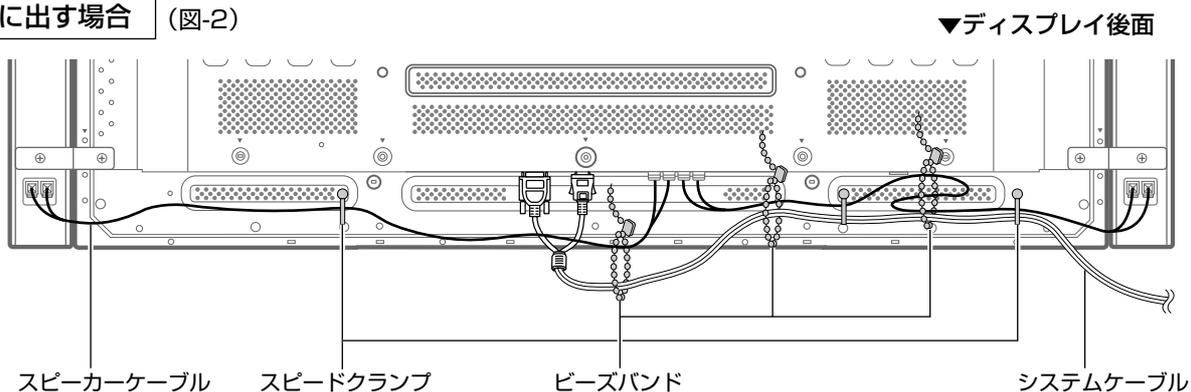
▼ディスプレイ後面

### スピーカーケーブルの差し込みかた

① ツマミを手前に引いて、起こす

② ケーブルの先端を穴に差し込む

③ ツマミをもとの位置に倒す

## スピーカー端子の極性(⊕、⊖)にご注意ください

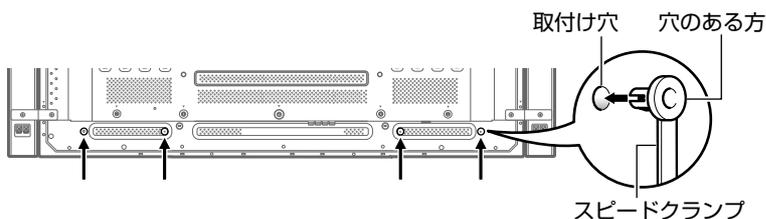
■ スピーカー端子には⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性があります。⊕端子は赤、⊖端子は黒になっています。左右のスピーカーケーブルを接続するとき、それぞれ、⊕端子どうし、⊖端子どうしを正しくつないでください。

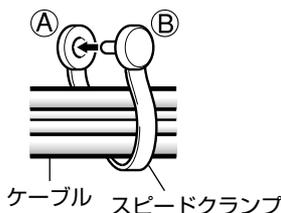
# システムの接続のしかた(つづき)

## ケーブル処理のしかた

■ディスプレイ後面の端子に接続したシステムケーブルとスピーカーケーブルは、付属のスピードクランプとビーズバンドを使って、下図のように束ねると、すっきりとうまくまとめることができます。

### スピードクランプの使いかた

**1 ディスプレイ後面に取り付ける**

- ケーブルを出す方向に応じて、3個のスピードクランプを取り付けます。
- 取付け穴の位置、取付けかたは、右図のとおりです。

**2 束ねたケーブルをスピードクランプで留める**

- 右図のように、束ねたケーブルをスピードクランプでくるむようにし、Ⓐの穴にⒷを押し込みます。

**スピードクランプの外しかた**

ペンチを使って90°ねじり、ひっぱります。
場合によっては劣化したり、破損することがあります。

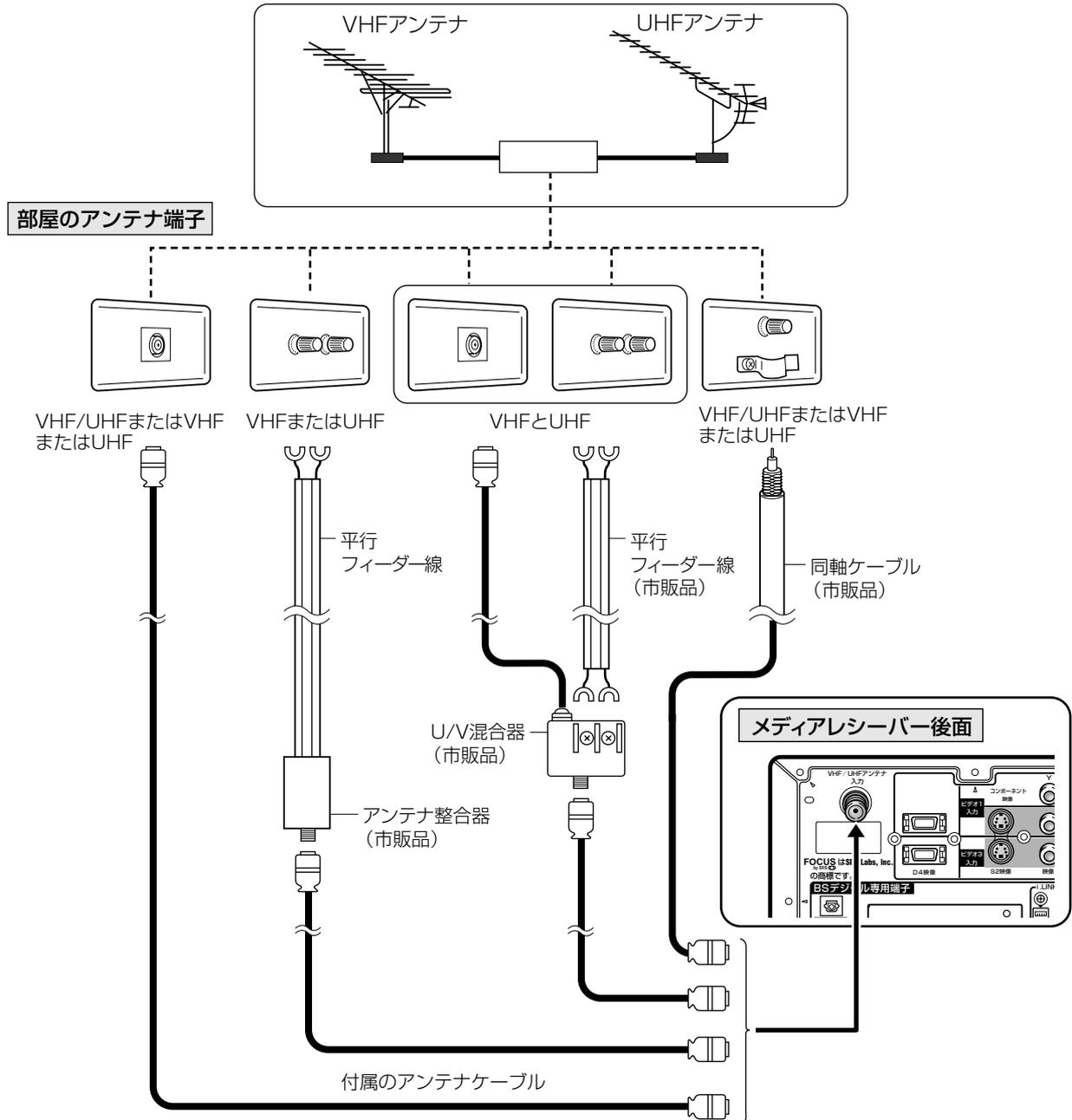
- スピードクランプは一度取り付けてしまうと、取りはずしが簡単にできない構造になっています。ケーブルを出す方向をよくお考えの上、取り付けてください。

### ビーズバンドの使いかた

**余ったケーブルを、図-1・図-2のように、折り返すなどしてコンパクトにまとめ、ビーズバンドで巻いて留める**

# アンテナの接続のしかた

## VHF/UHFアンテナの接続

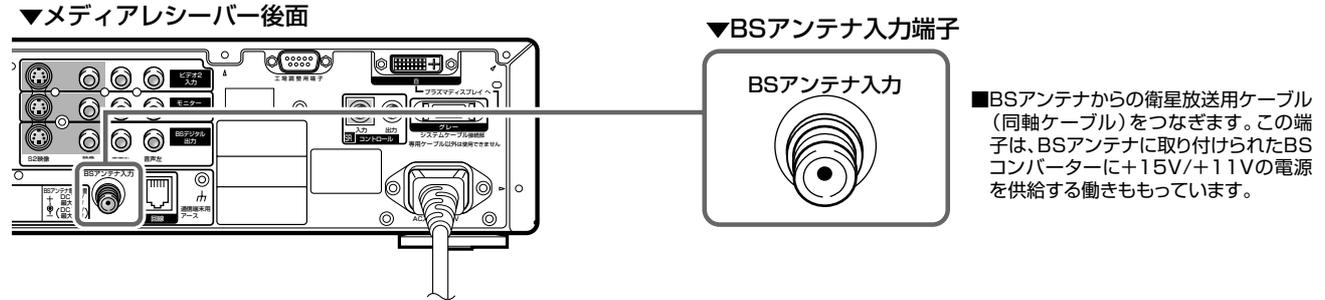
■付属のアンテナケーブル、市販のアンテナ整合器等を、使用するアンテナ線に応じて接続し、メディアレシーバー後面のVHF/UHFアンテナ入力端子に接続してください。


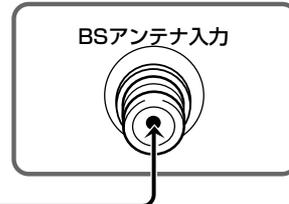


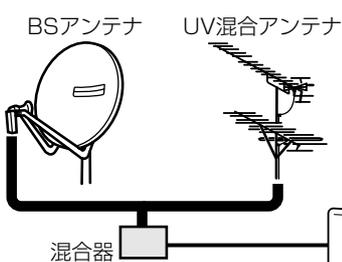
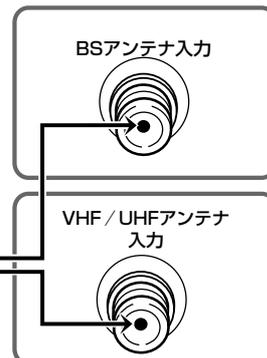

- VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 付属のアンテナケーブルは、「BSアンテナの接続」（**30**ページ）には使用しないでください。

# アンテナの接続のしかた(つづき)

## BSアンテナの接続

■BSアンテナは、BSデジタル放送対応のものをご使用ください。
■BS放送用のアンテナケーブルは、専用のものをご使用ください。
■BSアンテナの接続のしかたなど、詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

BSアンテナ入力端子にアンテナケーブルをつなぐときは、必ずBSアンテナ電源を「切」にしておいてください。（**169**・**170**ページ参照）

### BSアンテナを単独で接続するとき

### 本機とBS内蔵ビデオなどを接続するとき

### BS と VHF・UHF が混合されているとき（マンション など、共聴システムの場合）

BSアンテナの接続が終わったら ☞ **169**ページの「BSアンテナの設定」を行ってください。

# テレビのチャンネルを設定する

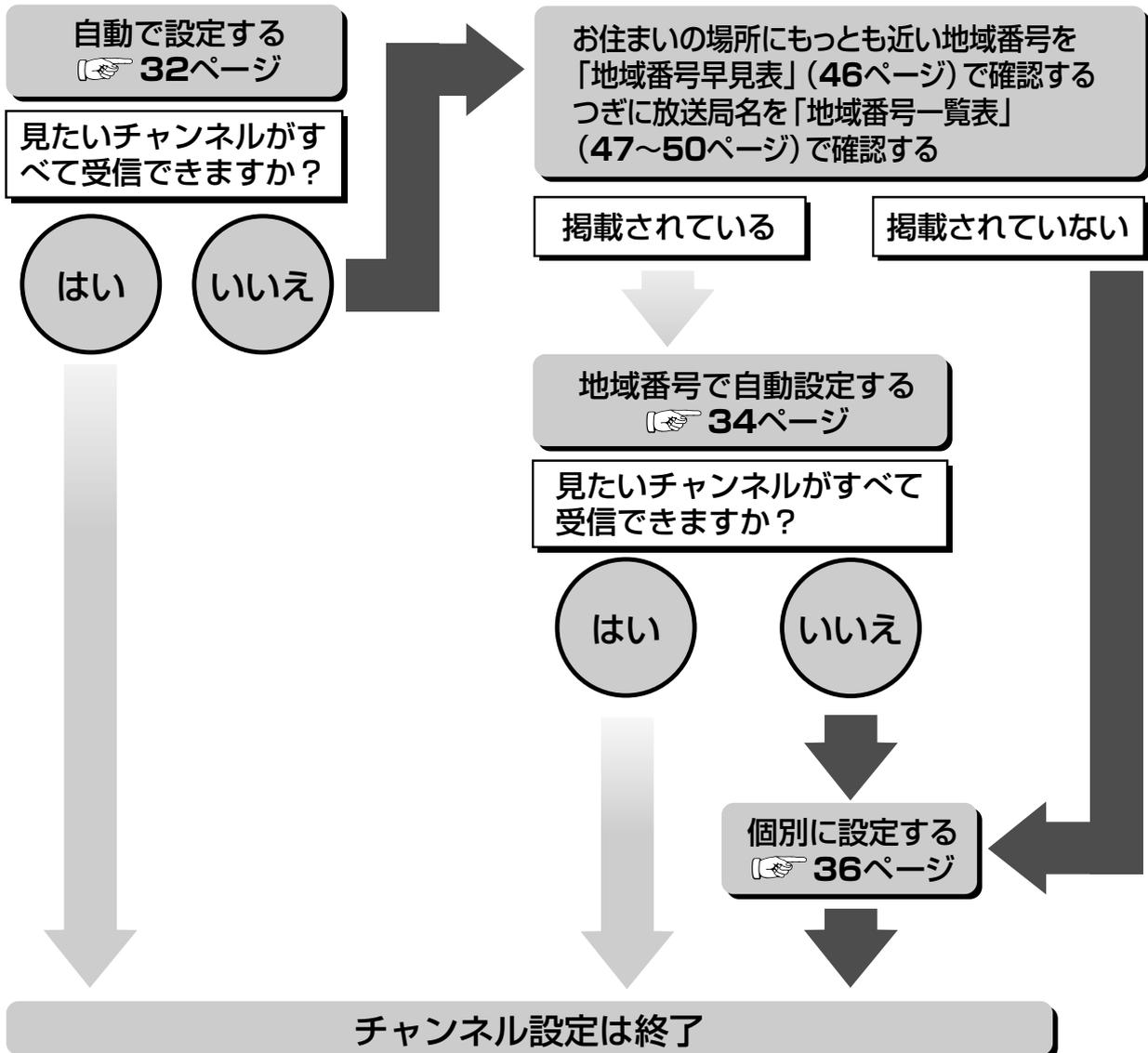


■地上放送(VHF/UHF)やCATV放送の受信チャンネル設定です。
(工場出荷時は、VHF1～12チャンネルが設定されています。)
■チャンネル設定には「自動」と「地域番号」と「個別」の3つの方法があります。

**自動** ……ご使用になる場所の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送チャンネルを自動的にキャッチし、記憶させる方法です。

**地域番号** ……ご使用になる場所にもっとも近い都市(受信している電波を送信している都市)を**46**～**50**ページの地域番号早見表・地域番号一覧表から選び「地域番号」を入力する方法です。

- その地域ごとに、あらかじめ見られる放送局の受信チャンネルを定めた設定方法です。
- 地域番号一覧表(**47**～**50**ページ)には放送局名を記載しています。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定をしてください。

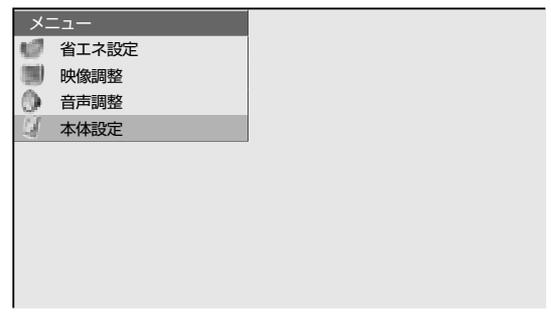
**個別** ……地域番号一覧表に当てはまらない地域や、チャンネル設定後ほかのチャンネルを追加したり削除するとき、チャンネルを1局ずつ設定する方法です。

# テレビのチャンネルを設定する(つづき)

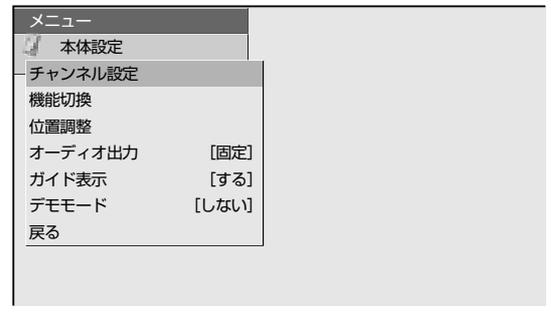
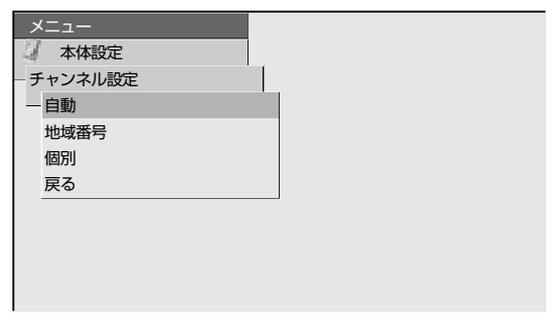
## 自動設定

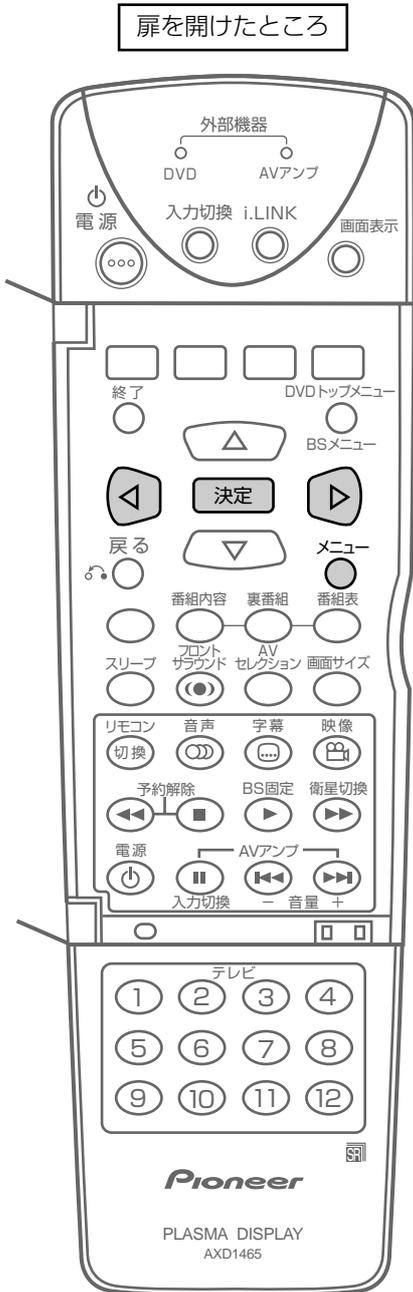
■受信可能な地上放送(VHF、UHF)のチャンネルを自動的にキャッチし、記憶させる方法です。

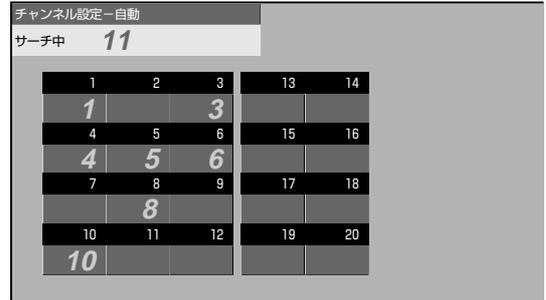
扉を開けたところ

**1**
① 入力切換 でテレビにする
② メニュー を押し、メニュー画面を表示する

**2**
△ ▽ で「本体設定」を選び、決定 を押す

**3**
△ ▽ で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

**4**
△ ▽ で「自動」を選び、決定 を押す

**メニュー画面について**
- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

扉を開けたところ

## 5

- 自動チャンネル設定が始まり、画面左上に「サーチ中」が表示されます。

- 選局が終了すると、自動設定されたチャンネル番号が表示されます。
- まったく受信できなかった場合は、「放送局が見つかりませんでした」と表示され、サーチ開始前に設定されていたチャンネルが表示されます。

## 6 ◁ ▷で「設定する」を選び、決定を押す

- 自動設定されたチャンネルが記憶されました。

## 7 メニューを押し、通常画面に戻す

# テレビのチャンネルを設定する(つづき)

## 地域番号設定

■「地域番号早見表」(**46**ページ)、「地域番号一覧表」(**47**～**50**ページ)で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認したうえで、お住まいの地域にもっとも近い地域番号を入力してください。

扉を開けたところ

＜例＞ 東京都八王子市にお住まいの場合
(地域番号「31」を設定する)

**1**

**① 入力切換 でテレビにする**

**② メニュー を押し、メニュー画面を表示する**

**2**

**△/▽で「本体設定」を選び、決定を押す**

**3**

**△/▽で「チャンネル設定」を選び、決定を押す**

**4**

**△/▽で「地域番号」を選び、決定を押す**

扉を開けたところ

おしらせ

- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定をしてください。

## 5 テレビチャンネルボタンで、地域番号「31」を入力する

- 左右カーソルボタンでも入力できます。

▷を押すと -- → 00 → 01......97 → 98 → 99 → 00

◁を押すと -- → 99 → 98......02 → 01 → 00 → 99

| 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|
| 51 | 2 | 49 |
| 4 | 5 | 6 |
| 53 | 47 | 55 |
| 7 | 8 | 9 |
| 7 | 57 | 9 |
| 10 | 11 | 12 |
| 59 | 11 | 61 |

## 6 「開始」で 決定 を押す

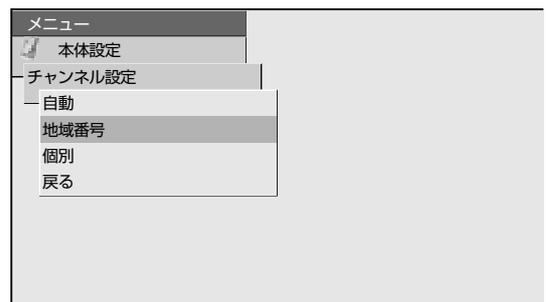
| 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|
| 51 | 2 | 49 |
| 4 | 5 | 6 |
| 53 | 47 | 55 |
| 7 | 8 | 9 |
| 7 | 57 | 9 |
| 10 | 11 | 12 |
| 59 | 11 | 61 |

- チャンネル設定が始まり、リモコン番号1～12に受信チャンネルが設定されます。

## 7 ◁ ▷で「設定する」を選び、決定 を押す

| 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|
| 51 | 2 | 49 |
| 4 | 5 | 6 |
| 53 | 47 | 55 |
| 7 | 8 | 9 |
| 7 | 57 | 9 |
| 10 | 11 | 12 |
| 59 | 11 | 61 |

- 設定されたチャンネルが記憶されました。

## 8 メニュー を押し、通常画面に戻す

# テレビのチャンネルを設定する(つづき)

## 個別設定

■お客さまがお住まいの地域で受信できる放送を、リモコンのテレビチャンネルボタン(1〜12)に、お好みの順で設定することができます。

扉を開けたところ

<例>チャンネルボタン⑤(リモコン番号「5」)に「42」チャンネルを設定する

**1** ① 入力切換 でテレビにする
② メニュー を押し、メニュー画面を表示する

**2** △/▽で「本体設定」を選び、決定を押す

**3** △/▽で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

**4** △/▽で「個別」を選び、決定を押す

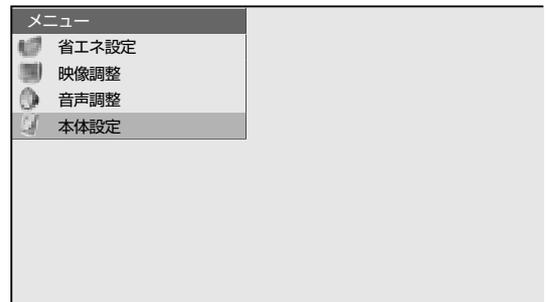
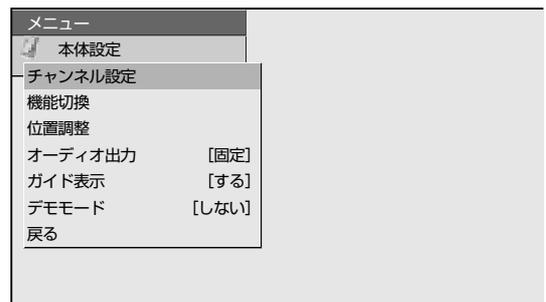
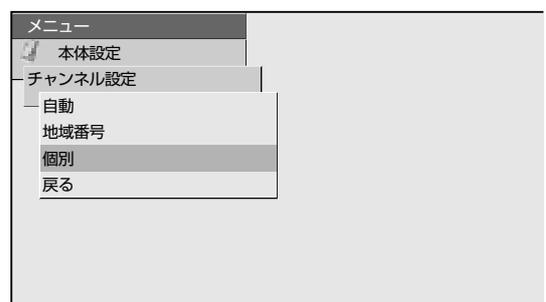
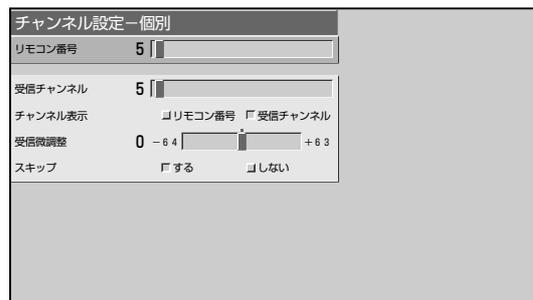
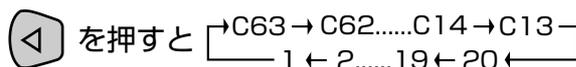
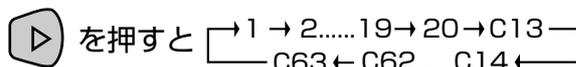
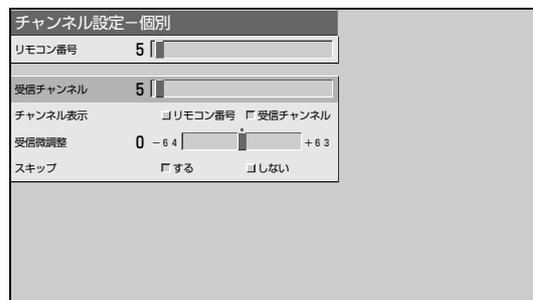
扉を開けたところ

## 5 △ ▽ で「リモコン番号」を選ぶ

## 6 ◁ ▷ でリモコン番号「5」を選ぶ

▷ を押すと 1 → 2……19 → 20 → C13 → C14……C62 → C63 → 1

◁ を押すと C63 → C62……C14 → C13 → 20 → 19……2 → 1 → C63

チャンネル設定ー個別
リモコン番号 5
受信チャンネル 5
チャンネル表示 リモコン番号 受信チャンネル
受信微調整 0 −64 +63
スキップ する しない

## 7 △ ▽ で「受信チャンネル」を選ぶ

- 手順**6**でリモコン番号C13〜C63を選んだ場合は、「受信チャンネル」を選べません。

# テレビのチャンネルを設定する(つづき)

## 8 ◁ ▷で受信チャンネル「42」を選ぶ

▷を押すと 1 → 2……61 → 62 → C13 → C63 ← C62……C14 ←

◁を押すと C63 → C62……C14 → C13 → 1 ← 2……61 ← 62 ←

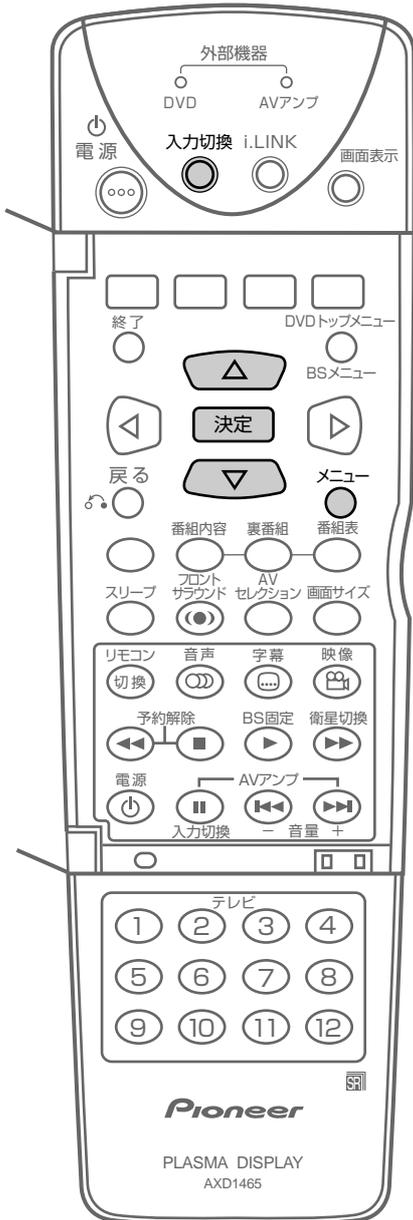
- 左または右カーソルボタンをしばらく押し続けると、受信できるチャンネルを自動的に探します。受信できないチャンネルは飛ばし、受信できるチャンネルが見つかると、そのチャンネルの映像が映り、停止します。
- チャンネルを飛ばしている途中で再度カーソルボタンを押すと、その時点で停止します。

- 続けて他のチャンネルも設定したいときは、戻るボタンで手順**4**に戻り、手順**5**〜**8**の操作をくり返します。

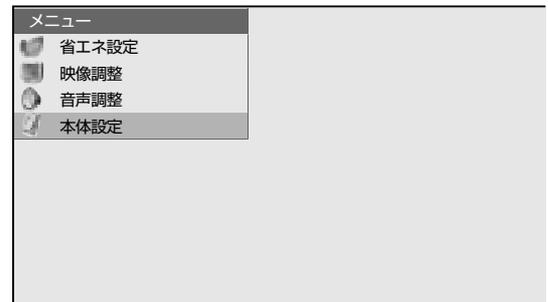
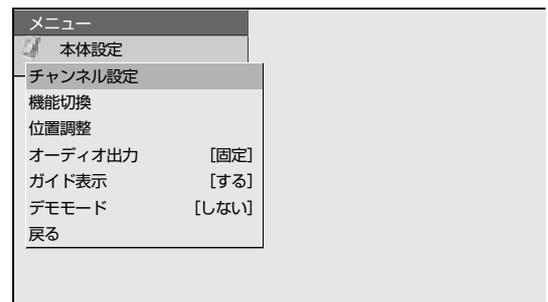
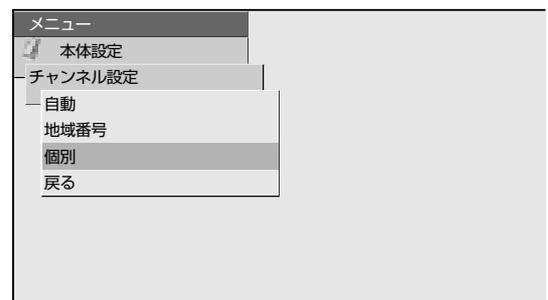
## 9 メニュー◯を押し、通常画面に戻す

## 受信状態を微調整する

■受信状態によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。

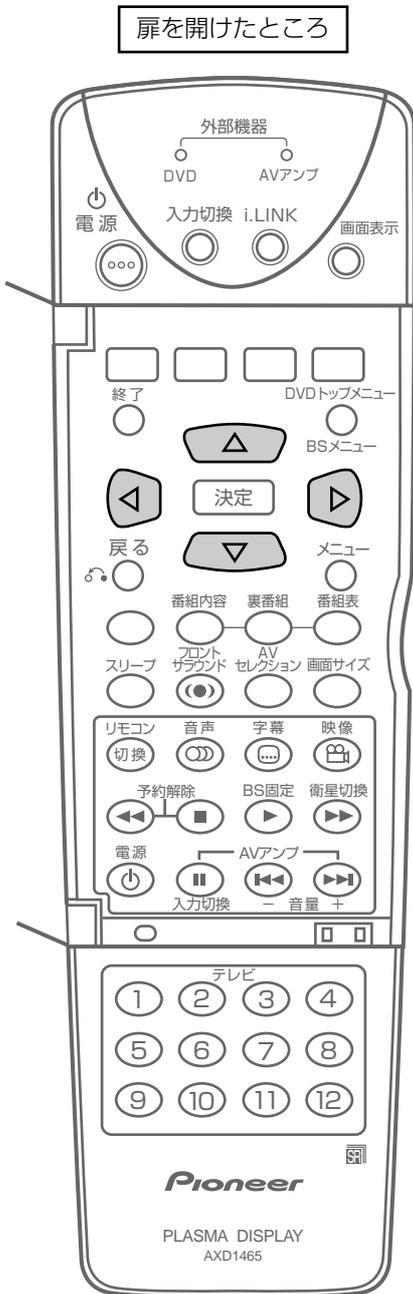
扉を開けたところ

<例>チャンネルボタン⑤（リモコン番号「5」）を微調整する

**1** ① 入力切換 **でテレビにする**
② メニュー **を押し、メニュー画面を表示する**

**2** △/▽ **で「本体設定」を選び、** 決定 **を押す**

**3** △/▽ **で「チャンネル設定」を選び、** 決定 **を押す**

**4** △/▽ **で「個別」を選び、** 決定 **を押す**

# テレビのチャンネルを設定する(つづき)

## 5

△ ▽ で「リモコン番号」を選ぶ

## 6

◁ ▷ でリモコン番号「5」を選ぶ

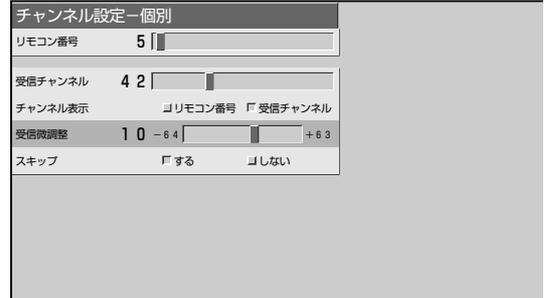
▷ を押すと →1 → 2......19 → 20 → C13 → C63 ← C62......C14 ←

◁ を押すと →C63 → C62......C14 → C13 → 1 ← 2......19 ← 20 ←

## 7

△ ▽ で「受信微調整」を選ぶ

## 8 ◁ ▷で受信状態を微調整する

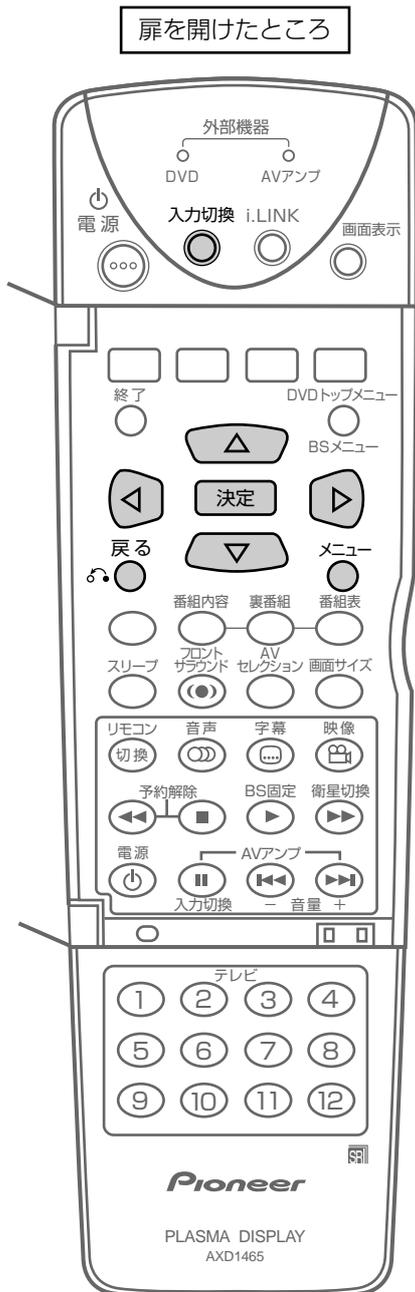
- －64～－1、0、＋1～＋63の範囲で調整できます。
- 背景となっている受信中の映像がもっともよく見える位置に調整してください。

- 続けて他のチャンネルの受信微調整を行うときは、戻るボタンで手順**4**に戻り、手順**5**～**8**の操作をくり返します。

## 9 メニューを押し、通常画面に戻す

# テレビのチャンネルを設定する(つづき)

## 画面のチャンネル表示を切り換える

■画面に表示されるチャンネル番号をリモコン番号にするか、受信チャンネル番号にするかの選択ができます。

扉を開けたところ

<例>チャンネルボタン⑤(リモコン番号「5」)のチャンネル表示「42」をリモコン番号「5」に切り換える

**1**

**① 入力切換 でテレビにする**

**② メニュー を押し、メニュー画面を表示する**

**2**

**△ ▽ で「本体設定」を選び、決定を押す**

**3**

**△ ▽ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す**

**4**

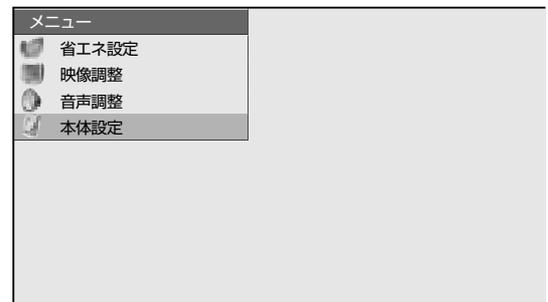
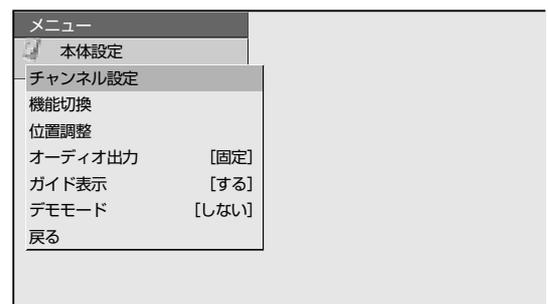
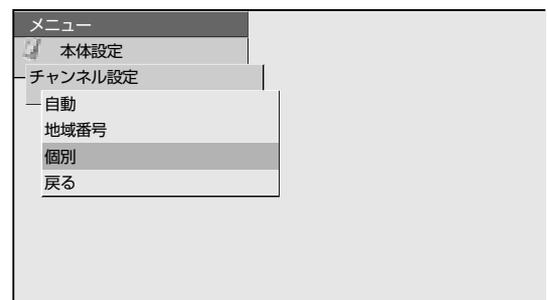
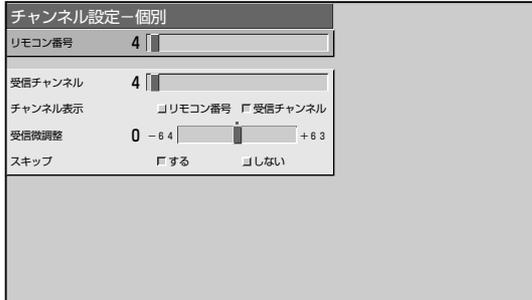
**△ ▽ で「個別」を選び、決定を押す**

## 5 △ ▽ で「リモコン番号」を選ぶ

## 6 ◁ ▷ でリモコン番号「5」を選ぶ

▷ を押すと →1 → 2......19→ 20→C13→C14......C62→C63 →（1に戻る）

◁ を押すと →C63 → C62......C14 →C13→20→19......2→1 →（C63に戻る）

チャンネル設定ー個別
リモコン番号　5
受信チャンネル　42
チャンネル表示　リモコン番号　受信チャンネル
受信微調整　0　－64　＋63
スキップ　する　しない

## 7 △ ▽ で「チャンネル表示」を選ぶ

## 8 ◁ ▷ で「リモコン番号」を選ぶ

- 続けて他のチャンネルボタンのチャンネル表示を変えたいときは、戻るボタンで手順**4**に戻り、手順**5**～**8**の操作をくり返します。

## 9 メニュー を押し、通常画面に戻す

# テレビのチャンネルを設定する(つづき)

## チャンネルスキップを設定する

■あらかじめチャンネルスキップを設定しておくと、選局ボタンで選局するとき、空きチャンネルを飛ばして選局することができます。

扉を開けたところ

<例>チャンネル「2」をスキップ設定する

**1**
① 入力切換 ◯ **でテレビにする**
② メニュー ◯ **を押し、メニュー画面を表示する**

**2**
△ ▽ **で「本体設定」を選び、** 決定 **を押す**

メニュー
- 省エネ設定
- 映像調整
- 音声調整
- 本体設定

**3**
△ ▽ **で「チャンネル設定」を選び、** 決定 **を押す**

| メニュー | |
|---|---|
| 本体設定 | |
| チャンネル設定 | |
| 機能切換 | |
| 位置調整 | |
| オーディオ出力 | [固定] |
| ガイド表示 | [する] |
| デモモード | [しない] |
| 戻る | |

**4**
△ ▽ **で「個別」を選び、** 決定 **を押す**

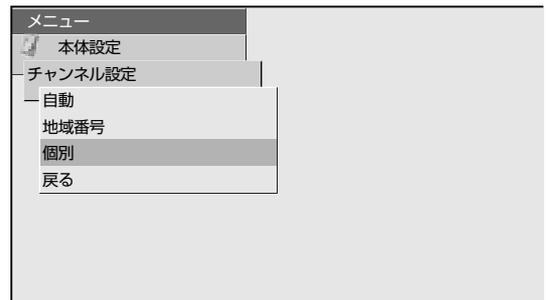
メニュー
本体設定
チャンネル設定
- 自動
- 地域番号
- 個別
- 戻る

## 5 △ ▽ で「リモコン番号」を選ぶ

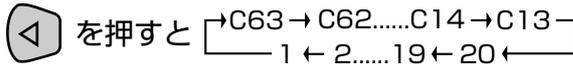
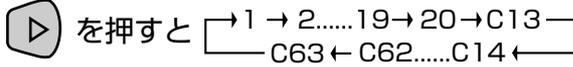
## 6 ◁ ▷ でリモコン番号「2」を選ぶ

▷ を押すと 1 → 2......19 → 20 → C13 → C63 ← C62......C14 ←

◁ を押すと C63 → C62......C14 → C13 → 1 ← 2......19 ← 20 ←

チャンネル設定ー個別
リモコン番号 2
受信チャンネル C38
チャンネル表示 リモコン番号 受信チャンネル
受信微調整 0 −64 +63
スキップ する しない

## 7 △ ▽ で「スキップ」を選ぶ

## 8 ◁ ▷ で「する」を選ぶ

- 続けて他のチャンネルをスキップ設定したいときは、戻るボタンで手順**4**に戻り、手順**5**〜**8**の操作をくり返します。

## 9 メニュー を押し、通常画面に戻す

おしらせ

**CATVチャンネルについて**

- 工場出荷時の状態では、CATVチャンネル(C13〜C63)はスキップ設定されています。
- CATV会社と受信契約し、CATV放送を視聴する場合は、必要なチャンネルのスキップ設定を「しない」にしてください。

# テレビのチャンネルを設定する(つづき)

地域番号早見表に該当する都市にお住まいの場合は、その都市の地域番号を入力してください。
該当する都市にお住まいでない場合は、もっとも近い都市の地域番号を入力してください。

## 地域番号早見表

| 五十音 | 都市名 | 地域番号 |
|---|---|---|
| あ | 会津若松市 | 21 |
| | 青森市 | 10 |
| | 明石市 | 63 |
| | 昭島市 | 30 |
| | 秋田市 | 15 |
| | 阿久根市 | 95 |
| | 上尾市 | 27 |
| | 朝霞市 | 27 |
| | 旭川市 | 02 |
| | 足利市 | 27 |
| | 厚木市 | 33 |
| | 網走市 | 01 |
| | 我孫子市 | 29 |
| | 尼崎市 | 61 |
| | 安城市 | 54 |
| い | 飯田市 | 45 |
| | 池田市 | 61 |
| | 生駒市 | 61 |
| | 石巻市 | 14 |
| | 和泉市 | 61 |
| | 伊勢崎市 | 25 |
| | 伊丹市 | 61 |
| | 市川市 | 29 |
| | 一宮市 | 54 |
| | 市原市 | 29 |
| | 茨木市 | 61 |
| | 今治市 | 81 |
| | 入間市 | 27 |
| | いわき市 | 20 |
| | 岩国市 | 77 |
| | 岩槻市 | 27 |
| う | 宇治市 | 60 |
| | 宇都宮市 | 24 |
| | 宇部市 | 76 |
| | 浦安市 | 29 |
| え | 海老名市 | 33 |
| | 江別市 | 01 |
| お | 青梅市 | 30 |
| | 大分市 | 91 |
| | 大垣市 | 47 |
| | 大阪市 | 61 |
| | 大館市 | 16 |
| | 大津市 | 58 |
| | 大牟田市 | 86 |
| | 岡崎市 | 54 |
| | 岡山市 | 70 |
| | 沖縄市 | 96 |
| | 小樽市 | 07 |
| | 小田原市 | 35 |
| | 帯広市 | 05 |
| | 小山市 | 27 |
| か | 各務原市 | 48 |
| | 加古川市 | 63 |
| | 鹿児島市 | 94 |

| 五十音 | 都市名 | 地域番号 |
|---|---|---|
| か | 橿原市 | 65 |
| | 柏市 | 29 |
| | 春日井市 | 54 |
| | 春日部市 | 27 |
| | 勝田市 | 22 |
| | 門真市 | 61 |
| | 金沢市 | 41 |
| | 鎌倉市 | 33 |
| | 刈谷市 | 54 |
| | 川口市 | 27 |
| | 川越市 | 27 |
| | 川崎市 | 33 |
| | 河内長野市 | 61 |
| | 川西市 | 64 |
| き | 木更津市 | 29 |
| | 岸和田市 | 61 |
| | 北九州市 | 84 |
| | 北見市 | 09 |
| | 岐阜市 | 47 |
| | 京都市1 | 60 |
| | 京都市2 | 98 |
| | 桐生市 | 26 |
| く | 釧路市 | 04 |
| | 熊谷市 | 28 |
| | 熊本市 | 90 |
| | 倉敷市 | 70 |
| | 久留米市 | 85 |
| | 呉市 | 73 |
| こ | 高知市 | 82 |
| | 甲府市 | 43 |
| | 神戸市 | 61 |
| | 郡山市 | 19 |
| | 小金井市 | 30 |
| | 越谷市 | 27 |
| | 小平市 | 30 |
| | 小牧市 | 54 |
| | 小松市 | 41 |
| さ | さいたま市 | 27 |
| | 堺市 | 61 |
| | 佐賀市 | 87 |
| | 酒田市 | 18 |
| | 相模原市 | 33 |
| | 佐倉市 | 29 |
| | 佐世保市 | 89 |
| | 札幌市 | 01 |
| | 座間市 | 33 |
| | 狭山市 | 27 |
| し | 静岡市 | 49 |
| | 清水市 | 49 |
| | 下関市 | 75 |
| | 上越市 | 38 |
| す | 吹田市 | 61 |
| | 鈴鹿市 | 57 |
| せ | 瀬戸市 | 54 |

| 五十音 | 都市名 | 地域番号 |
|---|---|---|
| せ | 仙台市 | 13 |
| そ | 草加市 | 27 |
| た | 大東市 | 61 |
| | 高岡市 | 40 |
| | 高崎市 | 25 |
| | 高槻市 | 61 |
| | 高松市 | 78 |
| | 宝塚市 | 61 |
| | 立川市 | 30 |
| | 多摩市 | 32 |
| ち | 茅ケ崎市 | 34 |
| | 千葉市 | 29 |
| | 調布市 | 30 |
| つ | 津市 | 57 |
| | つくば市 | 29 |
| | 土浦市 | 29 |
| | 鶴岡市 | 18 |
| と | 東京23区 | 30 |
| | 徳島市 | 97 |
| | 徳山市 | 74 |
| | 所沢市 | 27 |
| | 鳥取市 | 67 |
| | 苫小牧市 | 06 |
| | 富山市 | 39 |
| | 豊川市 | 55 |
| | 豊田市 | 56 |
| | 豊中市 | 61 |
| | 豊橋市 | 55 |
| | 富田林市 | 61 |
| な | 長岡市 | 37 |
| | 長崎市 | 88 |
| | 長野市 | 44 |
| | 流山市 | 29 |
| | 名古屋市 | 54 |
| | 那覇市 | 96 |
| | 奈良市 | 65 |
| | 習志野市 | 29 |
| に | 新潟市 | 37 |
| | 新座市 | 27 |
| | 新居浜市 | 80 |
| | 西宮市 | 61 |
| ぬ | 沼津市 | 52 |
| ね | 寝屋川市 | 61 |
| の | 野田市 | 29 |
| | 延岡市 | 93 |
| は | 函館市 | 03 |
| | 秦野市 | 36 |
| | 八王子市 | 31 |
| | 八戸市 | 11 |
| | 羽曳野市 | 61 |
| | 浜田市 | 69 |
| | 浜松市 | 50 |
| | 半田市 | 54 |
| ひ | 東大阪市 | 61 |

| 五十音 | 都市名 | 地域番号 |
|---|---|---|
| ひ | 東久留米市 | 30 |
| | 東村山市 | 30 |
| | 彦根市 | 59 |
| | 日立市 | 23 |
| | 日野市 | 30 |
| | 姫路市 | 62 |
| | 枚方市 | 61 |
| | 平塚市 | 34 |
| | 弘前市 | 10 |
| | 広島市 | 71 |
| ふ | 福井市 | 42 |
| | 福岡市 | 83 |
| | 福島市 | 19 |
| | 福山市 | 72 |
| | 藤枝市 | 53 |
| | 藤沢市 | 33 |
| | 富士市 | 51 |
| | 富士宮市 | 51 |
| | 府中市(東京) | 30 |
| | 船橋市 | 29 |
| へ | 別府市 | 91 |
| ほ | 防府市 | 74 |
| ま | 前橋市 | 25 |
| | 町田市 | 33 |
| | 松江市 | 68 |
| | 松阪市 | 57 |
| | 松戸市 | 29 |
| | 松原市 | 61 |
| | 松本市 | 46 |
| | 松山市 | 79 |
| み | 三郷市 | 27 |
| | 三島市 | 52 |
| | 三鷹市 | 30 |
| | 水戸市 | 22 |
| | 都城市 | 92 |
| | 宮崎市 | 92 |
| む | 武蔵野市 | 30 |
| | 室蘭市 | 08 |
| も | 盛岡市 | 12 |
| | 守口市 | 61 |
| や | 矢板市 | 31 |
| | 焼津市 | 49 |
| | 八尾市 | 61 |
| | 八千代市 | 29 |
| | 八代市 | 90 |
| | 山形市 | 17 |
| | 山口市 | 74 |
| | 大和市 | 33 |
| よ | 横須賀市 | 33 |
| | 横浜市 | 33 |
| | 四日市市 | 57 |
| | 米子市 | 68 |
| わ | 和歌山市1 | 66 |
| | 和歌山市2 | 99 |

おしらせ

- 工場出荷時は、地域番号「00」に設定されています。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表に放送局名が記載されていない部分は、自動的にチャンネルスキップされます(地域番号「00」は除く)。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定をしてください。

# 地域番号一覧表

■地域番号一覧表に記載されている空欄と（　）の付いている放送局は、スキップ「する」に設定されています。

| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | リモコンボタン | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 受信チャンネル / 放送局名 | | | | | | | | | | | |
| 工場出荷設定 | | 00 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 北海道 | 札幌 | 01 | 1 | 2 | 3 | 17 | 5 | 6 | 27 | 8 | 35 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 北海道放送 | | NHK総合 | テレビ北海道 | 札幌テレビ | | 北海道文化放送 | | 北海道テレビ | | | NHK教育 |
| | 旭川 | 02 | 1 | 2 | 33 | 37 | 39 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK教育 | テレビ北海道 | 北海道文化放送 | 北海道テレビ | | 札幌テレビ | | NHK総合 | | 北海道放送 | |
| | 函館 | 03 | 21 | 27 | 35 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | テレビ北海道 | 北海道文化放送 | 北海道テレビ | NHK総合 | | 北海道放送 | | | | NHK教育 | | 札幌テレビ |
| | 釧路 | 04 | 1 | 2 | 39 | 41 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK教育 | 北海道テレビ | 北海道文化放送 | | | 札幌テレビ | | NHK総合 | | 北海道放送 | |
| | 帯広 | 05 | 32 | 2 | 34 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 北海道文化放送 | | 北海道テレビ | NHK総合 | | 北海道放送 | | | | 札幌テレビ | | NHK教育 |
| | 苫小牧 | 06 | 47 | 49 | 51 | 53 | 55 | 57 | 61 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | テレビ北海道 | NHK教育 | NHK総合 | 北海道文化放送 | 北海道放送 | 札幌テレビ | 北海道テレビ | | | | | |
| | 小樽 | 07 | 24 | 2 | 26 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | テレビ北海道 | NHK教育 | 北海道文化放送 | 北海道テレビ | | | 札幌テレビ | | 北海道放送 | | NHK総合 | |
| | 室蘭 | 08 | 1 | 2 | 29 | 37 | 39 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK教育 | テレビ北海道 | 北海道文化放送 | 北海道テレビ | | 札幌テレビ | | NHK総合 | | 北海道放送 | |
| | 北見 | 09 | 1 | 2 | 3 | 4 | 59 | 61 | 7 | 8 | 9 | 10 | 53 | 12 |
| | | | | NHK教育 | | | 北海道文化放送 | 北海道テレビ | 札幌テレビ | | NHK総合 | | 北海道放送 | |
| 青森 | 青森 | 10 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 38 | 8 | 34 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 青森放送テレビ | | NHK総合 | | NHK教育 | | 青森テレビ | | 青森朝日放送 | | | |
| | 八戸 | 11 | 1 | 2 | 33 | 4 | 31 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | | 青森テレビ | | 青森朝日放送 | | NHK教育 | | NHK総合 | | 青森放送テレビ | |
| 岩手 | 盛岡 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 31 | 35 | 11 | 33 |
| | | | | | | NHK総合 | | IBCテレビ | | NHK教育 | 岩手朝日テレビ | テレビ岩手 | | めんこいテレビ |
| 宮城 | 仙台 | 13 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 32 | 8 | 34 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 東北放送 | | NHK総合 | | NHK教育 | | 東日本放送 | | 宮城テレビ | | | 仙台放送 |
| | 石巻 | 14 | 59 | 2 | 51 | 4 | 49 | 6 | 61 | 8 | 55 | 10 | 11 | 57 |
| | | | 東北放送 | | NHK総合 | | NHK教育 | | 東日本放送 | | 宮城テレビ | | | 仙台放送 |
| 秋田 | 秋田 | 15 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 31 | 11 | 37 |
| | | | | NHK教育 | | | | | | | NHK総合 | 秋田朝日放送 | 秋田放送テレビ | 秋田テレビ |
| | 大館 | 16 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 59 | 11 | 57 |
| | | | | (NHK教育) | | (NHK総合) | | (秋田放送テレビ) | | NHK教育 | NHK総合 | 秋田朝日放送 | 秋田放送テレビ | 秋田テレビ |
| 山形 | 山形 | 17 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 36 | 30 | 8 | 9 | 10 | 11 | 38 |
| | | | | | | NHK教育 | | テレビユー山形 | さくらんぼテレビ | NHK総合 | | 山形放送 | | 山形テレビ |
| | 鶴岡 | 18 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 39 | 9 | 22 | 11 | 24 |
| | | | 山形放送 | | NHK総合 | | | NHK教育 | | 山形テレビ | | テレビユー山形 | | さくらんぼテレビ |
| 福島 | 福島 | 19 | 1 | 2 | 31 | 4 | 33 | 6 | 35 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK教育 | テレビユー福島 | | 福島中央テレビ | | 福島放送 | | NHK総合 | | 福島テレビ | |
| | いわき | 20 | 1 | 62 | 3 | 4 | 5 | 58 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 60 |
| | | | | テレビユー福島 | | NHK総合 | | 福島中央テレビ | | 福島テレビ | | NHK教育 | | 福島放送 |
| | 会津若松 | 21 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 47 | 9 | 37 | 11 | 41 |
| | | | NHK総合 | | NHK教育 | | | 福島テレビ | | テレビユー福島 | | 福島中央テレビ | | 福島放送 |
| 茨城 | 水戸 | 22 | 44 | 2 | 46 | 42 | 5 | 40 | 7 | 38 | 9 | 36 | 11 | 32 |
| | | | NHK総合 | | NHK教育 | 日本テレビ | | TBSテレビ | | フジテレビ | | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| | 日立 | 23 | 52 | 2 | 50 | 54 | 5 | 56 | 7 | 58 | 9 | 60 | 11 | 62 |
| | | | NHK総合 | | NHK教育 | 日本テレビ | | TBSテレビ | | フジテレビ | | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| 栃木 | 宇都宮 | 24 | 29 | 2 | 27 | 25 | 5 | 23 | 7 | 21 | 31 | 19 | 11 | 17 |
| | | | NHK総合 | | NHK教育 | 日本テレビ | | TBSテレビ | | フジテレビ | とちぎテレビ | テレビ朝日 | | テレビ東京 |

# テレビのチャンネルを設定する(つづき)

| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | リモコンボタン | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 受信チャンネル 放送局名 | | | | | | | | | | | |
| 群馬 | 前橋 | 25 | 52 NHK総合 | 2 | 50 NHK教育 | 54 日本テレビ | 40 放送大学 | 56 TBSテレビ | 7 | 58 フジテレビ | 9 | 60 テレビ朝日 | 48 群馬テレビ | 62 テレビ東京 |
| | 桐生 | 26 | 43 NHK総合 | 2 | 45 NHK教育 | 39 日本テレビ | 40 放送大学 | 37 TBSテレビ | 7 | 35 フジテレビ | 9 | 33 テレビ朝日 | 41 群馬テレビ | 31 テレビ東京 |
| 埼玉 | さいたま | 27 | 1 NHK総合 | 2 | 3 NHK教育 | 4 日本テレビ | 16 放送大学 | 6 TBSテレビ | 7 | 8 フジテレビ | 38 テレビ埼玉 | 10 テレビ朝日 | 11 | 12 テレビ東京 |
| | 熊谷 | 28 | 33 NHK総合 | 2 | 35 NHK教育 | 25 日本テレビ | 5 | 23 TBSテレビ | 16 放送大学 | 21 フジテレビ | 28 テレビ埼玉 | 19 テレビ朝日 | 11 | 17 テレビ東京 |
| 千葉 | 千葉 | 29 | 1 NHK総合 | 2 | 3 NHK教育 | 4 日本テレビ | 16 放送大学 | 6 TBSテレビ | 7 | 8 フジテレビ | 42 テレビ神奈川 | 10 テレビ朝日 | 46 千葉テレビ | 12 テレビ東京 |
| 東京 | 23区 | 30 | 1 NHK総合 | 2 | 3 NHK教育 | 4 日本テレビ | 14 東京メトロポリタン | 6 TBSテレビ | 38 テレビ埼玉 | 8 フジテレビ | 42 テレビ神奈川 | 10 テレビ朝日 | 46 千葉テレビ | 12 テレビ東京 |
| | 八王子 | 31 | 51 NHK総合 | 2 | 49 NHK教育 | 53 日本テレビ | 47 東京メトロポリタン | 55 TBSテレビ | 7 | 57 フジテレビ | 9 | 59 テレビ朝日 | 11 | 61 テレビ東京 |
| | 多摩 | 32 | 30 NHK総合 | 2 | 32 NHK教育 | 26 日本テレビ | 28 東京メトロポリタン | 24 TBSテレビ | 7 | 22 フジテレビ | 9 | 20 テレビ朝日 | 11 | 18 テレビ東京 |
| 神奈川 | 横浜 | 33 | 1 NHK総合 | 2 | 3 NHK教育 | 4 日本テレビ | 16 放送大学 | 6 TBSテレビ | 7 | 8 フジテレビ | 42 テレビ神奈川 | 10 テレビ朝日 | 11 | 12 テレビ東京 |
| | 茅ヶ崎 | 34 | 33 NHK総合 | 2 | 29 NHK教育 | 35 日本テレビ | 5 | 37 TBSテレビ | 7 | 39 フジテレビ | 31 テレビ神奈川 | 41 テレビ朝日 | 11 | 43 テレビ東京 |
| | 小田原 | 35 | 52 NHK総合 | 2 | 50 NHK教育 | 54 日本テレビ | 5 | 56 TBSテレビ | 7 | 58 フジテレビ | 46 テレビ神奈川 | 60 テレビ朝日 | 11 | 62 テレビ東京 |
| | 秦野 | 36 | 47 NHK総合 | 2 | 49 NHK教育 | 51 日本テレビ | 5 | 53 TBSテレビ | 7 | 55 フジテレビ | 61 テレビ神奈川 | 57 テレビ朝日 | 11 | 59 テレビ東京 |
| 新潟 | 新潟 | 37 | 21 新潟テレビ21 | 2 | 29 テレビ新潟 | 4 | 5 新潟放送 | 6 | 7 | 8 NHK総合 | 9 | 35 新潟総合テレビ | 11 | 12 NHK教育 |
| | 上越 | 38 | 1 NHK教育 | 2 | 3 NHK総合 | 4 | 5 | 37 新潟テレビ21 | 7 | 27 テレビ新潟 | 9 | 10 新潟放送 | 11 | 33 新潟総合テレビ |
| 富山 | 富山 | 39 | 1 北日本テレビ | 2 | 3 NHK総合 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 NHK教育 | 32 チューリップ | 34 富山テレビ |
| | 高岡 | 40 | 50 北日本テレビ | 2 | 48 NHK総合 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 46 NHK教育 | 42 チューリップ | 44 富山テレビ |
| 石川 | 金沢 | 41 | 1 | 2 | 3 | 4 NHK総合 | 5 | 6 MROテレビ | 25 北陸朝日放送 | 8 NHK教育 | 9 | 33 テレビ金沢 | 11 | 37 石川テレビ |
| 福井 | 福井 | 42 | 39 福井テレビ | 2 | 3 NHK教育 | 4 | 5 | 6 MROテレビ | 7 | 8 | 9 NHK総合 | 10 | 11 FBCテレビ | 12 |
| 山梨 | 甲府 | 43 | 1 NHK総合 | 2 | 3 NHK教育 | 4 | 5 山梨放送 | 6 | 37 テレビ山梨 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 長野 | 長野 | 44 | 1 | 44 NHK総合 | 50 長野朝日放送 | 4 | 40 テレビ信州 | 6 | 42 長野放送 | 8 | 46 NHK教育 | 10 | 48 信越放送 | 12 |
| | 飯田 | 45 | 44 長野朝日放送 | 2 | 3 NHK教育 | 4 NHK総合 | 5 | 6 信越放送 | 7 | 42 テレビ信州 | 9 | 40 長野放送 | 11 | 12 |
| | 松本 | 46 | 1 | 44 NHK総合 | 50 長野朝日放送 | 4 | 48 テレビ信州 | 6 | 42 長野放送 | 8 | 46 NHK教育 | 10 | 40 信越放送 | 12 |
| 岐阜 | 岐阜 | 47 | 1 東海テレビ | 2 | 3 NHK総合 | 4 | 5 CBCテレビ | 6 | 35 中京テレビ | 8 | 9 NHK教育 | 10 | 11 名古屋テレビ | 37 岐阜放送 |
| | 各務原 | 48 | 1 東海テレビ | 2 | 3 NHK総合 | 4 | 5 CBCテレビ | 6 | 35 中京テレビ | 8 | 9 NHK教育 | 10 | 11 名古屋テレビ | 28 岐阜放送 |
| 静岡 | 静岡 | 49 | 1 | 2 NHK教育 | 31 静岡第1テレビ | 4 | 33 静岡朝日テレビ | 6 | 35 テレビ静岡 | 8 | 9 NHK総合 | 10 | 11 静岡放送 | 12 |
| | 浜松 | 50 | 1 | 30 静岡第1テレビ | 3 | 4 NHK総合 | 5 | 6 静岡放送 | 7 | 8 NHK教育 | 9 | 28 静岡朝日テレビ | 11 | 34 テレビ静岡 |
| | 富士 | 51 | 1 | 54 NHK教育 | 27 静岡第1テレビ | 4 | 29 静岡朝日テレビ | 6 | 39 テレビ静岡 | 8 | 52 NHK総合 | 10 | 41 静岡放送 | 12 |

| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | リモコンボタン | | 受信チャンネル / 放送局名 | | | | | | | | | | | |
| 静岡 | 沼津 | 52 | 1 | 51 | 61 | 4 | 57 | 6 | 59 | 8 | 53 | 10 | 55 | 12 |
| | | | | NHK教育 | 静岡第1テレビ | | 静岡朝日テレビ | | テレビ静岡 | | NHK総合 | | 静岡放送 | |
| | 藤枝 | 53 | 1 | 44 | 24 | 4 | 26 | 6 | 38 | 8 | 42 | 10 | 40 | 12 |
| | | | | NHK教育 | 静岡第1テレビ | | 静岡朝日テレビ | | テレビ静岡 | | NHK総合 | | 静岡放送 | |
| 愛知 | 名古屋 | 54 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 35 | 8 | 9 | 10 | 11 | 25 |
| | | | 東海テレビ | | NHK総合 | | CBCテレビ | | 中京テレビ | | NHK教育 | | 名古屋テレビ | テレビ愛知 |
| | 豊橋 | 55 | 56 | 2 | 54 | 4 | 62 | 6 | 58 | 8 | 50 | 10 | 60 | 52 |
| | | | 東海テレビ | | NHK総合 | | CBCテレビ | | 中京テレビ | | NHK教育 | | 名古屋テレビ | テレビ愛知 |
| | 豊田 | 56 | 57 | 2 | 53 | 4 | 55 | 6 | 59 | 8 | 51 | 10 | 61 | 49 |
| | | | 東海テレビ | | NHK総合 | | CBCテレビ | | 中京テレビ | | NHK教育 | | 名古屋テレビ | テレビ愛知 |
| 三重 | 津 | 57 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 35 | 8 | 9 | 33 | 11 | 25 |
| | | | 東海テレビ | | NHK総合 | | CBCテレビ | | 中京テレビ | | NHK教育 | 三重テレビ | 名古屋テレビ | テレビ愛知 |
| 滋賀 | 大津 | 58 | 1 | 28 | 3 | 36 | 5 | 38 | 7 | 40 | 9 | 42 | 30 | 46 |
| | | | | NHK総合 | | 毎日テレビ | | ABCテレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | びわ湖放送 | NHK教育 |
| | 彦根 | 59 | 1 | 52 | 3 | 54 | 56 | 58 | 7 | 60 | 9 | 62 | 11 | 50 |
| | | | | NHK総合 | | 毎日テレビ | びわ湖放送 | ABCテレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | | NHK教育 |
| 京都 | 京都1 | 60 | 1 | 2 | 36 | 4 | 19 | 6 | 34 | 8 | 26 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABCテレビ | 京都テレビ | 関西テレビ | 奈良テレビ | 読売テレビ | | NHK教育 |
| | 京都2 | 98 | 32 | 2 | 34 | 4 | 21 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK京都 | NHK総合 | 京都テレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABCテレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | | NHK教育 |
| 大阪 | 大阪 | 61 | 1 | 2 | 36 | 4 | 19 | 6 | 34 | 8 | 9 | 10 | 30 | 12 |
| | | | | NHK総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABCテレビ | 京都テレビ | 関西テレビ | | 読売テレビ | テレビ和歌山 | NHK教育 |
| 兵庫 | 神戸 | 61 | 1 | 2 | 36 | 4 | 19 | 6 | 34 | 8 | 9 | 10 | 30 | 12 |
| | | | | NHK総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABCテレビ | 京都テレビ | 関西テレビ | | 読売テレビ | テレビ和歌山 | NHK教育 |
| | 姫路 | 62 | 1 | 50 | 56 | 54 | 5 | 58 | 7 | 60 | 9 | 62 | 11 | 52 |
| | | | | NHK総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | | ABCテレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | | NHK教育 |
| | 明石 | 63 | 1 | 51 | 55 | 53 | 19 | 57 | 7 | 59 | 9 | 61 | 30 | 49 |
| | | | | NHK総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABCテレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | テレビ和歌山 | NHK教育 |
| | 川西 | 64 | 1 | 29 | 33 | 35 | 5 | 37 | 7 | 39 | 9 | 41 | 11 | 31 |
| | | | | NHK総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | | ABCテレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | | NHK教育 |
| 奈良 | 奈良 | 65 | 1 | 2 | 36 | 4 | 19 | 6 | 62 | 8 | 55 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABCテレビ | 奈良テレビ | 関西テレビ | （奈良テレビ） | 読売テレビ | | NHK教育 |
| 和歌山 | 和歌山1 | 66 | 1 | 32 | 3 | 42 | 5 | 44 | 7 | 46 | 9 | 48 | 30 | 26 |
| | | | | NHK総合 | | 毎日テレビ | | ABCテレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | テレビ和歌山 | NHK教育 |
| | 和歌山2 | 99 | 1 | 50 | 3 | 54 | 5 | 58 | 7 | 60 | 9 | 62 | 56 | 52 |
| | | | | NHK総合 | | 毎日テレビ | | ABCテレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | テレビ和歌山 | NHK教育 |
| 鳥取 | 鳥取 | 67 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 24 | 9 | 22 | 11 | 12 |
| | | | 日本海テレビ | | NHK総合 | NHK教育 | | | | 山陰中央テレビ | | BSSテレビ | | |
| 島根 | 松江 | 68 | 30 | 2 | 34 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 日本海テレビ | | 山陰中央テレビ | | | NHK総合 | | | | BSSテレビ | | NHK教育 |
| | 浜田 | 69 | 1 | 2 | 54 | 4 | 5 | 6 | 7 | 58 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK総合 | 日本海テレビ | | BSSテレビ | | | 山陰中央テレビ | NHK教育 | | | |
| 岡山 | 岡山 | 70 | 23 | 2 | 3 | 4 | 5 | 25 | 35 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | テレビせとうち | | NHK教育 | | NHK総合 | 瀬戸内海テレビ | OHKテレビ | | 西日本放送 | | 山陽放送 | |
| 広島 | 広島 | 71 | 31 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 35 | 11 | 12 |
| | | | テレビ新広島 | | NHK総合 | RCCテレビ | | | NHK教育 | | | 広島ホームテレビ | | 広島テレビ |
| | 福山 | 72 | 1 | 2 | 24 | 4 | 26 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK総合 | | 広島ホームテレビ | | テレビ新広島 | | NHK教育 | | | RCCテレビ | | 広島テレビ |
| | 呉 | 73 | 1 | 2 | 24 | 4 | 5 | 6 | 26 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK教育 | | 広島ホームテレビ | | 広島テレビ | | テレビ新広島 | | RCCテレビ | | NHK総合 | |
| 山口 | 山口 | 74 | 1 | 2 | 3 | 4 | 52 | 6 | 38 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK教育 | | | | 山口朝日放送 | | テレビ山口 | | NHK総合 | | 山口テレビ | |
| | 下関 | 75 | 41 | 2 | 23 | 4 | 21 | 6 | 33 | 8 | 39 | 10 | 35 | 12 |
| | | | NHK教育 | 九州朝日放送 | TXN九州 | 山口テレビ | 山口朝日放送 | （NHK総合） | テレビ山口 | RKB毎日放送 | NHK総合 | テレビ西日本 | 福岡放送 | （NHK総合） |

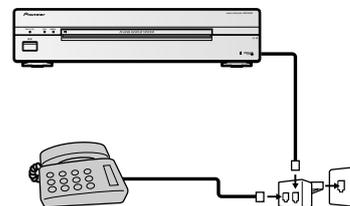
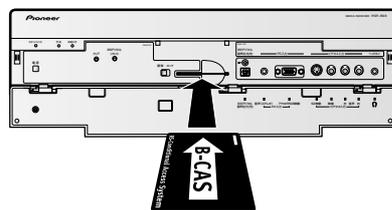
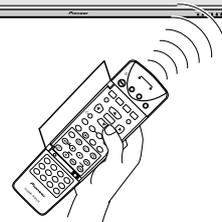
# テレビのチャンネルを設定する(つづき)

| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | リモコンボタン 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受信チャンネル / 放送局名 | | | | | | | | | | | |
| 山口 | 宇部 | 76 | 14 | 2 | 3 | 4 | 31 | 6 | 20 | 8 | 16 | 10 | 18 | 12 |
| | | | NHK教育 | 九州朝日放送 | | | 山口朝日放送 | (NHK総合) | テレビ山口 | RKB毎日放送 | NHK総合 | テレビ西日本 | 山口テレビ | |
| | 岩国 | 77 | 1 | 2 | 3 | 4 | 22 | 6 | 28 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK教育 | | | RCCテレビ | テレビ山口 | | 山口朝日放送 | | NHK総合 | 南海テレビ | 山口テレビ | 広島テレビ |
| 徳島 | 徳島 | 97 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 四国テレビ | | NHK総合 | 毎日テレビ | | ABCテレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | | NHK教育 |
| 香川 | 高松 | 78 | 33 | 2 | 39 | 4 | 37 | 6 | 31 | 8 | 41 | 10 | 29 | 19 |
| | | | 瀬戸内海テレビ | | NHK教育 | | NHK総合 | | OHKテレビ | | 西日本放送 | | 山陽放送 | テレビせとうち |
| 愛媛 | 松山 | 79 | 1 | 2 | 3 | 29 | 25 | 6 | 7 | 37 | 9 | 10 | 11 | 35 |
| | | | | NHK教育 | | あいテレビ | 愛媛朝日テレビ | NHK総合 | | テレビ愛媛 | | 南海テレビ | | 広島ホームテレビ |
| | 新居浜 | 80 | 1 | 2 | 3 | 4 | 14 | 6 | 7 | 36 | 9 | 10 | 27 | 12 |
| | | | | NHK総合 | | NHK教育 | 愛媛朝日テレビ | 南海テレビ | | テレビ愛媛 | | | あいテレビ | |
| | 今治 | 81 | 1 | 30 | 3 | 27 | 14 | 32 | 7 | 36 | 9 | 34 | 11 | 38 |
| | | | | NHK教育 | | あいテレビ | 愛媛朝日テレビ | NHK総合 | | テレビ愛媛 | | 南海テレビ | | 広島ホームテレビ |
| 高知 | 高知 | 82 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 38 | 11 | 40 |
| | | | | | | NHK総合 | | NHK教育 | | 高知放送 | | テレビ高知 | | 高知さんさんテレビ |
| 福岡 | 福岡 | 83 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 19 | 37 |
| | | | 九州朝日放送 | | NHK総合 | RKB毎日放送 | | NHK教育 | | | テレビ西日本 | | TXN九州 | 福岡放送 |
| | 北九州 | 84 | 1 | 2 | 23 | 35 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | 九州朝日放送 | TXN九州 | 福岡放送 | | NHK総合 | | RKB毎日放送 | | テレビ西日本 | | NHK教育 |
| | 久留米 | 85 | 57 | 2 | 46 | 48 | 5 | 54 | 7 | 8 | 60 | 10 | 14 | 52 |
| | | | 九州朝日放送 | | NHK総合 | RKB毎日放送 | | NHK教育 | | | テレビ西日本 | | TXN九州 | 福岡放送 |
| | 大牟田 | 86 | 58 | 19 | 53 | 61 | 5 | 50 | 7 | 8 | 55 | 10 | 43 | 12 |
| | | | 九州朝日放送 | TXN九州 | NHK総合 | RKB毎日放送 | | NHK教育 | | | テレビ西日本 | | 福岡放送 | |
| 佐賀 | 佐賀 | 87 | 19 | 36 | 40 | 38 | 48 | 52 | 57 | 60 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | TXN九州 | サガテレビ | NHK教育 | NHK総合 | RKB毎日放送 | 福岡放送 | 九州朝日放送 | テレビ西日本 | (NHK総合) | | 熊本放送 | |
| 長崎 | 長崎 | 88 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 37 | 8 | 27 | 10 | 25 | 12 |
| | | | NHK教育 | | NHK総合 | | 長崎放送 | | テレビ長崎 | | 長崎文化放送 | | 長崎国際テレビ | |
| | 佐世保 | 89 | 1 | 2 | 3 | 17 | 5 | 31 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 35 |
| | | | | NHK教育 | | 長崎国際テレビ | | 長崎文化放送 | | NHK総合 | | 長崎放送 | | テレビ長崎 |
| 熊本 | 熊本 | 90 | 1 | 2 | 16 | 4 | 22 | 6 | 34 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK教育 | 熊本朝日放送 | | 熊本県民テレビ | | テレビ熊本 | | NHK総合 | | 熊本放送 | |
| 大分 | 大分 | 91 | 1 | 2 | 3 | 34 | 5 | 6 | 36 | 32 | 24 | 10 | 11 | 12 |
| | | | (NHK教育) | | NHK総合 | あいテレビ | 大分テレビ | (NHK総合) | テレビ大分 | テレビ愛媛 | 大分朝日放送 | 南海テレビ | | NHK教育 |
| 宮崎 | 宮崎 | 92 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 35 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | | | | | テレビ宮崎 | | NHK総合 | | 宮崎放送 | | NHK教育 |
| | 延岡 | 93 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 39 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK教育 | | NHK総合 | | 宮崎放送 | | テレビ宮崎 | | | | |
| 鹿児島 | 鹿児島 | 94 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 32 | 8 | 38 | 10 | 30 | 12 |
| | | | 南日本放送 | | NHK総合 | | NHK教育 | | 鹿児島放送 | | 鹿児島テレビ | | 鹿児島読売テレビ | |
| | 阿久根 | 95 | 1 | 30 | 3 | 23 | 5 | 35 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | 鹿児島読売テレビ | | 鹿児島放送 | | 鹿児島テレビ | | NHK総合 | | 南日本放送 | | NHK教育 |
| 沖縄 | 那覇 | 96 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 28 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK総合 | | | | | | 沖縄テレビ | 琉球朝日放送 | 琉球放送テレビ | | NHK教育 |

おしらせ

- 地域番号別に設定された受信チャンネルと放送局名は、当社の調査によるものです(2001年8月現在)。

# BSデジタル放送を視聴するための準備

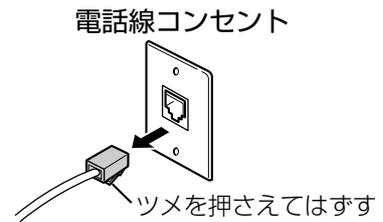
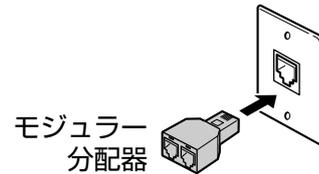
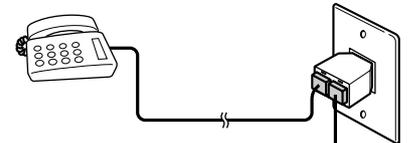
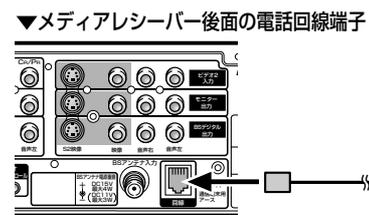
設置と初期設定の大まかな手順はつぎのとおりです。

以上で設置と準備は終わりです。

# BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

## 電話回線に接続する（54ページも併せてご覧ください。）

■本機のメディアレシーバーは、視聴記録データの自動送信など放送局との通信のため、モデムを内蔵しています。ご使用の前に必ず電話回線に接続してください。

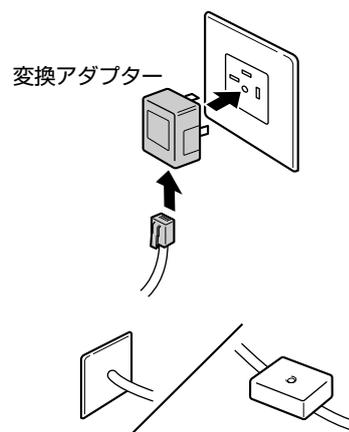
**1** 本機と電話機の電源を切る

**2** 電話機の接続線（モジュラー線）を電話線コンセントからはずす

**3** 付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込む

**4** 電話機の接続線（モジュラー線）をモジュラー分配器の一方に差し込む

**5** 付属の電話線でモジュラー分配器のもう一方とメディアレシーバー後面の電話回線端子を接続する

### 接続上のご注意

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

つぎの電話回線では注意が必要です。

**■電話回線がモジュラージャックでない場合の接続**

- **3ピンプラグの場合**
  市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
- **直結配線方式の場合**
  簡単な工事が必要です。
  詳細はお近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

**■構内電話(ビジネスホン／ホームテレホン)では**

そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
詳細は電話設置会社にご相談ください。

**■キャッチホンでは**

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
詳細はNTT営業窓口へお問い合わせください。

**■視聴記録データの自動送信中は電話機を使用しないでください。**

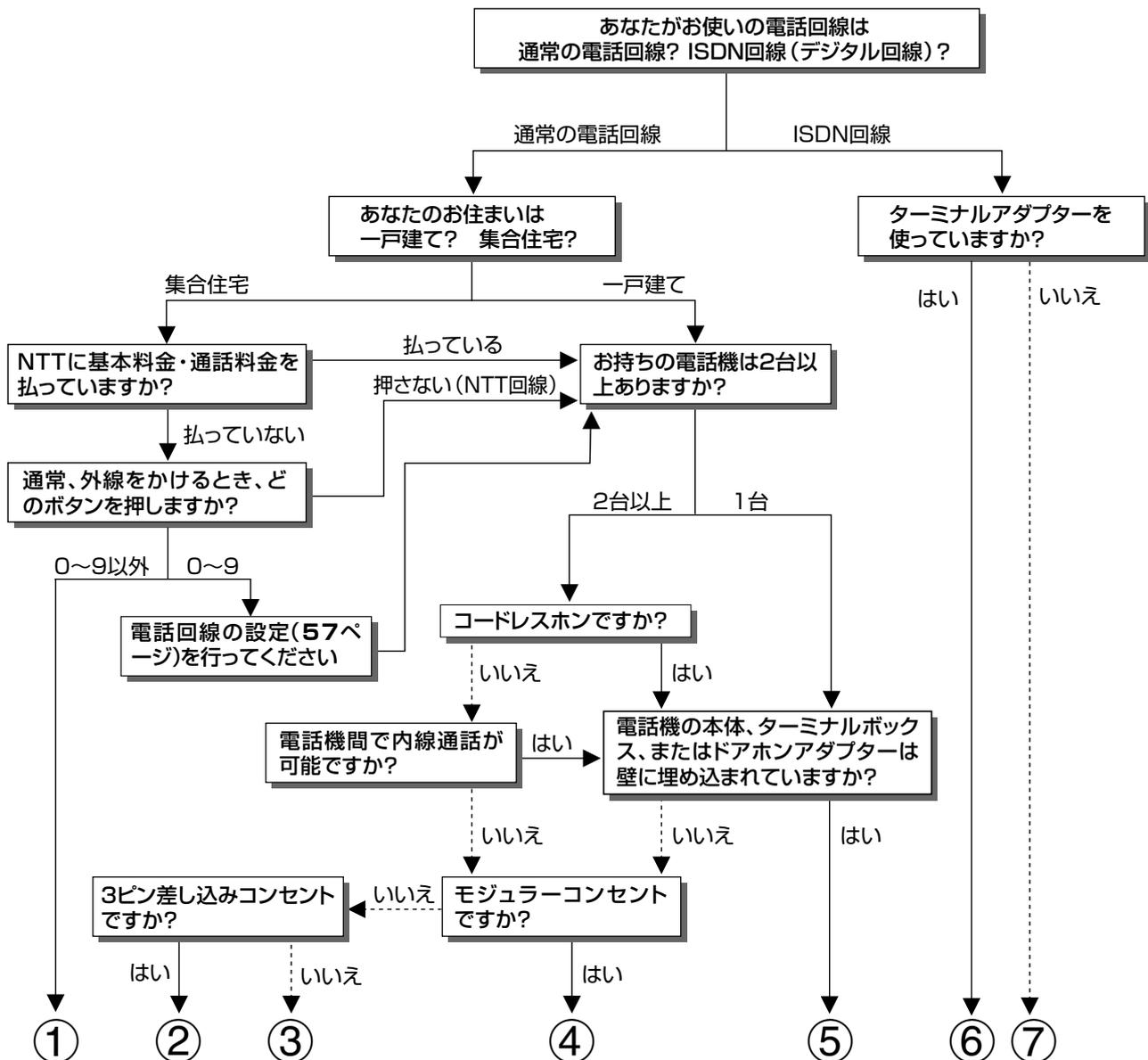
視聴記録データの自動送信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音(ピーヒョロヒョロ....)が聞こえます。その間は電話をしないでください。

**■直接デジタル回線に接続することはできません。**

会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線(アナログ)であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター(TA)等の端末器を介して接続してください。

**●本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが、異常ではありません。**

# BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

下のチャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
また、詳細はNTTへお問い合わせください。

①マンション交換機(PBX)を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につ
ないでください。
②市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。(**52**ページ参照)
⑤専門業者による分岐工事が必要です。
⑥本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ターミナルアダプター(市販品)を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでくださ
い。詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください

BSデジタル放送では、ICカード(B-CASカード)を利用した限定受信システム(＝CAS)(**56**ページ)を採用しています。
付属のICカード番号登録用はがきを送り、ICカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。また、WOWOWなどの有料サービスを受けるには、個別の受信契約が必要となります。
ICカード(B-CASカード)は、必ず登録してください。(登録は無料です。)

# ICカード(B-CASカード)を入れる

## IC カードの入れかた

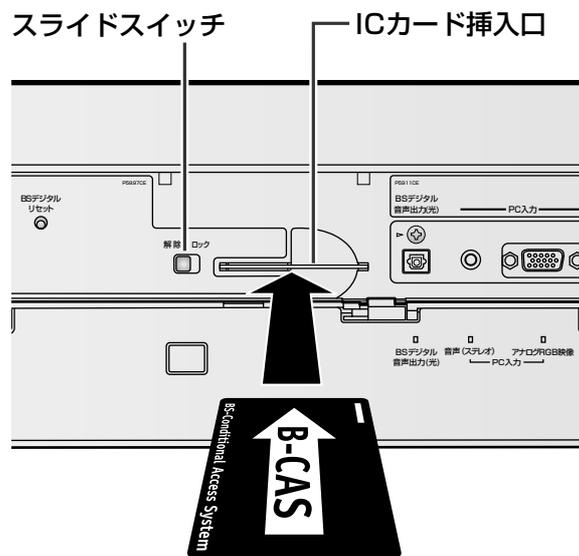
本機に付属のB-CASカードは、本機を電源コンセントに接続しない状態で、下記の手順にしたがって挿入してください。

① ICカードを表面の矢印の方向に差し込む。(奥まで確実に挿入してください。)
② スライドスイッチを右にスライドさせ、「ロック」位置に合わせる。

解除　ロック

カード挿入後、必ずロックしてください。
ロックしないとICカードは働きません。

③ 前面扉を閉める。

▼メディアレシーバー前面の扉を開けたところ

**ICカードについて**

- ICカードには視聴情報などが記憶されますので、メディアレシーバーに入れたままご使用ください。
- ICカードを入れていないと有料番組がご覧になれません。
- ICカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのICカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等によりICカードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。(2001年8月現在)
  詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
  (カスタマーセンターの連絡先は、ICカード[B-CASカード]に記載されています。)

ご注意

**ICカード(B-CASカード)取扱い上のご注意**

- ICカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- ICカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- ICカードの金属部(集積回路)には手を触れないでください。
- ICカードを分解、加工しないでください。
- ICカードは上記の手順どおり、メディアレシーバー前面扉内のICカード挿入口に正しく差し込んでください。
- ICカード挿入口には、本機に付属しているICカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、ICカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、ICカードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機を電源コンセントに接続しない状態で、スライドスイッチを左にスライドさせてロックを解除した後、ゆっくりと抜いてください。
  ICカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にICカード(B-CASカード)に関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

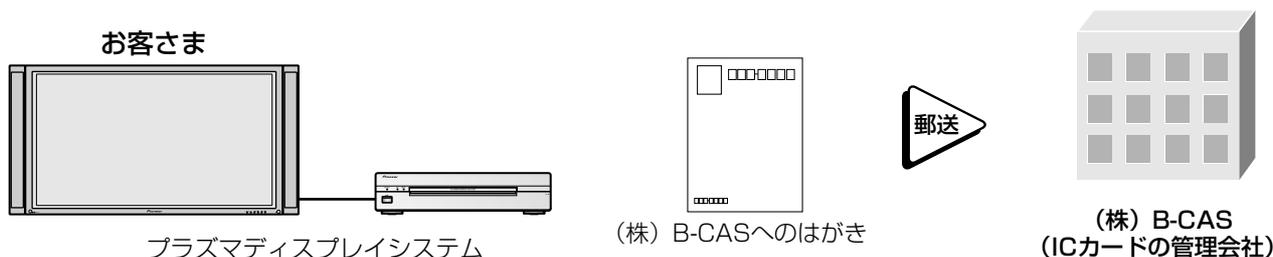
## CAS(限定受信システム)について

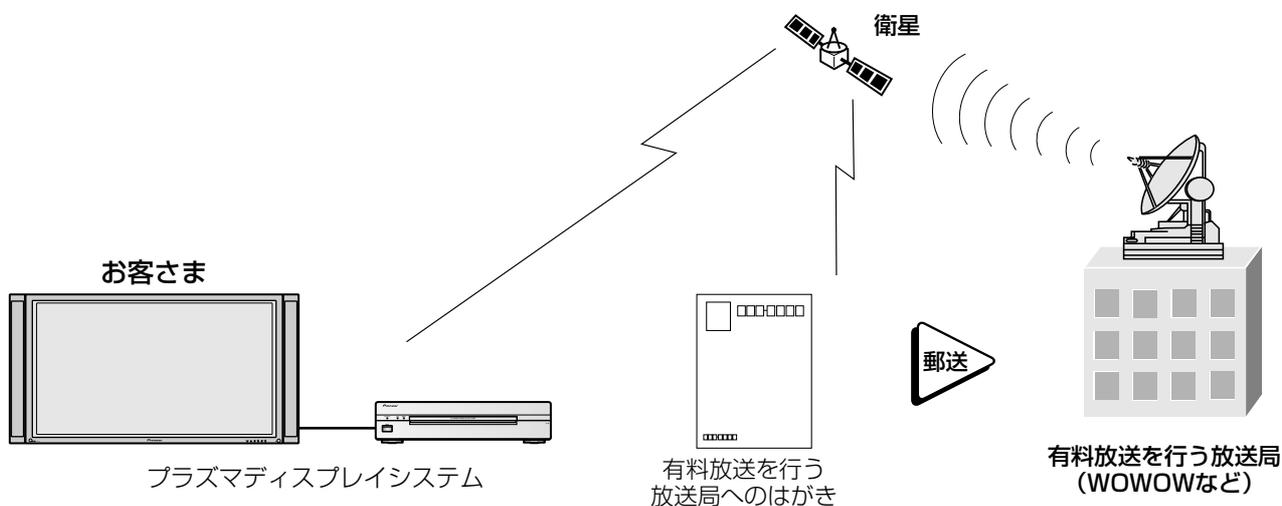
■有料放送を視聴するには、有料放送を行う放送局(放送事業者)と契約をしたお客さまのみ(限定して)番組の視聴ができる手続きが必要になります。
このような手続きを行うしくみを「CAS(限定受信システム)」と呼びます。

## 有料放送を視聴するための手続き

■有料放送を視聴するには、つぎの2つの手続きを行うことが必要です。

### ①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにICカードの登録をする

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)
ICカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。
詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

### ②視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入の上、投函してください。
詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

おしらせ

● 本機は、契約データの受信のために、電源スタンバイ時でも動作することがあります。

# 電話回線を設定する(通信設定)

扉を開けたところ

## 1

① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

② ◁ ▷ で「システム設定」を選ぶ

③ △ ▽ で「通信設定」を選び、決定 を押す

## 2

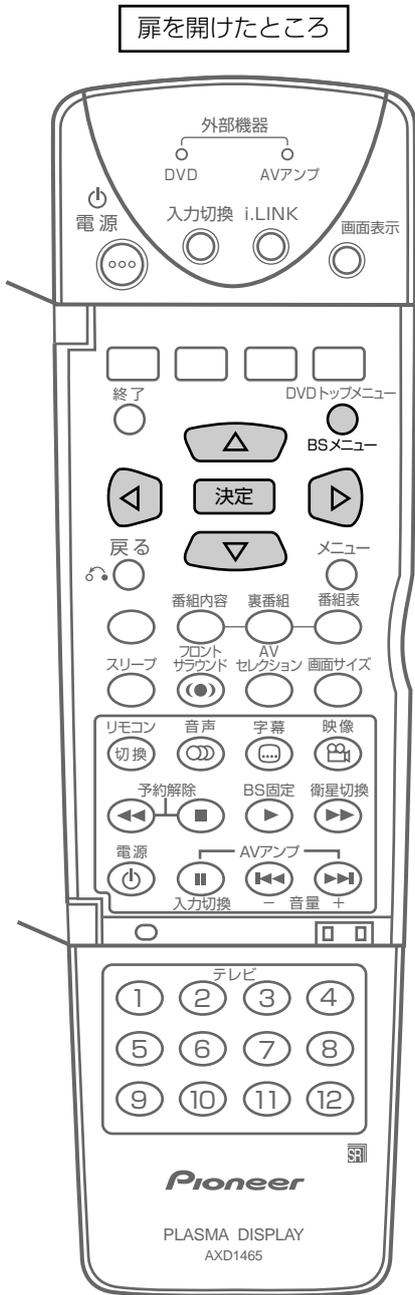
電話回線が接続されていることを確認する

## 3

①「電話回線設定・自動」で 決定 を押す

②「テスト実行」で 決定 を押す

- 「テスト実行中」が表示されます。

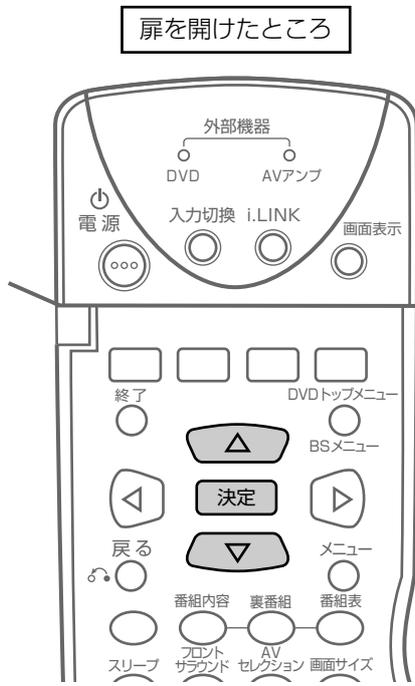
- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。☞ **58**ページ

おしらせ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

**BSメニュー画面について**

- BSメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

# BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

扉を開けたところ

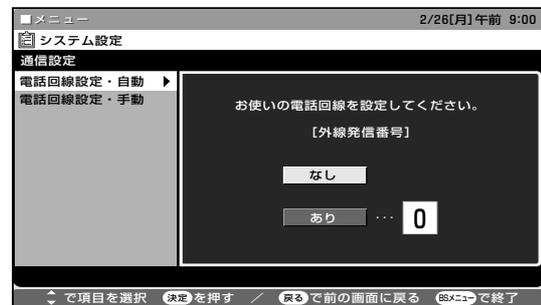
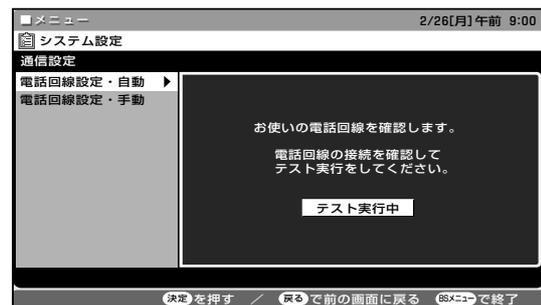
● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

## 外線発信番号の設定

### 1 △/▽で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

「なし」……外線交換機を使用しない場合
（通常の一般家庭）
「あり」……電話交換機などをご使用の場合

● 「あり」を選んだ場合は、リモコンの扉を閉じ、外線発信番号(0～9)を右のボックスに数字ボタンで入力してから決定ボタンを押します。

### 2 「テスト実行」で決定（決定）を押す

● 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
● 電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、59ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

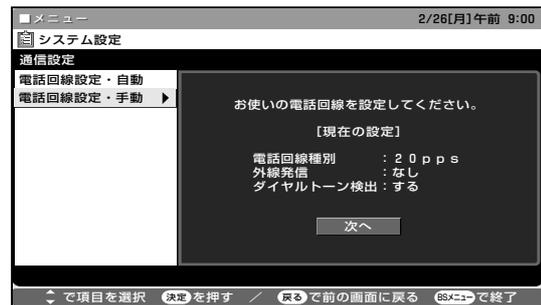
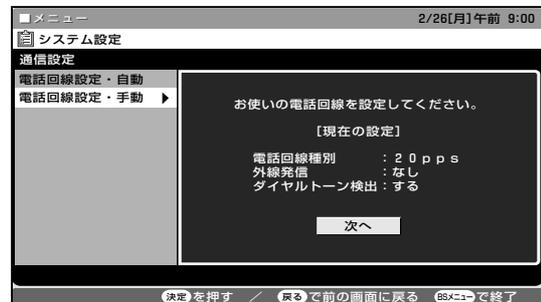
どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定することができます。



## 手動による電話回線設定

**1**

**① 57ページ手順1を行う**

**② ▽ で「電話回線設定・手動」を選び、決定を押す**

**2**

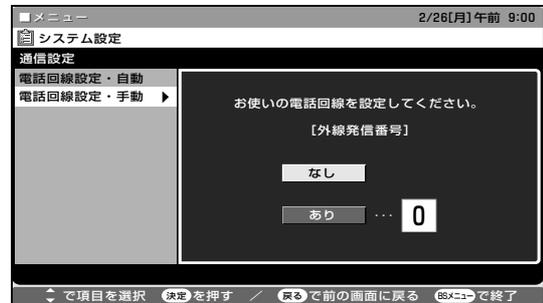
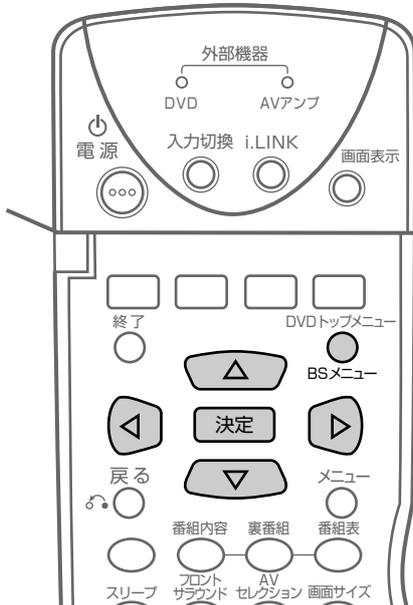
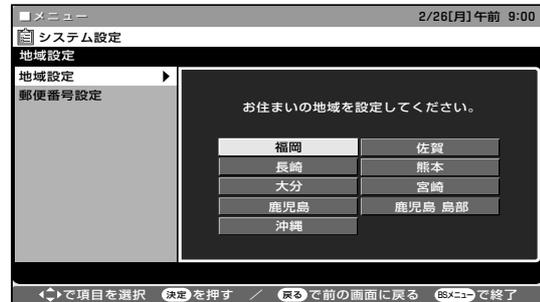
**① 「現在の設定」を確認する**

**② 「次へ」で 決定 を押す**

**3**

**ご契約の電話回線種別を △ ▽ で選び、決定 を押す**

- 契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

# BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

扉を開けたところ

## 4 △ ▽ で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

- 「あり」を選んだ場合は、リモコンの扉を閉じ、数字ボタンで外線発信番号を入力してください。

## 5 決定 または 決定 を押す

## 6 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

## 7 BSメニュー を押し、通常画面に戻す

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

## 地域と郵便番号を設定する（地域設定）

■緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

### 地域設定

**1**

**① ○(BSメニュー) を押し、BSメニュー画面を表示する**

**② ◁ ▷で「システム設定」を選ぶ**

**③ △ ▽で「地域設定」を選び、決定を押す**

**2**

**① 決定を押す**

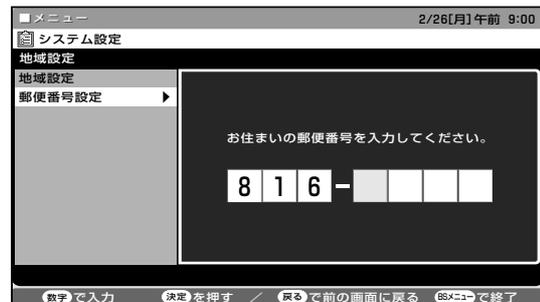
**② お住まいの地域を△ ▽ ◁ ▷で選び、決定を押す**

**3** **お住まいの都道府県を △ ▽ ◁ ▷ で選び、決定 を押す**

## 郵便番号設定

**4** **① ▽ で「郵便番号設定」を選び、決定 を押す**

**② リモコンの扉を閉じる**

**③ 数字ボタンで郵便番号を入力し、決定 を押す**

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタンで入力しなおします。

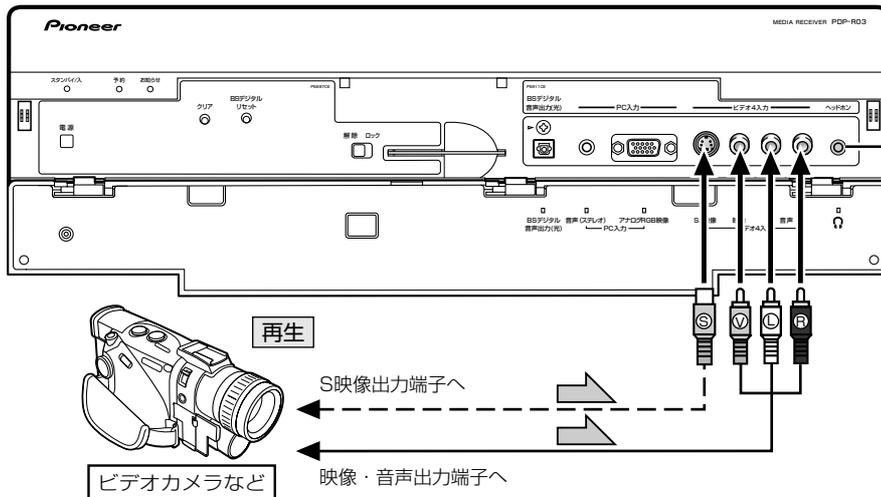
**5** **BSメニュー を押し、通常画面に戻す**

# 他の機器をつないで使う

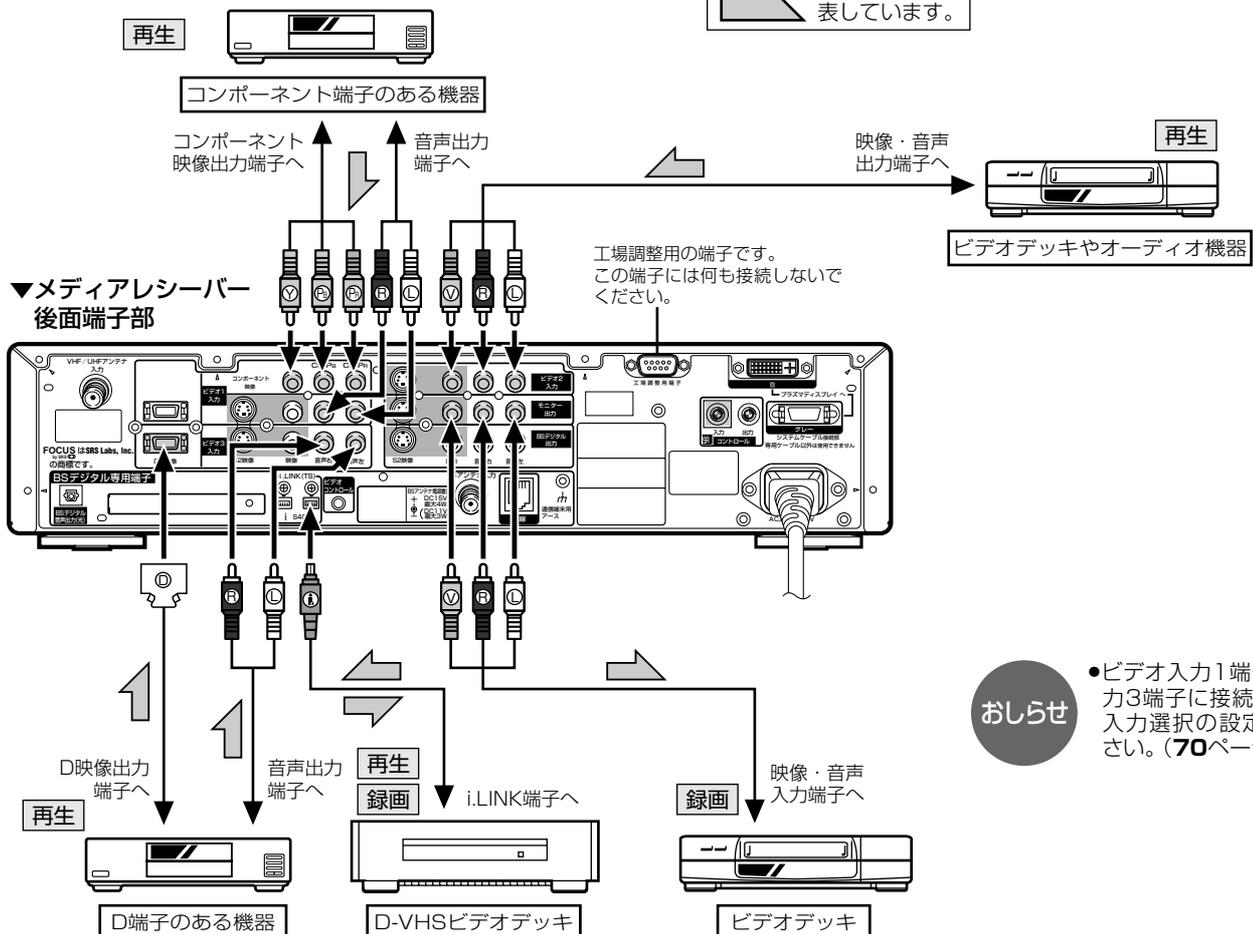
# ビデオ機器をつなぐ

■本機はビデオ入力端子4系統とモニター出力端子1系統、BSデジタル出力端子1系統を搭載しています。
■映像・音声プラグと端子は、黄(映像)、白(音声左)、赤(音声右)の色分けがしてあります。ケーブルと接続機器側のそれぞれの色が合うように接続してください。
■接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

## 接続のしかた

▼メディアレシーバー前面端子部（扉内）



**ヘッドホン端子について**

- ステレオミニプラグの付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンを使わないときは、必ず、ヘッドホン端子からプラグを抜いてください。
- ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声は出ません。（オーディオ出力を「固定」に設定しているとき）



**おしらせ**

- ビデオ入力1端子、ビデオ入力3端子に接続したときは、入力選択の設定をしてください。（**70**ページ参照）

**接続上のご注意**

- ■ 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。
- ■ 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
- ■ 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜きとってください。
- ■ 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。
- ■ 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。



**S2映像入力端子について**

- S2映像入力端子は、より高画質な映像で再生するために映像信号を色信号と輝度信号に分離して入力する端子です。
- ビデオ1～4入力にあるS2映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。
- 本機は、フルモード制御信号の入った映像や、レターボックス制御信号の入った映像がビデオ1～4入力のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(**93**ページ)

**ビデオ1～4入力のS2映像入力優先機能について**

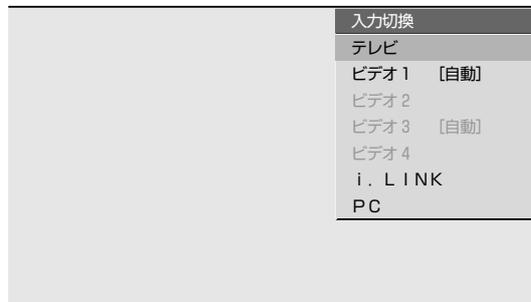
- 本機のビデオ1～4入力の映像端子とS2映像端子は、S2映像入力優先の共通接続です。
- 両端子とも接続しているとき、「ビデオ1～4」の画面はS2映像端子からの入力映像になります。
- 映像入力端子に接続しているビデオ機器の映像を見るときは、S2映像入力端子のプラグを抜いてください。

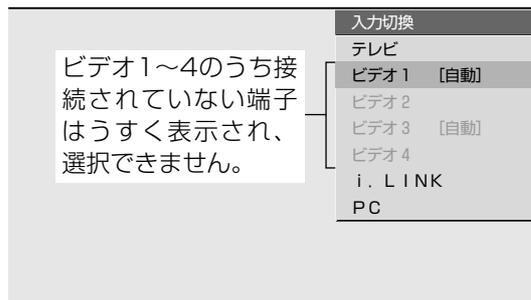
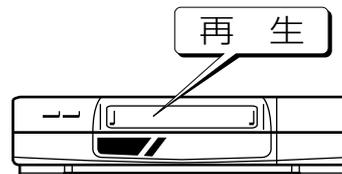
**モニター出力端子について**

- つぎの信号はモニター出力できません。
  ① BSデジタル映像信号
  ② コンポーネント映像信号(D端子を含む)
  ③ PC(RGB)映像信号
  ④ 映像入力時(コンポジット)のS映像出力(Y/C分離出力機能はありません。)

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

## ビデオデッキなどの再生映像を見る

**1** 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する

● 入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

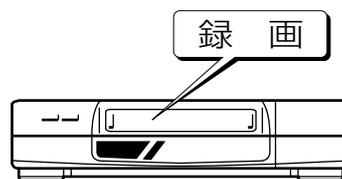
**2** 入力切換 または △ ▽ を押し、入力を切り換える

**3** ビデオ機器を再生状態にする

## テレビ番組を録画する

<例>6チャンネルの番組を録画する

### 1 録画機器側の録画準備をする

① メディアレシーバー後面のモニター出力端子に録画機器(ビデオデッキなど)を接続し、電源を入れる。
② 録画機器の入力切換えを「外部入力」に切り換える。
③ 録画可能なビデオテープを入れる。

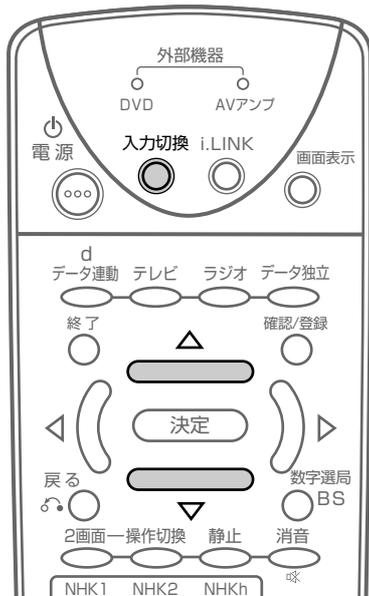
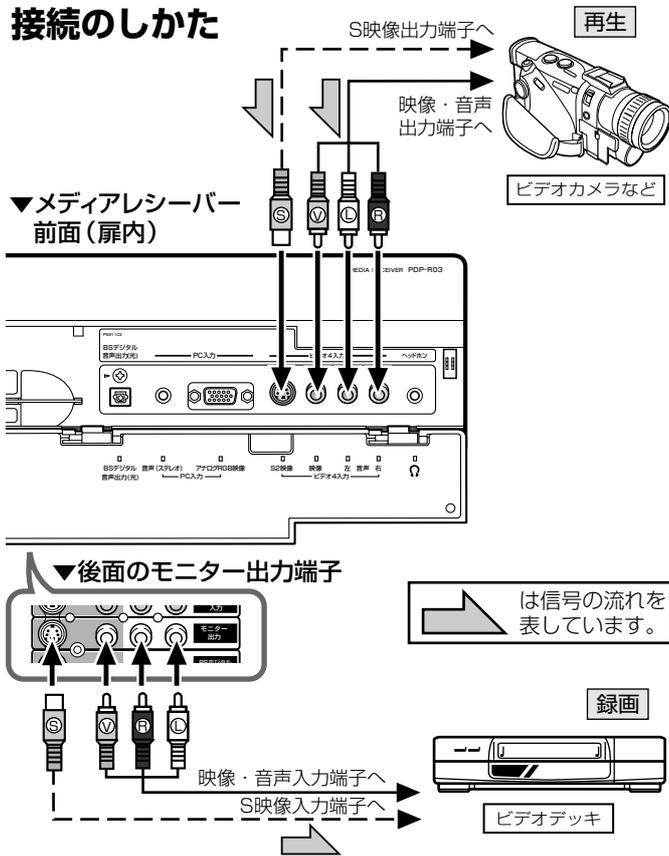
### 2 録画する番組をテレビチャンネルボタンまたは ＋選局－ で選ぶ

### 3 録画機器（ビデオデッキなど）を録画状態にする

おしらせ

- 録画中にテレビチャンネルを変えると、モニター出力端子から出力される映像も変わります。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子から入力された信号およびBSデジタル放送の信号は、モニター出力端子から出力されません。

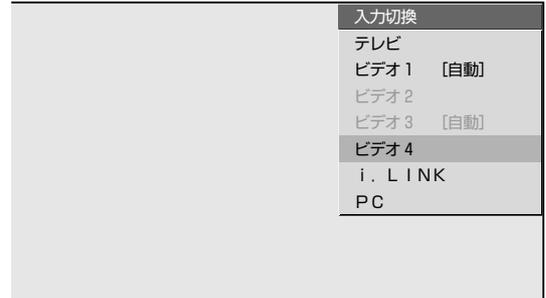
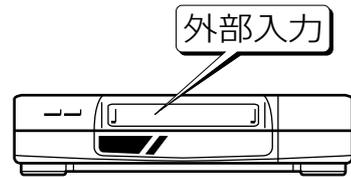
# ビデオ機器をつなぐ(つづき)

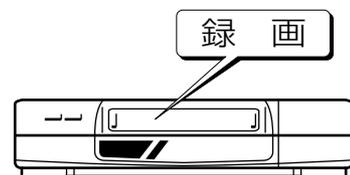
## ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

### 接続のしかた

おしらせ

- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子から入力された信号およびBSデジタル放送の信号は、モニター出力端子から出力されません。
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

＜例＞メディアレシーバーのビデオ入力端子に接続したビデオカメラなどの映像をビデオに録画する

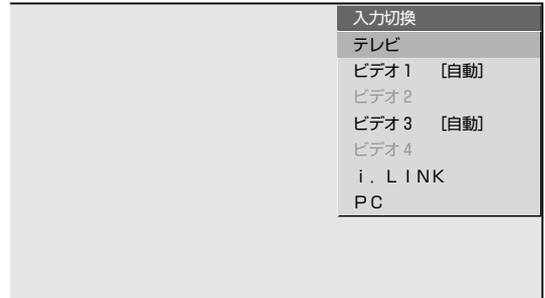
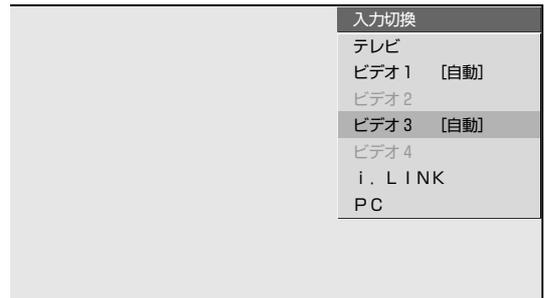
**1** 入力切換 で「ビデオ4」を選ぶ

**2** モニター出力端子に接続しているビデオデッキの入力切換を「外部入力」にする

**3** メディアレシーバーのビデオ4入力端子に接続したビデオカメラなどの機器を再生状態にする

**4** メディアレシーバーのモニター出力端子に接続しているビデオデッキを録画状態にする

# DVDプレーヤーをつなぐ



## 高精細映像を楽しむ

■メディアレシーバー後面のビデオ1入力またはビデオ3入力のD4映像端子や、ビデオ1入力のコンポーネント映像端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。

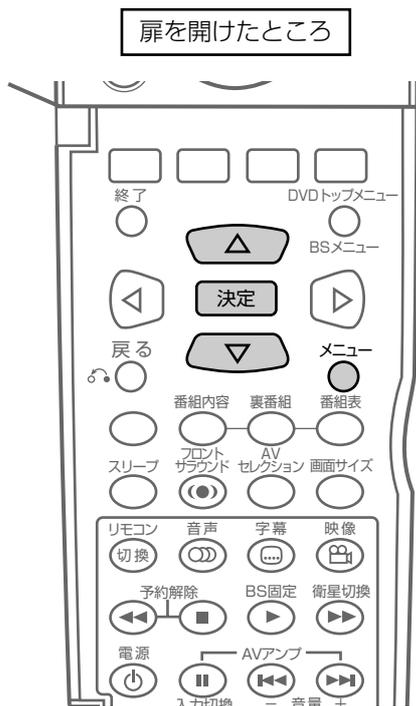
**1** 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する

**2** 入力切換 または △ ▽ を押し、DVDプレーヤーを接続している入力に切り換える

おしらせ
- DVDプレーヤーを接続している入力(ビデオ1入力またはビデオ3入力)の入力選択の設定を済ませておいてください。(**70**ページ参照)

**3** DVDプレーヤーを再生状態にする

おしらせ
- 詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子からの入力映像は、モニター出力端子から出力されません。
- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が乱れることがあります。

# 入力選択の設定

■メディアレシーバー後面のビデオ1入力、ビデオ3入力に機器を接続したときは、本機に入力される映像信号の入力選択の設定を行ってください。（工場出荷時は、「自動」に設定されています。）
■入力選択設定の操作を行う前に、機器の接続を済ませておいてください。

扉を開けたところ

<例>ビデオ3入力のコンポーネント映像端子からの入力を選択するとき

## 1

① メニュー ○ **でメニュー画面を表示する**

② △ ▽ **で「本体設定」を選び、決定を押す**

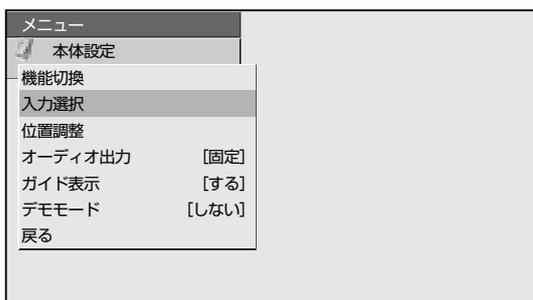
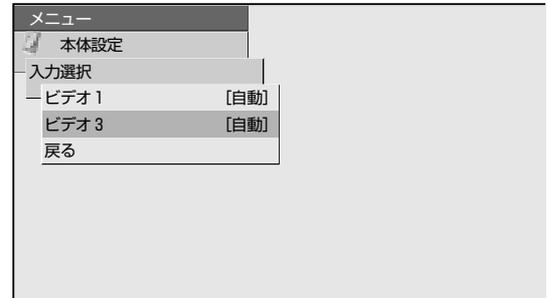
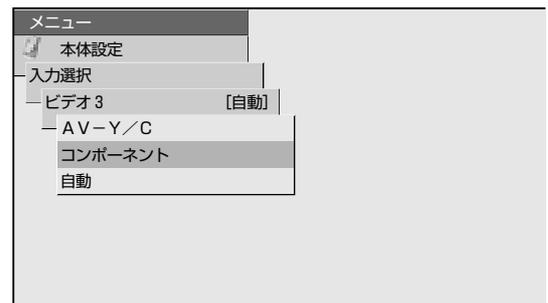
③ △ ▽ **で「入力選択」を選び、決定を押す**

## 2

△ ▽ **で「ビデオ3」を選び、決定を押す**

## 3

△ ▽ **で「コンポーネント」を選び、決定を押す**

## 4

メニュー ○ **を押し、通常画面に戻す**

**入力信号選択の優先順位について**

「AV-Y/C」
S映像入力→映像入力の順に選択されます。

「コンポーネント」
D4映像入力→コンポーネント映像入力の順に選択されます。

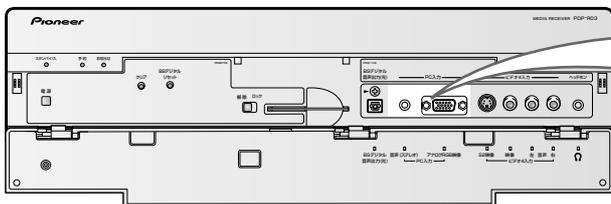
「自動」
D4映像入力→コンポーネント映像入力→S映像入力→映像入力の順に選択されます。

● テレビ入力のとき、「入力選択」はメニューに表示されません。

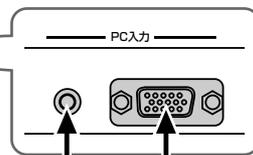
# コンピューターをつなぐ

## コンピューター入力対応表

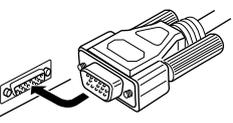
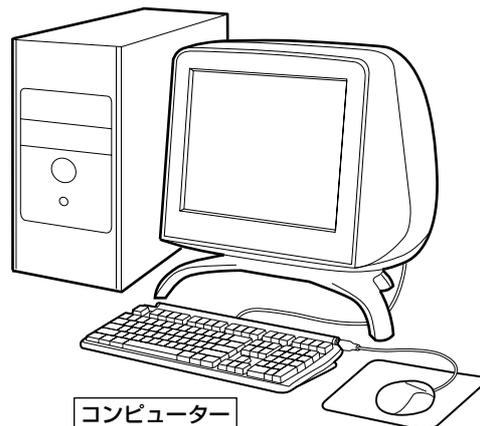
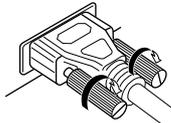
| 画素数 | 垂直周波数 | 備　考 | 画素数 | 垂直周波数 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 640×400 | 85Hz | | 800×600 | 72Hz | |
| 720×400 | 70Hz | | | 75Hz | |
| | 85Hz | | | 85Hz | |
| 640×480 | 60Hz | | 832×624 | 74.5Hz | Macintosh16" |
| | 65Hz | Macintosh13"(67Hz) | 1024×768 | 60Hz | |
| | 72Hz | | | 70Hz | |
| | 75Hz | | | 75Hz | Macintosh19" |
| | 85Hz | | | 85Hz | |
| 800×600 | 56Hz | | 1280×768 | 60Hz | |
| | 60Hz | | | | |

※コンピューター接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。(自動同期調整……**90**ページ参照)



## 接続のしかた

▼メディアレシーバー前面端子部(扉内)　▼コンピューター接続端子部

### RGB接続ケーブルの取扱いについて

メディアレシーバーとコンピューターに接続するRGB接続ケーブルは、端子とプラグの形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

①　②

# D-VHSビデオデッキをつなぐ（i.LINK）

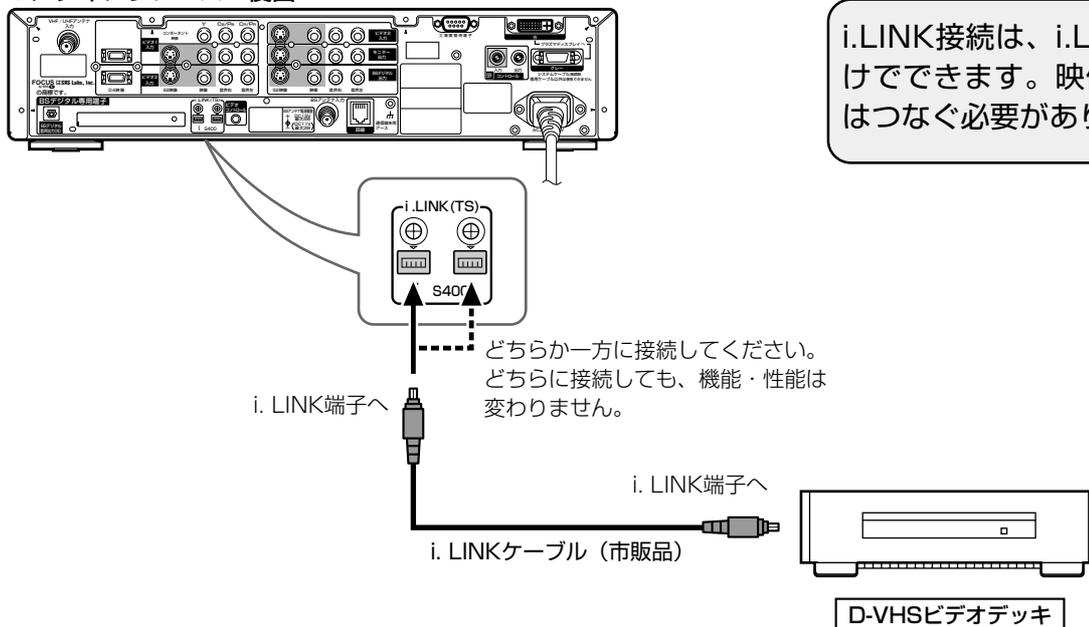
## i.LINK（アイリンク）について

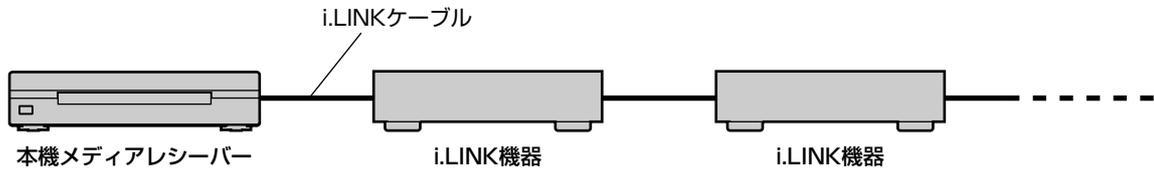
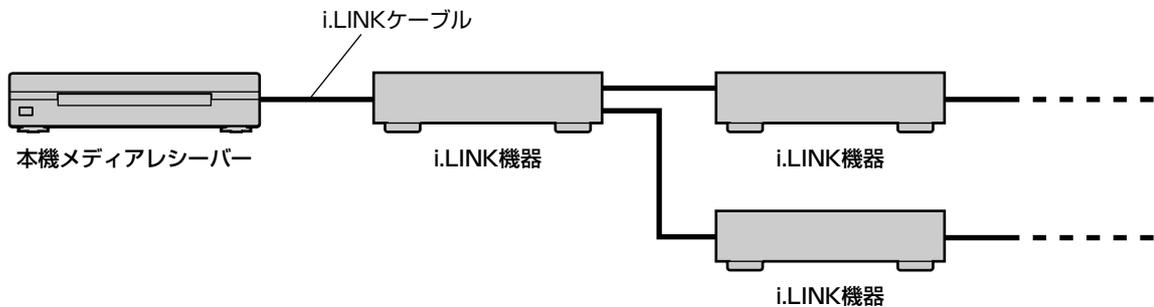
■i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

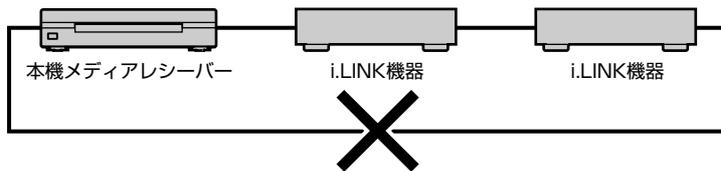
### 本機に接続できるi.LINK機器について

■本機が対応しているi.LINK機器はD-VHSビデオデッキのみです。DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、パソコン、パソコン周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

## i.LINK接続のしかた

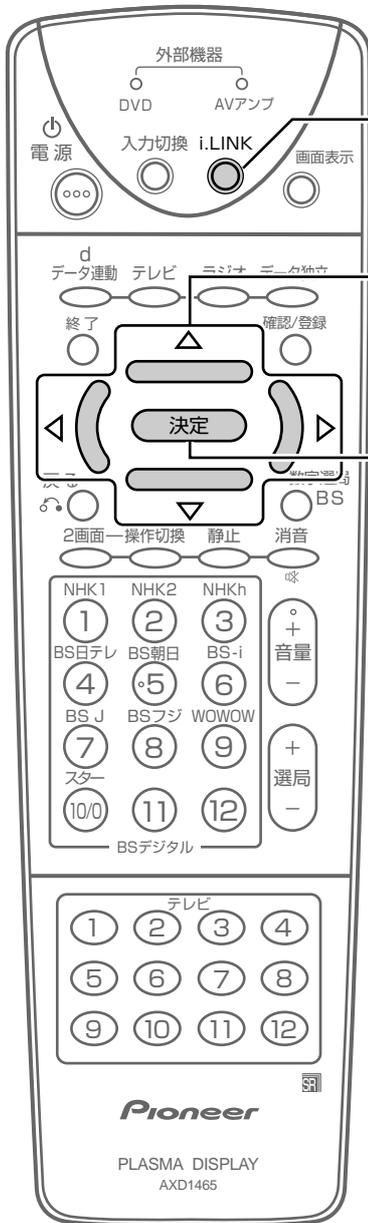
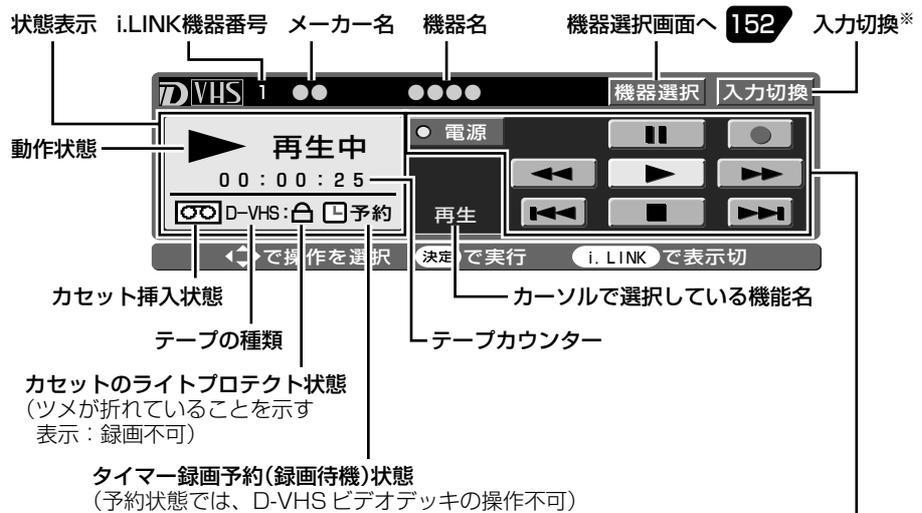
<例>接続するi.LINK機器（D-VHSビデオデッキ）が1台の場合

## i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が2台以上のとき

■i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を16台までつなげます。

■i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐をして接続する場合は、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を最大62台までつなげます。

## 接続に関するご注意

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。
  BSメニューの「電源待機設定」を「する」に設定してください。(**151**ページ参照)
- 下図のようなループ(輪)接続をしないでください。

- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、パソコン、パソコン周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。

# D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

## i.LINK機器の操作のしかた

■i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作ができます。
画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■操作を始める前に、**150**〜**152**ページの「録画モードの設定」「i.LINK電源待機の設定」「i.LINK機器の選択」を済ませておいてください。
■本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキを再生状態にすると、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声に自動的に切り換わります。D-VHSビデオデッキを停止すると、BSデジタル放送に切り換わります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキが再生状態のとき、i.LINK操作パネルの入力切換ボタンにカーソルを合わせ、リモコンの決定ボタンを押すと、BSデジタル放送の映像・音声に切り換わります。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- 本機は、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像・音声をi.LINKで視聴することができません。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBSデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているBSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- BS固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- i.LINK操作パネルと、番組表やメニュー等を同時に(重ねて)表示することはできません。
- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。

# コントロール接続

SR マークのあるパイオニア製の他の機器とコントロール接続すると、本機の受光部を通じてリモコンの操作ができるようになります。
CONTROL IN端子を接続した機器のリモコン受光部は、リモコン信号を受けつけなくなります。
接続した他の機器のリモコンは、本機の受光部に向けて操作してください。

- 接続する前に、電源が切れていることを確認してください。
- コントロール接続をする前に、他の機器の接続をすべて済ませておいてください。

▼メディアレシーバー後面

コントロール
（入力/出力）端子

入力　出力
SR コントロール

SR
コントロール
入力
出力

接続するケーブルは、モノラルのミニ／ミニケーブル（抵抗なし）です。

は信号の流れを表しています。

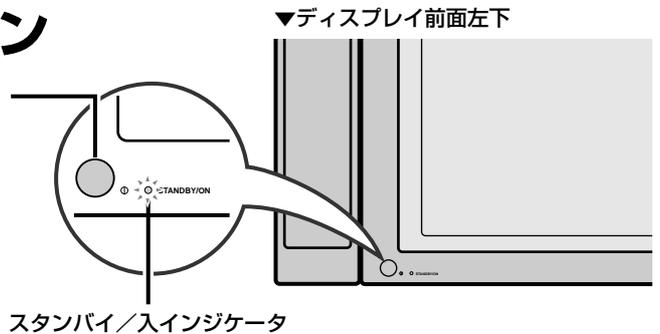
# テレビ放送を楽しむ

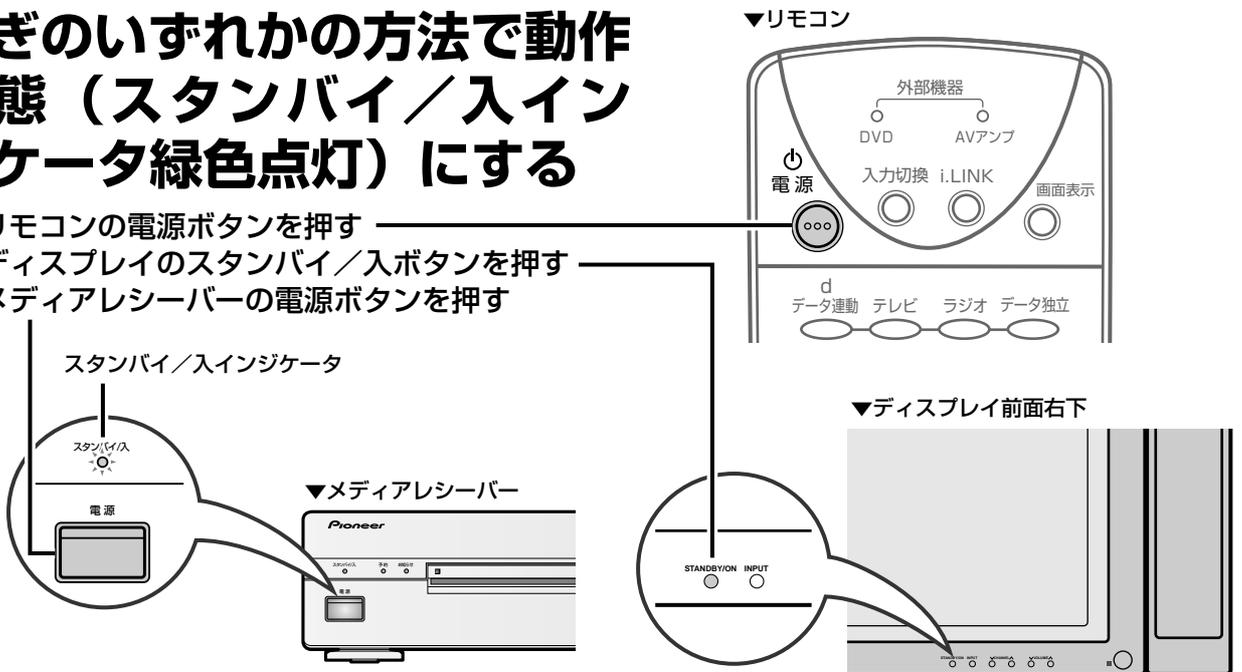
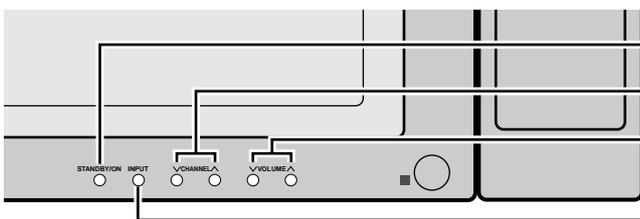
# ふだんの使いかた

テレビ放送(VHF/UHF、CATV)を視聴するための基本操作手順を説明します。

## 電源の入れかた

### ❶ディスプレイの主電源ボタンを押し、電源「入」にする

- スタンバイ状態(スタンバイ／入インジケータ赤色点灯)または動作状態(スタンバイ／入インジケータ緑色点灯)になります。
  **スタンバイ状態のとき ⇨ 手順❷に進みます。**
  **動作状態のとき ⇨ 手順❸に進みます。**

### ❷つぎのいずれかの方法で動作状態(スタンバイ／入インジケータ緑色点灯)にする

① リモコンの電源ボタンを押す
② ディスプレイのスタンバイ／入ボタンを押す
③ メディアレシーバーの電源ボタンを押す

**ディスプレイの操作ボタンのはたらき**

❷ 電源をスタンバイ／入する
❸ チャンネルを選ぶ
❹ 音量を調整する
入力を切り換える

**電源プラグの接続について**

- 本機はスタンバイ状態でも、BSデジタル放送局と通信を行います。
- 通常は電源プラグをコンセントに差し込んだままご使用ください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。この場合、再度設定を行ってください。

## 選局・音量調整など

### 電源を入/スタンバイする

電源「入」………スタンバイ／入インジケータ緑色点灯
スタンバイ状態…スタンバイ／入インジケータ赤色点灯

### 入力を切り換える

テレビ→ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→ビデオ4→i.LINK→PC→テレビ

### 画面表示を入／切する

<画面表示例>

地上放送受信時　1 ステレオ

BSデジタル放送受信時　BS103

ビデオ入力時　ビデオ1

PC入力時　PC 1024×768 60Hz

### 操作を終了する

2画面、静止画面、メニュー操作などを終了します。

### 音を一時的に消す

もう一度押すと、もとの音量に戻ります。

### ❸チャンネルを選ぶ

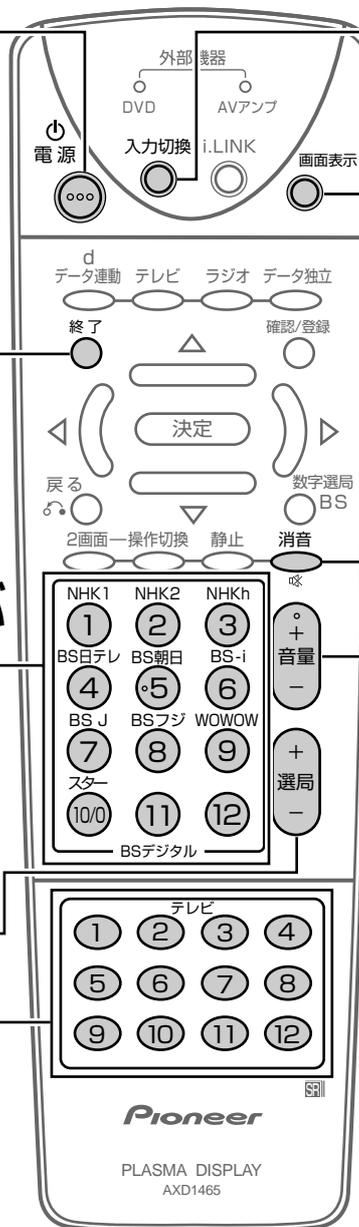
BSチャンネル（BSデジタル放送）

**BSデジタル放送の視聴のしかたについては、108〜182ページをご覧ください。**

### ❹音量を調整する

数字（最大60）とバーで表示

### 選局＋/－

テレビチャンネル（地上放送／CATV放送）



**受信チャンネルについて**
- 工場出荷時は、VHF1〜12チャンネルとBSデジタルチャンネルが受信できるようにセットされています。UHF放送を受信するときや、受信チャンネルを合わせなおす場合は、**31**〜**50**ページをご覧ください。

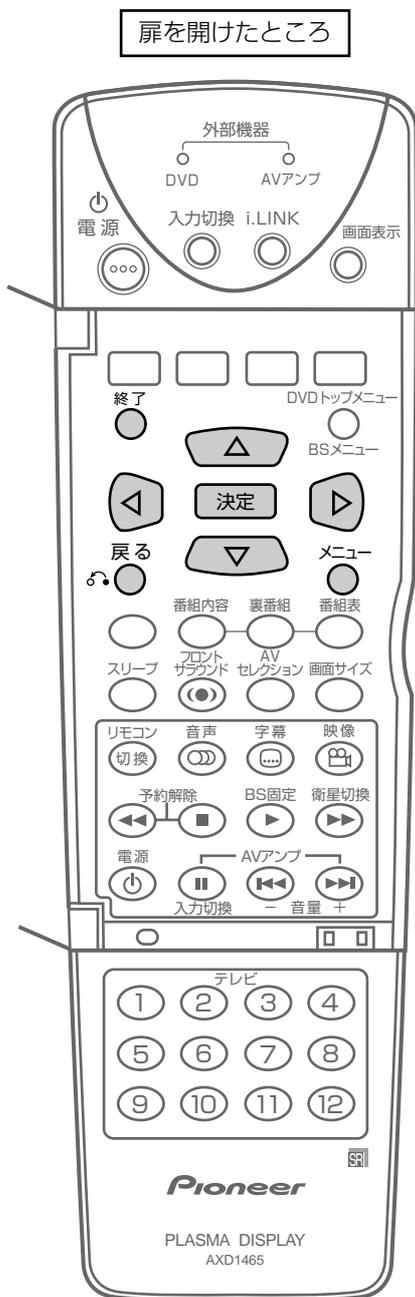
**ケーブルテレビ(CATV)について**
- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13〜C63チャンネルの範囲で選局できます。

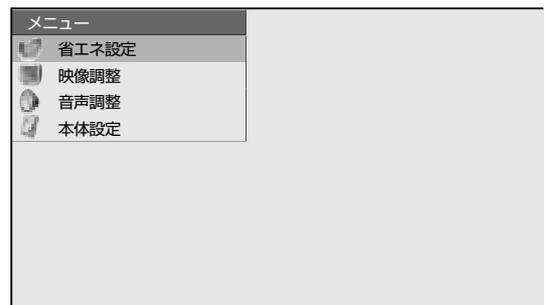
**放送が終了すると**
- 約15分後にテレビの電源が切れます。
スタンバイ／入インジケータが赤色に点灯……無信号オフ機能(**105**ページ)
(放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは正しく動作しない場合があります。)
- ビデオ入力画面のときも、無信号状態になると電源が切れます。
スタンバイ／入インジケータが赤色に点灯…無信号オフ機能(**105**ページ)

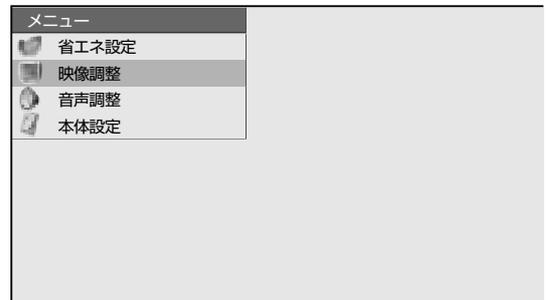
# メニュー画面について

■画面を見ながら、リモコンで映像や音声などの調整や機能の設定ができます。
ここでは、メニューの項目を選択する方法について説明します。
詳しくは、それぞれのページをご覧ください。
■BSデジタル放送を視聴するための調整や設定（BSメニュー）については、**112**ページをご覧ください。

## メニュー操作の基本

扉を開けたところ

<例>映像調整を選ぶ

**1** **メニュー を押し、メニュー画面を表示する**

● メニュー表示中につぎの操作を行います。

**2** **△ ▽ で「映像調整」を選ぶ**

● 選んだ項目が黄色で表示されます。
● 選んだ項目のガイド表示（機能説明）が、画面左下に表示されます。

**3** **決定 を押す**

● つぎの画面に進みます。

●操作を誤ったときや
操作をやりなおしたいとき…戻る を押します
●調整バーを操作するとき…◁ ▷ を使います
<例>映像調整の「明るさ」

明るさ [0] －30 ＋30
← ◁ ▷ →

●メニュー操作を終了するとき… メニュー または 終了 を押します

テレビ／ビデオメニューとPCメニュー（入力切換を「PC」にしているとき）では、設定できる項目が異なります。

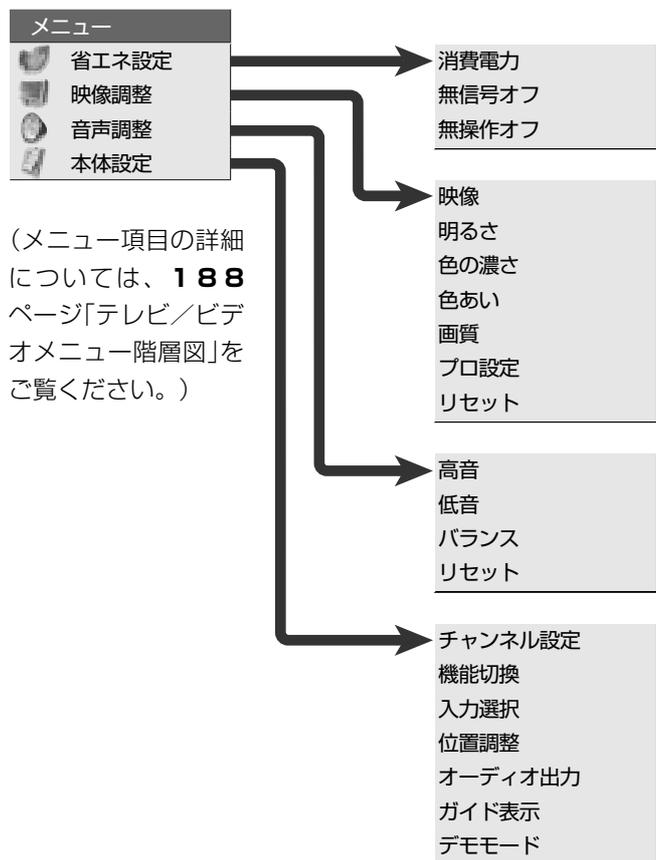
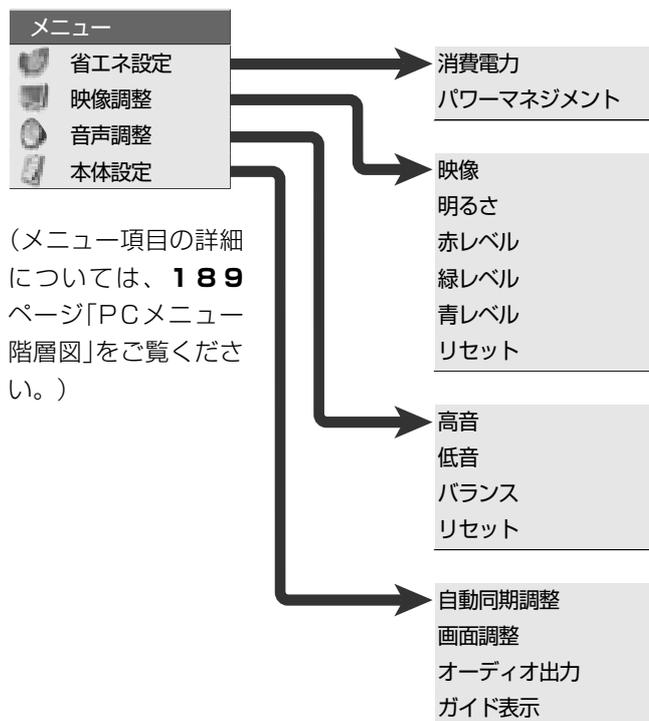
## テレビ／ビデオメニューで設定できる項目

メニュー
- 省エネ設定 → 消費電力／無信号オフ／無操作オフ
- 映像調整 → 映像／明るさ／色の濃さ／色あい／画質／プロ設定／リセット
- 音声調整 → 高音／低音／バランス／リセット
- 本体設定 → チャンネル設定／機能切換／入力選択／位置調整／オーディオ出力／ガイド表示／デモモード

（メニュー項目の詳細については、188ページ「テレビ／ビデオメニュー階層図」をご覧ください。）

## PCメニューで設定できる項目

メニュー
- 省エネ設定 → 消費電力／パワーマネジメント
- 映像調整 → 映像／明るさ／赤レベル／緑レベル／青レベル／リセット
- 音声調整 → 高音／低音／バランス／リセット
- 本体設定 → 自動同期調整／画面調整／オーディオ出力／ガイド表示

（メニュー項目の詳細については、189ページ「PCメニュー階層図」をご覧ください。）



- 画面に灰色の文字で表示されている項目は、選択できないことを表しています。
- 本書に掲載している画面表示は、説明用のものであり、一部省略したり、強調表現してありますので、実際の画面表示とは多少異なります。

**ガイド表示について**

- ガイド表示を画面に出したくない場合には、つぎの手順で表示を「しない」に設定してください。
  ①メニュー画面の「本体設定」を選び、決定ボタンを押す。
  ②「ガイド表示」を選び、決定ボタンを押す。
  ③「しない」を選び、決定ボタンを押す。
  ④メニューボタンで画面表示を消す。

**デモモードについて**

- 店頭デモ用の機能です。デモ機能を解除するときは、つぎの手順で行ってください。
  ①メニュー画面の「本体設定」を選び、決定ボタンを押す。
  ②「デモモード」を選び、決定ボタンを押す。
  ③「しない」を選び、決定ボタンを押す。
  ④メニューボタンで画面表示を消す。

# テレビ／ビデオ入力の画面サイズの種類

放送内容に合わせて画面サイズを切り換えるなど、お好みの画面サイズを選ぶことができます。

■つぎの5つの画面サイズから選択できます。

**4：3**

通常のテレビ画面（4:3サイズ）の映像です。

**シネマ**

ビスタサイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

**フル**

16:9から4:3に圧縮された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに映します。

**ワイド**

通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。

**ズーム**

シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

■選択できる画面サイズは、テレビ／ビデオ画面とハイビジョン画面とで異なります。

| テレビ／ビデオ画面 | →4：3→フル→ズーム→シネマ→ワイド |
|---|---|
| ハイビジョン画面 | →フル1（1080i）→フル2（1035i） |

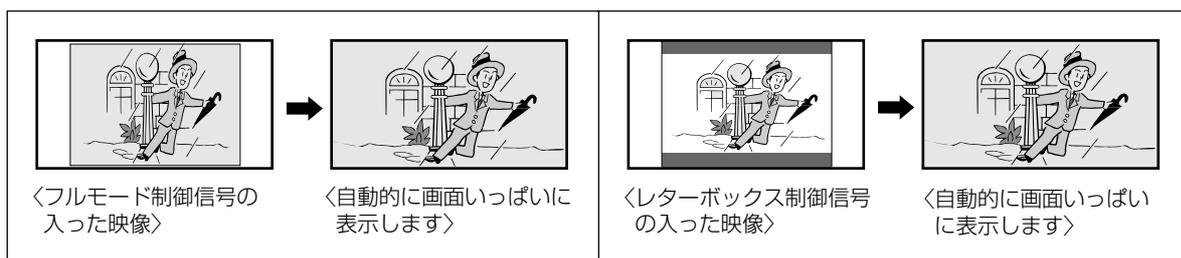
**ご注意** 画面サイズ4：3において何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示すると焼き付きによる残像ができることがあります。著作者の権利を侵害するおそれがある場合(83ページ／おしらせ参照)を除き画面の焼き付きを避けるため、できるだけ4：3以外の画面サイズでお楽しみいただくことをおすすめします。

### 画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

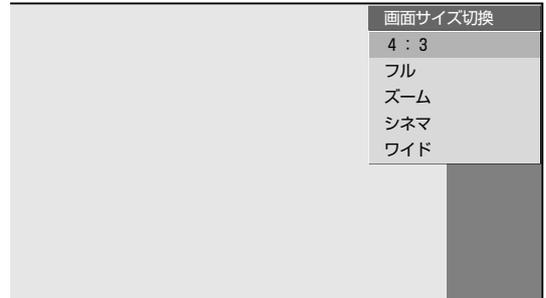
- 本機は、ワイドクリアビジョン放送やビデオ入力端子から入力された映像信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動設定する機能を備えています。メニュー操作で機能の入／切を選択できます。（**93**ページ参照）

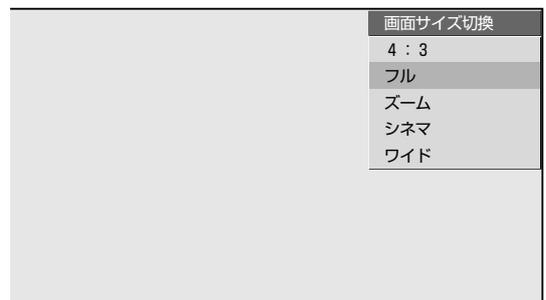
  **EDTVII対応機能**…… ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適なサイズで表示します。（水平高画質化機能はありません。）

  **S2対応機能**…… DVDプレーヤーなどをS端子ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

〈フルモード制御信号の入った映像〉　〈自動的に画面いっぱいに表示します〉　〈レターボックス制御信号の入った映像〉　〈自動的に画面いっぱいに表示します〉

# テレビ／ビデオ入力の画面サイズ切換

## 画面サイズを選ぶ

**1** 画面サイズ ◯を押し、画面サイズ切換メニューを表示する

- メニュー表示中につぎの操作を行います。

**2** 画面サイズ ◯または △ ▽ で、「4:3」「フル」「ズーム」「シネマ」「ワイド」のうちから、お好みの画面サイズを選ぶ

- 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択されますと、本来の映像とは見えかたに差が出ます。この点をご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整（**88**ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、市販ソフトによっては画面の端や上部に曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。

# PC入力の画面サイズの種類と切換

## 画面サイズを選ぶ

Dot by Dot(ドット・バイ・ドット)とは

- 接続したコンピューター(PC)の入力信号の解像度を判別して、これに一致したパネル画素数で表示する機能です。(**71**ページ「コンピューター入力対応表」参照)
- XGA(1024×768)信号入力時のDot by Dot表示は「4：3」を、ワイドXGA(1280×768)信号入力時のDot by Dot表示は「フル2」を選ぶことにより可能です。(PDP-503HDの場合)

扉を開けたところ

**1** **画面サイズ を押し、画面サイズ切換メニューを表示する**

(画面表示例)

- メニュー表示中につぎの操作を行います。

**2** **画面サイズ または △ ▽ で、お好みの画面サイズを選ぶ**

(画面表示例)

画面サイズ切換
4：3
フル
Dot by Dot

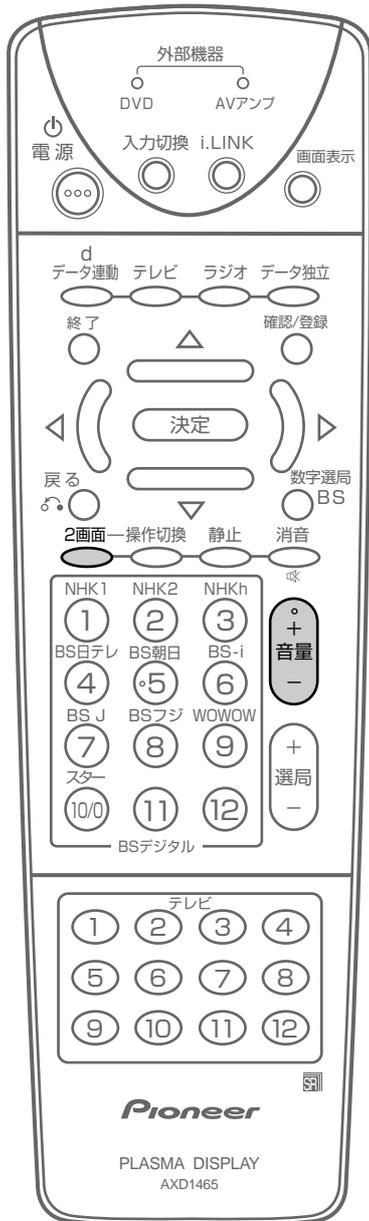
■つぎの画面サイズから選択できます。

- 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。
- 上記のイラストは、PDP-503HDの場合です。
- PDP-433HDは横長画素のため、信号処理や実際の見えかたが異なる場合があります。

# 2画面で見る

## 2画面機能を使う

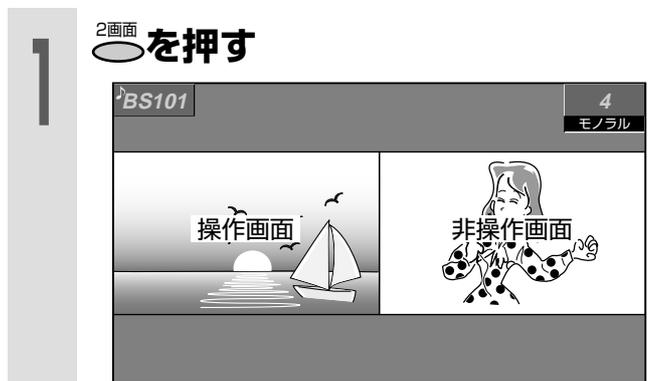
■本機は2つの異なる映像を同時に表示して見ることができます。

■2画面のとき、♪マークのある画面(操作画面)のチャンネルや入力を切り換えたり、音量を調整することができます。

### 2画面で見られる映像の組合せ

| | 地上放送 | BS放送 | 外部入力 | PC入力 |
|---|---|---|---|---|
| 地上放送 | × | ○ | ○ | × |
| BS放送 | ○ | × | ○ ※1 | × |
| 外部入力 | ○ | ○ ※1 | ○ ※2 | × |
| PC入力 | × | × | × | × |

※1　BS放送とi.LINK入力の2画面表示はできません。
※2　同じ外部入力どうしの2画面表示はできません。

<例>地上放送とBS放送を2画面で見る

**1**  **を押す**

※操作画面のチャンネル表示には、♪マークが付いています。

### 2画面時の音声と音量調整について

- ♪マークのある操作画面の音声が聞けます。
- 音量+/－ボタンで、操作画面の音量を調整できます。

おしらせ

- BSデジタル放送を2画面で表示したときは、地上放送と同じ画質(525i)になります。
- 外部入力信号が525i以外のときは2画面表示できません。
- BS固定中、およびビデオ連動予約の予約録画実行中は、2画面表示できません。
- 2画面でBSデジタル放送を見ているときは、BSデジタル出力の映像の横縦比が4：3になります。
- 2画面表示中に予約録画が実行された場合、BS固定を行った場合は、2画面表示が解除されます。
- 2画面機能を入／切すると、画面やBSデジタル出力の映像が一瞬途切れた状態になりますが、異常ではありません。

# 2画面で見る(つづき)

## 操作画面(♪のある画面)のチャンネルや入力を切り換えるには

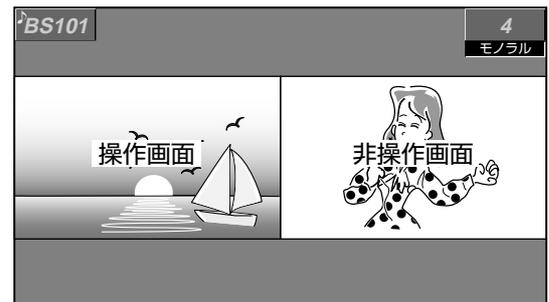
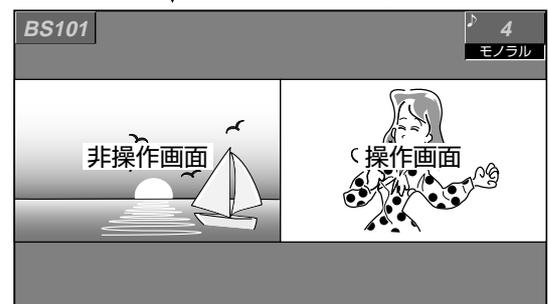
- 選局+/−ボタンを押すたびに、操作画面のチャンネルが選局されます。
- 入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

- 非操作画面がBSデジタル放送のとき、操作画面は地上放送の中でのみ選局できます。
- 非操作画面が地上放送のとき、操作画面はBSデジタル放送の中でのみ選局できます。
- 非操作画面がBSデジタル放送のとき、操作画面の外部入力のi.LINKは選べません。

## 操作画面を切り換えるには

**1**

♪BS101　4　モノラル

操作画面　非操作画面

↓ 操作切換 **を押す** ↑

- ♪マークが移動します。

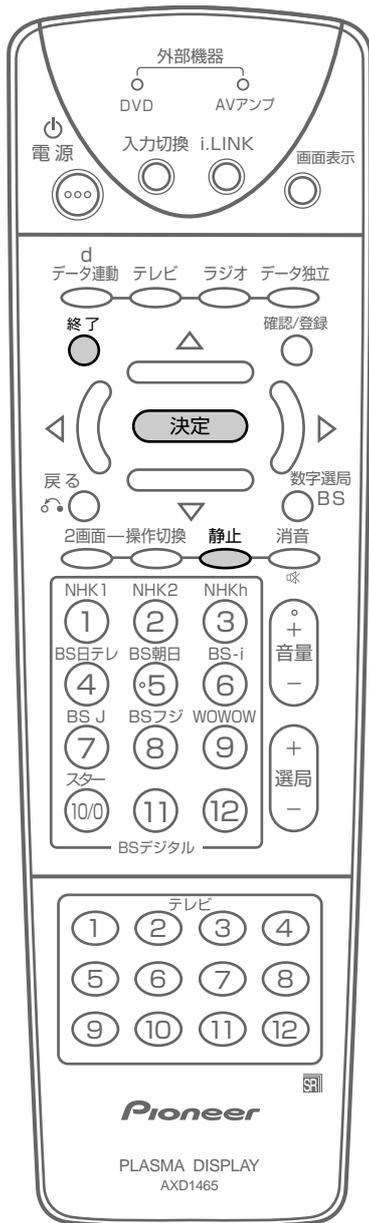
## 1画面に戻すには

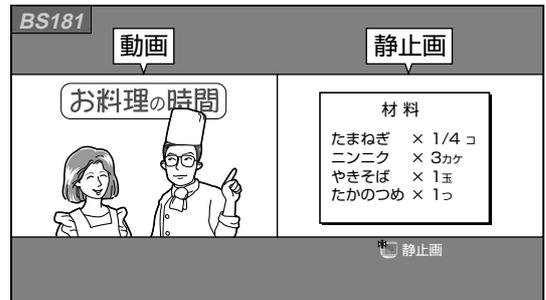
**1**

**2画面 をもう一度押すか、終了 を押す**

# 静止画面で見る

## 番組の内容をメモする

■いま見ている放送や映像を静止することができます。料理番組などのメモをとったりするとき便利です。

**1** **映像を静止させたいところで、静止を押す**

- 2画面表示となり、左側が動画、右側が静止画になります。

- 静止画表示中に決定ボタンを押すと、静止画が更新されます。

## 1画面に戻すには

**1** **静止をもう一度押すか、終了を押す**

- 静止ボタンを押し、静止画表示になってから8分経過すると、自動的に1画面に戻ります。
- 静止画表示中に選局すると、1画面に戻ります。
- 静止画表示中の画面サイズ切換えはできません。
- BSデジタル放送を静止画で表示したときは、地上放送と同じ画質(525i)になります。
- 外部入力信号が525i以外のときは、静止画表示できません。
- BS固定中、およびビデオ連動予約の予約録画実行中は、静止画表示できません。
- 静止画でBSデジタル放送を見ているときは、BSデジタル出力の映像の横縦比が4：3になります。
- 静止画表示中に予約録画が実行された場合、BS固定を行った場合は、2画面表示が解除されます。
- 静止画機能を入／切すると、画面やBSデジタル出力の映像が一瞬途切れた状態になりますが、異常ではありません。

# 画面の位置を調整する

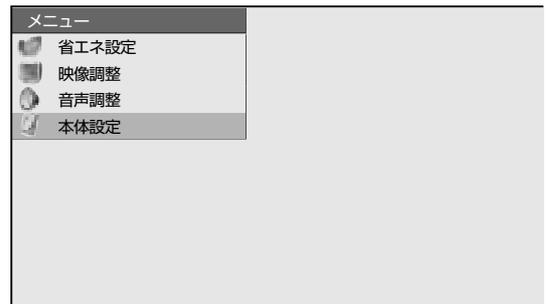
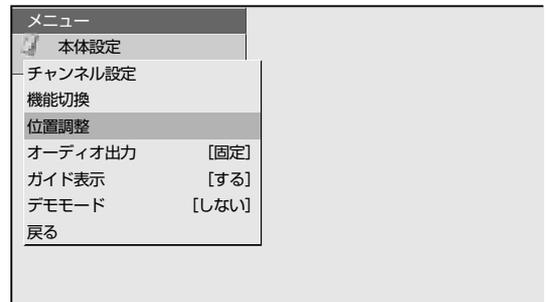
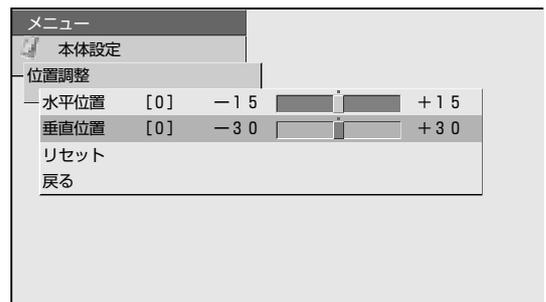
## 画面位置の調整のしかた

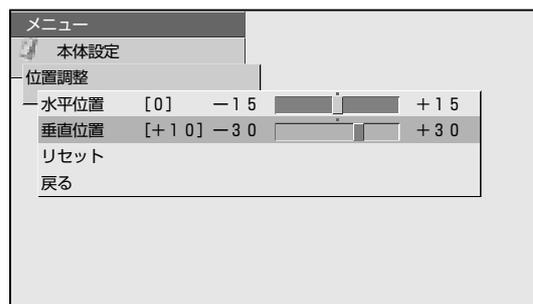
画面位置の調整について
- 画面の位置を調整することができます。
  「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

扉を開けたところ

<例>画面の垂直位置を調整する

**1** メニュー ◯ を押し、メニュー画面を表示する

**2** △ ▽ で「本体設定」を選び、決定を押す

**3** △ ▽ で「位置調整」を選び、決定を押す

**4** △ ▽ で「垂直位置」を選ぶ

## 5 ◁▷で適切な位置に調整する

- 水平位置は、－15～＋15の範囲で調整できます。
- 垂直位置は、－30～＋30の範囲で調整できます。

## 6 メニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

**調整した値を元に戻したいとき**

① 手順**4**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

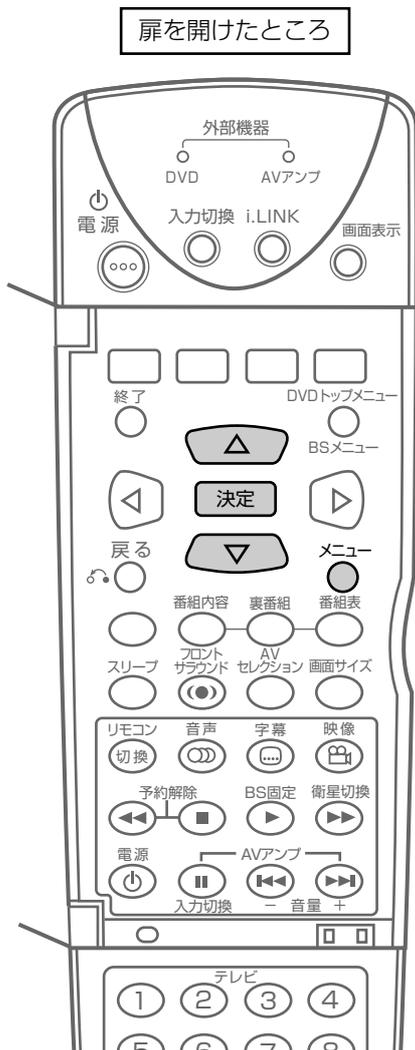
② 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

- 「初期設定に戻しました。」と表示されます。

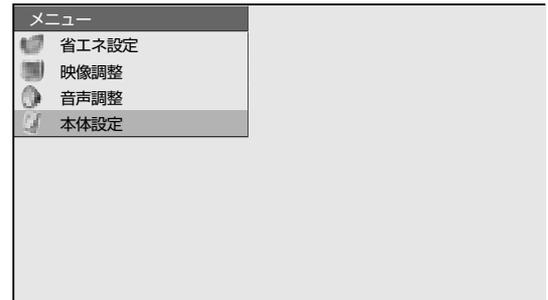
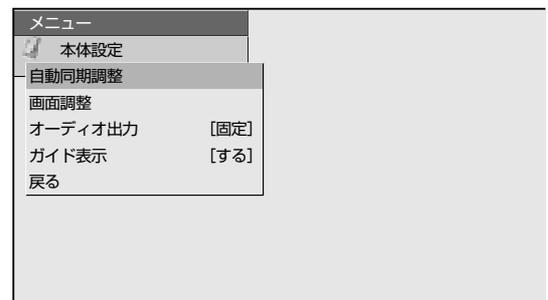
# PC入力の画面位置などの調整

## 自動同期調整で最適な画面にする

「自動同期調整」とは
- 最適なコンピューター画面表示を得るための調整機能です。自動的に画面の位置などが調整されます。

扉を開けたところ

- つぎのような映像信号では自動調整により最適な画面にならないことがあります。
  －動きのある映像
  －画面全体が1色になっているなど、起伏の少ない映像
  ご注意ください。
- 映像信号、PCによっては自動調整だけでは最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。（**91**ページ参照）

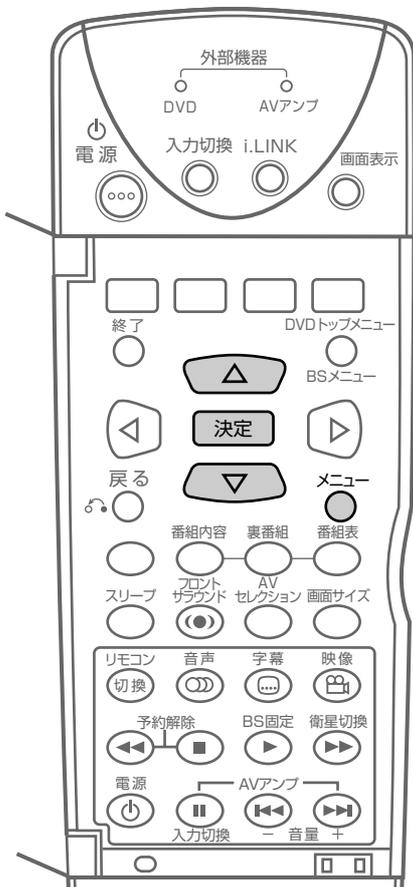
**1** メニュー ○ **を押し、メニュー画面を表示する**

**2** △ ▽ **で「本体設定」を選び、** 決定 **を押す**

**3** △ ▽ **で「自動同期調整」を選び、** 決定 **を押す**

- 「自動同期調整中」が表示され、自動同期調整が実行されます。
- 自動調整が終了すると、「映像の調整をしました。」と表示されます。
  正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。

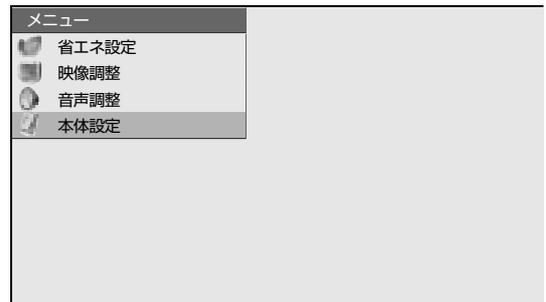
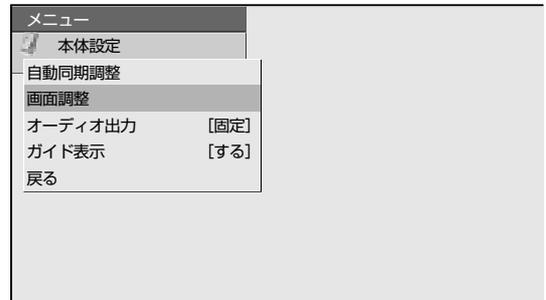
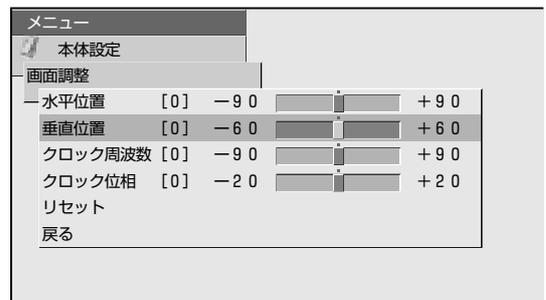
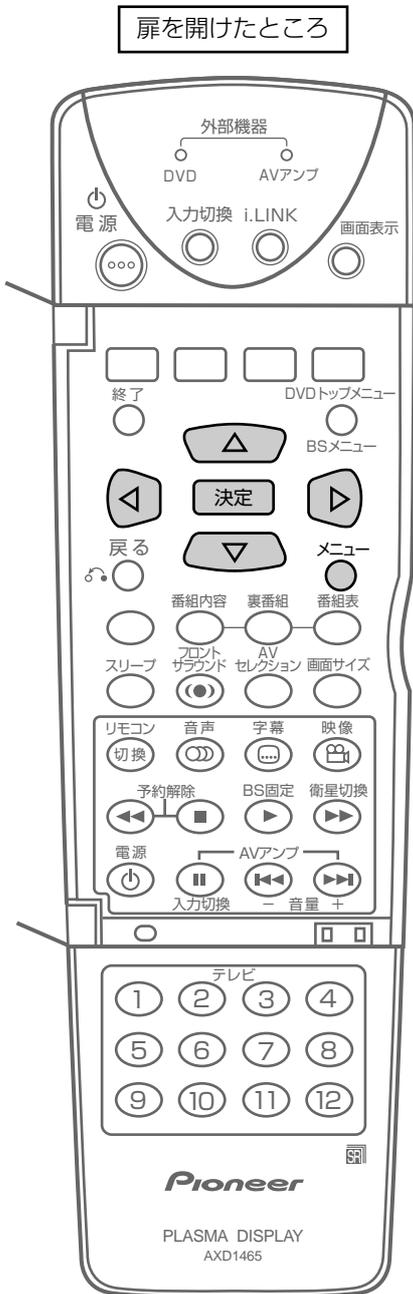
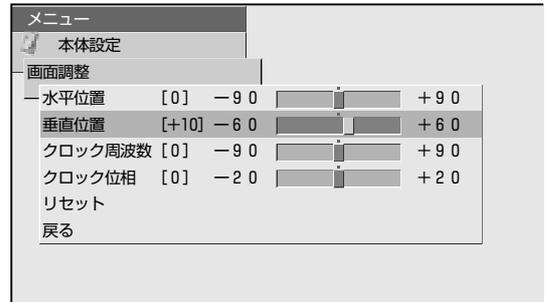
**4** メニュー ○ **を押し、通常画面に戻す**

## 手動で最適な画面に調整する

「画面調整」とは
- コンピューター画面の表示位置や映り具合を最適化するための機能で、つぎの調整項目があります。
  「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
  「クロック周波数」… 縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
  「クロック位相」… 文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。

扉を開けたところ

＜例＞画面の垂直位置を調整する

**1** （メニュー）を押し、メニュー画面を表示する

**2** △ ▽ で「本体設定」を選び、決定 を押す

**3** △ ▽ で「画面調整」を選び、決定 を押す

**4** △ ▽ で「垂直位置」を選ぶ

# PC入力の画面位置などの調整(つづき)

## 5 ◁ ▷ で適切な位置に調整する

### 各項目の調整範囲

| 水平位置 | −90 ～ +90 |
|---|---|
| 垂直位置 | −60 ～ +60 |
| クロック周波数 | −90 ～ +90 |
| クロック位相 | −20 ～ +20 |

## 6  を押し、通常画面に戻す



おしらせ

**調整した値を元に戻したいとき**

① 手順**4**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

- 「初期設定に戻しました。」と表示されます。

# 画面サイズの自動最適化（機能切換）

## 画面サイズが自動的に最適化されるよう設定する

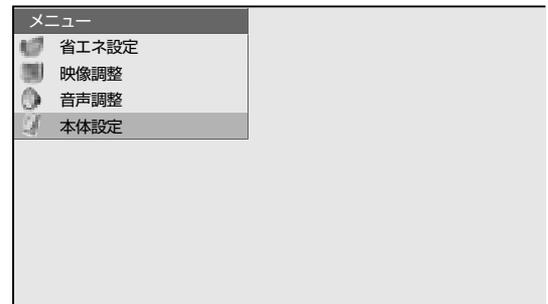
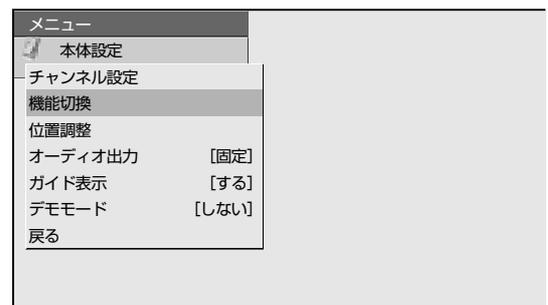
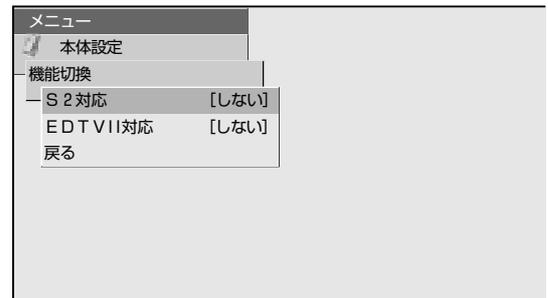
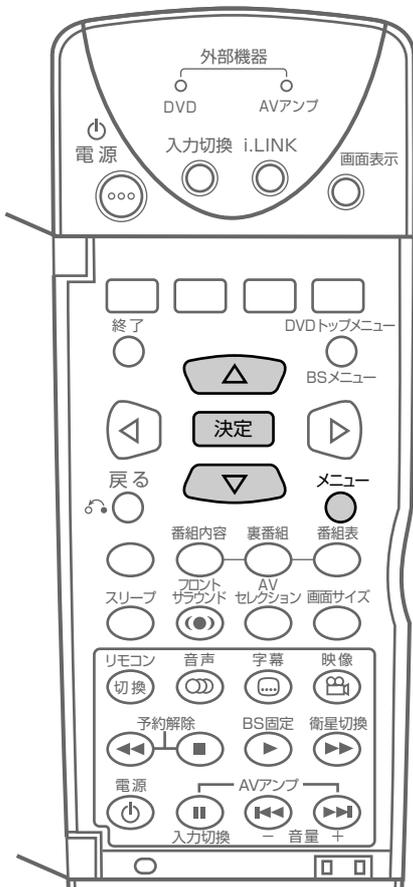
■つぎの2つの画面サイズ自動設定機能の入／切をメニューで設定できます。

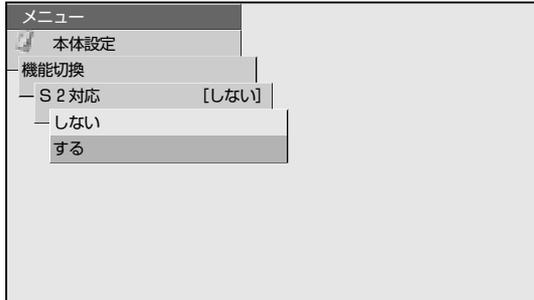
「S2対応」…… S2入力端子からの映像に画面サイズ制御信号が含まれている場合、自動的に最適なサイズで表示する機能です。
「EDTVII対応」… ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。（水平高画質化機能はありません。）

扉を開けたところ

＜例＞S2映像入力端子からの映像に画面サイズ制御信号が含まれている場合、自動的に最適なサイズで表示する

**1** メニュー を押し、メニュー画面を表示する

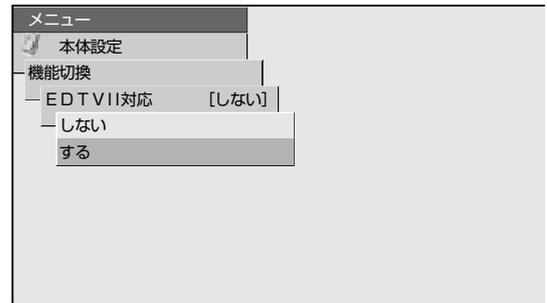
**2** △ ▽ で「本体設定」を選び、決定 を押す

**3** △ ▽ で「機能切換」を選び、決定 を押す

**4** △ ▽ で「S2対応」を選び、決定 を押す

# 画面サイズの自動最適化（機能切換）(つづき)

**5** △ ▽ で「する」を選び、決定を押す

**6** メニュー ○ を押し、通常画面に戻す

## EDTVII対応の設定のしかた

**1** 93ページの手順1～3を行う

**2** △ ▽ で「EDTVII対応」を選び、決定を押す

**3** △ ▽ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

**4** メニュー ○ を押し、通常画面に戻す

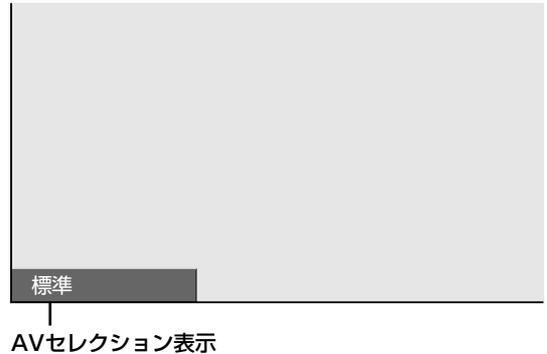
# お好みの映像・音声で楽しむ

## 最適な映像・音声設定を選ぶ（AVセレクション）

AVセレクションとは
- 部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声調整に設定する機能です。

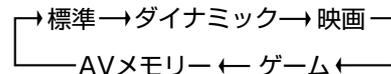
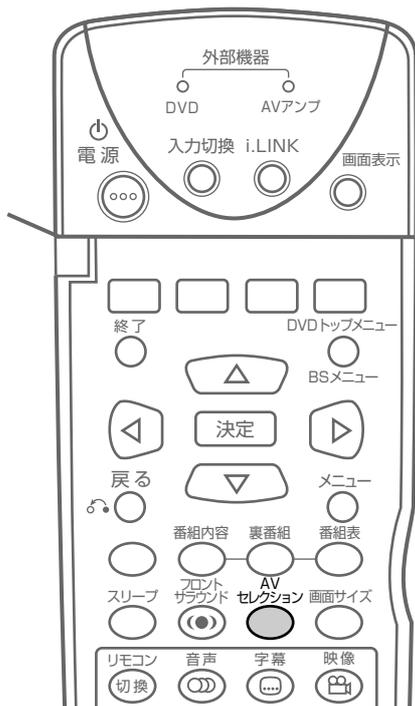
| | |
|---|---|
| 「標準」…………… | 画質・音質の設定がすべてセンター値になります。 |
| 「ダイナミック」… | くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組を迫力にあふれたものにします。 |
| 「映画」…………… | コントラスト感を抑え、暗い映像を見やすくします。 |
| 「ゲーム」………… | テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。 |
| 「AVメモリー」…… | 各入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。 |

### 1 AVセレクションを押す

- 画面左下に現在のAVセレクションが表示されます。

AVセレクション表示

### 2 再びAVセレクションを押し、お好みの設定を選ぶ

- ボタンを押すたびに、映像・音声設定がつぎのように切り換わります。

→標準→ダイナミック→映画→AVメモリー→ゲーム→（標準へ戻る）

おしらせ
- PC入力時は「標準」と「AVメモリー」のみ選択できます。

# お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

## 映像調整について

■「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさなど、お好みの状態に調整する機能です。
テレビ／ビデオ入力とPC入力は、別の調整項目になっています。
テレビ／ビデオ入力には、より細かい項目まで調整できる「プロ設定」があります。
■調整したい映像・音声設定(AVセレクション)を選んでから、映像調整の操作を行います。
■AVセレクションを「標準」に設定しているときは調整できません。AVセレクションボタンで「標準」以外に設定してから調整を行ってください。

テレビ／ビデオ入力での調整項目

PC入力での調整項目

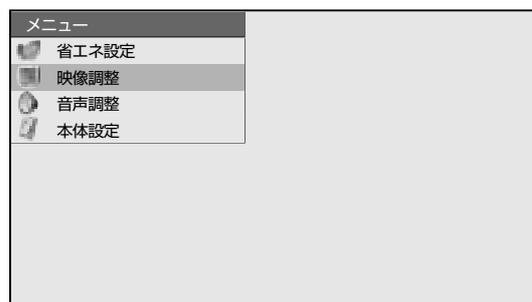
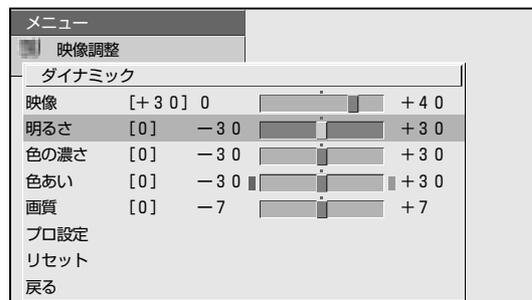
| 項　目 | 内　容 | 設　定 |
|---|---|---|
| 色温度 | 色温度を調整します。 | 高/高-中/中/中-低/低 |
| ピュアシネマ | フィルム収録のDVD映像などを高画質に再生します。 | しない/する |
| 黒伸長 | 映像の暗い部分の強調度合いを調整し、奥行き感を変化させます。 | しない/強/弱 |
| 3次元設定 | 映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。 | 標準/動画より/静止画より |
| モノクロ | 白黒映像にします。 | しない/する |

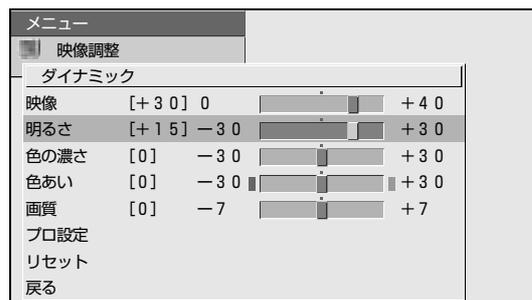
## お好みの映像に調整する

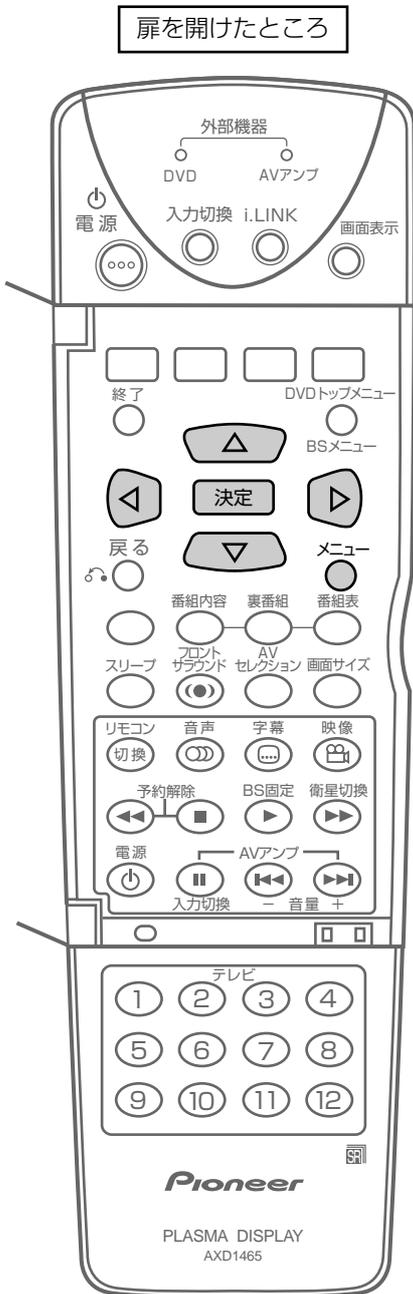
扉を開けたところ

<例>AVセレクションを「ダイナミック」に設定しているときに、「明るさ」を調整する

**1** メニュー ○ **を押し、メニュー画面を表示する**

**2** △ ▽ **で「映像調整」を選び、** 決定 **を押す**

**3** △ ▽ **で「明るさ」を選ぶ**

**4** ◁ ▷ **で、お好みの明るさに調整し、** 決定 **を押す**

● 続けて他の項目を調整したいときは、手順**3**〜**4**をくり返します。

扉を開けたところ

## 5  を押し、通常画面に戻す

おしらせ

**工場出荷時の設定に戻したいとき**

① 手順**3**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

- 「初期設定に戻しました。」と表示されます。

## プロ設定の調整

■映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できる機能です。
調整できる項目については、**96**ページを参照してください。

扉を開けたところ

<例>黒伸長を「強」に設定する

**1**

**① 97ページの手順1と2を行う**

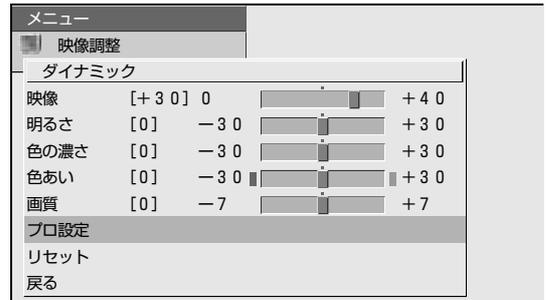
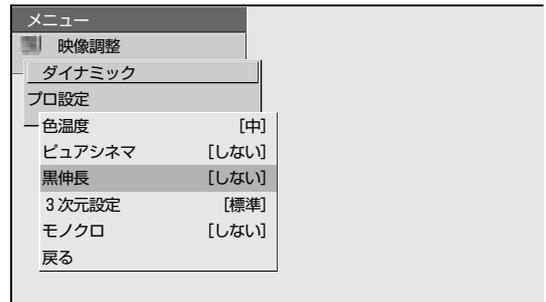
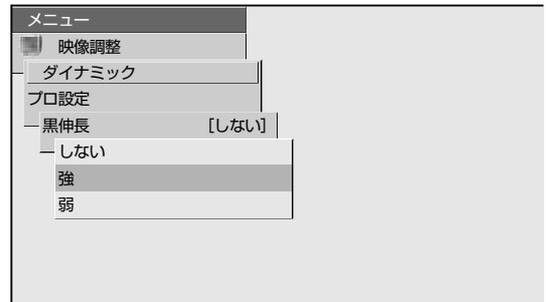
**② △ ▽ で「プロ設定」を選び、決定を押す**

**2**

**△ ▽ で「黒伸長」を選び、決定を押す**

**3**

**△ ▽ で「強」を選び、決定を押す**

メニュー
映像調整
ダイナミック
プロ設定
黒伸長 [しない]
しない
強
弱

● 続けて他の項目を調整したいときは、手順**2**〜**3**をくり返します。

**4**

**メニューを押し、通常画面に戻す**

# お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

## 二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

■二重音声放送やステレオ放送のとき、音声ボタンで音声モードを切り換えることができます。

### チャンネル表示の色について

● 二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。

▼画面表示

二重音声放送のとき

ステレオ放送のとき

モノラル放送のとき

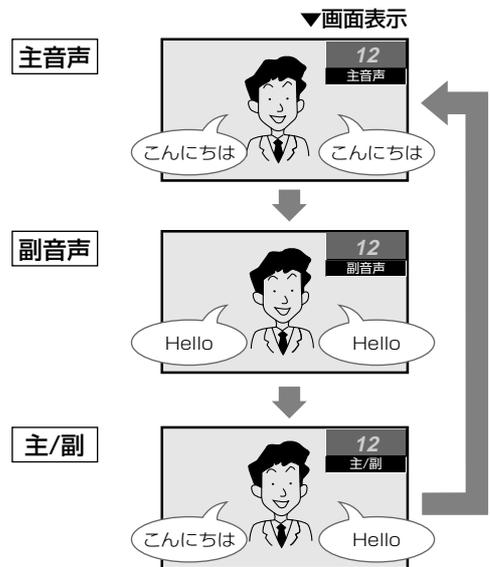
### 主音声と副音声について

● ニュースや洋画などの二カ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の2種類の音声が楽しめます。

扉を開けたところ

## 二重音声放送の音声切換

**1** **音声 で、お好みの音声を選ぶ**

● ボタンを押すごとに、つぎのように切り換わります。

## ステレオ放送の音声切換

■ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

**1** **雑音が多いときは、****で「モノラル」にする**

● 画面右上のチャンネル表示の下に「モノラル」と表示されます。

● 「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。

おしらせ

● 音声ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
ステレオ音声で聞くときは、再度ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。

● BSデジタル放送は「モノラル」への切換えができません。

# お好みの音声に調整する

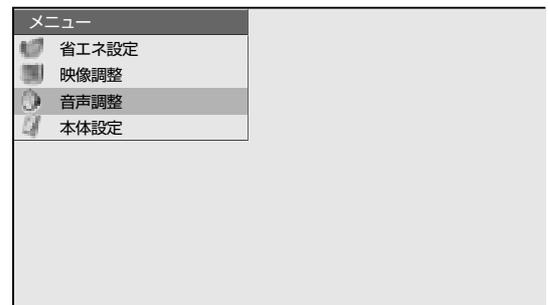
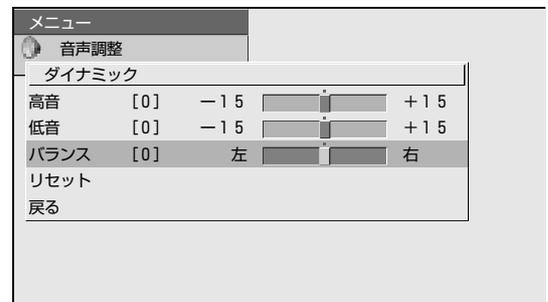
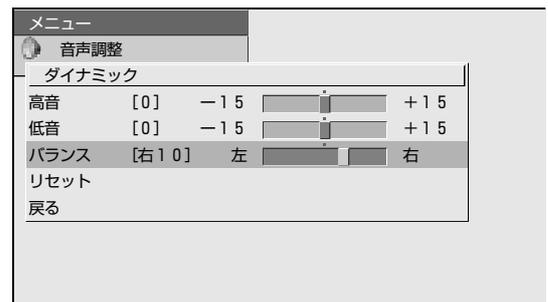
音声調整について

- 「高音」「低音」「バランス」の3つの項目をお好み に合わせて調整できます。
  調整したい映像・音声設定（AVセレクション） を選んでから、音声調整の操作を行います。

扉を開けたところ

<例>AVセレクションを「ダイナミック」に設定しているときに、「バランス」を調整する

**1** メニュー を押し、メニュー画面を表示する

**2** △ ▽ で「音声調整」を選び、決定を押す

**3** △ ▽ で「バランス」を選ぶ

**4** ◁ ▷ で、お好みの位置に調整する

- 続けて他の項目を調整したいときは、手順**3**〜**4**をくり返し、最後にメニューボタンを押して通常画面に戻します。

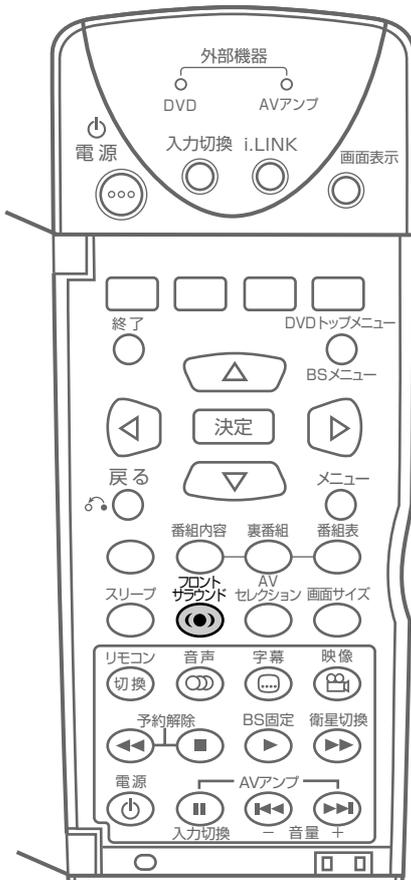
# お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

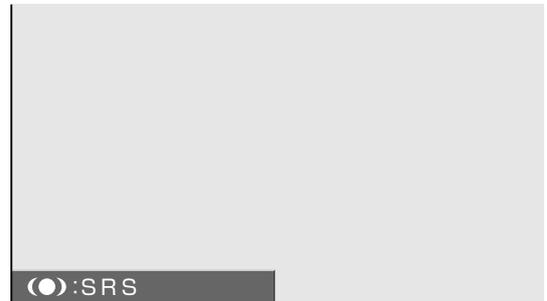
## サラウンド音声で聞く

■3つのサラウンドモードから選んで、お好みのサラウンド効果をお楽しみいただけます。
「オフ」を選ぶと通常の音声になります。

| | |
|---|---|
| 「SRS」…………… | 効果の大きな立体サウンドが再現できます。 |
| 「FOCUS」……… | 音が聞こえてくる垂直方向(音像定位)を変えることができます。 |
| 「FOCUS+SRS」… | 2つの方式を併用することにより、立体サウンドの効果がアップします。 |

※ FOCUS by SRS はSRS Labs, Inc.の商標です。

扉を開けたところ

### 1 フロントサラウンドボタンを押す

● 画面左下に現在のサラウンドモードが表示されます。

### 2 再びフロントサラウンドボタンを押し、お好みのモードを選ぶ

● ボタンを押すたびに、サラウンドモードがつぎのように切り換わります。

## オーディオ出力を設定する

■モニター出力からの音声出力を「固定」または「可変」に設定する機能です。
■「可変」に設定したとき、音量表示は下図のようになります。

「固定」……モニター出力からの音声出力が一定の音量で出力されます。
「可変」……モニター出力からの音声出力を調整することができます。
スピーカーからの音声は消音状態となります。

扉を開けたところ

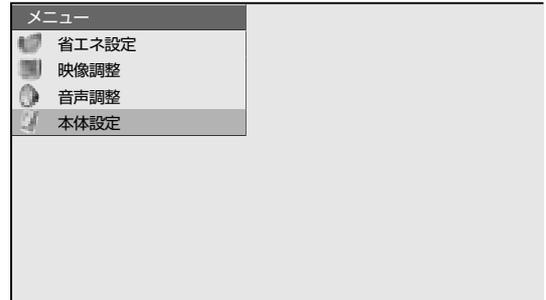
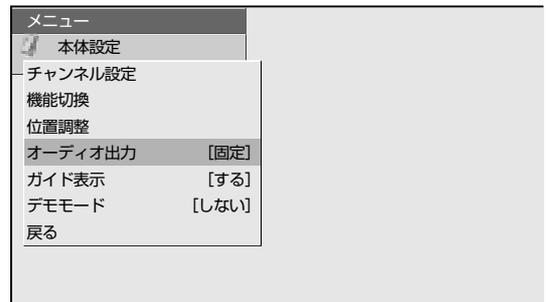
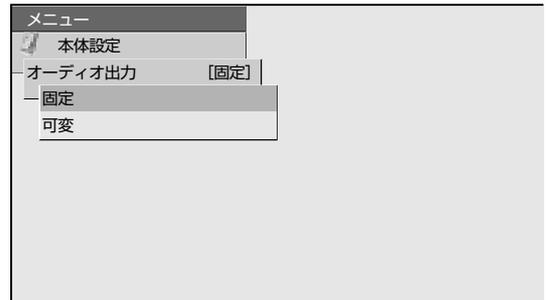
**1** メニュー ○ を押し、メニュー画面を表示する

**2** △ ▽ で「本体設定」を選び、決定を押す

**3** △ ▽ で「オーディオ出力」を選び、決定を押す

**4** △ ▽ で「固定」または「可変」を選び、決定を押す

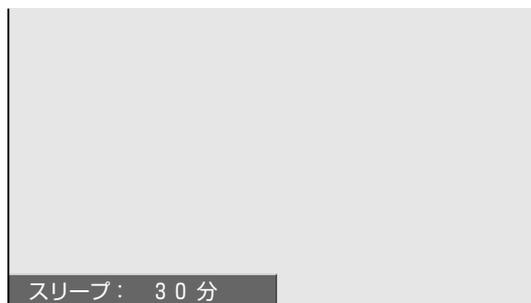
**5** メニュー  を押し、通常画面に戻す

おしらせ
- 「可変」に設定し、モニター出力レベルを調整する場合は、スピーカーの音量を変えるときと同じように、音量+/−ボタンで調整します。
- 「可変」「固定」の設定にかかわらず、ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。

# 指定した時間後に本機の電源を切る（スリープ機能）

## スリープ機能を使う

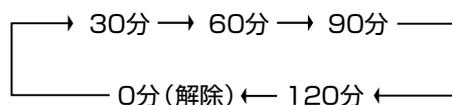
■「スリープ機能」を使うと、指定した時間後に本機の電源を切ることができます。テレビを見ながら就寝するときなどに便利です。

**1** スリープを押す

● スリープ機能の設定時間が表示されます。

● スリープ機能がすでに設定されている場合は、残り時間が表示されます。

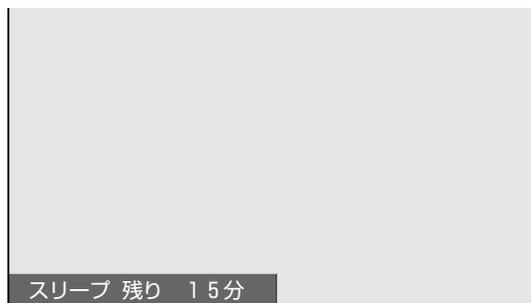
**2** 再びスリープを押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

● ボタンを押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

→ 30分 → 60分 → 90分 → 120分 → 0分（解除） →

## スリープ機能の残り時間を見るには

**1** スリープを押す

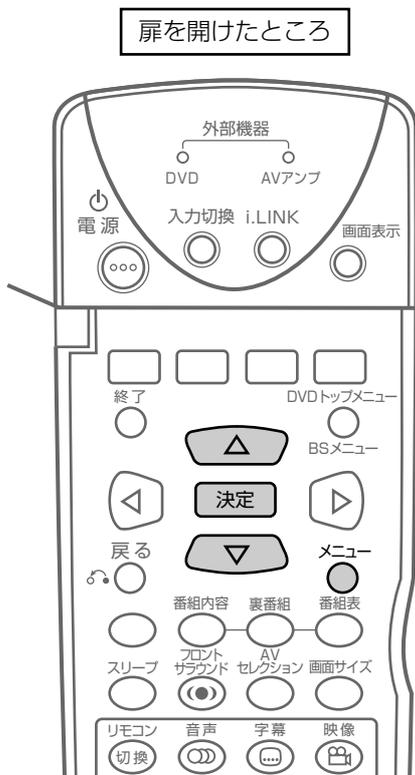
● 残り時間が表示されます。

スリープ 残り 15分

# 便利な省エネ機能

## 省エネ機能の設定のしかた

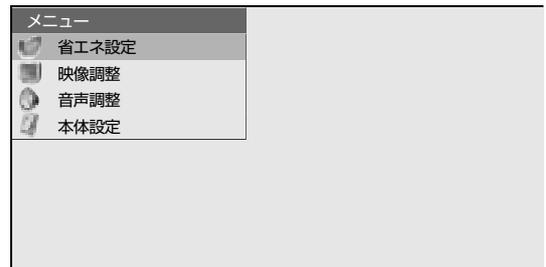
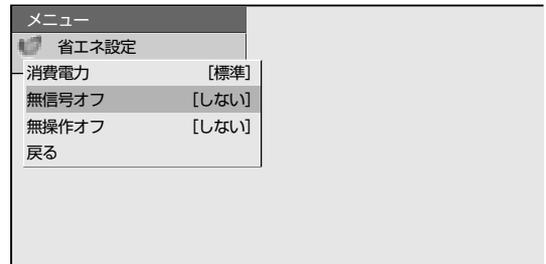
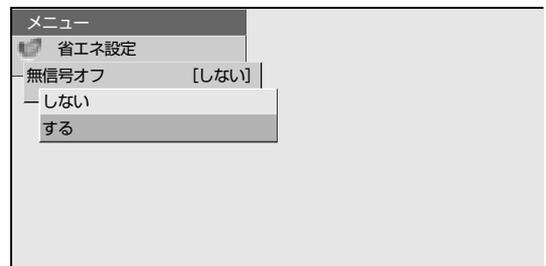
■省エネ機能は節電に役立つ機能です。
つぎの4種類の項目を設定できます。

| | |
|---|---|
| 「消費電力」……… | 消費電力を抑えられる「省エネ」モードがあります。 |
| 「無信号オフ」……<br>(テレビ／ビデオ入力) | 無信号になったとき、約15分後に自動的に電源が切れる機能です。 |
| 「無操作オフ」……<br>(テレビ／ビデオ入力) | 操作しない時間が3時間経過すると、自動的に電源が切れる機能です。 |
| 「パワーマネジメント」…<br>(PC入力) | PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れる機能です。（**106**ページ参照） |

扉を開けたところ

<例>テレビ／ビデオ入力で無信号オフを「する」に設定する

**1** メニュー◯ **を押し、メニュー画面を表示する**

**2** △ ▽ **で「省エネ設定」を選び、** 決定 **を押す**

**3** △ ▽ **で「無信号オフ」を選び、** 決定 **を押す**

**4** △ ▽ **で「する」を選び、** 決定 **を押す**

● 他の省エネ機能を設定したいときは、手順**3**～**4**をくり返します。

**5** メニュー◯ **を押し、通常画面に戻す**

おしらせ

**無信号オフ機能について**

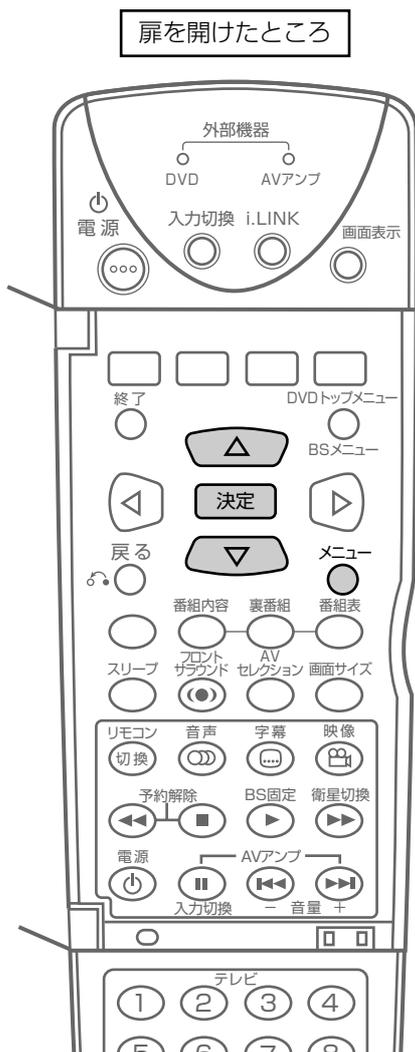
● 放送が終了しても他局の放送や電波が混入すると、正しく動作しない場合があります。
● 受信状態が弱くなり電源が切れてしまうときは、設定を「しない」にしてください。

# 便利な省エネ機能(つづき)

## PC入力の省エネ機能の設定

■PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定することができます。(パワーマネジメント)

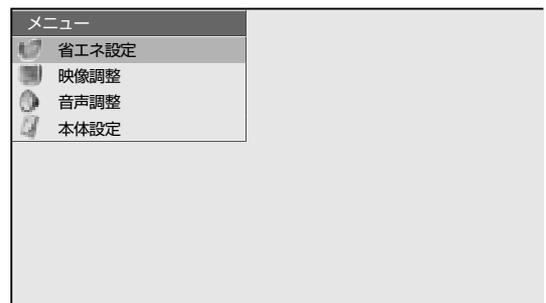
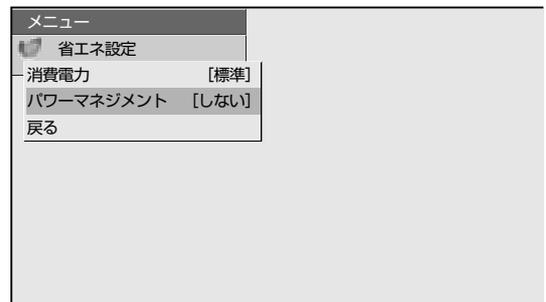
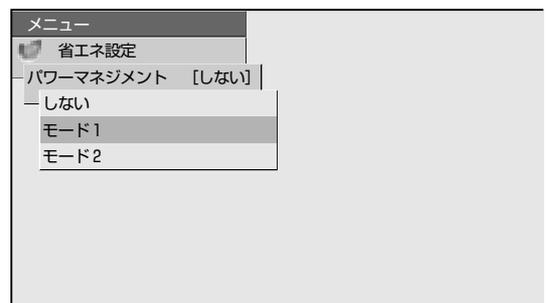
「しない」………パワーマネジメントを行いません。
「モード1」…… 無信号になったとき、約8分後に自動的に電源が切れる機能です。
「モード2」…… 無信号の状態が8秒間続くと、自動的に電源が切れる機能です。再び信号を受けると電源が入ります。

扉を開けたところ

<例>パワーマネジメントを「モード1」に設定する

**1** (メニュー)を押し、メニュー画面を表示する

**2** (△)(▽)で「省エネ設定」を選び、(決定)を押す

**3** (△)(▽)で「パワーマネジメント」を選び、(決定)を押す

**4** (△)(▽)で「モード1」を選び、(決定)を押す

**5** (メニュー)を押し、通常画面に戻す

# BSデジタル放送を楽しむ

# BSデジタル放送について

## BSデジタル放送の特長

情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが可能です。

**多チャンネルのデジタルハイビジョン放送**

いままでのBS(アナログ)放送では、ハイビジョン放送が1チャンネルだけでしたが、BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルに増えました。(2001年8月現在)

**データ放送**

静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。

- 本機ではデータ放送番組を表示する際、データ放送事業者が提供する番組の表示画面と一部異なる場合があります。

**ラジオ放送**

CD並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

**電子番組表(EPG)**

BSデジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表(EPG)です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

**新しい放送サービス**

BSデジタル放送では、マルチビューサービスや臨時編成サービス(**111**ページ参照)など、従来のテレビ放送になかった、新しい便利な放送サービスも可能となりました。

- マルチビューサービス、臨時編成サービスは、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

## BSデジタル放送のチャンネル番号表

BSデジタル放送では、チャンネル番号が3桁になっています。

100番台〜200番台のチャンネル番号 ･････････テレビ放送のチャンネル番号
300番台〜500番台のチャンネル番号 ･････････ラジオ放送のチャンネル番号
600番台〜900番台のチャンネル番号 ･････････独立データ放送のチャンネル番号

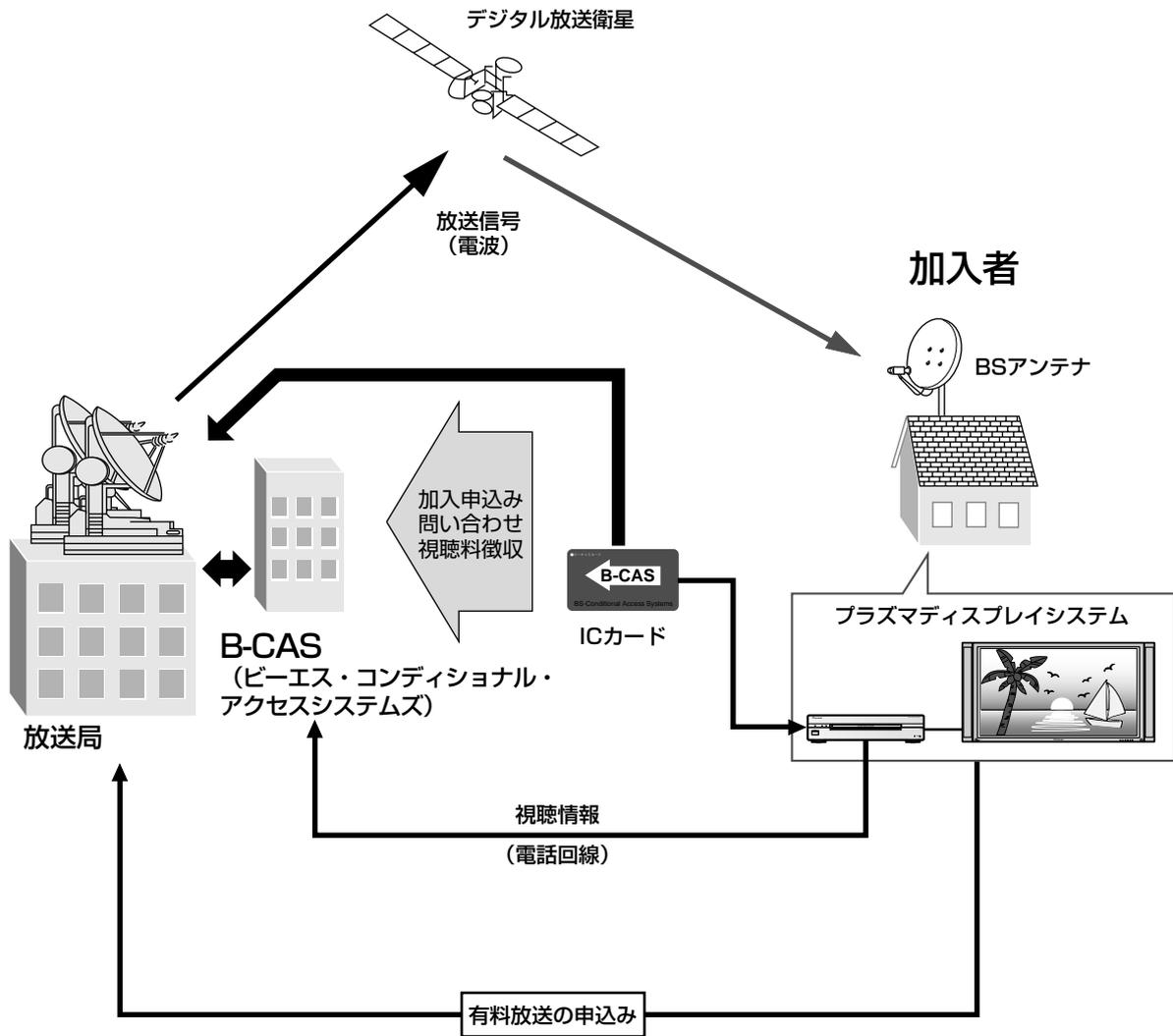
### BSデジタル放送のチャンネル番号一覧表

| | 委託放送事業者 | チャンネル番号 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | テレビ放送 | ラジオ放送 | 独立データ放送 |
| 統合(テレビ／ラジオ／データ) | NHK BS1 | 101 | なし | 700〜709 |
| | NHK BS2 | 102 | なし | 700〜709 |
| | NHK ハイビジョン | 103<br>(臨時編成サービス時：104、105) | なし | 700〜709 |
| | BS日テレ | 140〜143、145〜149<br>(臨時編成サービス時：144) | 440〜449 | 740〜749 |
| | BS朝日 | 150〜157<br>(臨時編成サービス時：158、159) | 450〜459 | 750〜759 |
| | BS-i | 160〜168<br>(臨時編成サービス時：169) | 460〜469 | 760〜769 |
| | BSジャパン | 170〜179<br>(臨時編成サービス時：未定) | 470〜479 | 770〜779 |
| | BSフジ | 180〜187<br>(臨時編成サービス時：188、189) | 488、489 | 780〜789 |
| | WOWOW | 191、192、193<br>(臨時編成サービス時：198、199) | 491、492 | 790〜799 |
| | スターチャンネル | 200〜209 | なし | 800〜809 |
| ラジオ／データ | BSC | なし | 300、301 | なし |
| | ミュージックバード | なし | 310〜319 | 610〜619 |
| | JFNサテライト | なし | 320〜329 | 620〜629 |
| | セント・ギガ | なし | 330〜339 | 630〜639 |
| データのみ | メガポート放送 | なし | なし | 900〜909 |
| | ウェザーニューズ | なし | なし | 910〜919 |
| | DCI | なし | なし | 930〜939 |
| | 日本データ放送 | なし | なし | 940〜949 |
| | メディアサーブ | なし | なし | 950〜959 |
| | 日本メディアーク | なし | なし | 960〜969 |
| | 日本ビーエス放送 | なし | なし | 990〜999 |

(2001年8月現在)

(臨時編成サービス：**111**ページをご覧ください。)

# BSデジタル放送について(つづき)

## 放送サービスのイメージ

## その他の特長

BSデジタル放送では、チャンネル編成のしかたが新しく決められたため、つぎのような今までになかった便利なサービスが可能です。

**臨時編成サービス**

野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

**マルチビューサービス**

1つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像を1つのチャンネルで放送することができます。

**降雨対応放送**

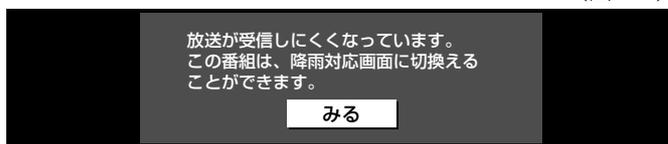
BSデジタル放送では衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受けられなくなることがあります。これを避けるため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容を途切れなく視聴できるサービスが「降雨対応放送」です。
図－1の表示が出たときに、画面を小さくして番組を見ることができます。

おしらせ
- 臨時編成サービス、マルチビューサービス、降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

### 降雨対応放送への切換え方法

降雨等によって受信しにくくなったとき、降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。（図ー1）
リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。（図ー2）

（図ー1）

放送が受信しにくくなっています。
この番組は、降雨対応画面に切換える
ことができます。
みる

降雨対応放送の画像イメージ　（図ー2）

- 降雨対応画面から通常画面に戻すには、リモコンの映像ボタン(🎥)を押してください。

# BSメニュー画面について

本機は、暗証番号の設定や予約録画の設定など、各種設定の変更や確認、また受信した各種データの表示などをBSメニューから選択して行います。操作手順の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

## 基本操作
（リモコン扉内のボタン）

BSメニューを表示する／終了する.... 

カーソルで選ぶ ..........   

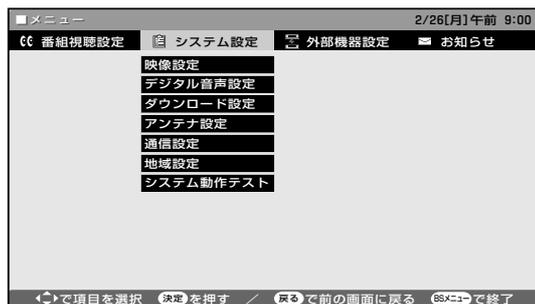
前に戻る ........................................ 戻る

決定する ...................... 決定

## メニューの構成

■メニュー
2/26[月]午前 9:00
番組視聴設定 システム設定 外部機器設定 お知らせ
映像設定
デジタル音声設定
ダウンロード設定
アンテナ設定
通信設定
地域設定
システム動作テスト
で項目を選択 決定を押す ／ 戻るで前の画面に戻る BSメニューで終了

### 番組視聴設定

BS固定設定 ............................ **165**ページ
字幕表示設定 .......................... **142**ページ
チャンネル表示設定 ................ **141**ページ
チャンネルスキップ設定......... **143**ページ
暗証番号設定 .......................... **158**ページ
視聴年齢制限設定 .................. **160**ページ
PPV設定 ................................ **161**ページ

### システム設定

映像設定 .................................. **164**ページ
デジタル音声設定 .................. **157**ページ
ダウンロード設定 .................. **166**ページ
アンテナ設定 .......................... **169**ページ
通信設定 .................................. **172**ページ
地域設定 .................................. **176**ページ
システム動作テスト ............ **182**ページ

### 外部機器設定

ビデオ連動録画設定............. **147**ページ
i. LINK設定 .......................... **150**ページ

### お知らせ

受信メッセージ一覧 ............ **178**ページ
受信機レポート .................... **179**ページ
ICカード番号表示 ................ **180**ページ
PPV購入履歴 ........................ **181**ページ

## 設定画面の表示

白で表示されている項目…………現在選択されている項目です。
黄色で表示されている項目………現在カーソルがある項目です。

# テレビ番組を選ぶ

BSデジタル放送には、無料放送と有料放送があります。有料放送を見るには、放送局との契約(**56**ページ)が必要になります。ここでは基本的なチャンネル選局の操作方法を説明します。

## BSチャンネルボタンで選ぶ

■リモコンのBSチャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録(設定)されており、ワンタッチ選局できます。
また、確認/登録ボタンを押すと、BSチャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。(**118**ページ参照)

**1**

**① テレビ を押し、テレビ放送を選ぶ**

- すでにテレビ放送を受信している場合は必要ありません。
- 最後に視聴していたテレビチャンネルが選局されます。

**② BSチャンネルボタンで選局する**

<例> NHK BS 1 を選ぶとき

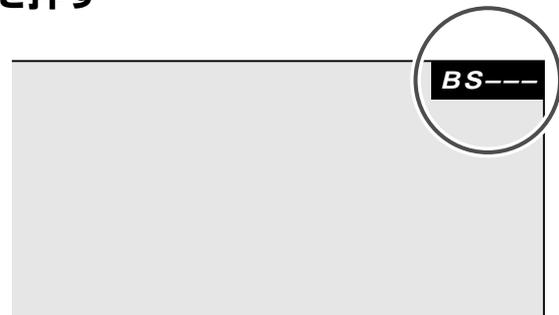
**NHK1 ① を押す**

## チャンネル番号入力で選ぶ

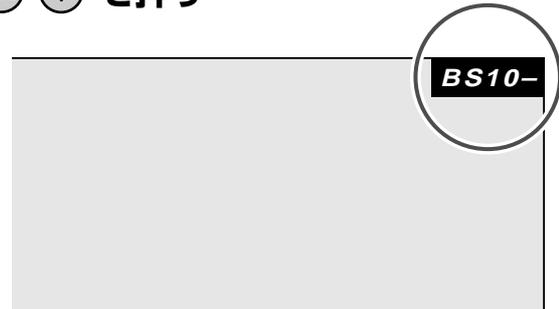
■お好みのチャンネル番号(3桁)を入力して選局できます。チャンネル番号表(**109**ページ)を参照してください。

**1**

**数字選局 BS を押す**

**2**

**数字ボタンでチャンネル番号を入力する**

<例>101チャンネルを選ぶとき

**① ⑩/0 ① を押す**

- 間違った番号を入力した場合は、再度BS数字選局ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

# テレビ番組を選ぶ(つづき)

## 選局＋/－ボタンで選ぶ

**1**

**① テレビ を押し、テレビ放送を選ぶ**

- すでにテレビ放送を受信している場合は必要ありません。
- 最後に視聴していたテレビチャンネルが選局されます。

**② ＋選局－ を押す**

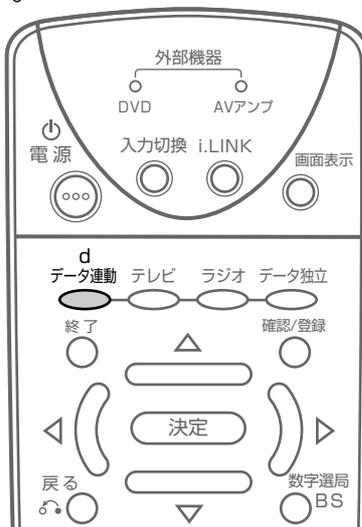
- 選局ボタンを押すごとに、つぎのようにチャンネルが切り換わります。

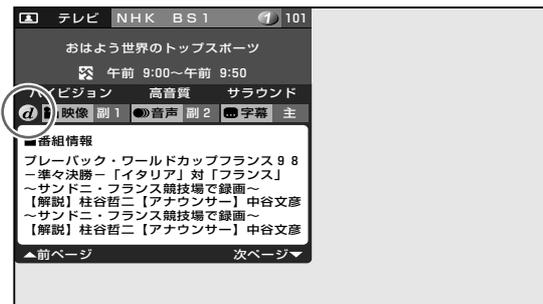
- あらかじめチャンネルスキップを設定しているチャンネルは飛びこして選局します。
- 工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

おしらせ

- ラジオ放送やデータ放送を視聴しているとき、テレビボタンを押すと、テレビ放送に戻ります。

## テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

■テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、リモコン扉内の番組内容ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「*d*」が表示されています。

**1**

**d データ連動 を押す**

（連動データ放送のイメージ図）

# 映像・音声の切り換えかた

主映像と副映像(最大3つ)、また主音声と副音声(最大7つ)がある番組をご覧のとき、主・副の映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

## 主・副映像を楽しむ

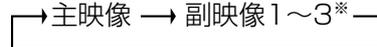
■主・副映像のある番組をご覧のとき、番組内容ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「映像」が表示されています。

扉を開けたところ

1

### 映像 を押し、映像を切り換える

● ボタンを押すたびに、つぎのように映像が切り換わります。

→主映像 → 副映像1〜3※

※番組によって副映像の数は異なります。

## 主・副音声を楽しむ

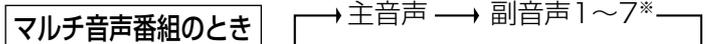
■主・副音声のある番組をご覧のとき、番組内容ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「音声」が表示されています。

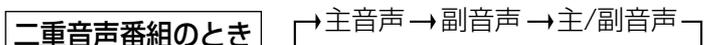
扉を開けたところ

1

### 音声 を押し、音声を切り換える

● ボタンを押すたびに、つぎのように音声が切り換わります。

マルチ音声番組のとき　→主音声 → 副音声1〜7※

※番組によって副音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主音声 →副音声 →主/副音声

● マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、主音声が選択されます。

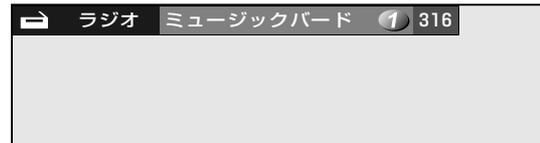
# ラジオ番組を選ぶ

## BSチャンネルボタンで選ぶ

**1**

**① ラジオ を押し、ラジオ放送を選ぶ**

- すでにラジオ放送を受信している場合は必要ありません。
- 最後に視聴していたラジオチャンネルが選局されます。

**② BSチャンネルボタンで選局する**

- リモコンのBSチャンネルボタンに登録されている放送局は、確認/登録ボタンを押すと確認できます。（工場出荷時の設定チャンネルについては、**118**ページをご覧ください。）

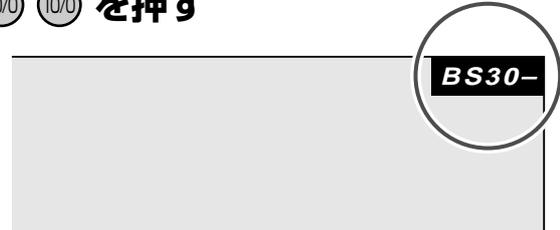
## チャンネル番号入力で選ぶ

**1**

**① 数字選局 BS を押す**

**② 数字ボタンでチャンネル番号を入力する**

<例>300チャンネルを選ぶとき

 **を押す**

- ラジオ放送のチャンネルについては、**109**ページのチャンネル番号表をご覧ください。

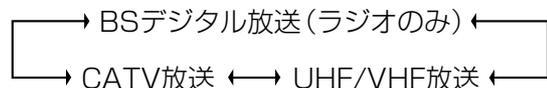
## 選局＋/−ボタンで選ぶ

**1**

**① ラジオ を押し、ラジオ放送を選ぶ**

- すでにラジオ放送を受信している場合は必要ありません。
- 最後に視聴していたラジオチャンネルが選局されます。

**② 選局＋/− を押す**

- 選局ボタンを押すごとに、つぎのようにチャンネルが切り換わります。

- ラジオ放送を受信しているとき、ディスプレイの選局＋/−ボタンではテレビ番組のみ選局できます。

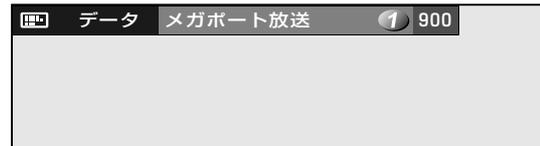
# データ番組を選ぶ

## BSチャンネルボタンで選ぶ

1

**① データ独立 を押し、独立データ放送を選ぶ**

- すでにデータ放送を受信している場合は必要ありません。
- 最後に視聴していたデータチャンネルが選局されます。

**② BSチャンネルボタンで選局する**

- リモコンのBSチャンネルボタンに登録されている放送局は、確認/登録ボタンを押すと確認できます。
（工場出荷時の設定チャンネルについては、**118**ページをご覧ください。）

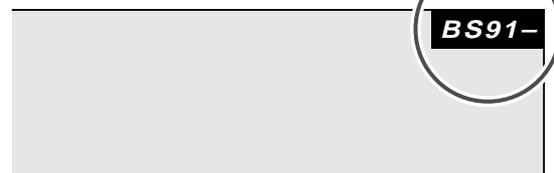
## チャンネル番号入力で選ぶ

1

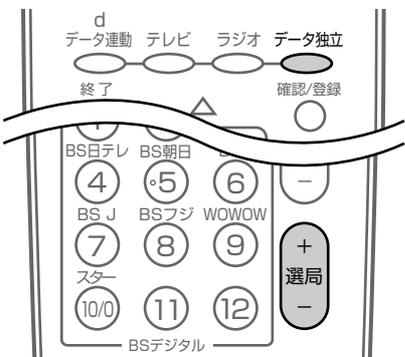
**① 数字選局BS を押す**

**② 数字ボタンでチャンネル番号を入力する**

<例>910チャンネルを選ぶとき

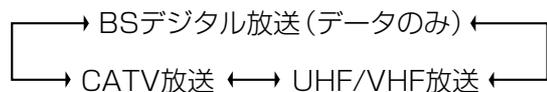
**⑨ ① ⑩/0 を押す**

- 独立データ放送のチャンネルについては、**109**ページのチャンネル番号表をご覧ください。

## 選局＋/－ボタンで選ぶ

1

**① データ独立 を押し、独立データ放送を選ぶ**

- すでにデータ放送を受信している場合は必要ありません。
- 最後に視聴していたデータチャンネルが選局されます。

**② ＋選局－ を押す**

- 選局ボタンを押すごとに、つぎのようにチャンネルが切り換わります。

おしらせ

- 独立データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。
- 独立データ放送を受信しているとき、ディスプレイの選局＋/－ボタンではテレビ番組のみ選局できます。
- 本機は、データ放送番組内のテレビ画面の縮小表示に完全には対応していません。（縮小されたテレビ画面の周辺部が表示されない場合があります。）
- 本機は、データ放送画面、字幕、文字スーパー画面の半透過表示に対応していません。（字幕、文字スーパーなどで、半透過色で番組が制作されている場合でも非透過色の表示となります。）

# BSチャンネルボタンに登録されている放送局を確認する

## 1 確認/登録 を押す

- 確認後、画面表示を消すには確認/登録ボタンか終了ボタンを押します。

## 工場出荷時に設定されているチャンネル一覧

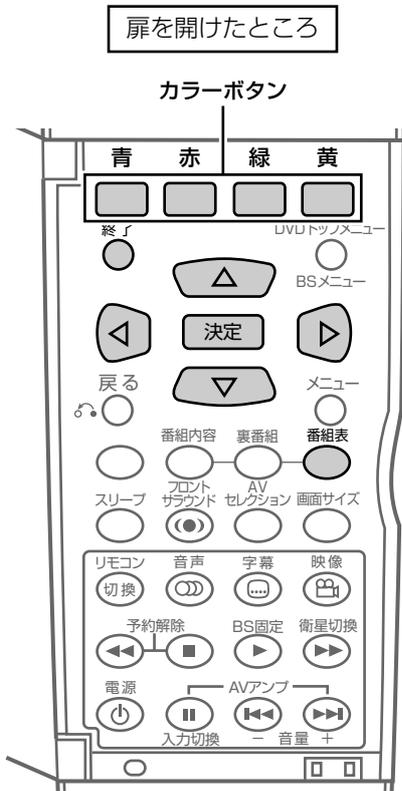
| チャンネルボタン | テレビボタンを押したとき | | ラジオボタンを押したとき | | データ独立ボタンを押したとき | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 放送局 | チャンネル番号 | 放送局 | チャンネル番号 | 放送局 | チャンネル番号 |
| ① | NHK BS1 | 101 | BSC | 300 | メガポート放送 | 900 |
| ② | NHK BS2 | 102 | ミュージックバード | 316 | ウェザーニューズ | 910 |
| ③ | NHK ハイビジョン | 103 | JFN衛星放送 | 320 | デジキャス933 | 933 |
| ④ | BS 日テレ | 141 | セントギガ | 333 | 日本データ放送 | 940 |
| ⑤ | BS 朝日 | 151 | BS 日テレラジオ | 444 | BS955 | 955 |
| ⑥ | BS-i | 161 | BSAラジオ | 455 | 日本メディアーク | 963 |
| ⑦ | BS ジャパン | 171 | BS-iラジオ | 461 | 日本ビーエス放送 | 999 |
| ⑧ | BS フジ | 181 | BS ジャパンラジオ | 471 | – | – |
| ⑨ | WOWOW | 191 | LFX488 | 488 | – | – |
| ⑩ | スターチャンネル | 200 | BS QR 489 | 489 | – | – |
| ⑪ | – | – | WOWOW WAVE1 | 491 | – | – |
| ⑫ | – | – | – | – | – | – |

（2001年8月現在）

- BSデジタル放送を視聴しているとき以外は、確認/登録ボタンを押しても、BSチャンネル確認／登録画面は表示されません。

# 電子番組表(EPG)の使いかた

BSデジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

## 1 BSデジタル放送を視聴中に 番組表 を押す

電子番組表(EPG)画面が表示されます。

## 2 △ ▽ ◁ ▷ で番組を選び、決定 を押す

**放送中の番組を選んだとき** ⇨ 選んだ番組が選局されます。

**未放送の番組を選んだとき** ⇨ 予約選択画面になります。(**127**ページ参照)

**電子番組表(EPG)画面を消すときは**
番組表 または 終了 を押します。

**基本**

- 現在カーソルのあるところが黄色で表示されます。
- 縦方向にカーソルを動かすときは上下カーソルボタンを使います。
- 横方向にカーソルを動かすときは左右カーソルボタンを使います。

**おしらせ**

- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表(EPG)に表示されるのは、BSデジタル放送の番組だけです。

**カラーボタンについて**

- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がなく、色のついていないカラーボタンは、押しても働きません。

### カラーボタンの機能について

青 (番組情報をみる)
番組情報が表示されます。

赤 (ジャンル検索)
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

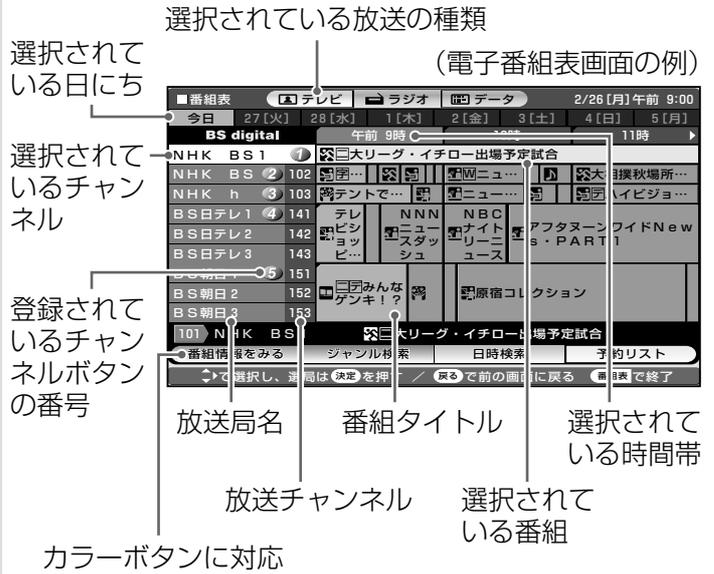
緑 (日時検索)
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄 (予約リスト)
予約した番組を一覧表示することができます。予約リストは予約の取消しや変更に使います。

# 電子番組表(EPG)で選ぶ

## 見たい番組を探す

扉を開けたところ

### 1 番組表を押し、電子番組表(EPG)を表示する

（電子番組表画面の例）

### 2 見たい番組を △ ▽ ◁ ▷ で選び、決定を押す

放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。（**127**ページ参照）

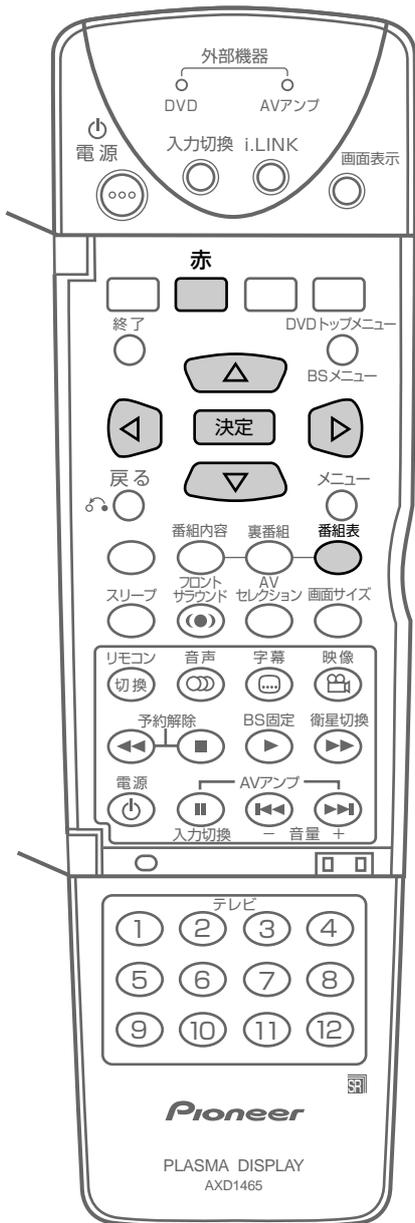
#### 電子番組表の表示内容

- テレビ放送……8日分
- ラジオ放送……3日分
- データ放送……最低1日分

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

## ジャンルで番組を探す

■番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

扉を開けたところ

**1** ① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 赤 （ジャンル検索）を押す

**2** 見たいジャンルを ◁ ▷ で選ぶ

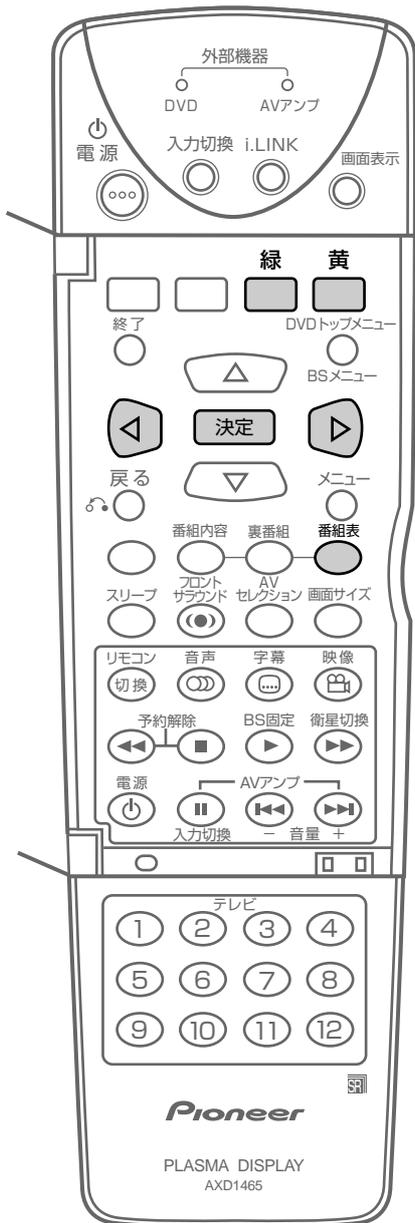
**3** 見たい番組を △ ▽ で選び、 決定 を押す

放送中の番組を選んだとき
　➪選んだ番組が選局されます。

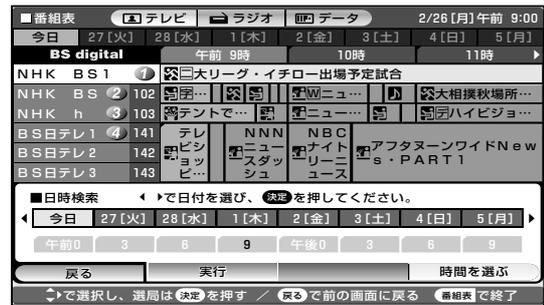
未放送の番組を選んだとき
　➪予約選択画面になります。（**127**ページ参照）

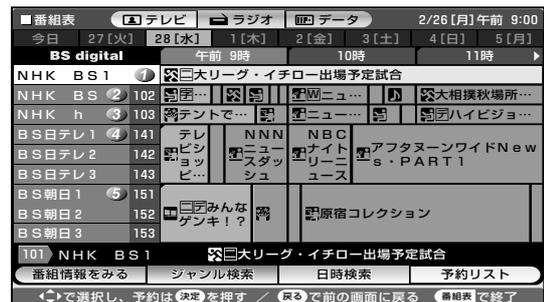
# 電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

## 日時を指定して番組を探す

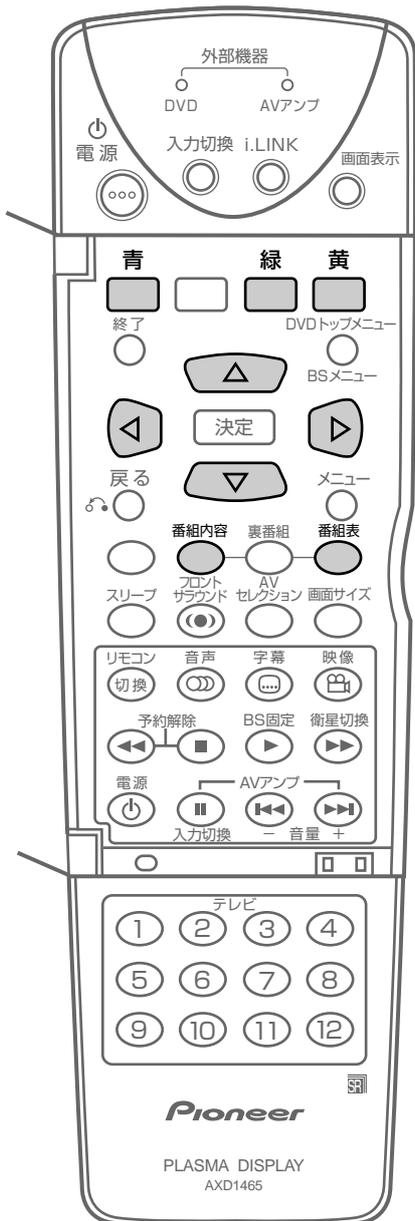
■日付と時間を指定して電子番組表を表示させることができます。

**1** ① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 緑 (日時検索)を押す

**2** ◁ ▷ で日にちを選び、黄 (時間を選ぶ)を押す

**3** ◁ ▷ で時間を選び、決定 を押す

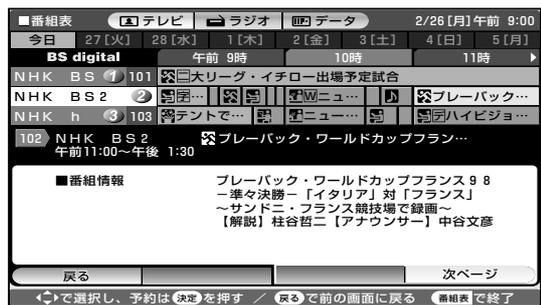
● 指定された日時の電子番組表が表示されます。

# 番組の内容を確認する

■未放送の番組の内容を知りたいとき、電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

扉を開けたところ

## 1 番組表を押し、電子番組表を表示する

## 2 内容を確認したい番組を △ ▽ ◁ ▷ で選ぶ

## 3 青（番組情報をみる）を押す

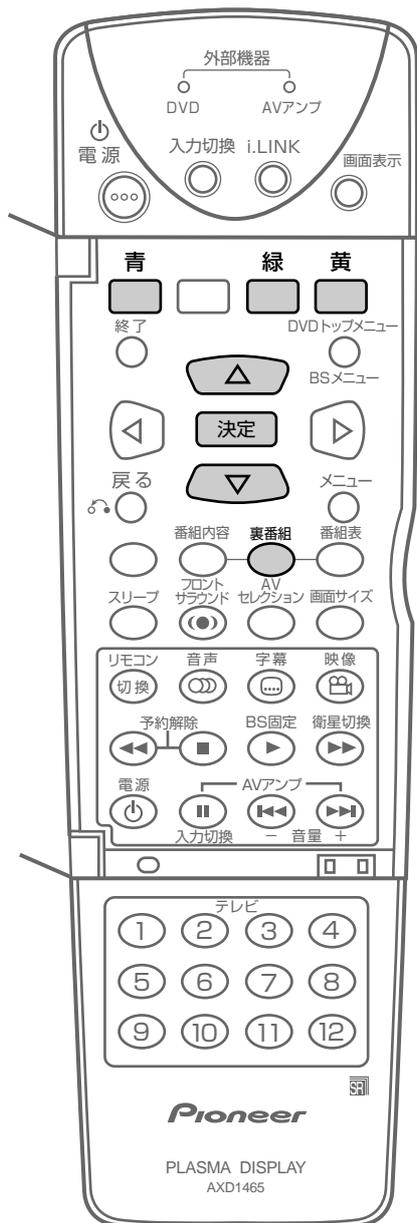
- 番組情報が表示されます。

- 黄ボタンを押すと、つぎのページを見ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

### 視聴中の番組の内容を見るには

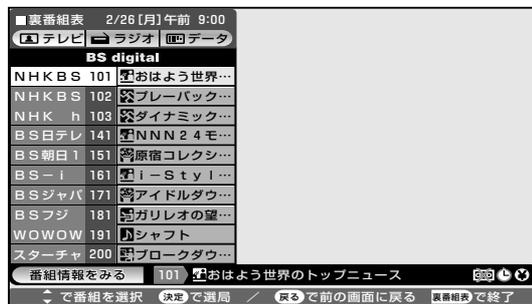
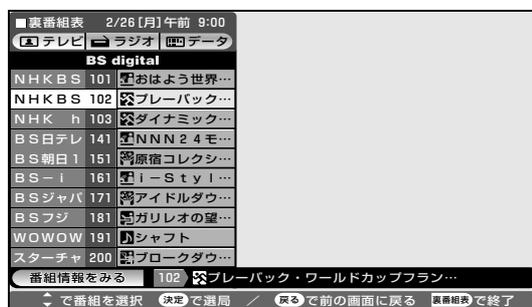
- 番組内容ボタンを押してください。
（電子番組表を表示する必要はありません。）

# 電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

## 放送中の他の番組を知りたいとき

扉を開けたところ

**1** 裏番組 を押し、裏番組表を表示する

**2** △ ▽ で番組を選ぶ

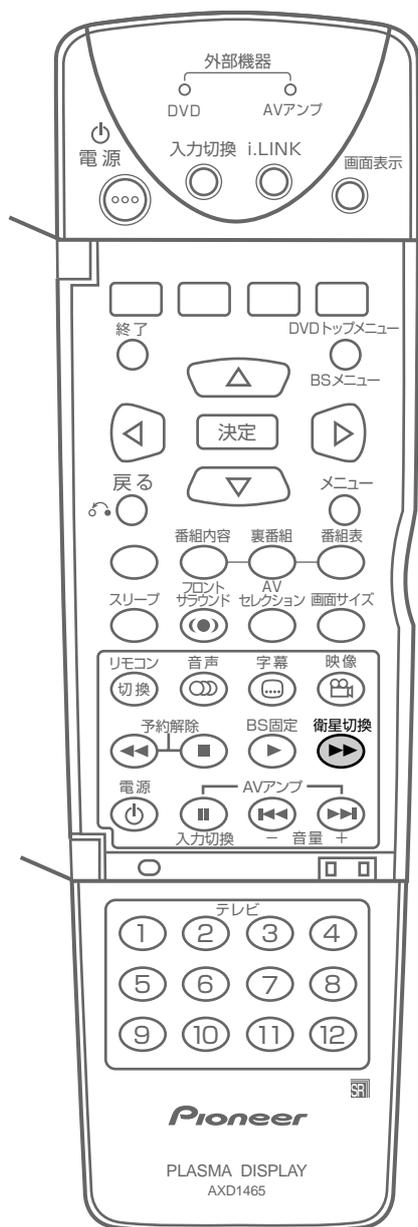
**3** 青 (番組情報をみる)を押す

- 選んだ番組の情報が表示されます。

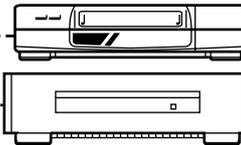
- 黄ボタンを押すと、つぎのページを見ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

- 選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。
- テレビ、ラジオ、データのいずれの放送についても、同じように裏番組表を表示することができます。

# 放送を切り換える（衛星切換）

衛星切換は、将来新しい放送やサービスが始まったときの拡張用機能です。
現在(2001年8月)は、操作できません。

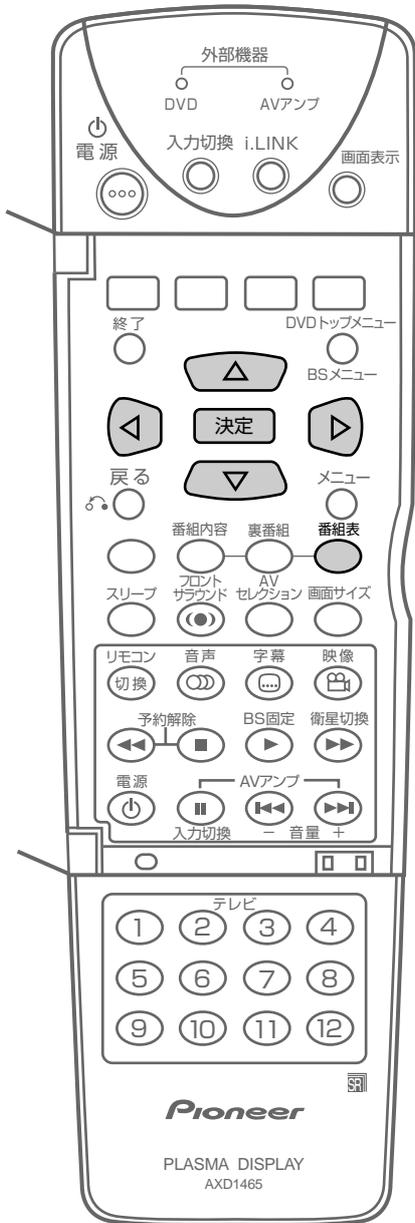
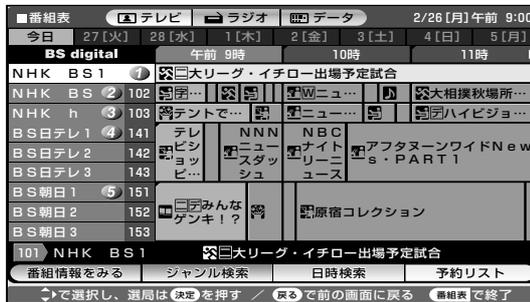
扉を開けたところ

# 電子番組表(EPG)から番組を予約する

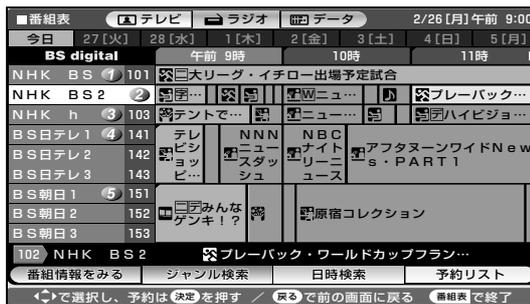
■本機は、BSデジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約することができます。
■予約には「視聴予約」と「録画予約」の2種類があります。

おしらせ

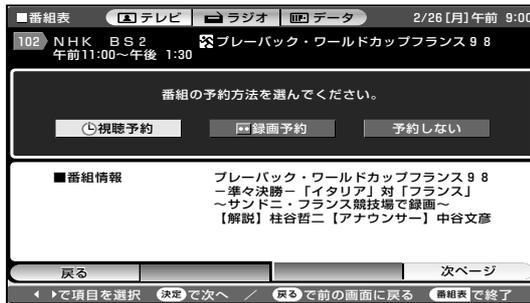
- データ番組はビデオ連動予約ができません。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行う放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、BSデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。操作を行う場合は、リモコン扉内の予約解除ボタンで(⏪と⏹を2つ同時に押して)予約を解除してから操作してください。
- リモコン扉内の予約解除ボタンは、リモコンをDVDモードに切り換えているときには予約解除ボタンとして使えません。
- 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

## 視聴予約か録画予約かを選ぶ

■電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約およびPPV(ペイパービュー)番組の録画予約ができます。

扉を開けたところ

**1** 番組表 を押し、電子番組表を表示する

● 翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定(**122**ページ)で番組表を表示させると便利です。

**2** 予約したい番組を △ ▽ ◁ ▷ で選ぶ

**3** 決定 を押す

● 予約選択画面になります。

「視聴予約」……視聴のみの予約となります。
視聴予約の手順(**128**ページ)に進みます。

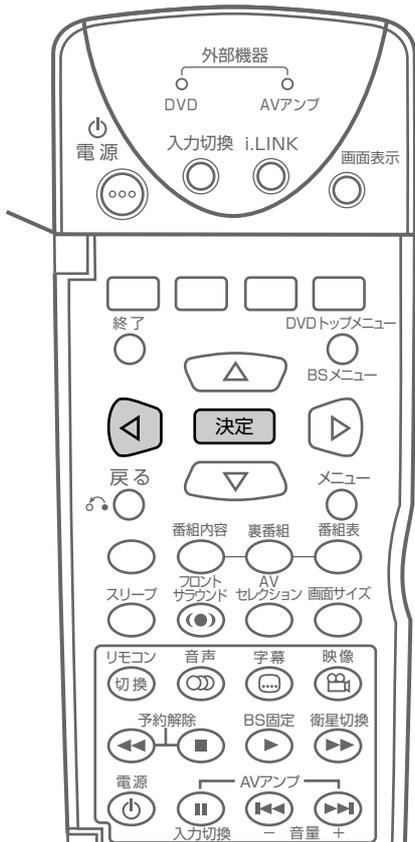
「録画予約」……録画する機器の選択ができます。
録画予約の手順(**129**ページ)に進みます。

「予約しない」… 予約をしないで番組表に戻ります。

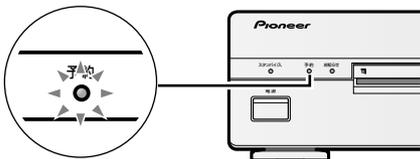
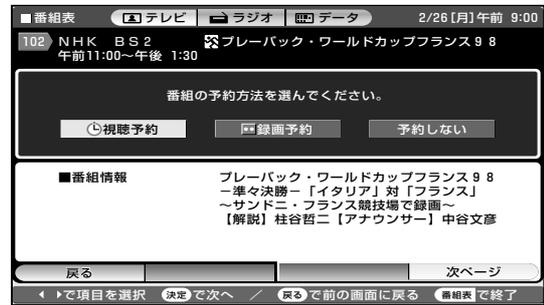
# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

## 視聴予約

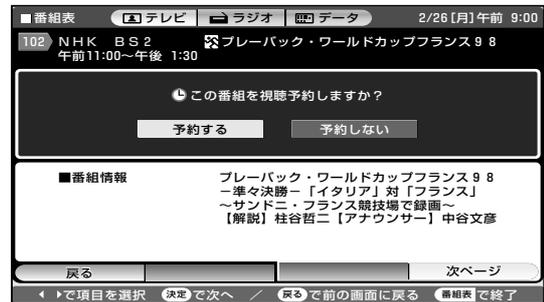
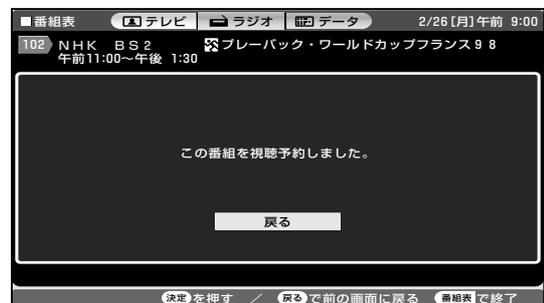
- 有料放送を予約する場合は、有料放送の放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**139**ページ)が必要です。

扉を開けたところ

おしらせ

**予約インジケータについて**

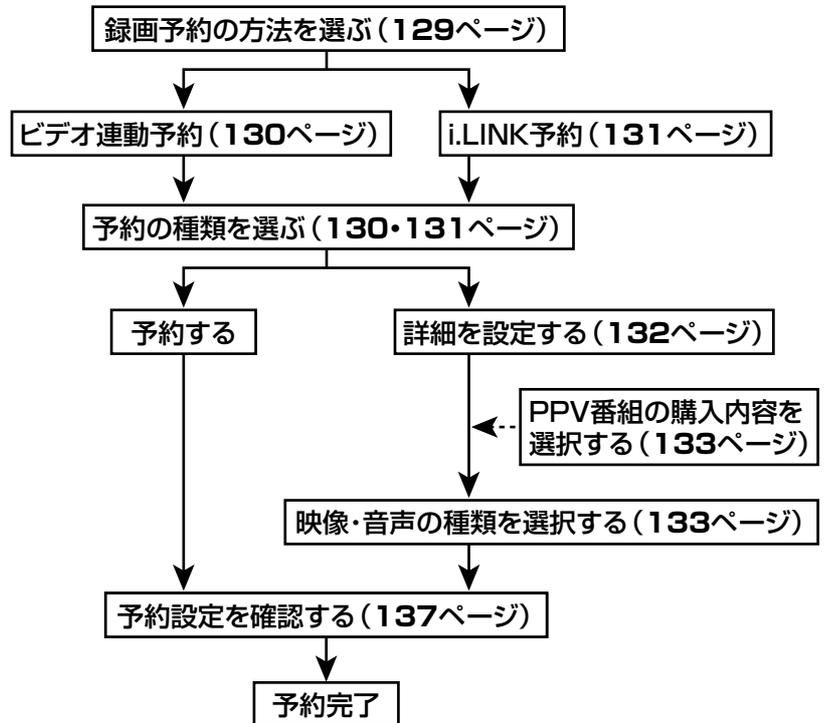
- 番組を予約すると、メディアレシーバー前面の予約インジケータが点灯します。

### 1 ◁ で「視聴予約」を選び、決定 を押す

### 2 ◁ で「予約する」を選び、決定 を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

### 3 「戻る」で 決定 を押す

- 視聴予約が設定されました。

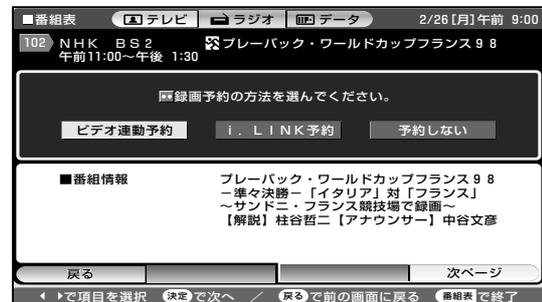
## 録画予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送の放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し（**139**ページ）が必要です。
- データ放送はビデオ連動予約ができません。
- BSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

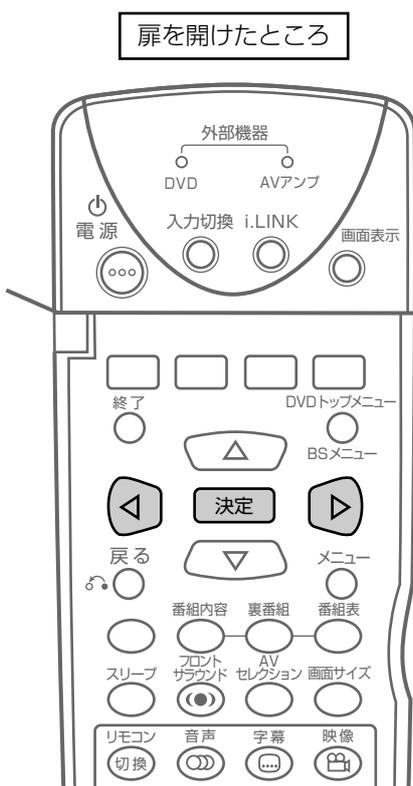
## 録画予約の操作手順

※ 上記の操作手順は一例です。選んだ番組によっては、必要のない手順もあります。

## 録画予約の方法を選ぶ

扉を開けたところ

**1** **◁ ▷で録画予約の方法を選び、決定を押す**

「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約（**130**ページ）に進みます。

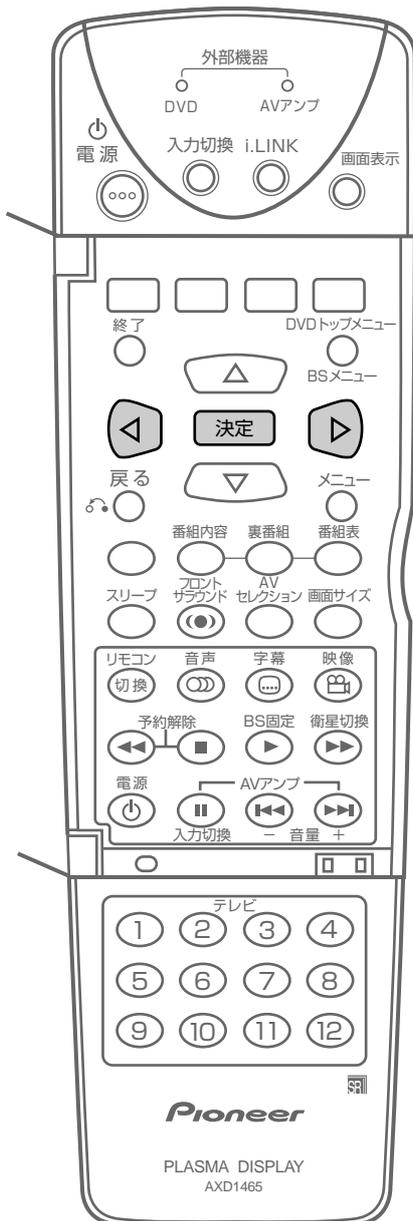
「i.LINK予約」……… i.LINK連動予約（**131**ページ）に進みます。

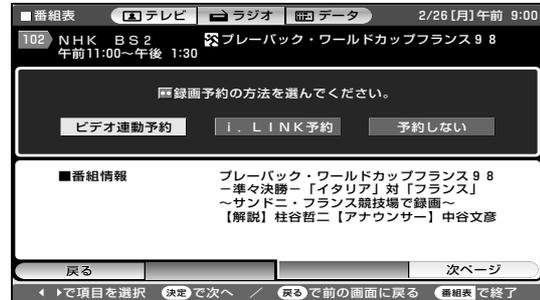
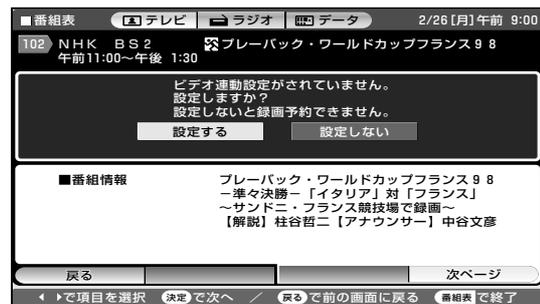
「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

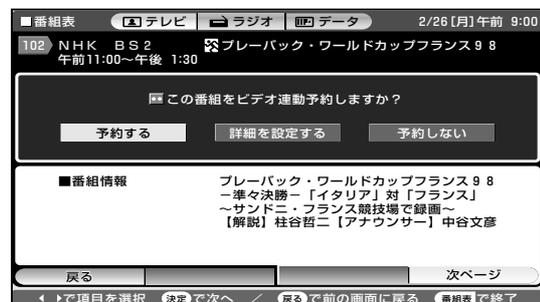
■ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了する予約録画方法です。

● ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続（**146**ページ）、およびビデオ連動録画設定（**147**～**149**ページ）を済ませておいてください。

● ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記憶されますので、次回からは必要ありません。

扉を開けたところ

## ビデオ連動予約するとき

### 1 ◁ で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す

● ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
● ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

● 「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。（**147**ページ参照）

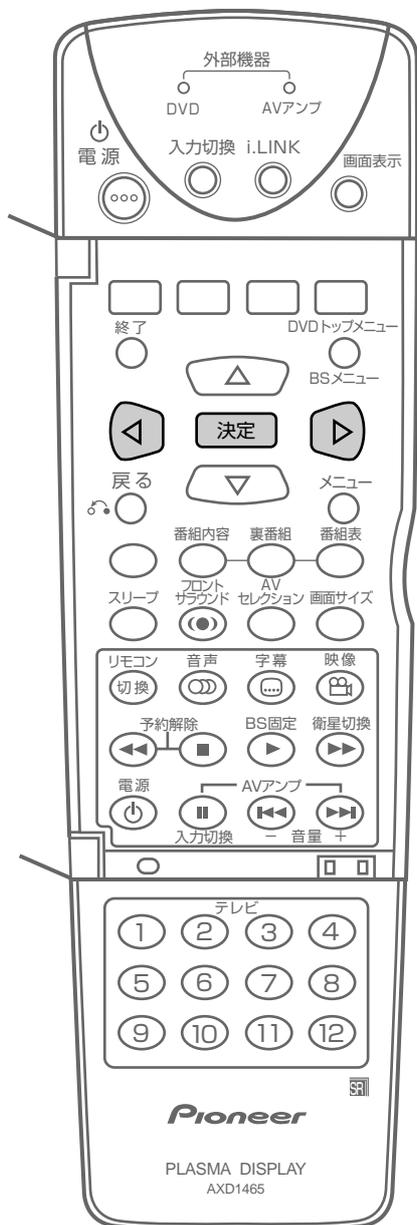
### 2 ◁ ▷ で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」…………無料放送や契約している有料放送が予約できます。

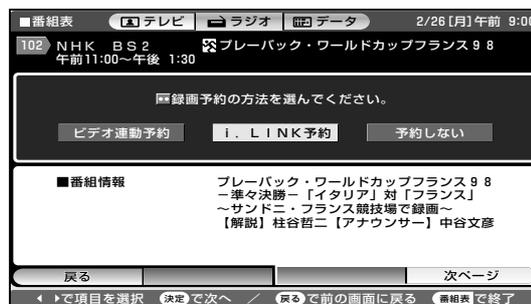
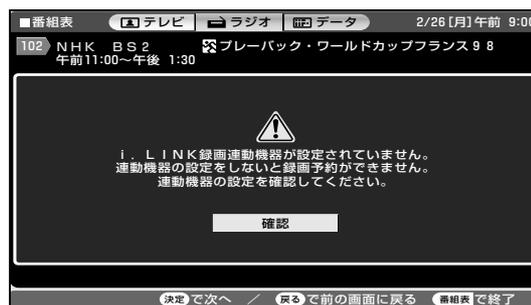
「詳細を設定する」…映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。

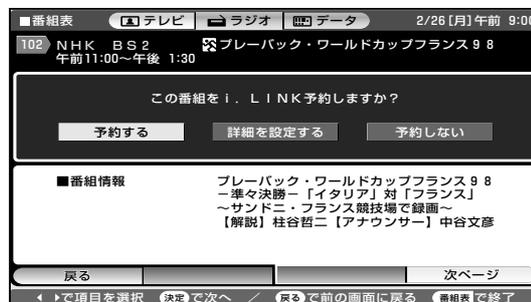
「予約しない」………予約をしないで番組表に戻ります。

■i.LINK予約とは、メディアレシーバーのi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキを予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約した番組を録画する方法です。

- i.LINK予約するときは、あらかじめ、D-VHSビデオデッキの接続(**72**ページ)とi.LINK設定(**150**~**152**ページ)を済ませておいてください。

扉を開けたところ

## i.LINK予約するとき

### 1 ◁ ▷で「i.LINK予約」を選び、決定を押す

- i.LINK設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- i.LINK設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

- 「確認」で決定ボタンを押すと、i.LINK設定画面になります。設定を行ってください。(**150**ページ参照)

### 2 ◁ ▷で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」… 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。

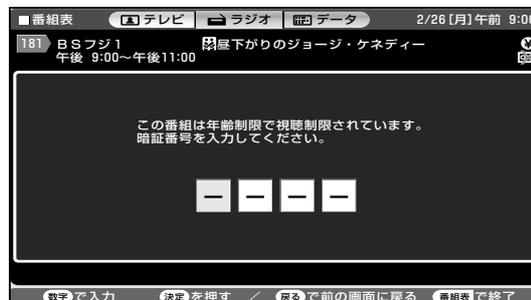
「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

## 詳細設定

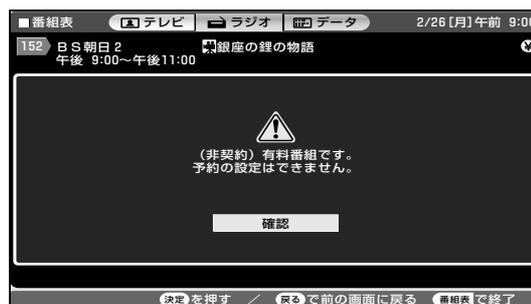
■視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

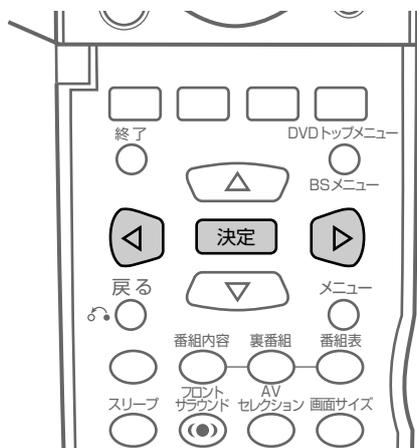
## 視聴年齢制限のある番組を予約したとき

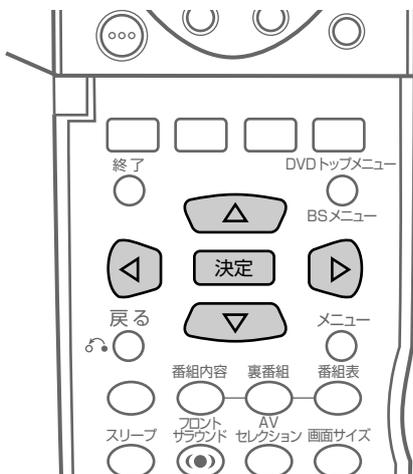
- 暗証番号入力画面が表示されます。

- 数字ボタンで暗証番号を入力してください。（**158**ページ参照）

## カード未挿入で非契約番組を予約したとき

- 「カード挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入し、「確認」で決定ボタンを押してください。

## 非契約の有料番組を予約したとき

- 「(非契約)有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

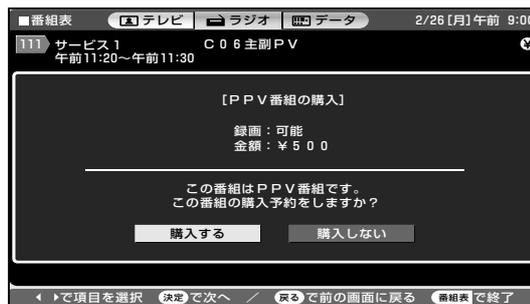
## ビデオ連動予約の場合

■映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

| | |
|---|---|
| 「マルチビュー」… | いろいろな角度から見た映像 |
| 「映像」……… | 主映像と副映像（最大3つ） |
| 「音声」……… | 主音声と副音声（最大7つ） |
| 「二重音声」… | 主音声と副音声 |

おしらせ

- 副映像の数は、番組によって異なります。

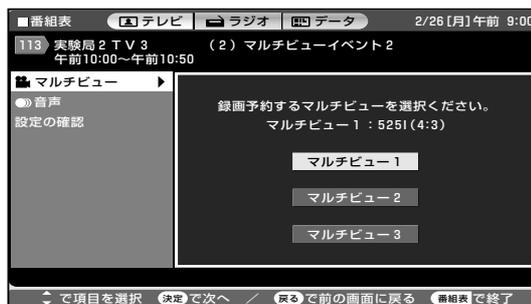
## PPV番組の購入（する／しない）を選択する

- PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

**1** **◁ ▷で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す**

- 「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

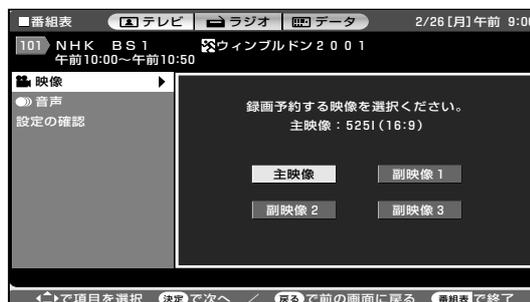
## 映像・音声の種類を選択する

**1** <マルチビュー番組を選んでいるとき>

**決定を押してから、△ ▽でマルチビューの種類を選び、決定を押す**

<副映像のある番組を選んでいるとき>

**① ▽で「映像」を選び、決定を押す**

**② △ ▽ ◁ ▷で映像を選び、決定を押す**

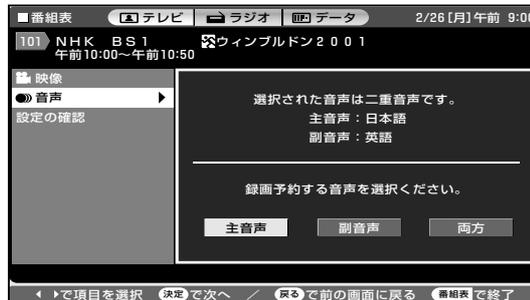
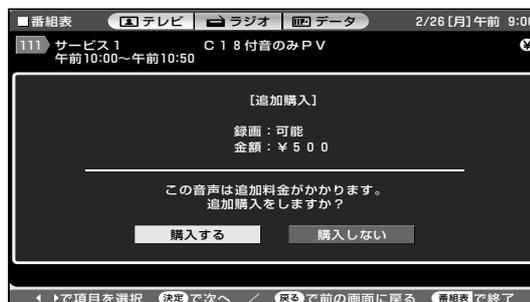
## 2

**① ▽で「音声」を選び、決定を押す**

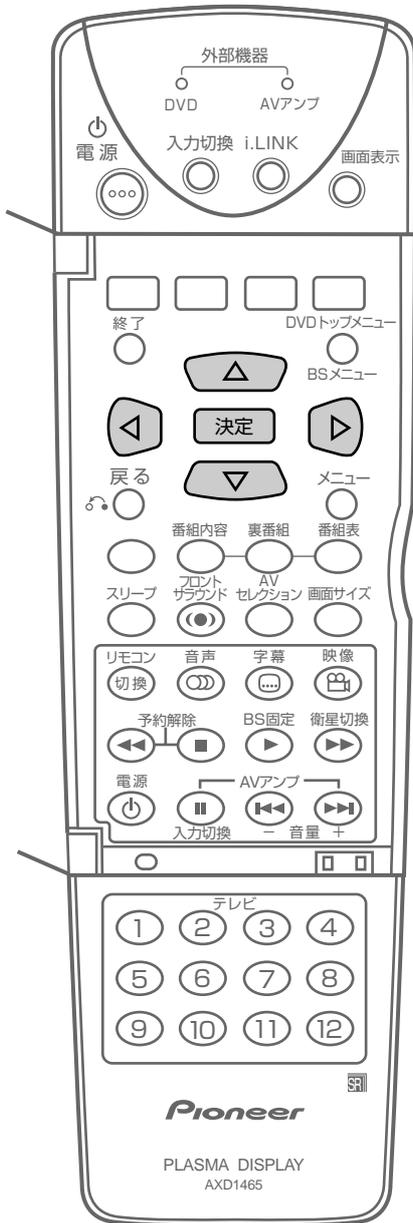
**② △ ▽ ◁ ▷で音声を選び、決定を押す**

- 副音声の数は、番組によって異なります。

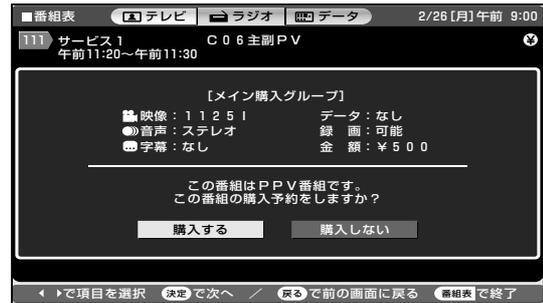
## 3

**◁ ▷で二重音声の種類（言語）を選び、決定を押す**

- この操作は、手順**2**で選んだ音声が二重音声のときのみ必要です。

- 映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

- 「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

## i.LINK予約の場合

## PPV番組の購入(する/しない)を選択する

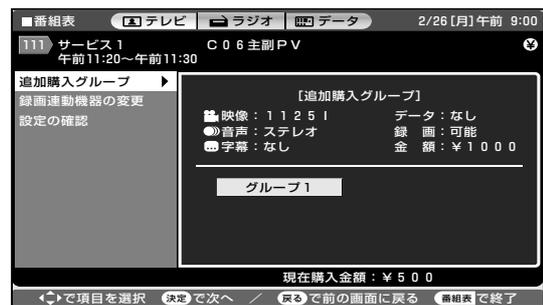
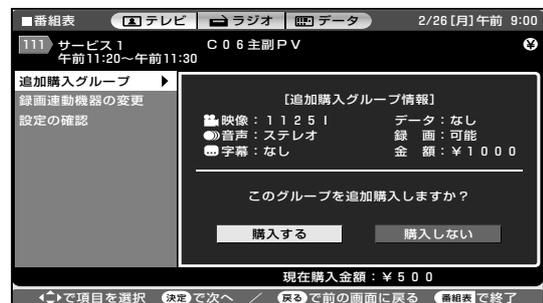
● PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

**1** ◁ ▷で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

● 「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

## 購入グループを選択する

● 追加購入する映像・音声の組み合わせが複数あるときのみ必要な手順です。

**1** ① 「追加購入グループ」で決定を押す

② △ ▽ ◁ ▷で購入グループを選び、決定を押す

**2** ◁ ▷で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

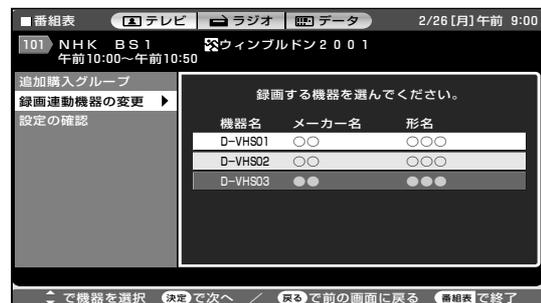
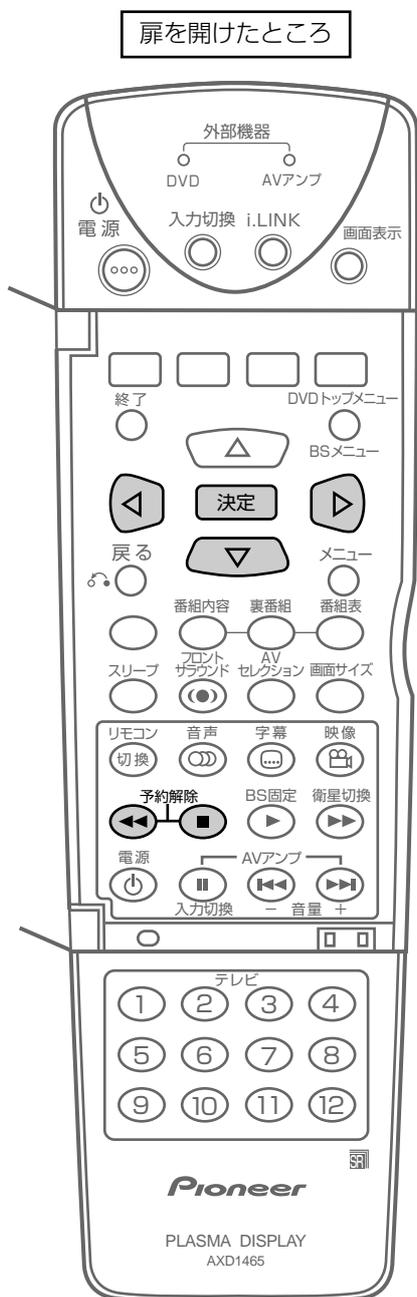
## i.LINK予約の場合(つづき)

扉を開けたところ

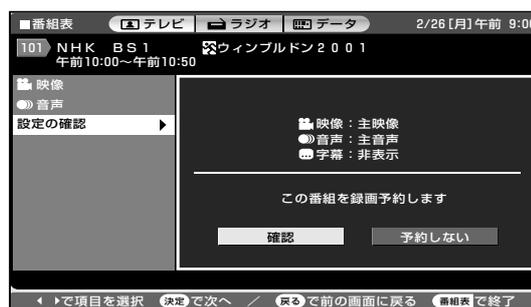
## 使用するi.LINK機器を選択する

- 使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

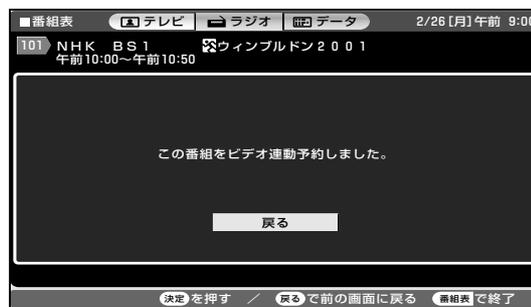
**1** **△ ▽ で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す**

**2** **△ ▽ で、使用するi.LINK機器を選び、決定を押す**

## 予約設定を確認する

**1** **① ▽で「設定の確認」を選び、決定を押す**

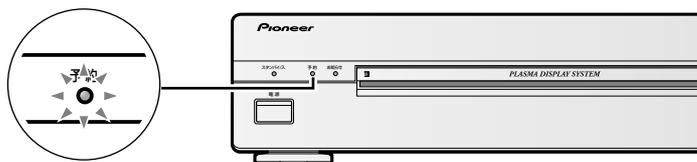
**② 画面に表示された設定内容を確認する**

**③「確認」で決定を押す**

（ビデオ連動予約の場合の表示例）

- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

**2** **「戻る」で決定を押す**

（ビデオ連動予約の場合の表示例）

- 録画予約が設定されました。

おしらせ

**予約インジケータについて**

- 番組を予約すると、メディアレシーバー前面の予約インジケータが点灯します。

**実行中の予約録画を解除するには**

- 予約解除ボタン（◀◀と■）を2つ同時に押します。
- リモコンをDVDモードに切り換えているときは、予約解除ボタンとして使えません。

# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

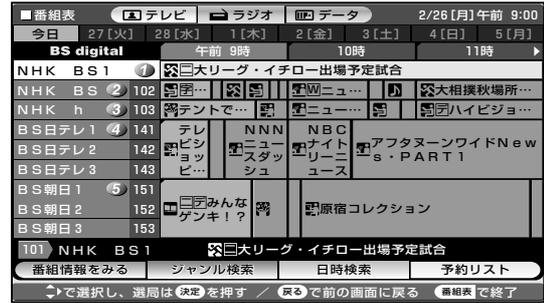
## 予約の確認・取消し・変更

■番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

## 予約を確認したいとき

**1**

**① 番組表 を押し、電子番組表を表示する**

**② 黄 （予約リスト）を押し、予約リストを表示する**

### ▼予約リストの例

放送の種類　放送日時、チャンネル、番組名

■番組表　テレビ　ラジオ　データ　2/26［月］午前 9:00

■予約リスト　予約内容の確認・変更・取消ができます。

| 種類 | | 放送日時 | ［CH］ | 番組名 |
|---|---|---|---|---|
| 視聴 | テレビ | 2/26［月］午前 9:30～午前 9:50 | ［102］ | おはよう世界のトップニ… |
| 録画 | テレビ | 2/26［月］午前10:00～午前10:30 | ［103］ | ＢＳニュース５０ |
| 視聴 | テレビ | 2/26［月］午前11:00～午前11:30 | ［141］ | ＢＳニュース５０ |
| 視聴 | テレビ | 2/26［月］午前11:30～午前11:50 | ［142］ | ＮＮＮニュースダッシュ |
| 録画 | テレビ | 2/26［月］午後12:10～午後12:50 | ［143］ | ニュース |
| 録画 | テレビ | 2/26［月］午後 1:00～午後 1:15 | ［101］ | 午後のニュース |
| 録画 | テレビ | 2/26［月］午後 2:00～午後 2:15 | ［152］ | ニュース |
| 視聴 | テレビ | 2/26［月］午後 3:00～午後 3:45 | ［153］ | ニュース |

前へ　次へ

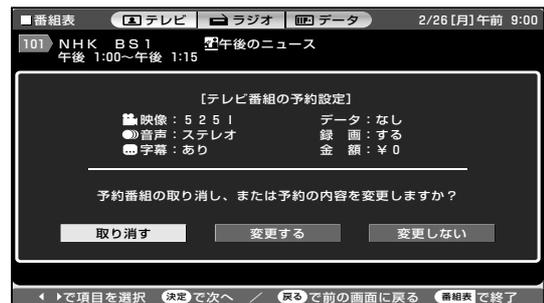
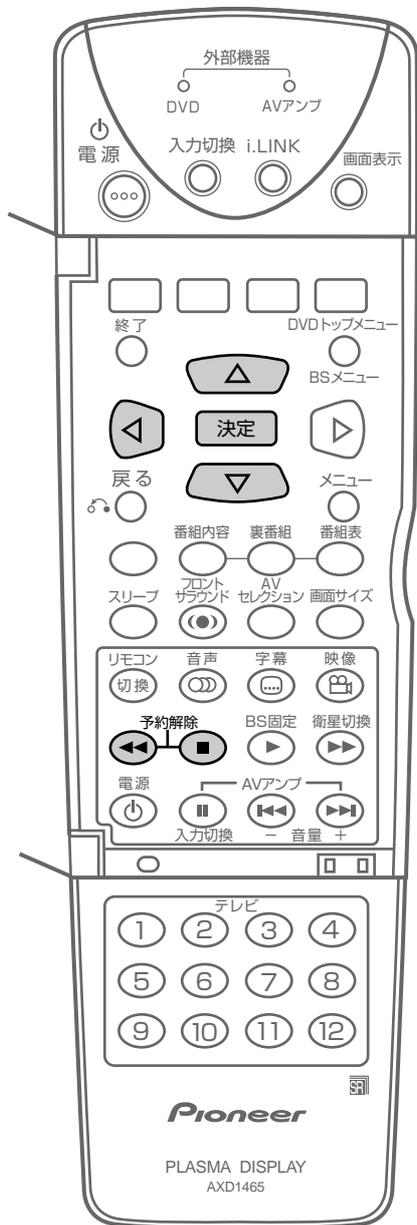
戻る

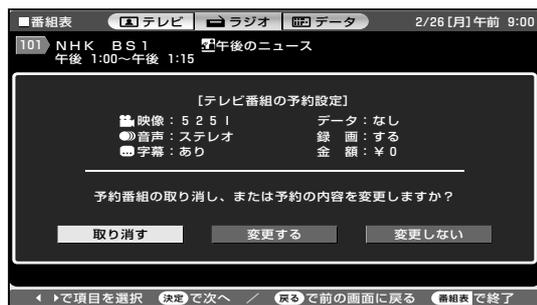
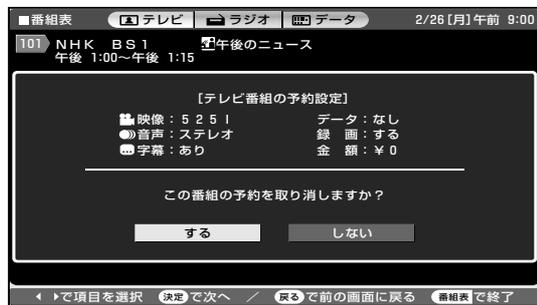
で番組を選択　決定 で次へ ／ 戻る で前の画面に戻る　番組表 で終了

視聴のみの予約

録画予約

上カーソルボタン　下カーソルボタン

- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- リストを上下にスクロールしたいときは、上下カーソルボタンを使います。
- 予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。

## 予約を取り消したいとき

**1 予約を取り消したい番組を △ / ▽ で選び、決定 を押す**

**2 ◁ で「取り消す」を選び、決定 を押す**

**3 ◁ で「する」を選び、決定 を押す**

おしらせ

**実行中の予約録画を解除するには**

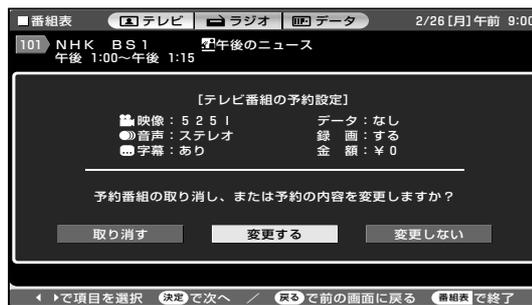
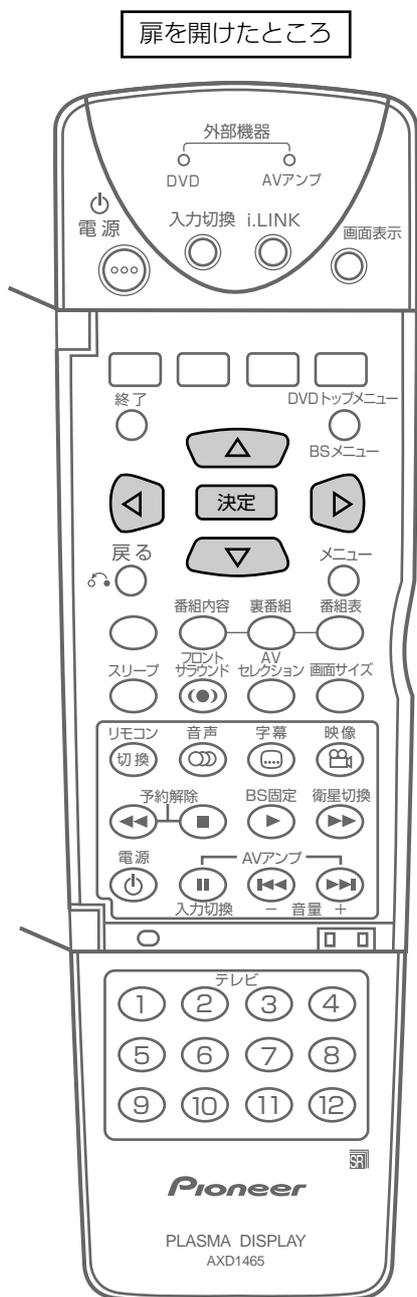
- 予約解除ボタン(◀◀と■)を2つ同時に押します。
- リモコンをDVDモードに切り換えているときは、予約解除ボタンとして使えません。

# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

## 予約を変更したいとき

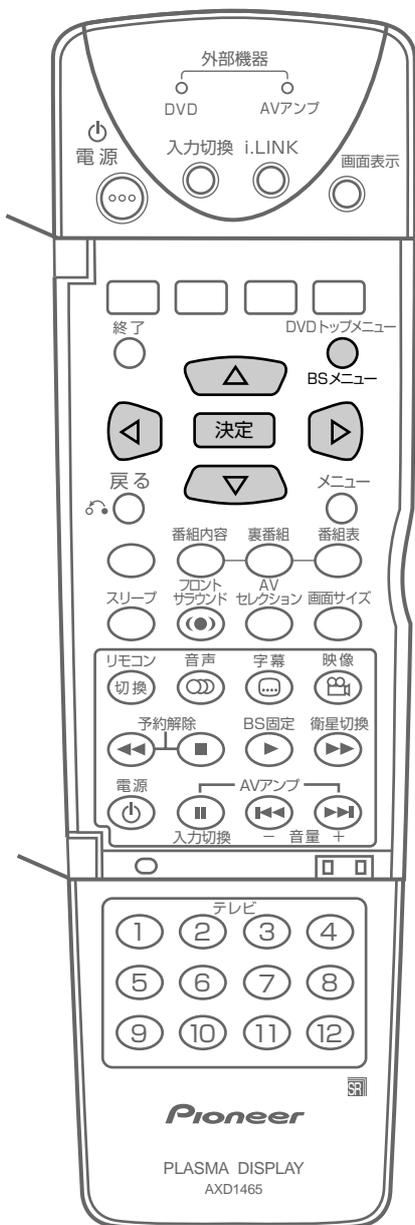
扉を開けたところ

**1** **予約を変更したい番組を △ ▽ で選び、決定 を押す**

**2** **◁ ▷ で「変更する」を選び、決定 を押す**

**3** **128～137ページの予約の手順にしたがって、再度、予約操作を行う**

# 選局後の操作

## チャンネル表示のしかたを選ぶ

■番組を選んで画面を切り換えたときに、チャンネル番号や番組タイトルなどが表示されます。

**1**

**① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する**

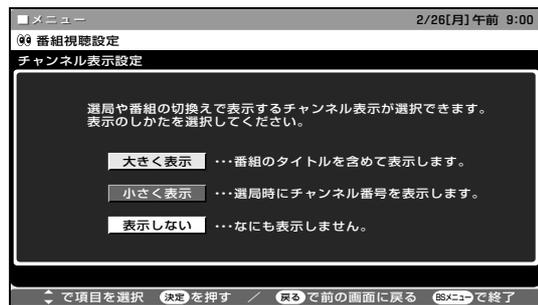
**② ◁ ▷で「番組視聴設定」を選ぶ**

**③ △ ▽ で「チャンネル表示設定」を選び、決定を押す**

**2**

**△ ▽で表示のしかたを選び、決定を押す**

「大きく表示」…… 番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。
「小さく表示」…… 選局時にチャンネル番号だけを表示します。
「表示しない」…… 何も表示しません。
（ビデオ連動予約時にチャンネル表示を録画したくない場合などに選びます。）

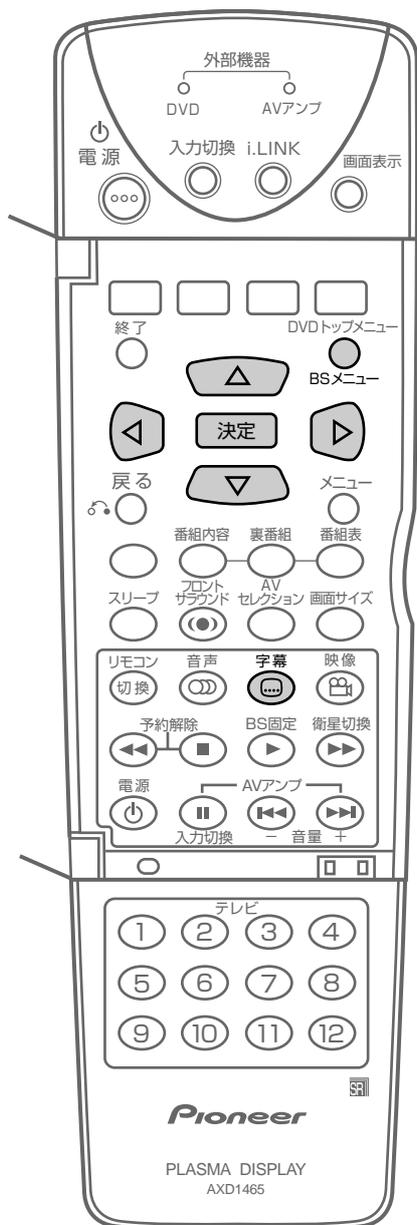
**3**

**BSメニューを押し、通常画面に戻す**

# 選局後の操作(つづき)

## 字幕を表示する

■字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

扉を開けたところ

**1**

**① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する**

**② ◁ ▷で「番組視聴設定」を選ぶ**

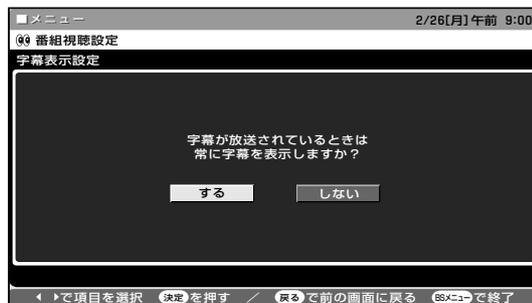
**③ △/▽ で「字幕表示設定」を選び、決定を押す**

**2**

**◁ ▷で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

「する」……… 字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。

「しない」…… リモコンの字幕ボタンで、字幕表示の入／切を選択できます。

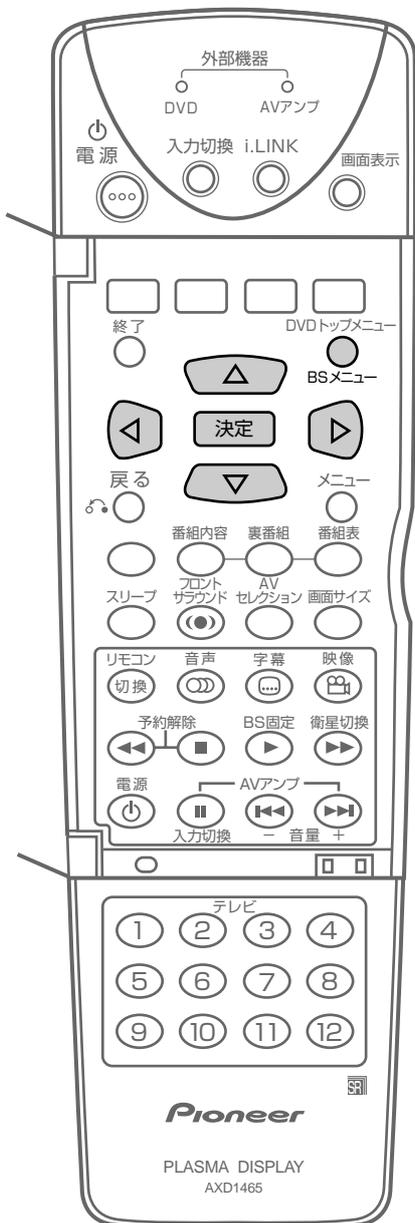
**3**

**BSメニュー を押し、通常画面に戻す**

## チャンネルスキップを設定する

■選局＋/－ボタンでBSチャンネルを選局するとき、同じ番組※をとばして選局するように設定することができます。

※ 時間帯により、同じ1つの放送局の複数のチャンネルで同じ番組が放送されることがあります。

扉を開けたところ

**1**

① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

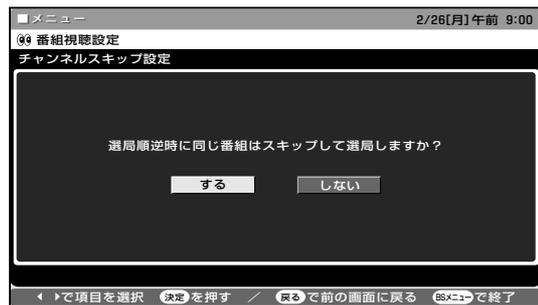
② ◁ ▷ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ △ ▽ で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定 を押す

**2**

◁ で「する」を選び、決定 を押す

**3**

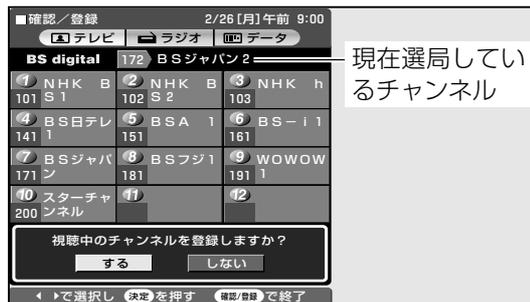
BSメニュー を押し、通常画面に戻す

# 選局後の操作(つづき)

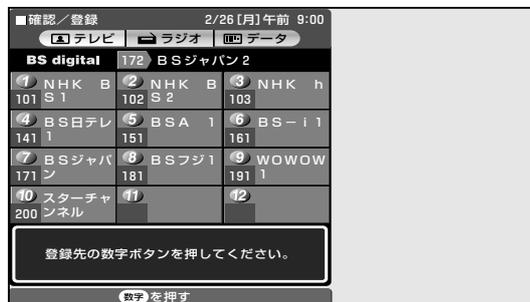
## お好みのチャンネルを登録する

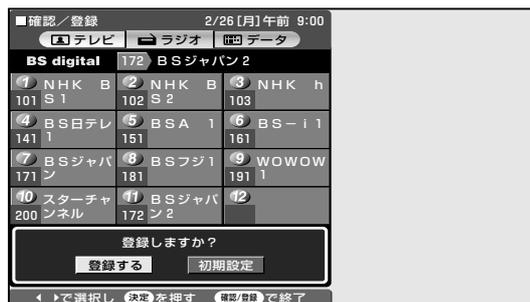
■テレビ放送、ラジオ放送、独立データ放送のそれぞれにつき、お好みのチャンネルを12局まで登録できます。

**1** ① **登録したいBSデジタル放送のチャンネルを選局する**

② 確認/登録 **を押す**

③ ◁ **で「する」を選び、** 決定 **を押す**

**2** **登録したい数字ボタンを押し、** 決定 **を押す**

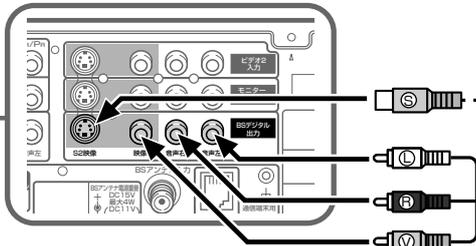
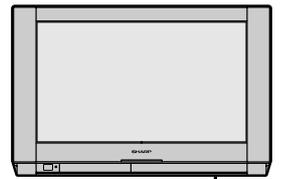
<例>「BSジャパン2」(172チャンネル)を⑪に登録する場合は、数字ボタンの⑪を押します。

● 登録確認画面が表示されます。

**3** ◁ **で「登録する」を選び、** 決定 **を押す**

● 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期設定」を選んで決定ボタンを押します。

# 外部機器に録画する

## 視聴中のBSデジタル放送をビデオデッキに録画する

### ビデオデッキとの接続のしかた

メディアレシーバー後面のBSデジタル出力端子にビデオデッキなどの録画機器を接続して、BSデジタル放送を録画することができます。

おしらせ

- BSデジタル出力端子からは、BSデジタル放送のハイビジョン画質（走査線1125本）の映像を標準画質（走査線525本）に変換して出力します。したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキをi.LINK接続して、i.LINK設定を行ってください。（**72**・**150**ページ参照）
- 番組により、録画・録音が制限されている場合があります。
- 2画面機能を入／切すると、BSデジタル出力の映像が一瞬途切れた状態になりますが、異常ではありません。
- BSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。

## BSデジタル放送を録画する

<例> NHK BS1の番組を録画するとき

**1 チャンネルボタン①を押し、録画する番組を選ぶ**

**2 ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画状態にする**

おしらせ

- BSデジタル放送を録画しながら、地上放送などの裏番組を見るときなどは、BS固定を「入」に設定します。（**165**ページ参照）
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# 外部機器に録画する(つづき)

## ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動録画)

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入/切や録画の開始/停止を行い、本機の予約機能と連動して録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

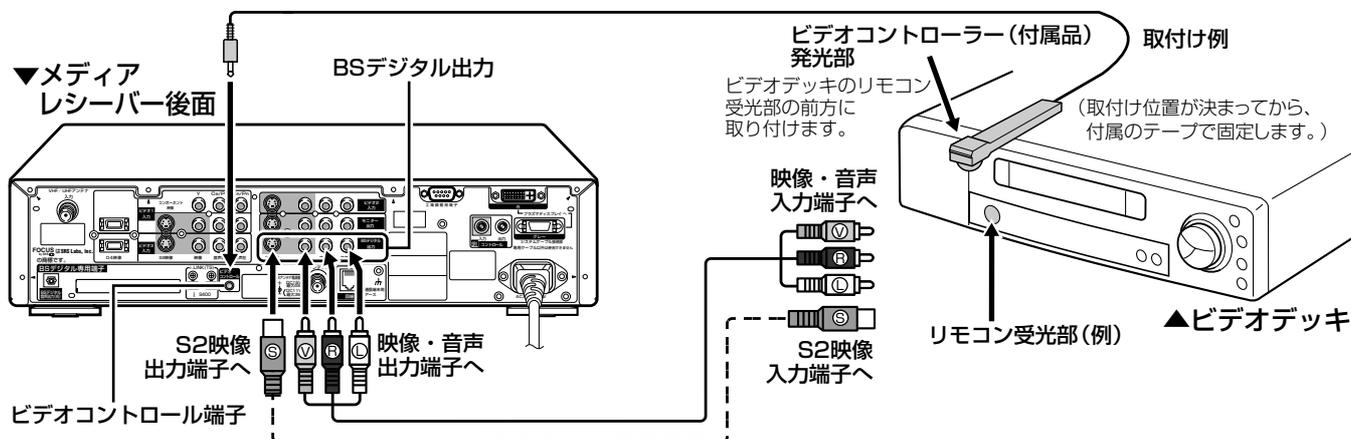
■ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

### 接続のしかた (ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます)

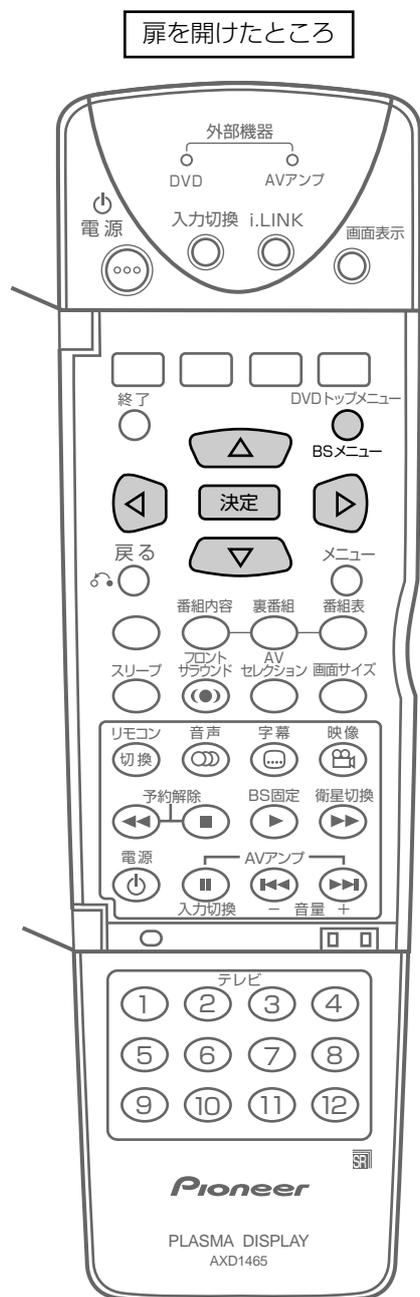
### 機種番号について

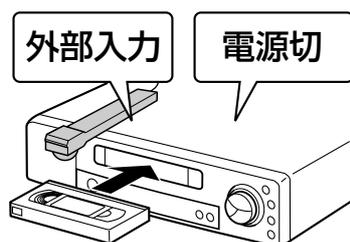
■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しているため、つぎの機種番号で区分されます。

| メーカー | 機種番号 |
|---|---|
| パイオニア | 1, 2, 3 |
| シャープ | 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 |
| アイワ | 1, 2, 3, 4 |
| NEC | 1, 2, 3, 4 |
| サンヨー | 1, 2, 3, 4 |
| ソニー | 1, 2, 3, 4, 5, 6 |
| 東芝 | 1, 2, 3, 4, 5, 6 |
| ビクター | 1, 2, 3, 4 |
| 日立 | 1, 2, 3 |
| フナイ | 1 |
| 松下 | 1, 2, 3, 4, 5, 6 |
| 三菱 | 1, 2, 3, 4 |

工場出荷時の設定:パイオニア 1

### ビデオコントローラー取付けの際のご注意

- リモコン受光部の位置は、ビデオデッキやメーカーによって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発光部がビデオデッキのリモコン受光部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**147**~**149**ページ「ビデオ連動録画の設定」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

## ビデオ連動録画の設定

### 1 ビデオデッキの準備をする

① 本機につなぐ。（**146**ページ参照）
② ビデオコントローラーを取り付ける。（**146**ページ参照）
③ 外部入力に切り換える。
④ 録画用ビデオテープを入れる。
⑤ 電源を「切」にする。

### 2 ① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

### ② ◁ ▷ で「外部機器設定」を選ぶ

### 3 △ ▽ で「ビデオ連動録画設定」を選び、決定 を押す

● 「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

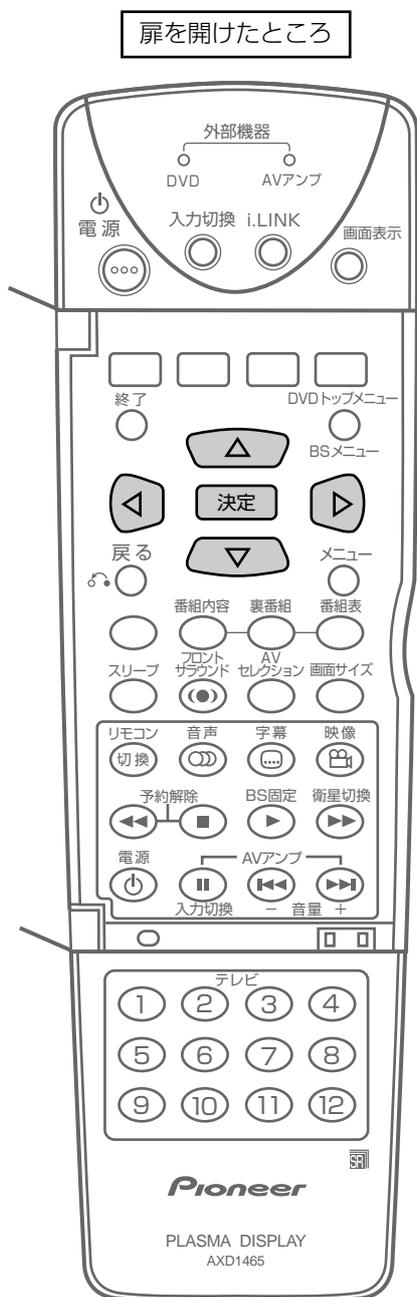
おしらせ

● ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

# 外部機器に録画する(つづき)

扉を開けたところ

おしらせ

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないためにビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順6、7、8でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

## 4

**① ビデオコントローラーの接続を確認する**

**② 「次へ」で 決定 を押す**

## 5

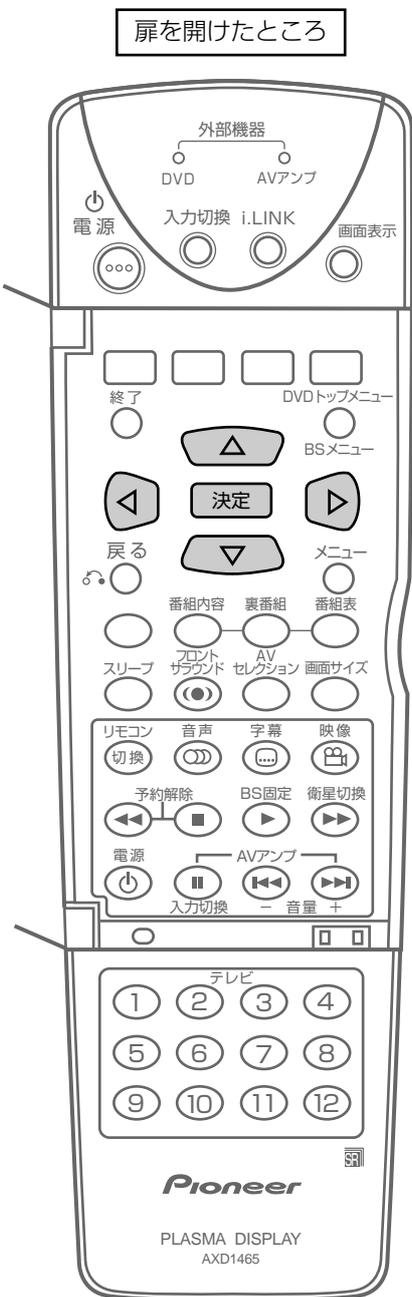
**お使いのビデオデッキのメーカーを △ ▽ ◁ ▷ で選び、決定 を押す**

## 6

**「テスト実行」で 決定 を押し、テストを開始する**

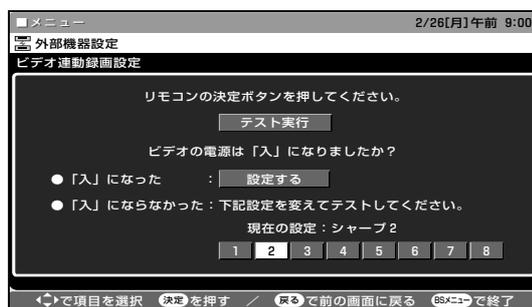
テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になった(正常)
  ⇨ 手順9に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順7に進みます。

扉を開けたところ

## 7

**① ▽ でカーソルを機種番号の欄に移動する**

**② ◁ ▷ でメーカーの機種番号を選び、決定 を押す**

- **146**ページ「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**7**、**8**をくり返してください。

## 8

**決定 を押し、テストを実行する**

## 9

**ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認し、△ ▽ で「設定する」を選び、決定 を押す**

- ビデオ連動録画が設定され、メニュー画面に戻ります。

**設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。**

- 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。

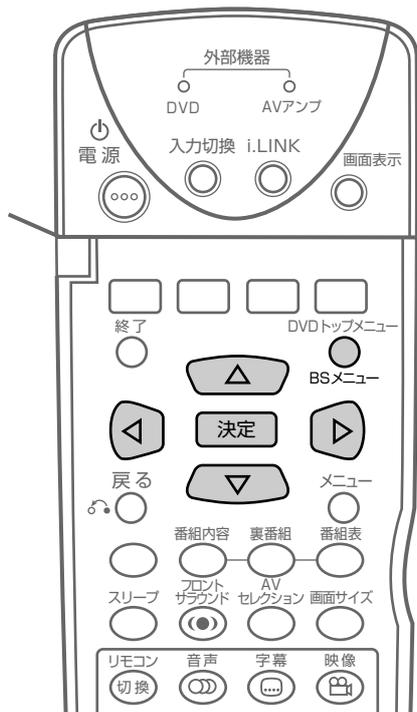
おしらせ

- ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発光部がビデオデッキのリモコン受光部に確実に向いているか、再度ご確認ください。
- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

# 外部機器に録画する(つづき)

## i.LINK端子からD-VHSビデオデッキに録画する

■i.LINKに関する説明、i.LINK端子へのD-VHSビデオデッキの接続方法、i.LINK操作パネルの見かたと使いかたについては、**72～75**ページをご覧ください。
■ここでは、i.LINK接続したD-VHSビデオデッキを使用するための設定および録画操作について説明します。

扉を開けたところ

おしらせ

- 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。
- D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。

## 録画モードの設定

- 本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を「入」にするかしないかを選ぶことができます。

**1**

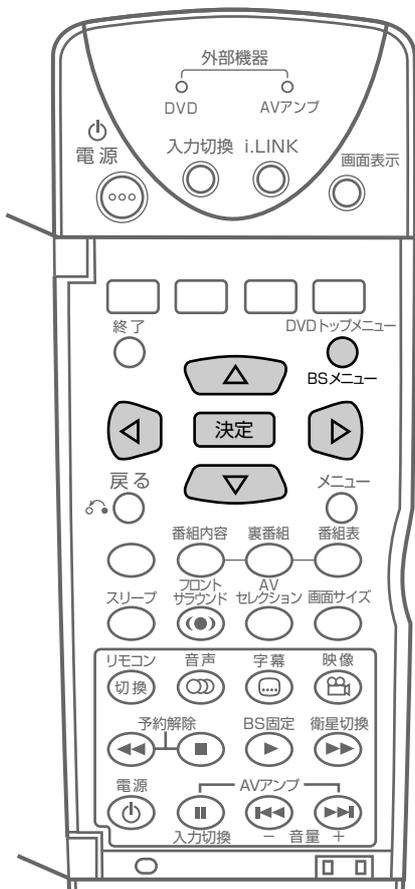
**① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する**
**② ◁ ▷で「外部機器設定」を選ぶ**
**③ △/▽ で「i.LINK設定」を選び、決定を押す**

**2**

**「録画モード設定」で決定を押す**

**3**

**◁ ▷ で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

扉を開けたところ

# i.LINK電源待機の設定

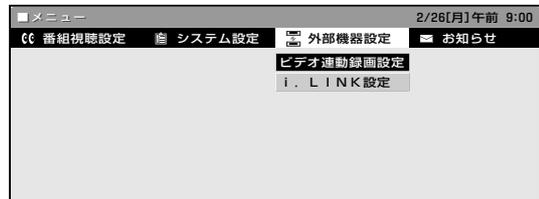
- 本機では、i.LINK電源待機の設定により電源スタンバイ時の消費電力を少なくすることができます。
- i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

**1**

**① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する**

**② ◁ ▷で「外部機器設定」を選ぶ**

**③ △/▽ で「i.LINK設定」を選び、決定を押す**

**2**

**▽で「電源待機設定」を選び、決定を押す**

**3**

**◁ ▷ で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

「する」……スタンバイ時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。

「しない」…スタンバイ時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

お願い

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源をスタンバイ状態(リモコンで電源「切」)にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

本機 — i.LINK機器 — i.LINK機器 - - -

- 本機の電源がスタンバイ状態のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」にしてから行ってください。

# 外部機器に録画する(つづき)

- 本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
- 最大16台のi.LINK機器から使用する1台を選択できます。
- 最初に接続した1台は、自動的に選択されます。
- 接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

## i.LINK機器の選択

**1** i.LINK ◎ **を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。(**72**ページ参照)
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

**2** △▽◁▷**で「機器選択」を選び、**決定**を押して、機器選択画面を表示する**

**3 操作したい機器を**  **で選び、**決定**を押す**

- 選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

- 本機で使用することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 機器選択画面のリスト項目が暗くなっているi.LINK機器は、接続されていないなど、本機が認識できない状態を示しています。このような機器は使用する機器として選択することができません。

- 登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
- i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

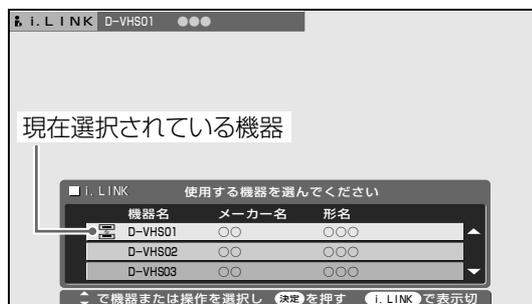
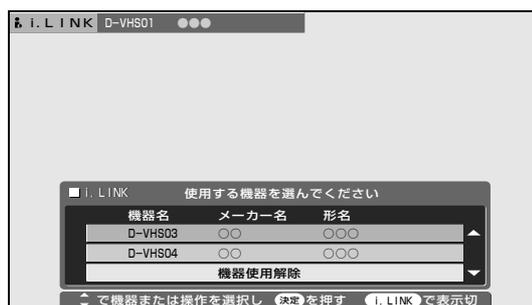
おしらせ

- 本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

## i.LINK機器の使用解除

### 1 i.LINK ◎ を押し、i.LINK操作パネルを表示する

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。（**72**ページ参照）
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

### 2 △ ▽ ◁ ▷ で「機器選択」を選び、決定 を押して、機器選択画面を表示する

### 3 ▽ で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定 を押す

- i.LINK機器の使用が解除されます。

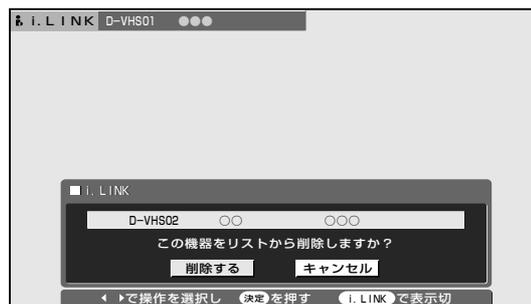
# 外部機器に録画する(つづき)

## i.LINK機器の登録削除

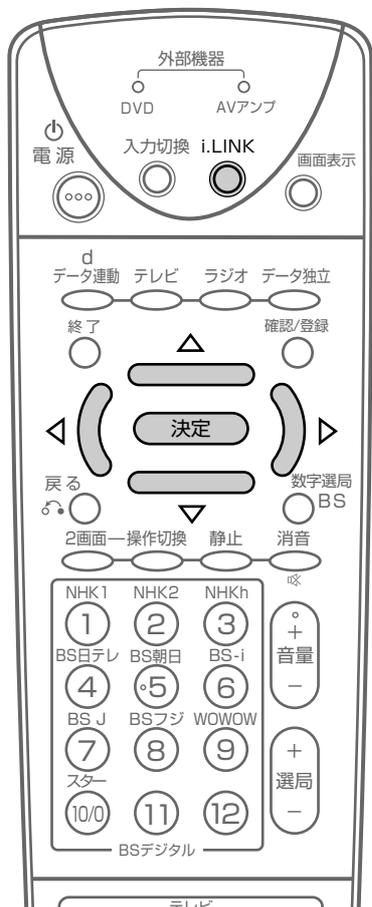
- 機器選択画面に登録されているi.LINK機器をリストから削除できます。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

**1** **153ページの手順1、2を行い、機器選択画面を表示する**

**2** **削除したいi.LINK機器を △ ▽ で選び、決定を押す**

**3** **◁ で「削除する」を選び、決定を押す**

- 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
- 削除しないときは「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

# i.LINK機器でBSデジタル放送を録画する

- i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作が画面上でできます。
- 以下の操作をする前に、**150**〜**152**ページの設定を済ませておいてください。
- 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

**1** **録画したいBSデジタル放送の番組を選局する**

**2** **i.LINK ◎ を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

**3** **① △ ▽ ◁ ▷で ● （録画ボタン）を選び、決定を押す**

- 録画が開始されます。

**② i.LINK ◎ を押し、i.LINK操作パネルを消す**

- 録画を止めるときは、再度操作パネルを表示し、■（停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。

おしらせ

- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINKコントロール画面（操作パネル）にある操作ボタンで操作できないことがあります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- i.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBSデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているBSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- 予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- i.LINK操作パネルと、番組表やメニュー等を同時に（重ねて）表示することはできません。

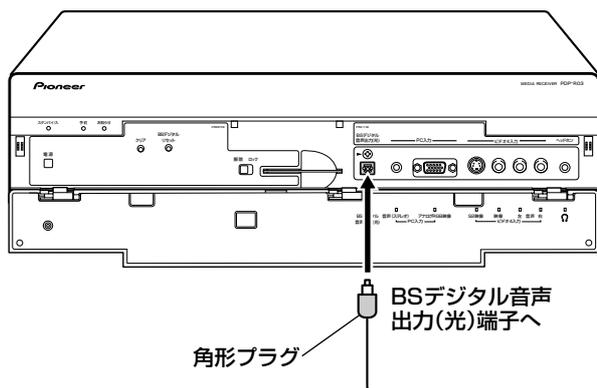
ご注意

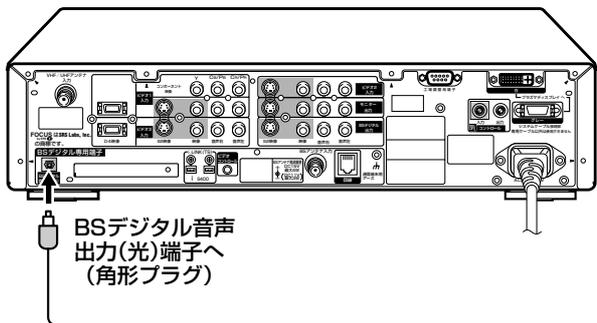
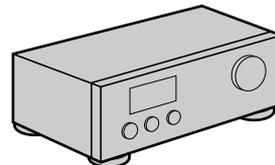
- 録画中にi.LINK操作パネルを表示したままにしておくと、録画出力端子の映像といっしょに録画されます。

# 外部機器に録画する(つづき)

## BSデジタル音声出力(光)端子から録音する

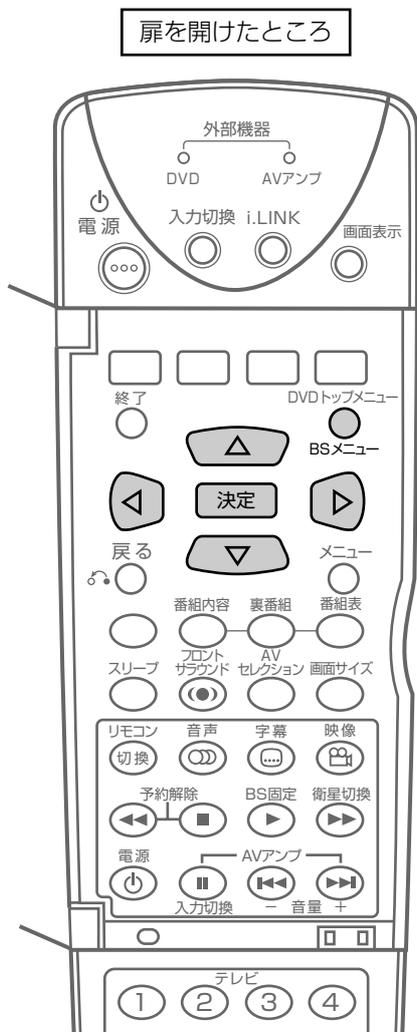
■「デジタル入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、BSデジタル放送の音声を高音質で録音できます。

### 接続のしかた

■また、本機のBSデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声でお楽しみいただけます。

### 接続のしかた

おしらせ

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のBSデジタル音声出力(光)端子から出力されません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。

■メディアレシーバー前面扉内および後面のBSデジタル音声出力(光)端子を、接続する音響機器に合わせて設定します。

扉を開けたところ

おしらせ

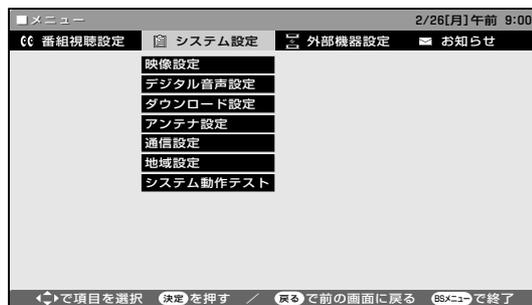
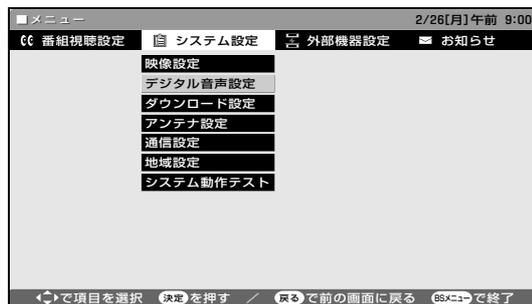
- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 地上放送(VHF、UHF)やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、BSデジタル音声出力(光)端子から出力されません。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の音声が出力されません。
- 「PCM」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の一部の音声が出力されません。

## BSデジタル音声出力(光)端子の設定

**1**

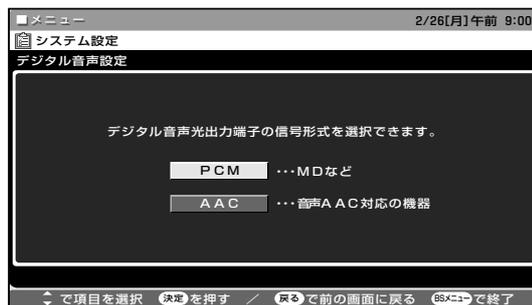
**① (BSメニュー) を押し、BSメニュー画面を表示する**

**② ◁ ▷で「システム設定」を選ぶ**

**2**

**△ ▽で「デジタル音声設定」を選び、決定を押す**

**3**

**接続する機器に合わせて「PCM」または「AAC」を△ ▽で選び、決定を押す**

「PCM」……AACに対応していない音響機器(例．MDプレーヤー、MDコンポなど)に接続するとき

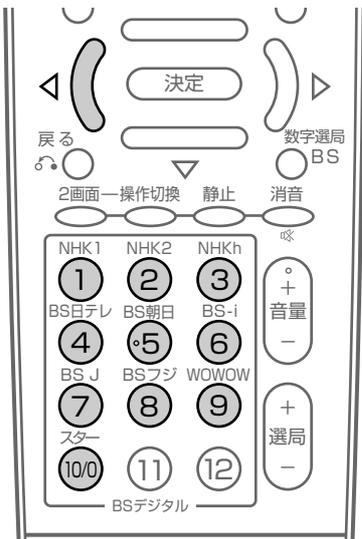
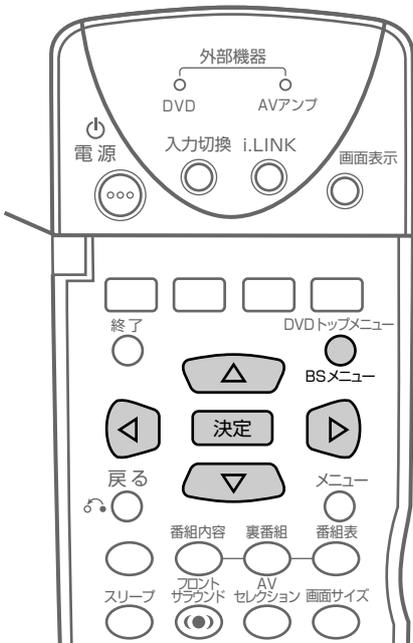
「AAC」……AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

# 安心して使うための設定

**暗証番号の使いかた**

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

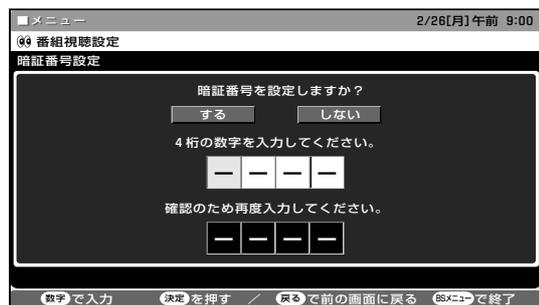
## 暗証番号を設定する

■暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

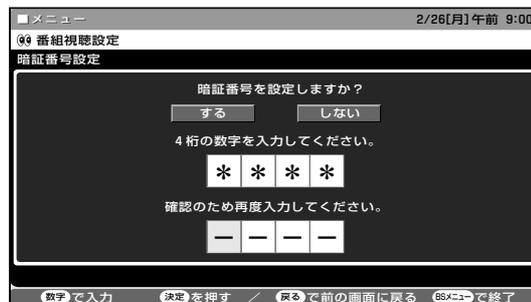
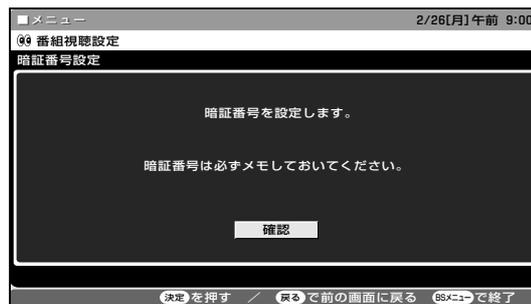
扉を開けたところ

**1** ① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する
② ◁ ▷ で「番組視聴設定」を選ぶ
③ △/▽ で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

**2** ◁ ▷ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……新しい暗証番号の設定(手順3)に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせず、メニュー画面に戻ります。

**3** リモコンの扉を閉じ、数字ボタンで新しい暗証番号を入力する

● 左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁削除できます。

## 4 確認のため、再度同じ番号を数字ボタンで入力する

- 番号の入力を間違えると、手順3からやりなおしになります。

## 5 暗証番号をメモし、「確認」で 決定 を押す

- 新しく入力した暗証番号の設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

おしらせ

- 暗証番号は必ずメモしてください。

**暗証番号を忘れたときは**

- 受信契約されている放送局までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2001年8月現在）

## 暗証番号を変更するとき

扉を開けたところ

## 1

① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

② ◁ ▷ で「番組視聴設定」を選ぶ

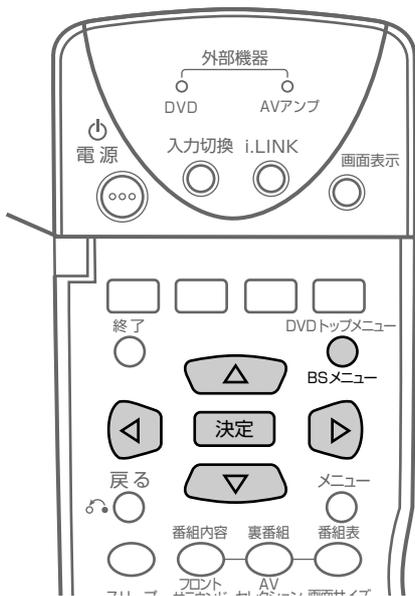
③ △ ▽ で「暗証番号設定」を選び、決定 を押す

- 暗証番号を入力すると「暗証番号を設定する」の手順2（**158**ページ）の画面になります。暗証番号を設定するときと同様の手順で設定しなおしてください。

# 安心して使うための設定(つづき)

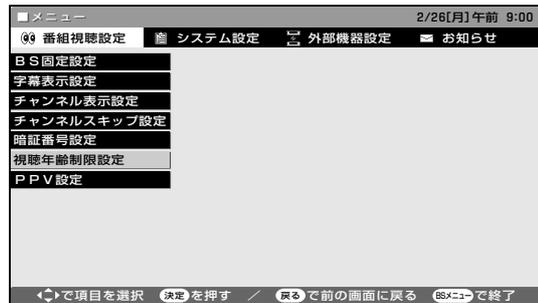
## 視聴年齢制限を設定する

■年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。
なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。

**1**

① ◯ (BSメニュー) を押し、BSメニュー画面を表示する

② ◁ ▷ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ △ / ▽ で「視聴年齢制限設定」を選び、決定を押す

**2**

① リモコンの扉を閉じる

② 数字ボタンで暗証番号を入力する

● 視聴年齢制限設定画面が表示されます。

**3**

① △ で年齢の入力欄を選ぶ

② 制限する年齢を数字ボタンで入力し、決定を押す

● 年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

## PPV制限を設定する

■PPV番組を購入する前に暗証番号を入力しないと、番組が見られないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**158**ページ)をしておくことが必要です。

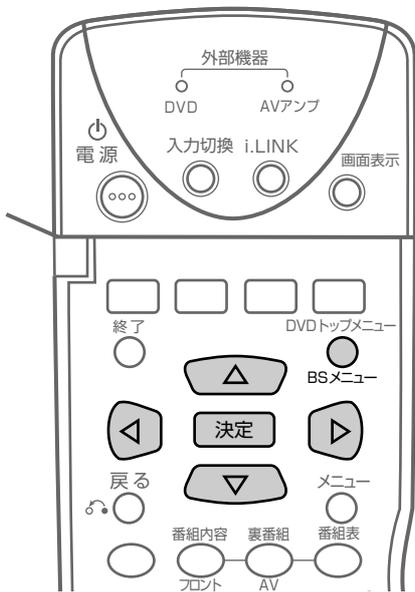
扉を開けたところ

**1**

**① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する**

**② ◁ ▷ で「番組視聴設定」を選ぶ**

**③ △ ▽ で「PPV設定」を選び、決定 を押す**

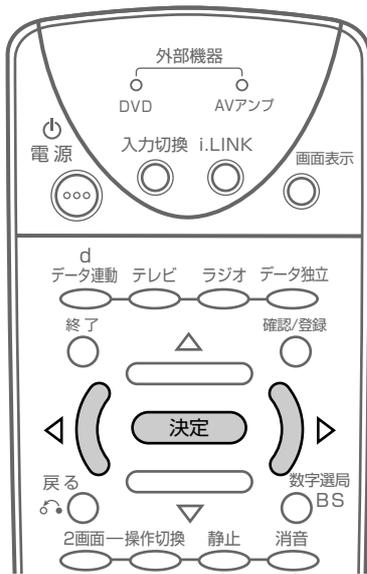
**2**

**① リモコンの扉を閉じる**

**② 数字ボタンで暗証番号を入力する**

- PPV設定画面が表示されます。

**3**

**「PPV制限」で 決定 を押す**

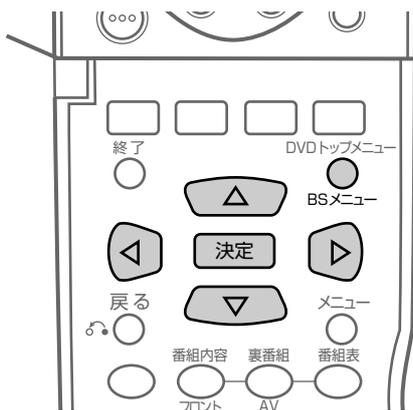
# 安心して使うための設定(つづき)

**4** ◁ ▷で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」………PPV番組の購入前に暗証番号の入力が必要になります。

「しない」……PPV番組の購入前に暗証番号の入力は必要ありません。

## 購入金額制限を設定する

■PPV番組の購入金額を制限し、設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。

扉を開けたところ

**1**

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◁ ▷で「番組視聴設定」を選ぶ

③ △ ▽ で「PPV設定」を選び、決定を押す

**2**

① リモコンの扉を閉じる

② 数字ボタンで暗証番号を入力する

## 3 ▽で「購入金額制限」を選び、決定を押す

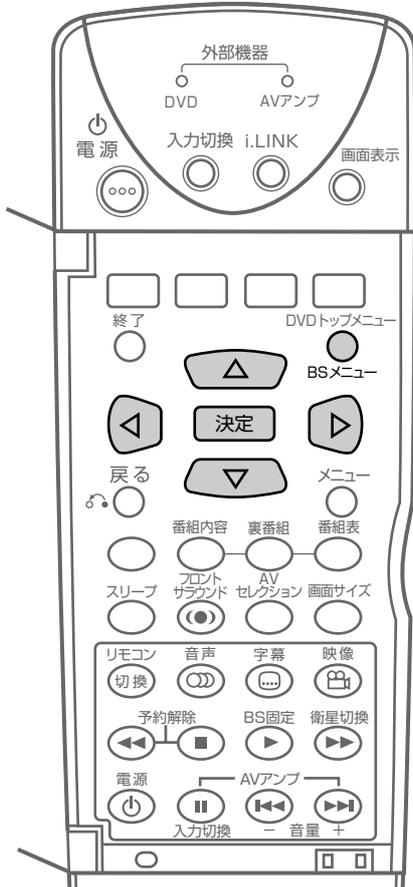
## 4 ① △で購入金額の入力欄を選ぶ
## ② 購入金額の上限を数字ボタンで入力し、決定を押す

<例>1,000円のとき

- 購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

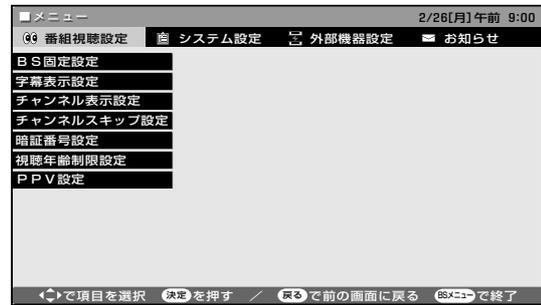
# BSデジタル放送受信のいろいろな設定

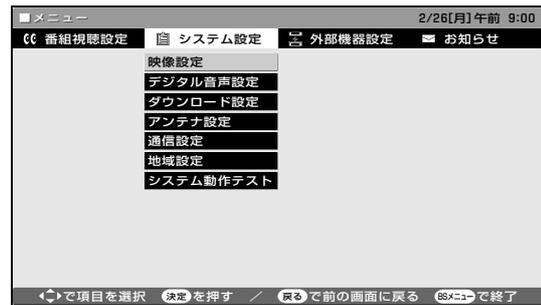
## 映像の設定

扉を開けたところ

**おしらせ**

**2種類の映像の設定について**

- 「オート」…番組表やデータ放送を表示すると、画面の一部が欠落することがあります。また、受信チャンネルの切換えに時間がかかったり、画面にノイズが出ることがあります。
- 「フル固定」…すべての放送を1125iに変換して表示・再生するため、画面いっぱいに広がらないなど、お好みの画面サイズで表示できないことがあります。

**1** BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

**2** ① ◁ ▷ で「システム設定」を選ぶ

② △ ▽ で「映像設定」を選び、決定 を押す

**3** ◁ ▷ で「オート」または「フル固定」を選び、決定 を押す

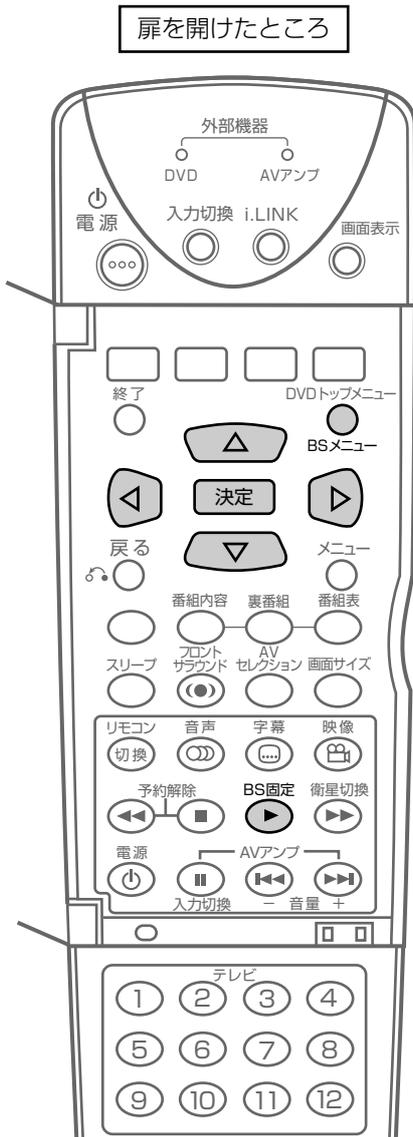
「オート」……… 525i放送以外の放送を1125i変換してディスプレイに表示・再生します。525i放送のとき、お好みの画面サイズに切り換えて表示・再生することができます。通常はこの位置でお使いください。

「フル固定」…… すべての放送を1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。

## BS固定の設定

■「BS固定」とは、現在受信しているBSデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。
BSデジタル番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。また、BSデジタル番組を録画しながら地上放送やCATV放送の裏番組を視聴できます。

■BS固定は、リモコンでの直接操作またはBSメニュー画面のいずれでも設定することができます。
どちらで設定しても動作は同じです。

扉を開けたところ

**1**

**① 固定したいBSデジタル放送のチャンネルを選局する**

**② BS固定 ▶ を押す**

● 画面左下にBS固定表示が出ます。

**2**

**もう一度、BS固定 ▶ を押す**

● BS固定表示が出ている間にボタンを押すと、BS固定を入／切できます。

ＢＳ固定：入

### BSメニュー画面から設定するとき

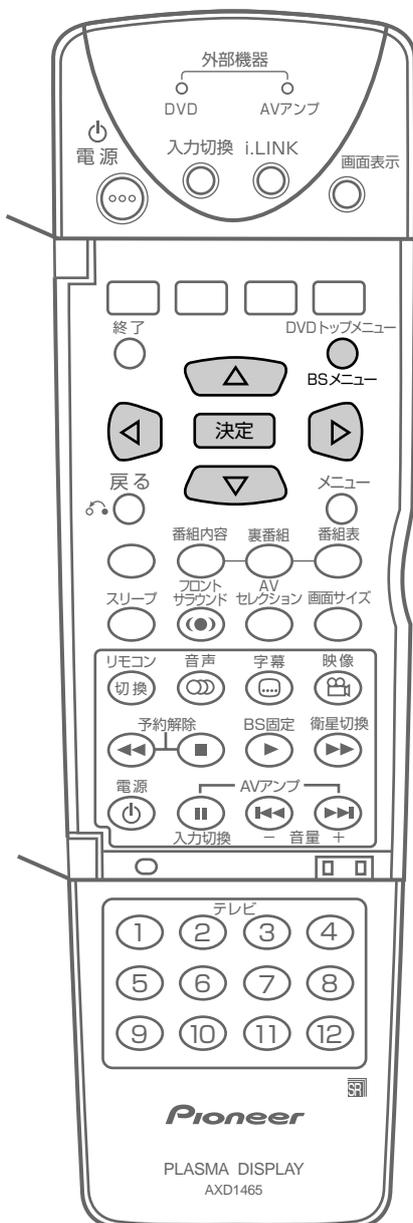
1. BSメニューボタンを押し、BSメニュー画面を表示する
2. カーソルボタンで「番組視聴設定」の「BS固定設定」を選び、決定ボタンを押す
3. 左右カーソルボタンで「する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す
4. BSメニューボタンを押し、通常画面に戻す

● BS固定時は、2画面表示・静止画表示できません。
● BS固定時は、BSデジタル放送関連の操作(BSデジタル放送の選局、メニュー・番組内容・番組表の表示等)ができません。
● BS固定時は、i.LINK操作パネルを表示できません。
● BS固定中に録画・視聴予約時間になると、BS固定が自動的に解除されます。
● 予約録画実行中やi.LINK入力時には、BS固定ができません。
● BSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。

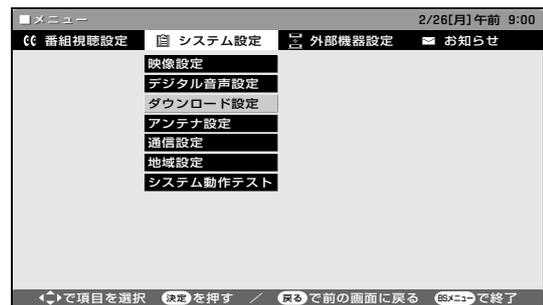
# BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

## ダウンロードの設定

■ダウンロードとは、衛星放送の電波を使って、BSデジタル放送受信機のソフトウェアを新しいソフトウェアに書き換えることです。本機では、ダウンロードを自動的に行うか否かを設定することができます。

扉を開けたところ

**1** BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

**2** ① ◁ ▷で「システム設定」を選ぶ

② △/▽ で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

**3** ◁ ▷で「する」または「しない」を選び、決定を押す

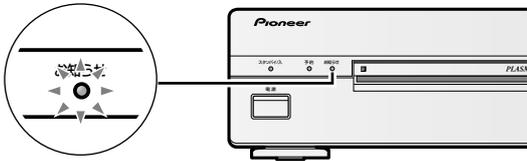
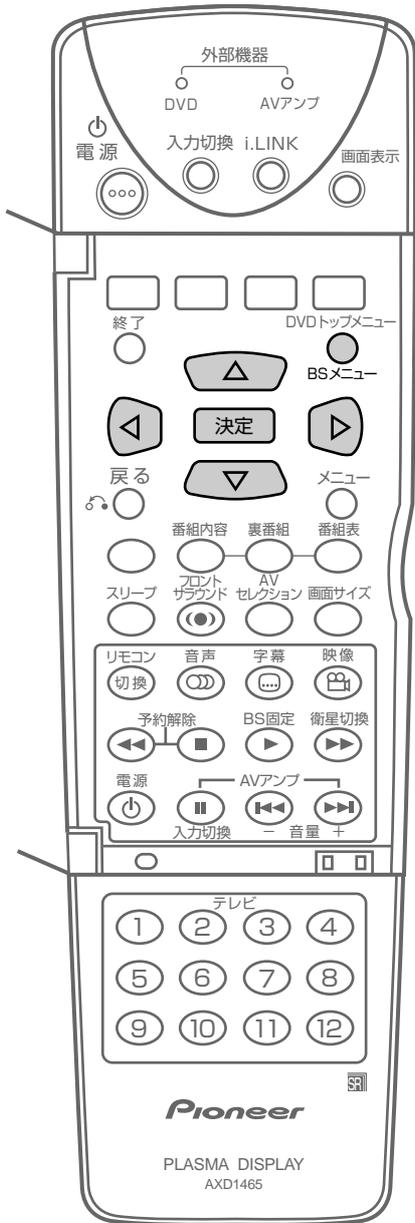
「する」……… 自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)

「しない」…… ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

**4** BSメニューを押し、通常画面に戻す

● ダウンロードは、本機の電源がスタンバイ状態(メディアレシーバーのスタンバイ／入インジケータが赤色点灯)のときに実行されます。

自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

▼お知らせインジケータ

扉を開けたところ

## 手動でダウンロードを行うとき

- 本機がダウンロードのお知らせを受信すると、メディアレシーバーのお知らせインジケータが点灯します。

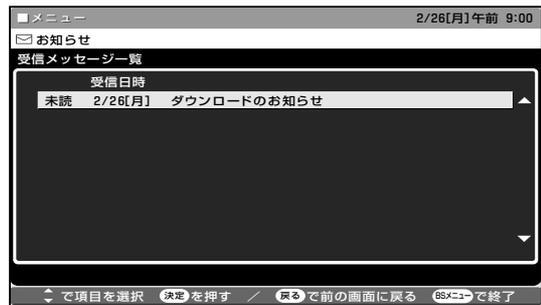
**1**

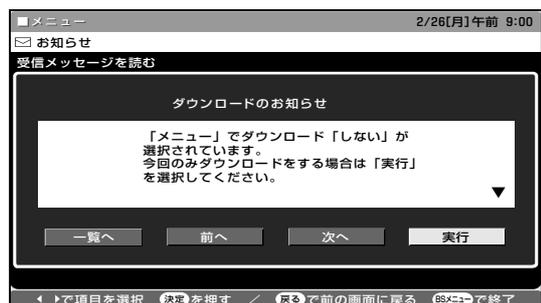
**① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する**

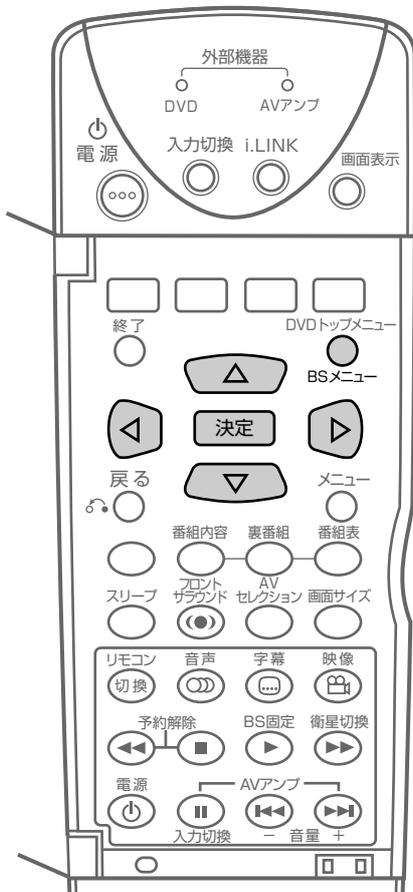
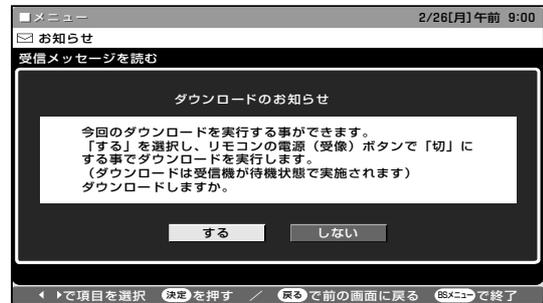
**② ◁ ▷ で「お知らせ」を選ぶ**

**③ △/▽ で「受信メッセージ一覧」を選び、決定 を押す**

**2**

**「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定 を押す**

**3**

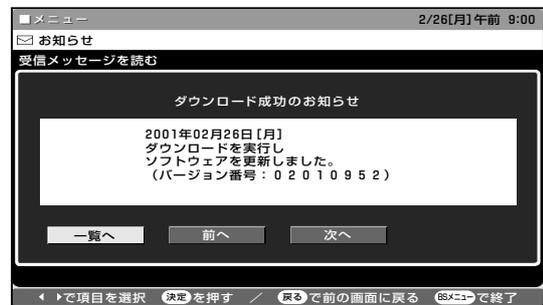
**画面の表示内容を確認してから、▷ で「実行」を選び、決定 を押す**

# BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

扉を開けたところ

**4** **画面の表示内容を確認してから、◁ で「する」を選び、決定を押す**

おしらせ

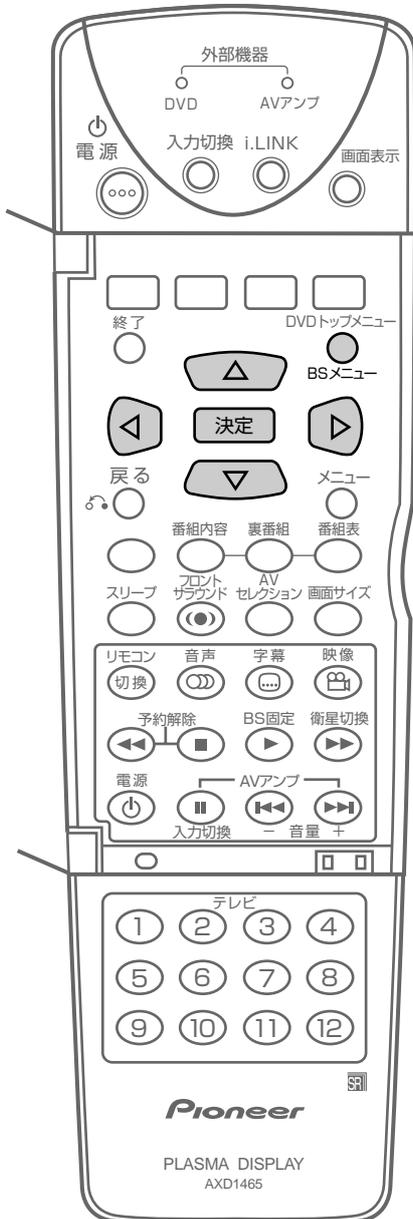
- ダウンロードは、本機の電源がスタンバイ状態(メディアレシーバーのスタンバイ／入インジケータが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等により、電源スタンバイ状態にしてください。

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、手順**1**〜**2**の操作を行ってください。

おしらせ

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、電源の入／切やBSデジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ソフトウェアの受信中や書換え中に電源を「入」にすると、ソフトウェアの受信画面、書換え画面が表示されますが、約10分ほどでBSデジタル放送画面に戻ります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ソフトウェアを受信するために、電源が自動的に「入」になる場合がありますが、ソフトウェアの受信、書換えが終わると、自動的にスタンバイ状態に戻ります。

## BSアンテナの設定

■BSアンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を表示しながら設定を行うことができます。

扉を開けたところ

## BSアンテナ設定画面を表示する

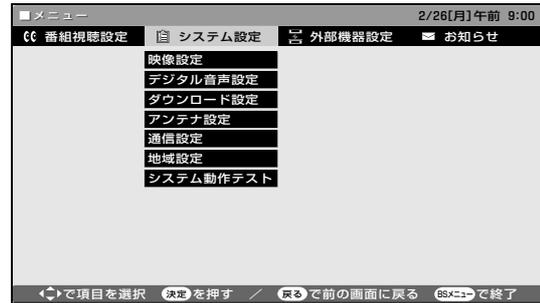
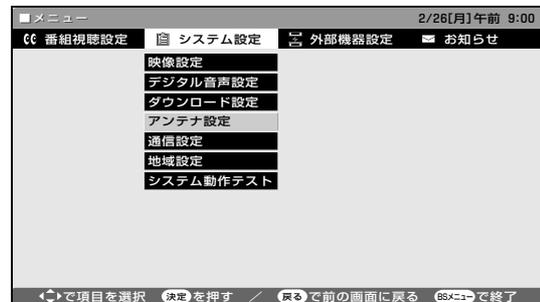
**1** **① BSデジタル放送のチャンネルを選局する（113ページ参照）**

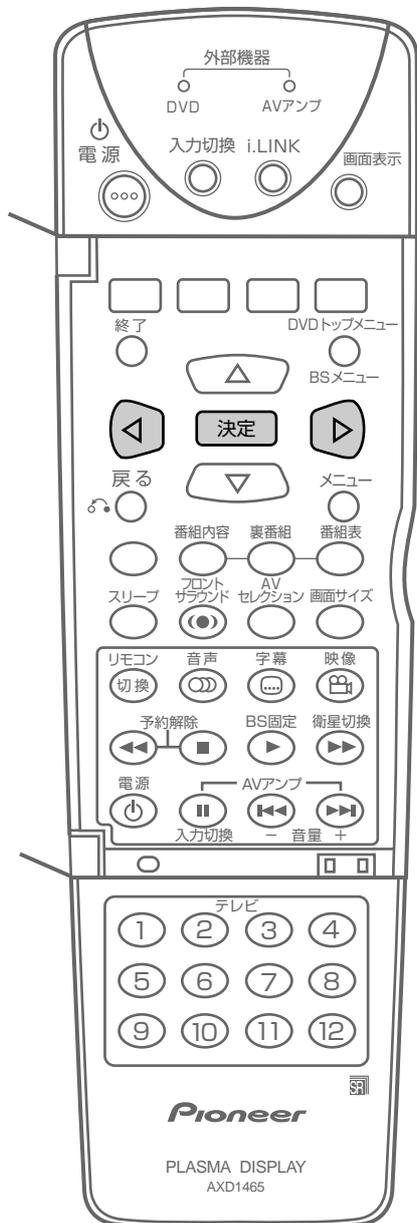
**② BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する**

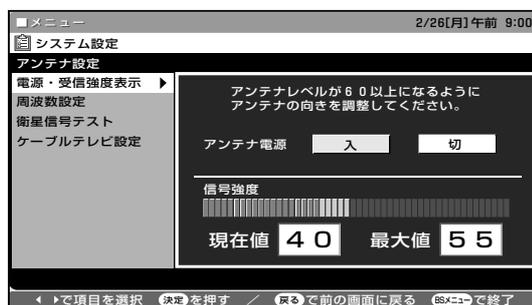
**2** **◁ ▷ で「システム設定」を選ぶ**

**3** **△ ▽ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押す**

BSデジタル放送受信のいろいろな設定（つづき）

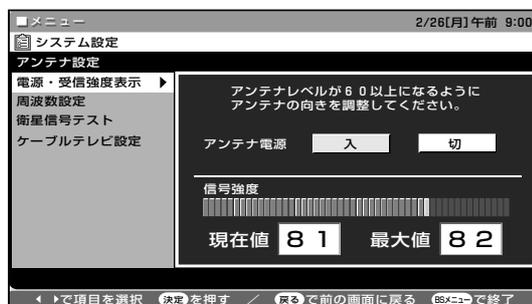
BSデジタル放送を楽しむ

# BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

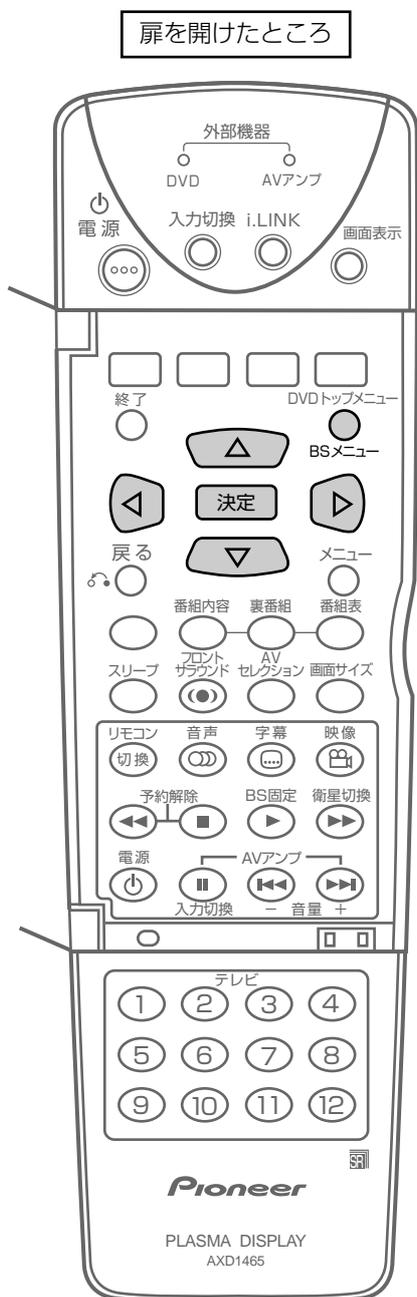
## BSアンテナに電源を供給する

**1** **「電源・受信強度表示」で 決定 を押す**

**2** **◁ ▷ でアンテナ電源「入」または「切」を選び、決定 を押す**

「入」……個人でアンテナを設置・接続している場合
「切」……電源を供給しないときの設定（共聴アンテナに接続している場合など）（工場出荷時の設定）

## 受信強度を確認・調整する

**3** **アンテナレベルが最大になるようアンテナの向きを調整する**

- アンテナレベル（信号強度）が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。
- アンテナの調整が済んでいる場合は必要ありません。

**4** **決定 を押す**

## 衛星信号テスト

**1**

**① アンテナ設定画面を表示する（169ページ参照）**

**② △ ▽ で「衛星信号テスト」を選び、決定を押す**

**2**

**① 決定を押し、チャンネル欄を選ぶ**

**② テストしたいチャンネルを △ ▽**

**◁ ▷ で選び、決定を押す**

- アンテナレベル(信号強度)の最大値が60以上あることを確認してください。

### その他のアンテナ設定

#### ■ケーブルテレビ設定

ケーブルテレビで受信している場合は、ケーブルテレビ設定を「する」に設定します。ただし、本設定で受信できるケーブルテレビの方式は「パススルー方式」のみです。

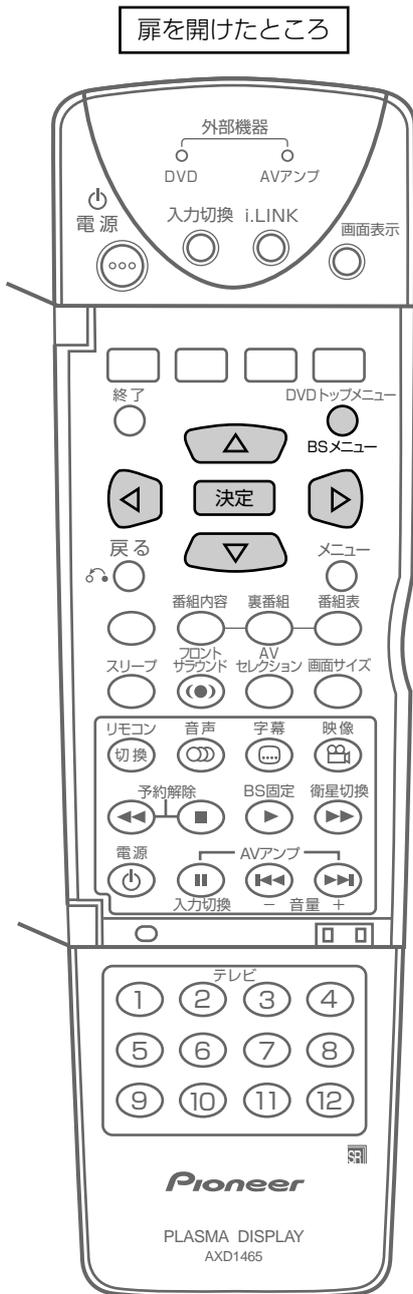
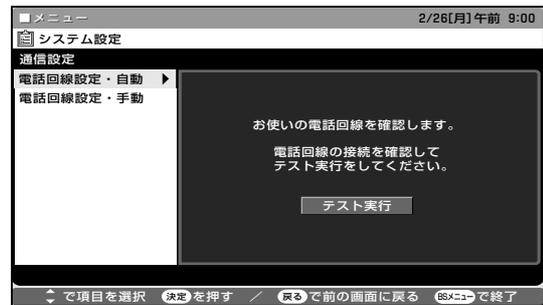
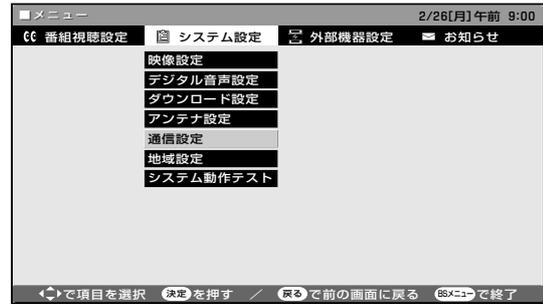
※詳しくは、契約しているケーブルテレビ事業者にお尋ねください。

#### ■周波数設定

新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障した場合、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。

# BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

## 電話回線の設定

■引っ越しなどで電話回線の種類を変えたときは、電話回線設定をしなおす必要があります。

**1**

**① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する**

**② ◁ ▷で「システム設定」を選ぶ**

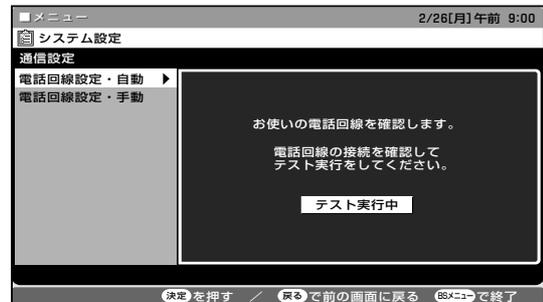
**③ △/▽で「通信設定」を選び、決定を押す**

**2**

**電話回線が接続されていることを確認する**

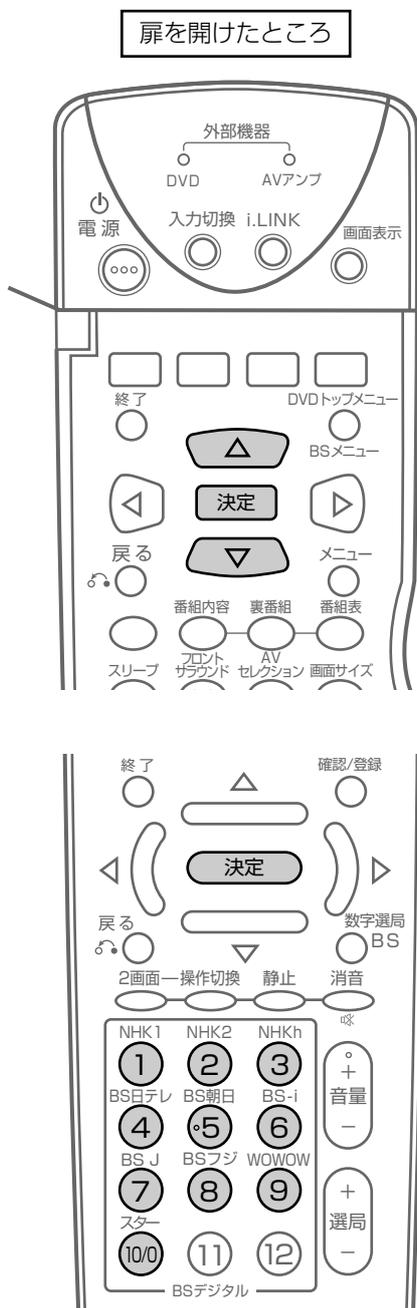
**3**

**① 「電話回線設定・自動」で決定を押す**

**② 「テスト実行」で決定を押す**

- 「テスト実行中」が表示されます。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発進番号の設定画面に切り換わります。☞**173**ページ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

扉を開けたところ

## 外線発信番号の設定

**1 △ / ▽ で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す**

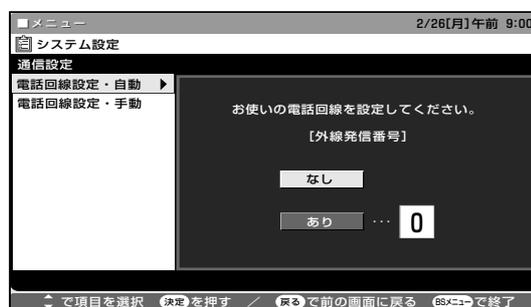
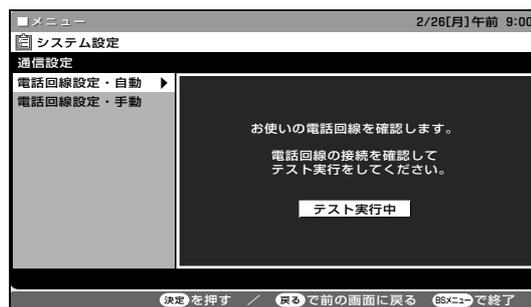
「なし」……外線交換機を使用しない場合
（通常の一般家庭）
「あり」……電話交換機などをご使用の場合

- 「あり」を選んだ場合は、リモコンの扉を閉じ、外線発信番号(0〜9)を右のボックスに数字ボタンで入力してから決定ボタンを押します。

**2 「テスト実行」で 決定 （ 決定 ）を押す**

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順**1**に戻ります。

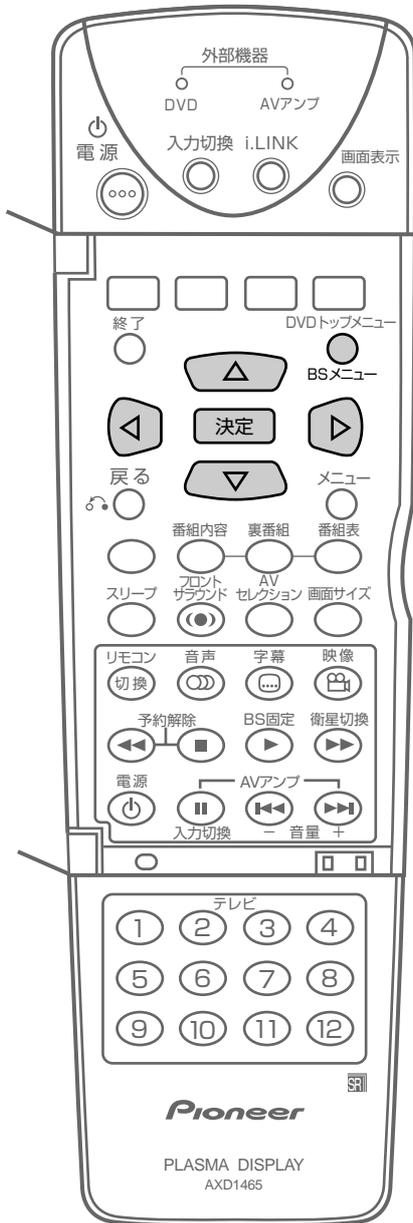
**ご注意**

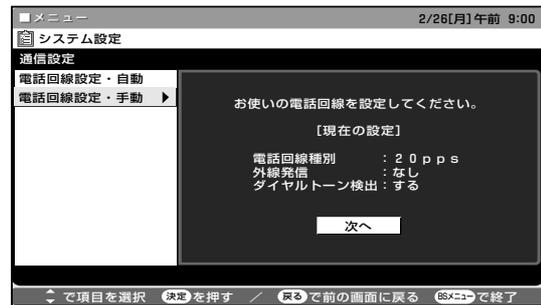
- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

**どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、174ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。**

# BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定することができます。

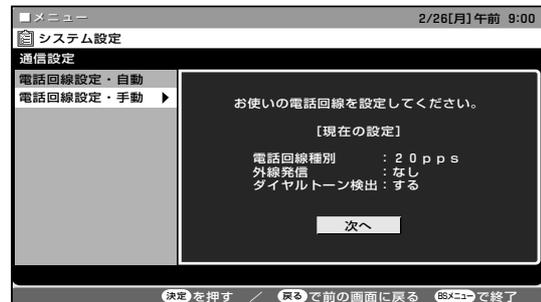
## 手動による電話回線設定

**1**

**① 172ページ手順1を行う**

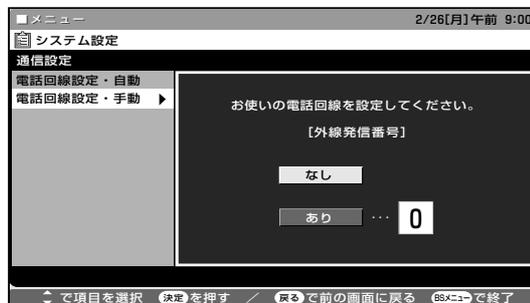
**② ▽で「電話回線設定・手動」を選び、決定を押す**

**2**

**① 「現在の設定」を確認する**

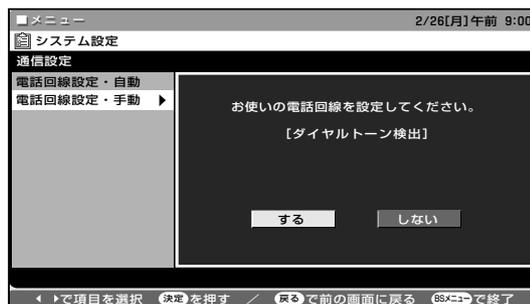
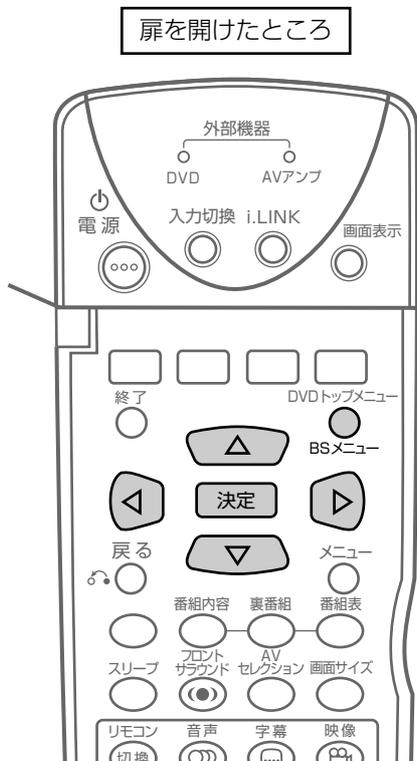
**② 「次へ」で決定を押す**

**3**

**ご契約の電話回線種別を△▽で選び、決定を押す**

- 契約している電話回線種別(ダイヤル方式)が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

## 4 △/▽で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

- 「あり」を選んだ場合は、リモコンの扉を閉じ、数字ボタンで外線発信番号を入力してください。

## 5 決定または決定を押す

## 6 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

## 7 BSメニューを押し、通常画面に戻す

扉を開けたところ

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

# BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

## 地域と郵便番号の設定

■緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

### 地域設定

**1**

① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

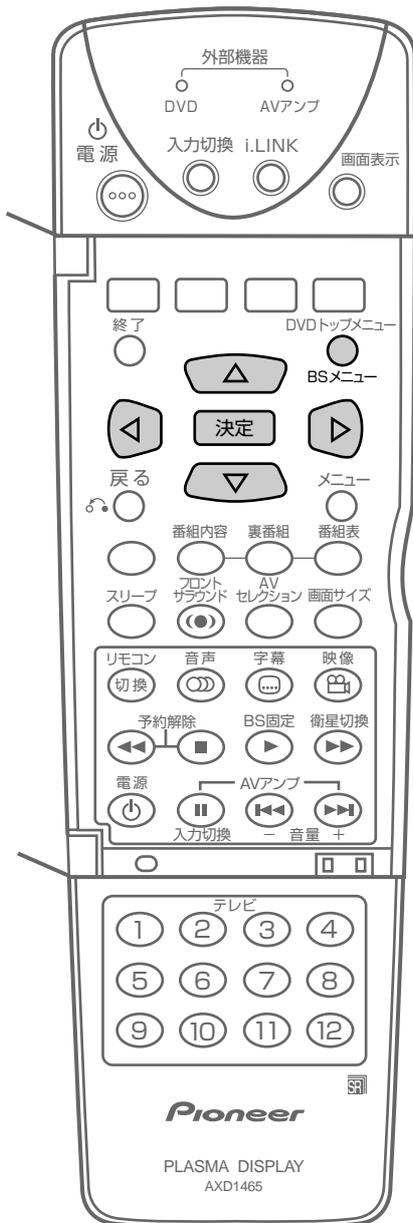
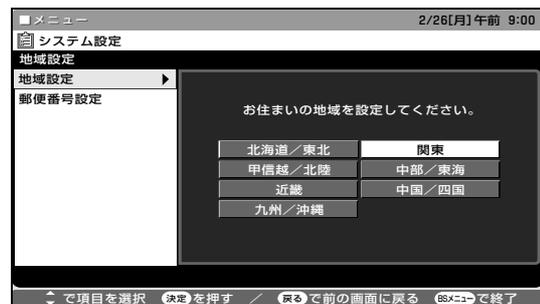
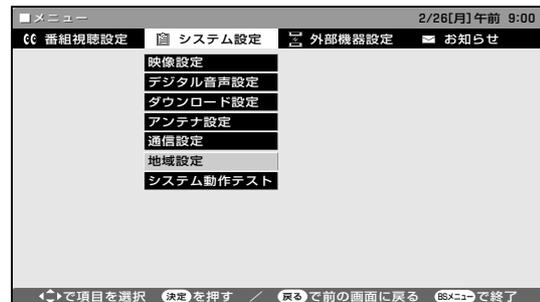
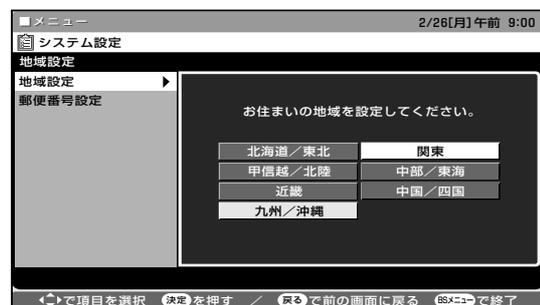
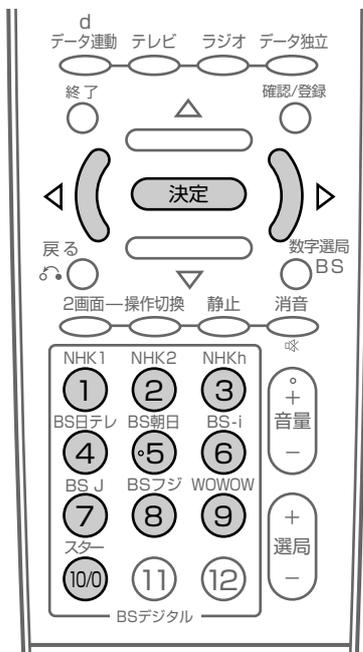
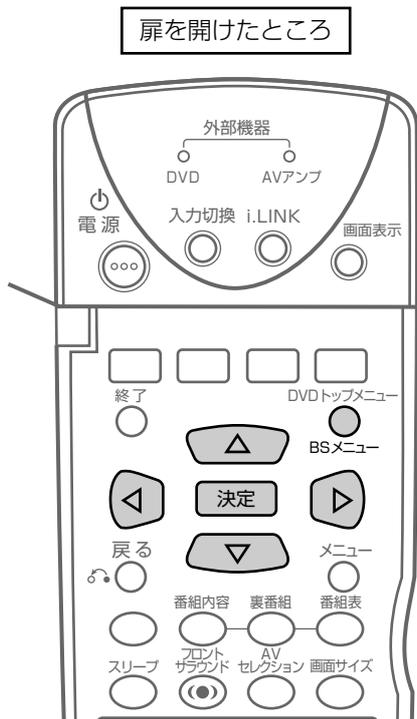
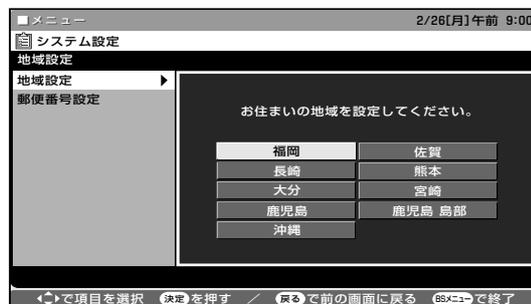
② ◁ ▷ で「システム設定」を選ぶ

③ △ ▽ で「地域設定」を選び、決定 を押す

**2**

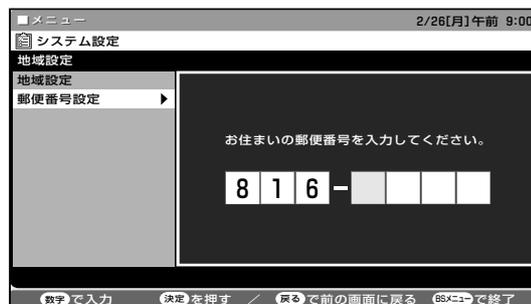
① 決定 を押す

② お住まいの地域を △ ▽ ◁ ▷ で選び、決定 を押す

扉を開けたところ

**3** **お住まいの都道府県を △ ▽ ◁ ▷ で選び、決定 を押す**

## 郵便番号設定

**4** **① ▽ で「郵便番号設定」を選び、決定 を押す**

**② リモコンの扉を閉じる**

**③ 数字ボタンで郵便番号を入力し、決定 を押す**

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタンで入力しなおします。

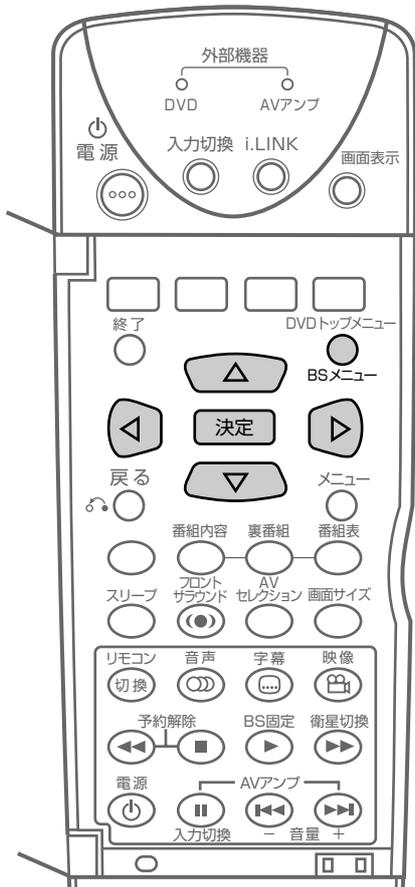
**5** **BSメニュー を押し、通常画面に戻す**

# お知らせを見る

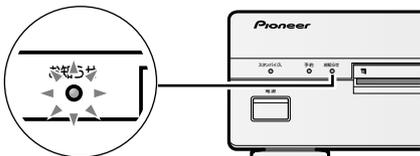
受信契約した放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されます。
また、有料放送に関するレポートやICカード番号なども確認できます。

## 受信メッセージを見る

■受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

扉を開けたところ

**おしらせ**

**お知らせインジケータについて**

- 放送局から送られてきたメッセージを受信すると、メディアレシーバーのお知らせインジケータが点灯します。

<例>ダウンロード成功のお知らせを見る

**1**

**① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する**

**② ◁ ▷ で「お知らせ」を選ぶ**

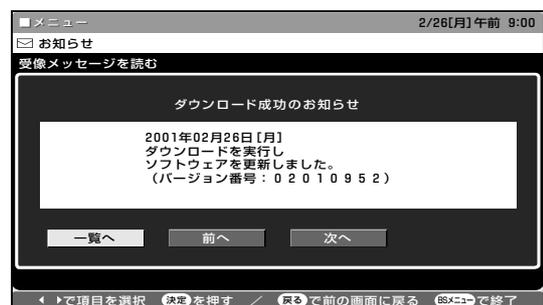
**③ △ ▽ で「受信メッセージ一覧」を選び、決定 を押す**

**2**

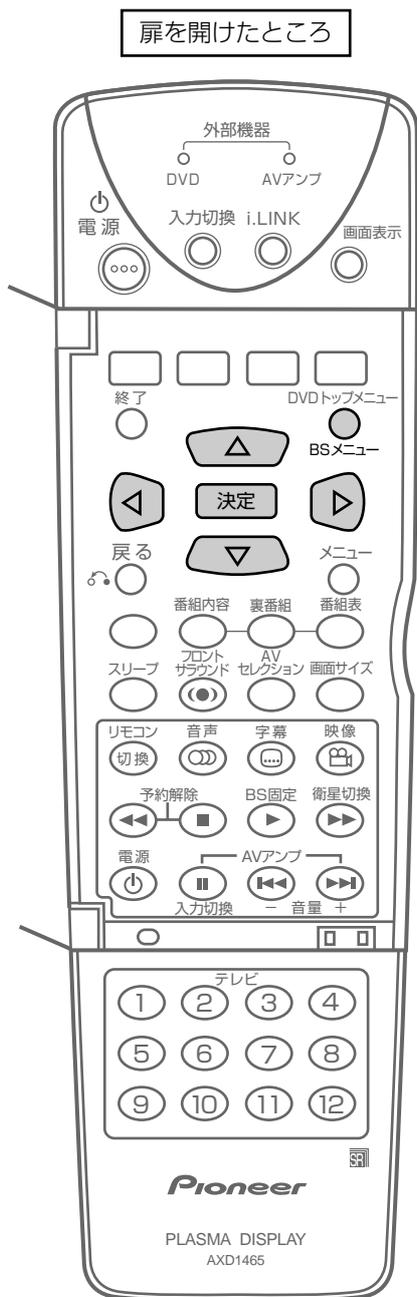
**見たいメッセージを △ ▽ で選び、決定 を押す**

**3**

**① メッセージの内容を確認する**

**② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを ◁ ▷ で選び、決定 を押す**

## 受信機レポートを見る

■ICカードが壊れたときや、課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

扉を開けたところ

おしらせ
- アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。

<例>アップロード失敗のレポートを見る

**1**

**① （BSメニュー）を押し、BSメニュー画面を表示する**

**② ◁▷で「お知らせ」を選ぶ**

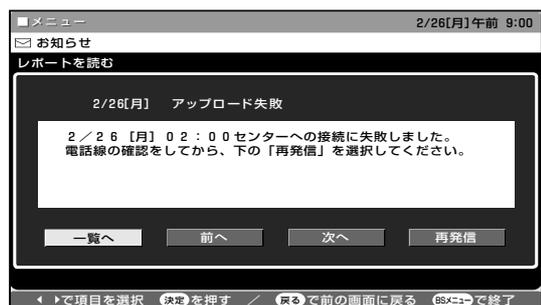
**③ △▽で「受信機レポート」を選び、（決定）を押す**

**2**

**見たいレポートを△▽で選び、（決定）を押す**

**3**

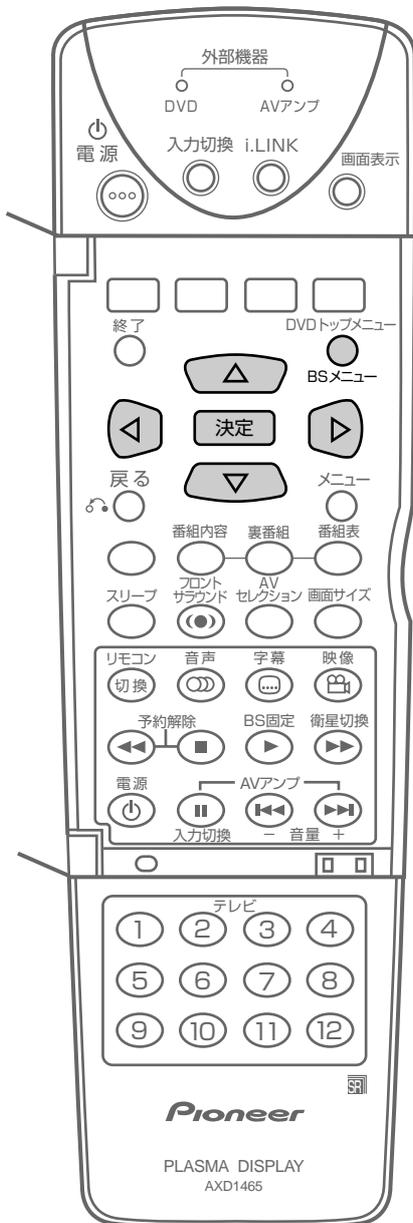
**① レポートの内容を確認する**

**② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを◁▷で選び、（決定）を押す**

# お知らせを見る(つづき)

## ICカード番号を見る

■受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためICカード番号を表示するものです。

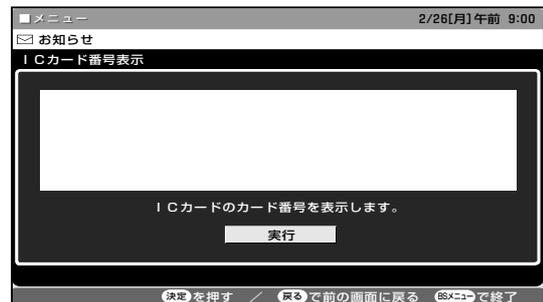
扉を開けたところ

**1**

**① ○(BSメニュー) を押し、BSメニュー画面を表示する**

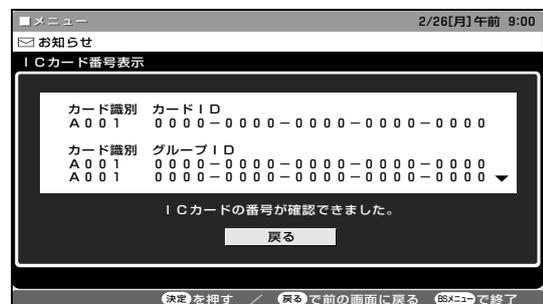
**② ◁ ▷ で「お知らせ」を選ぶ**

**③ △ ▽ で「ICカード番号表示」を選び、決定 を押す**

**2**

**「実行」で 決定 を押し、ICカード番号表示を実行する**

**3**

**① カード番号を確認する**

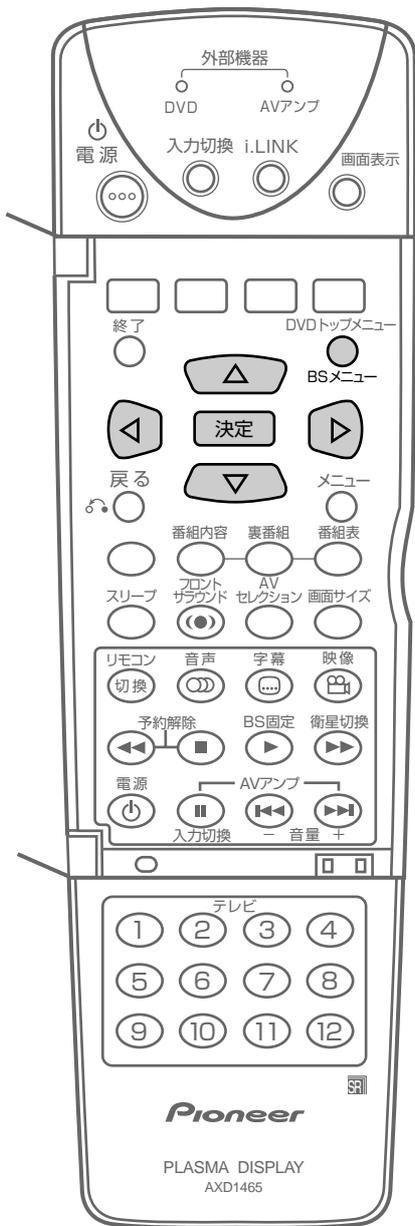
**② 「戻る」で 決定 を押す**

カード識別… メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。

カードID……カード固有の番号です。

グループID…複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループIDが異なるICカードに書き込まれます。

# PPV購入履歴を見る

■購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

扉を開けたところ

**1** BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

**2** ◁ ▷ で「お知らせ」を選ぶ

**3** △ ▽ で「PPV購入履歴」を選び、決定を押す

● PPV購入履歴画面が表示されます。

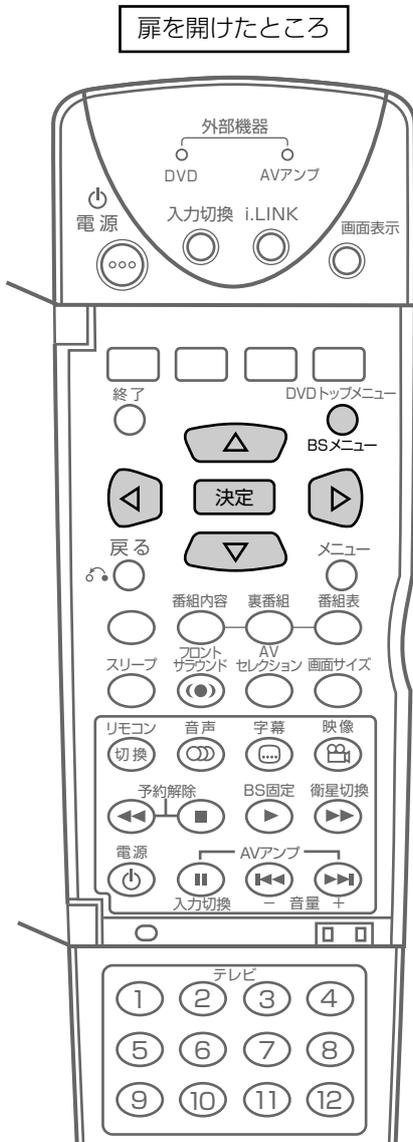
**4** ① 画面を確認する

② 「戻る」で 決定 を押す

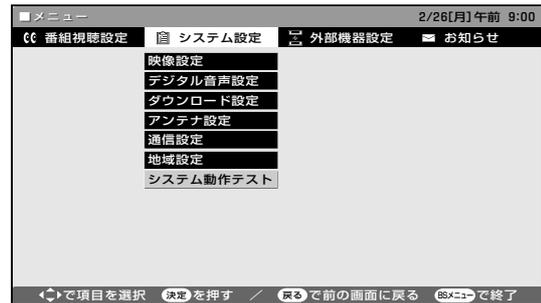
# システム動作テストを行う

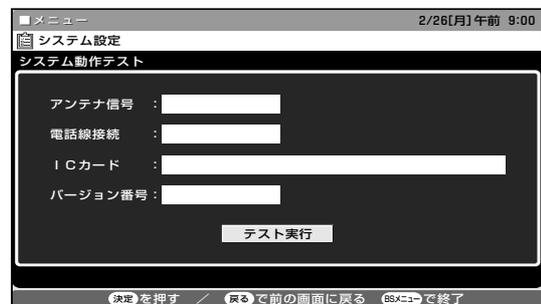
本機は、BSアンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、ICカードが正しく装着されているか、などをテストできます。

扉を開けたところ

**1**

**① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する**

**② ◁ ▷ で「システム設定」を選ぶ**

**③ △/▽ で「システム動作テスト」を選び、決定 を押す**

**2**

**「テスト実行」で 決定 を押し、テストを開始する**

- 表示が「テスト実行中」に変わります。
  テストが終了すると「テスト終了」になります。

**3**

**① 結果を確認する**

**② 「テスト終了」で 決定 を押す**

**システム動作テストに失敗したときは**

**アンテナ信号**

BSアンテナの接続と設定を確認してください。 ➪ **30**・**169**ページ

**電話線接続**

電話回線の接続と設定を確認してください。 ➪ **52**・**172**ページ

**ICカード**

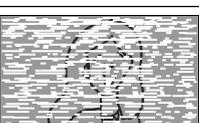
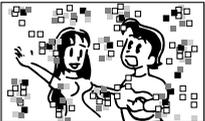
ICカードが正しく挿入されているか確認してください。 ➪ **55**ページ

# その他

# 故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては**195**ページをご覧ください。

| | こんなときに | ここをお確かめください | ページ |
|---|---|---|---|
| 全般 | 映像も音声も出ない | •電源プラグがコンセントから抜けていませんか。<br>•電源が「切」の状態になっていませんか。<br>•テレビやBSデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。 | 26<br>78·79<br>66 |
| | リモコンが動作しない | •電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。<br>•リモコンの乾電池が消耗していませんか。<br>•リモコン切換えがDVDモードになっていませんか。<br>•リモコンはディスプレイに向けてお使いください。 | 20·22<br><br>21<br>21 |
| | 音が左右逆になる<br>片方しか音が出ない | •スピーカーの接続ケーブルが左右逆に接続されたり、片方がはずれたりしていませんか。<br>•音声ケーブルが左右逆に接続されていませんか。 | 27<br>64 |
| | 映像は出るが<br>音声が出ない | •音量調整が最小になっていませんか。<br>•「消音」状態になっていませんか。<br>•ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。<br>•オーディオ出力が「可変」に設定されていませんか。「固定」にしてください。<br>•S映像·D映像·コンポーネント映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。 | 79<br>79<br>64<br>103<br>64 |
| | 色がうすい<br>色あいが悪い | •色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。 | 96 |
| | 特定のテレビチャンネルだけ映らない | •テレビチャンネルの微調整がズレていませんか。 | 39 |
| アンテナ | 映像が出ず<br>雑音のみ出る | •アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。<br>•アンテナ線は正しく接続されていますか。 | 29 |
| | 画像にはん点が出る | •自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。 | – |
| | 映像が二重になる<br>（ゴースト） | •近くに山や大きな建物·樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。<br>アンテナの向きや高さを変えてみてください。 | – |
| | 色じま模様が出る | •近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。 | – |
| | 雪が降っているような画面になる | •アンテナ線は正しく接続されていますか。<br>•屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。<br>•アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。 | 29<br>–<br>– |

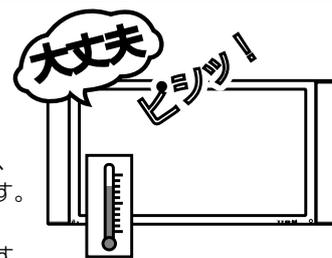
| | こんなときに | ここをお確かめください | ページ |
|---|---|---|---|
| BSデジタル放送関係 | 映像も音声も出ない | •BSアンテナ電源が「切」になっていませんか。<br>•映像、音声のない放送ではありませんか。<br>•ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。 | 170<br>—<br>66 |
| | 画面に四角のノイズ（モザイク）が出る | •アンテナの向きがズレていませんか。<br>•アンテナレベル（信号強度）を確認してください。<br>•アンテナの前方に障害物はありませんか。<br>•アンテナはBSデジタル放送対応のものを使用していますか。<br>•アンテナケーブルは衛星放送用を使用していますか。 | —<br>170<br>—<br>—<br>— |
| | 有料放送の視聴ができない | •ICカード（B-CASカード）は正しく挿入されていますか。<br>•有料放送を視聴するための契約はしていますか。<br>•電話回線の接続や設定は正しくされていますか。 | 55<br>56<br>51~54·57~60 |
| | 画面にノイズが出る | •VHF/UHFのアンテナケーブルがBSアンテナケーブルと接近していませんか。 | — |
| | 特定のチャンネルだけ映らない | •契約していない有料放送ではありませんか。<br>•アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 | 56<br>170・171 |
| | ビデオコントローラーでの録画予約ができない | •ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。<br>•ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。<br>•データ番組ではありませんか。 | 146<br>147<br>— |
| | 番組の予約をしても受信できない場合があります。 | •契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等を予約したとき。 | 126 |

■ 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときはディスプレイの主電源ボタンで電源を「切」にし、ディスプレイ、メディアレシーバー両方の電源プラグをコンセントから抜いて1分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

## このようなときも故障ではありません

**ときどき“ピシッ”と音がする**

• 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
  性能その他に影響はありません。

**BS アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害**

• 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
• 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まります。

■ つぎのエラーコードが画面に表示されている場合は、それぞれの対処法を実施してください。それでもエラーコードの表示が消えないときは、お買い求めになった販売店にご相談ください。

| エラーコード | 意　味 | 対 処 法 | ページ |
|---|---|---|---|
| E01 | システムケーブルが正しく接続されていません。 | • システムケーブルを正しく接続しなおしてください。 | 26 |
| E04 | 本機内部の温度が異常に高くなっています。 | • 本機を、熱を受けない場所、内部に熱がこもらない風通しのよい場所に移動してください。 | — |
| E06 | 内部信号または回路の動作が異常です。 | • ディスプレイの主電源ボタンで電源を一度切り、再び電源を「入」にしてください。 | 78 |

# BSデジタル放送の注意文

### ■受信に関する注意文

BSデジタル放送では、1つの電波で複数のチャンネルが送信できます。この中には現在放送されているチャンネルのほかに、これから放送が予定されているようなチャンネルの情報も含まれています。
どんなチャンネルがあるかを示す情報を送信することで、多チャンネルになっても、ユーザーは希望するチャンネルを選択することができます。
このチャンネル情報と実際の放送状況により、本機では以下のような注意文が表示されます。

| 注意文 | 内　容 |
|---|---|
| 放送が受信できません。 | 選択したチャンネルの電波が送信されていないときや、電波は送信されているが、大雨などで受信できないときに表示されます。 |
| 現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 | 選択したチャンネルを含む電波は送信されているが、番組が放送されていないときに表示されます。 |
| ×××チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。 | 選択したチャンネルが放送されていないときに表示されます。 |

### ■ICカードによる注意文

有料放送を受信するには、ICカード(B-CASカード)が必要となります。
ICカードと信号のやりとりをすることで、有料放送の契約状況が分かります。このICカードとの信号のやりとりの結果により、本機では以下のような注意文が表示されます。

| 注意文 | 内　容 |
|---|---|
| ICカードを正しく装着してください。 | 有料放送を受信するとき、ICカードが正しく装着されていないときに表示されます。<br>ICカードをスロットに挿入し、スライドスイッチをロック位置にしてください。 |
| このICカードは使用できません。 | ICカードが壊れている可能性があるときに表示されます。<br>B-CASカスタマーセンターまで連絡してください。 |
| このチャンネルは契約されていません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | 有料放送事業者に契約を申し込んでいない場合、あるいは申し込み後、契約情報が設定されるまでの期間表示されます。 |
| このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | 契約したチャンネルの放送で、ＰＰＶなど別契約が必要なときに表示されます。 |
| 契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | 契約したチャンネルの契約期間が過ぎているときに表示されます。 |
| このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | 契約上の制限によって、視聴できないときに表示されます。 |
| 受付時間を過ぎていますので購入できません。 | PPV番組の購入可能な時間を過ぎているときに表示されます。 |
| 電話回線を接続のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | PPV番組の購入金額を有料放送事業者に電話回線で連絡できないため、PPV番組が購入できなくなったときに表示されます。 |
| ICカードの交換が必要です。カスタマーセンターへご連絡ください。 | ICカードの記憶装置に異常が発生したときに表示されます。<br>B-CASカスタマーセンターまで連絡してください。 |
| このICカードは使用できません。カスタマーセンターへご連絡ください。 | ICカードの内部情報がおかしくなったときに表示されます。<br>B-CASカスタマーセンターまで連絡してください。 |

## ■i.LINKに関する注意文

| 注意文 | 内　容 |
|---|---|
| 現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。 | 本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。 |
| i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。 | i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**73**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。 |
| 現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。 | 選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。 |

## ■その他の注意文

| 注意文 | 内　容 |
|---|---|
| システムエラーです。<br>電源を入れなおしてください。 | 内部のファンが停止するなど、マイコンの動作がおかしくなったときに表示されます。 |

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

**特許番号**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5,848,391 | 5,291,557 | 5,451,954 | 5,400,433 | 5,222,189 |
| 5,357,594 | 5,752,225 | 5,394,473 | 5,583,962 | 5,274,740 |
| 5,633,981 | 5,297,236 | 4,914,701 | 5,235,671 | 07/640,550 |
| 5,579,430 | 08/678,666 | 98/03037 | 97/02875 | 97/02874 |
| 98/03036 | 5,227,788 | 5,285,498 | 5,481,614 | 5,592,584 |
| 5,781,888 | 08/039,478 | 08/211,547 | 5,703,999 | 08/557,046 |
| 08/894,844 | 5,299,238 | 5,299,239 | 5,299,240 | 5,197,087 |
| 5,490,170 | 5,264,846 | 5,268,685 | 5,375,189 | 5,581,654 |
| 5,548,574 | 5,717,821 | | | |

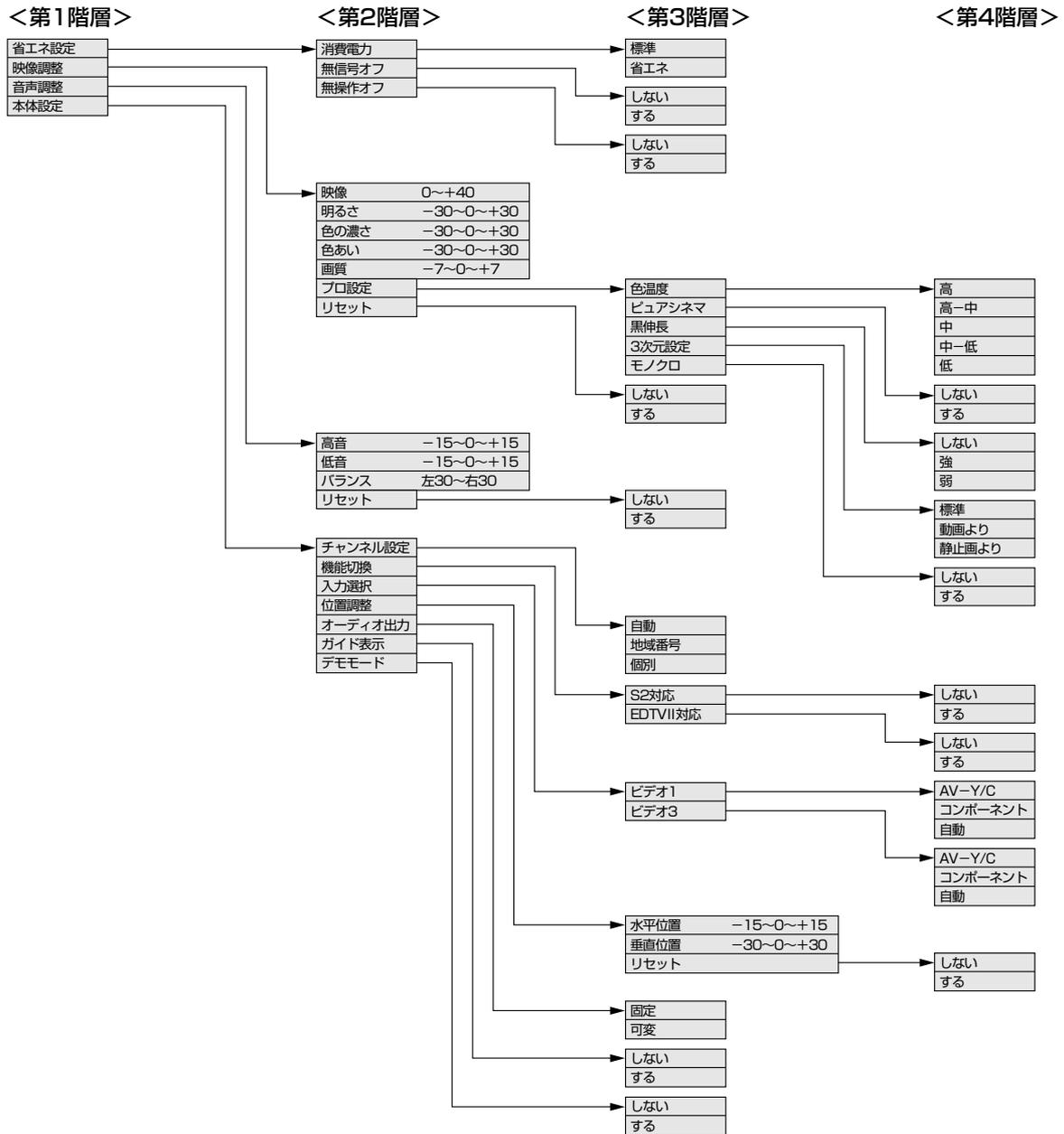
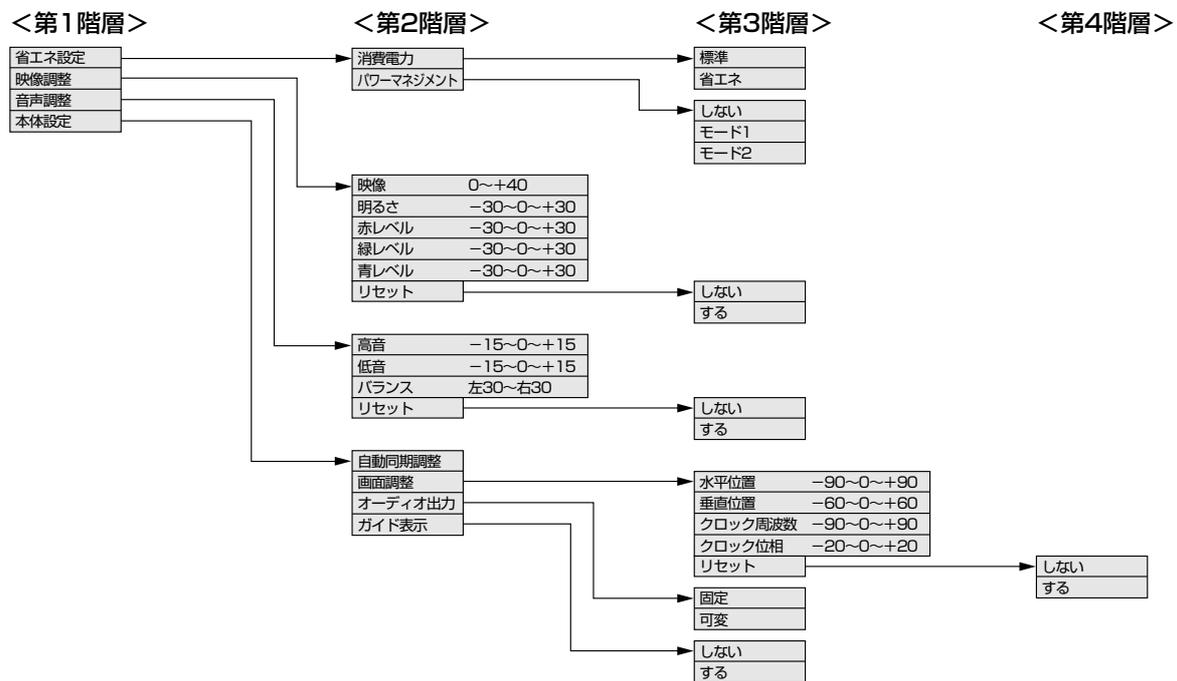
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

# メニュー階層図

## テレビ／ビデオメニュー階層図

# PCメニュー階層図

メニュー階層図

その他

# アイコン一覧

本機はアイコン(絵記号)によって、BSデジタル放送の電子番組表(EPG)や予約リストなど、表示画面の情報をお伝えします。
本機で使用しているアイコンはつぎのとおりです。

### 放送種類アイコン

| アイコン | 放送の種類 |
| --- | --- |
| | テレビ放送 |
| | ラジオ放送 |
| | 独立データ放送 |

### 番組情報アイコン

| アイコン | 内　容 |
| --- | --- |
| | 視聴予約している番組 |
| | 録画予約（ビデオ連動予約）している番組 |
| | 録画予約（i.LINK予約）している番組 |
| | 有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組 |
| | i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能、または禁止の番組 |

### ジャンルアイコン

| アイコン | ジャンル |
| --- | --- |
| | ニュース・報道 |
| | スポーツ |
| | 情報・ワイドショー |
| | ドラマ |
| | 音楽 |
| | バラエティー |
| | 映画 |
| | アニメ・特撮 |
| | 教養・ドキュメンタリー |
| | 劇場・講演 |
| | 趣味・教育 |
| | 福祉 |

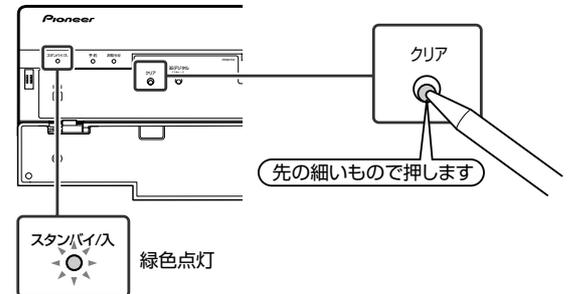
# クリアボタンとBSデジタルリセットボタン

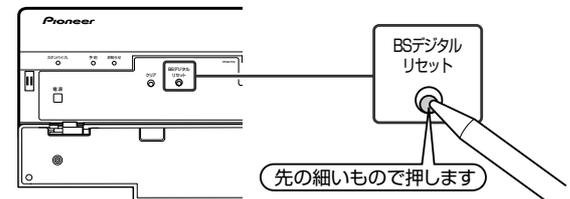
## クリアボタンについて

■メニューや2画面モードなどを操作していて、もとに戻せなくなったりした場合には、本機が動作している状態(スタンバイ／入インジケータが緑色点灯中)で、メディアレシーバー前面扉内のクリアボタンを押してください。
本機がスタンバイ状態のとき(スタンバイ／入インジケータが赤色点灯中)など、動作状態にないときには、クリアボタンは機能しません。
クリアボタンを押すと、つぎの状態に設定されます。

- AVセレクションが「標準」になります。
- テレビの1チャンネルが表示されます。
- 1画面になります。
- 音声出力が初期化されます。
- サラウンド機能が「オフ」になります。
- 画面位置調整が初期化されます。

- チャンネル設定は初期化されません。

▼メディアレシーバー前面扉内

## BSデジタルリセットボタンについて

■本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、メディアレシーバー前面扉内のBSデジタルリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には時間がかかります。

▼メディアレシーバー前面扉内

# 用語解説

■ 16：9

BSデジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i

走査線525本、インターレース方式。地上放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p

走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p

走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i

走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ PPV（Pay Per View）

「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ B-CASカード（ビーキャスカード）

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BSデジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。

■ BS（Broadcast Satellite）

放送衛星のことです。BS-4先発機から従来のBSアナログ放送が、BS-4後発機からBSデジタル放送が送られています。

■ BSデジタル放送

2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ CATV（ケーブルテレビ）

ケーブル（有線）テレビ放送のこと。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子（D4端子）

BSデジタル放送の高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）
BS デジタル放送で送られてくる電子番組表のことです。

■ HDTV（High Definition Television）
1125i や 750p などのデジタルハイビジョンの高画質、高精細度テレビ放送のことです。

■ i.LINK（アイリンク）
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル１本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbps の転送速度があり、それぞれS100、S200、S400 と表示されます。

■ MPEG（Moving Picture Experts Group）
デジタル動画圧縮技術の符号化方式の１つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい 40 分の１に圧縮することができます。

■ MPEG2 AAC（MPEG2 Advanced Audio Coding）
MPEG2 音声圧縮技術の符号化方式の１つです。高音質、マルチチャンネル設定が可能な方式です。

■ SDTV（Standard Definition Television）
従来の走査線 525 本の標準精細度テレビ放送のことです。

■ NTSC（National Television System Committee）
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数 525 本のインターレース方式です。

■ S1/S2 映像
セパレート（S）映像信号に、画面比率４：３で上下に黒帯のあるワイド映像（レターボックス）や、もと16：９の映像を横方向に圧縮して４：３にした映像（スクイーズ）を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、レターボックスは自動的に「ズーム」に、スクイーズは自動的に「フル」になります。

■ インターレース（飛び越し走査）
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます（この１画面を１フィールドといいます）。つぎに偶数番めの走査線（262.5本）を1/60 秒で描きます。これで、合わせて走査線525 本の１枚の完全な画像（フレーム）をつくっていく方式です。

■ お知らせ
BS デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

# 用語解説(つづき)

■ コンポーネント映像接続

映像信号を輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）の３つのコンポーネント（構成部分）に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は３つの端子に分かれているので、接続には３つのプラグに分かれた専用コード（コンポーネントケーブル）を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット映像接続

通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は１つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の３色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ サイマル放送（サイマルキャスト）

BSデジタル放送、BS（アナログ）放送の両方で同じ番組を放送することです。これまでのBS（アナログ）放送の視聴者を保護するため、BSデジタルチャンネルでも同じ番組を放送しているチャンネルもあります。

■ ハイビジョン放送

BSデジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示していたのに対し、BSデジタルハイビジョン放送は1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像です。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、１フィールドめですべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、１フィールドで525本の走査線を描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。

■ ワイドクリアビジョン放送

地上放送の画面のワイド化と高画質化、および画面サイズの自動切換えを目的とした放送です。本機では画面サイズの自動切換え信号のみ使用しています。

# 保証とアフターサービス

## 保証書について（別途添付してあります）

ご購入時に、保証書にお買い上げの店の捺印、住所、購入年月日が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。
保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したとき、あるいは誤った使用法で使用し故障した場合は、保証期間中であっても有料となりますのでご注意ください。
また、本機を分解しますと、保証が無効になります。
本機の保証期間は、お買い上げ後１年間となっています。（ただし、ガラスパネル部のみは２年間です。）

## 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（**184**ページ）を見て、もう一度接続や操作に間違いはないか確認してください。
また、異常のあるときは使用を中止してください。必ず電源コードを抜いてから、販売店、アフターサービス連絡先、またはお近くのサービスステーションにご連絡ください（付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください）。

**連絡していただきたい内容**

1. 型名、型番
2. 故障の内容「映像も音声も出ない」など
3. お買い上げ年月日「○○年○月○日」
4. お名前、住所、連絡先電話番号
5. ご希望訪問日
6. ご自宅までの道順と目標物（建物、公園など）

## 保証期間中は

修理を依頼するときは、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定によって、修理いたします。

## 保証期間が過ぎているときは

販売店、アフターサービス連絡先、またはお近くのサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 部品の保有期間は

プラズマディスプレイシステムの補修用性能部品の保有年数は、製造打ち切り後８年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談は、パイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター（I・C）をご利用ください。所在地、電話番号は、付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

**お客様ご相談窓口（全国共通フリーフォン）**

カスタマーサポートセンター
- 家庭用オーディオ／ビジュアル製品の
  お問い合わせ窓口　**0070-800-8181-22**
- カタログのご請求窓口　**0070-800-8181-33**

〈ご注意〉
- PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
- 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

※ ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html*

●長年ご使用のプラズマディスプレイシステムの点検をぜひ！

（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

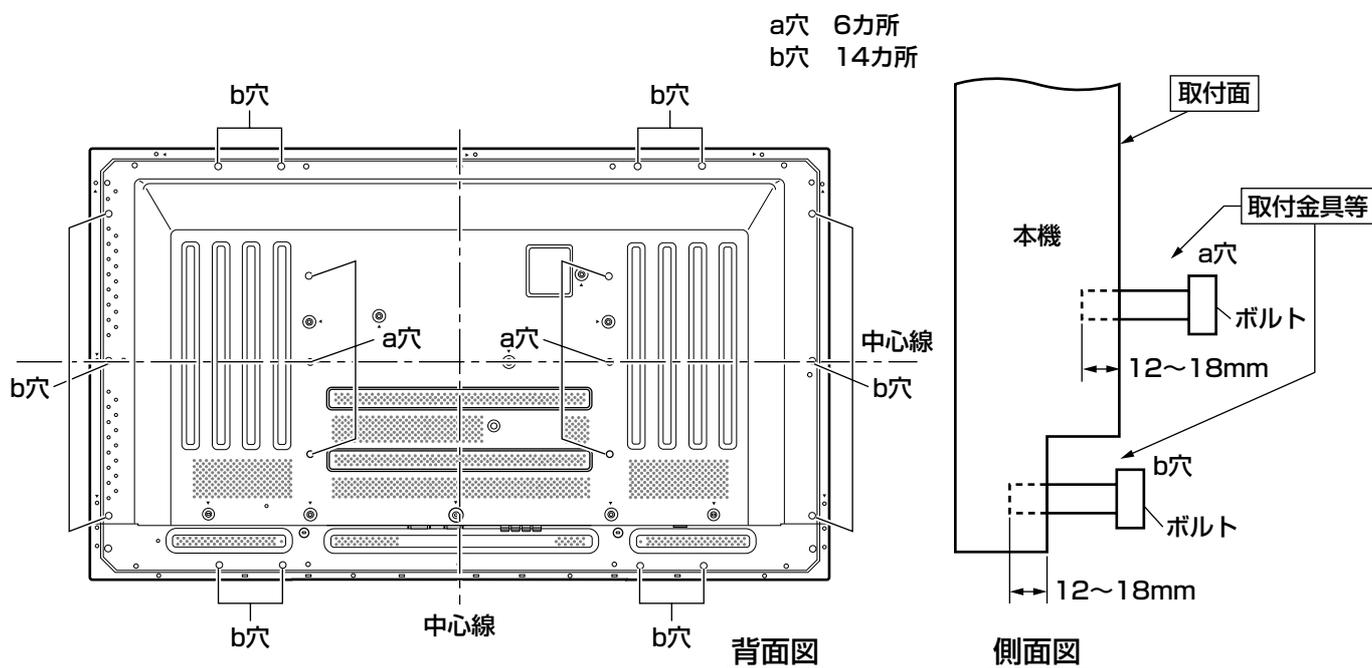
| このような症状はありませんか | ● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。<br>● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。<br>● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。<br>● 内部に水や異物が入った。 |
| --- | --- |

| ご使用中止 | 故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。 |
| --- | --- |

# 設置についてのご注意

別売のスタンドなどを使用して設置する場合は下記の点に注意してください。

1. 当社別売のスタンドや金具等を使用する場合
- 設置は販売店等に依頼してください。
- 必ず添付のボルトを使用してください。
- 詳細はスタンド等の取扱説明書をお読みください。

2. 上記1以外の場合
- 販売店にご相談ください。
- 使用できる取付け穴は下図のとおりです。

必ず中心線に対して上下左右対称な4カ所以上を使用してください。

ボルトは本機の取付け面より a 穴、b 穴ともに12〜18mm本機内に入るものを使用してください。（上図　側面図参照）

裏面に開いている通風孔はふさがないようにしてください。

本機はガラスを使用しておりますので、必ず歪みのない面に取り付けてください。

設置用部品はなるべく当社製品をご使用ください。
当社製品以外の部品による場合の事故損傷については当社は一切責任を負いません。

**壁掛け設置をする際には、必ず専用の金具を使用してください。また設置・据え付けは工事専門業者に依頼してください。**

## 壁掛け設置をする際の注意事項

1. 設置場所について
   - 人が容易にぶら下がったり、寄りかかったりできる場所には設置しないでください。
   - 屋外や温泉など湿気の多い場所、水辺の近くには設置しないでください。
   - 振動や衝撃の加わるような場所には設置しないでください。
   - 壁の構造や強度により取付けできない場合がありますので工事専門業者、または販売店にご相談ください。
   - 画面中央部の高さが、1m以下になるように設置してください。

2. 異常や不具合が発見された場合には、速やかに販売店または工事専門業者に修理を依頼してください。

3. 壁掛けの設置金具や壁面の取付け部など、目につかない所が破損し、本機が落下する危険が生じる恐れがありますので、本機の点検修理時や内装工事の時などに、必ず工事専門業者、または販売店に点検を依頼してください。本機を壁掛け設置する際には、工事専門業者に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

4. 本機を壁掛け設置して長期間使用されると、環境によっては経年変化で取付け部などの強度が不足する恐れがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

## 壁掛け設置をされたお客様へ

当社製の壁掛けユニットは、工事専門業者により安全な設置・据え付けが行われることを前提として発売されています。壁掛け設置をされているお客様は以下のことをお守りください。

1. 壁掛けに設置されているプラズマディスプレイ(本機)には、ぶら下がったり力を加えたりしないでください。

2. 壁掛けに設置されているプラズマディスプレイ(本機)や壁掛けユニットには、物をぶらさげたりしないでください。

3. 地震が起きた場合には、壁掛けに設置されているプラズマディスプレイ(本機)や壁掛けユニットの落下・転倒など万一の場合に備え、本機や壁掛けユニットから離れてください。

4. 壁掛け設置の際には、地震などの災害や万一の場合に備え、二重の落下防止策(チェーンなどでの固定)を、工事専門業者にご依頼ください。

# 仕　様

| 型番 | | | PDP-503HD | PDP-433HD-U/PDP-433HD-S |
|---|---|---|---|---|
| 型名 | | | プラズマディスプレイシステム | |
| 受信チャンネル | | | VHF1～12チャンネル／UHF13～62チャンネル／<br>CATV C13～C63チャンネル／BSデジタル000～999チャンネル | |
| ディスプレイパネル<br>（画面寸法） | | | 50V型AC方式プラズマパネル<br>（幅109.8cm､高さ62.1cm､対角126.1cm） | 43V型AC方式プラズマパネル<br>（幅95.2cm、高さ53.6cm、対角109.3cm） |
| 画素数 | | | 1280×768 | 1024×768 |
| アンテナ入力 | | | VHF/UHF 75Ω不平衡型、BS-IF 75Ω不平衡型（C15型） | |
| 音声出力 | | | 12W＋12W（1kHz、10%、8Ω） | |
| スピーカー | | | 低音用（ウーファー）：長円コーン形、高音用（トゥイーター）：2.5cmドーム形 | |
| 定格電圧 | | | AC100V | |
| 定格周波数 | | | 50/60Hz | |
| 消費電力 | | | 395W<br>リモコン待機時<br>BS固定「切」時：1.1W、BS固定「入」時：27W | 344W<br>リモコン待機時<br>BS固定「切」時：1.1W、BS固定「入」時：27W |
| 年間消費電力量 | | | 524kWh／年 | 500kWh／年 |
| 入出力端子 | ビデオ入力端子 | | 映像：1.0Vp-p、75Ω、同期負<br>音声：0.5Vrms、22kΩ以上 | |
| | S2映像入力端子 | | 輝度信号：1.0Vp-p、75Ω、同期負、色信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω | |
| | コンポーネント映像入力端子 | | 映像Y：1.0Vp-p、75Ω、同期負、 CB/CR（PB/PR）：0.7Vp-p（カラー100%）、75Ω | |
| | D4映像入力端子 | | | |
| | モニター出力端子 | | 映像：1.0Vp-p、75Ω、同期負　音声：0.5Vrms（モニター出力端子）／0.5Vrms（BSデジタル出力端子、フルスケール-12dB信号入力時）、2.2kΩ以下 | |
| | BSデジタル出力端子 | | | |
| | S2映像出力端子 | | 輝度信号：1.0Vp-p、75Ω、同期負、色信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω | |
| | BSデジタル音声出力（光）端子 | | 2系統 | |
| | ビデオコントロール端子 | | 1系統 | |
| | i.LINK（TS）端子 | | 2系統 | |
| | PC入力 アナログRGB映像端子 | | 1系統 | |
| | PC入力 音声（ステレオ）端子 | | 1系統 | |
| | ヘッドホン端子 | | ステレオミニジャック、32Ω | |
| | 電話回線端子 | | モジュラー式　V.22bis（2400bps） | |
| BSチャンネル受信仕様 | 変調 | | 時分割多重mPSK | |
| | トランスポート | | MPEG2システム | |
| | 映像 | | MPEG2（MP@HL） | |
| | 音声 | | MPEG2 AAC | |
| | 限定受信システム | | ARIB CASシステム | |
| | 受信周波数帯域 | | 11.71GHz～12.014GHz（右円偏波） | |
| | IRD受信周波数帯域 | | 1032MHz～1336MHz | |
| キャビネット | | | アルミニウムおよびプラスチック | |
| 外形寸法 | ディスプレイ部 | スピーカー取付時 | 幅1368mm、奥行101mm、高さ714mm | 幅1070mm、奥行108mm、高さ708mm（PDP-433HD-U）<br>幅1220mm、奥行101mm、高さ630mm（PDP-433HD-S） |
| | | スピーカー取外時 | 幅1218mm、奥行98mm、高さ714mm | 幅1070mm、奥行98mm、高さ630mm |
| | メディアレシーバー部 | | 幅420mm、奥行342mm、高さ98mm | |
| 質量 | ディスプレイ部 | スピーカー取付時 | 42.3kg | 34.2kg（PDP-433HD-U）/34.7kg（PDP-433HD-S） |
| | | スピーカー取外時 | 38.9kg | 31.5kg |
| | メディアレシーバー部 | | 6.5kg | |

■年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（約4.5時間／日）を基準に算出した1年間に使用する電力量です。

■製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

| 付属品 | メディアレシーバー部 | ディスプレイ部 | スピーカー部 |
|---|---|---|---|
| 付属品 | リモコン×1、簡単リモコン×1、<br>単3乾電池×2、単4乾電池×2、システムケーブル×1、<br>電源コード（3ピン）×1、AC変換プラグ×1、<br>アンテナケーブル×1、ビデオコントローラー×1、<br>モジュラー分配器×1、電話線×1、<br>BSデジタル用品一式、取扱説明書、<br>アンケートはがき、ご相談窓口・修理窓口のご案内 | 電源コード（3ピン）×1<br>AC変換プラグ×1<br>ワイピングクロス×1<br>スピードクランプ×3<br>ビーズバンド×3<br>保証書 | 取付金具×4<br>取付ネジ類×8<br>取付工具（六角レンチ）×1<br>スピーカーケーブル×2<br>（PDP-433HD-Uのスピーカー付属品については、スピーカーに同梱されている取扱説明書をご覧ください。） |

# 索引

このたびはパイオニア製品をお買い求めいただきありがとうございました。

● お使いになる前に、正しく安全にお使いいただくため、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
● 本機の機能を十分に発揮させてお使いいただくために、この取扱説明書を最後までお読みください。
● お読みになった後は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒にして大切に保管してください。

### 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。
ステレオの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などにはとくに気を配りましょう。
近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## お客様メモ

● 覚えのため記入されますと便利です。

| ご購入店名 | 住所<br>電話番号 | お近くの<br>ご相談窓口 | |
|---|---|---|---|
| ご購入年月日 | 年　月　日 | | |

高調波ガイドライン適合品

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TSZXF/03E00000>

<ARA1328-A>